

令和 4 年度

第 2 回 市政モニターアンケート報告書

テーマ

1. 災害に備えた啓発や情報発信に関する取組について
2. 上下水道局の取組について
3. 公共交通について
4. 中百舌鳥駅前北側広場の活性化について
5. 環濠都市堺の再生事業について
6. ごみ減量化・リサイクル、適正排出について
7. 里親制度に関する意識調査・広報啓発について
8. 広報活動について

堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

目 次

■ 調査概要	1
■ 回答者属性	4
■ 調査結果	5
1. 災害に備えた啓発や情報発信に関する取組について	
(1) 防災への関心について	5
«防災への関心の程度»	5
(2) 防災マップについて	6
«防災マップのリニューアル について»	6
«防災マップの入手先について»	7
«防災マップの入手理由について»	8
«防災マップの内容について»	9
(3) 防災マップの配架先について	11
«防災マップの配架先拡充検討について»	11
(4) 防災マップの啓発効果について.....	13
«防災マップによる行動変容について 1».....	13
«防災マップによる行動変容について 2».....	14
(5) 避難に関する情報の取得方法について	15
«避難に関する情報の取得方法»	15
«避難に関する情報の取得方法の評価»	16
2. 上下水道局の取組について	
(1) 身近な上下水道について	17
«堺市指定工事業者»	17
(2) 災害・地震対策について	18
«災害・地震対策の認知度»	18

«応急給水の場所»	20
«内水ハザードマップ»	21
«集合住宅における備蓄の重要性»	23
«家庭での備蓄状況»	24
«飲料水を備蓄していない理由»	25
«ローリングストック»	26
(3) 水道・下水道事業の経営・料金について	27
«上下水道局スマホアプリ「すいりん」»	27
«上下水道局スマホアプリ「すいりん」を使っている理由»	28
«上下水道局スマホアプリ「すいりん」を使っていない理由»	29
«上下水道局スマホアプリ「すいりん」の機能について»	30
(4) 上下水道局の広報について	34
«上下水道局のホームページ»	34
«上下水道局からのお知らせ»	35
(5) 上下水道局の取組の満足度について	36
«上下水道局の取組の満足度»	36
3. 公共交通について	
(1) 公共交通の利用状況について	38
«公共交通の利用頻度について»	38
«公共交通の利用目的について»	39
(2) 公共交通の満足度について	40
«公共交通の満足度について»	40
«公共交通の利用環境の満足度について»	41
«公共交通における重要度について»	42
(3) 自動車の利用について	43
«自動車の利用頻度について»	43
«自動車から公共交通への利用転換について»	44

(4) 公共交通の必要性について.....	45
«公共交通の必要性について»	45
(5) 公共交通の維持・確保について	46
«公共交通の維持・確保について»	46
(6) 本市の公共交通について.....	48
«本市の公共交通について»	48
4. 中百舌鳥駅前北側広場の活性化について	
«中百舌鳥駅前北側広場の利用状況»	56
«駅前北側広場の利用目的»	57
«駅前北側広場の利用目的の種別»	58
«駅前北側広場の課題».....	59
«駅前北側広場の賑わい機能»	60
«駅前北側広場のウォークアブルな空間の創出»	61
«一般的な駅前広場の賑わい機能».....	62
«一般的な駅前空間のウォークアブルな空間の創出»	63
«駅前北側広場に望む将来イメージについて».....	64
«駅前広場の魅力向上について».....	65
5. 環濠都市界の再生事業について	
«濠の名残（内川・土居川）の認知度».....	69
«環濠都市の認知度».....	70
«環濠エリアの認知度»	71
«散策を目的とした環濠エリアへの来訪経験の有無»	72
«環濠エリアへの来訪手段»	73
«環濠エリアへの散策目的»	74
«環濠エリアへの散策意向»	75
«環濠エリアに訪れたくない理由»	76
«散策を行うきっかけとして重視する点»	77

«公共空間利活用に関する取組の認知度»	78
«今後の公共空間利活用に関する取組について»	82
6. ごみ減量化・リサイクル、適正排出について	
(1) ごみ減量化・リサイクルについて	84
«ごみ減量化・リサイクルに関する情報の入手方法»	84
(2) 「堺・ごみ減量 4R 大作戦」について	86
«堺・ごみ減量 4R 大作戦の認知度»	86
«堺・ごみ減量 4R 大作戦の情報源»	87
«堺・ごみ減量 4R 大作戦に取り組まない理由»	88
(3) 「ごみの 4R 運動」について	89
«ごみの 4R 運動の認知度»	89
«ごみの 4R 運動に取り組まない理由»	90
(4) ごみ減量の具体的取組について	91
«リユースの取組»	91
«使い捨てプラスチック削減に向けた取組»	92
«食品ロス削減に向けた取組»	93
«古紙類の削減に向けた取組»	94
(5) ごみの分別について	95
«ペットボトルの分別について»	95
«ペットボトルを分別しない理由»	96
(6) 水銀使用製品について	97
«水銀使用製品の分別について»	97
«水銀使用製品の分別の情報源について»	98
«水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計の保有状況について»	99
7. 里親制度に関する意識調査・広報啓発について	
(1) 里親制度に関する意識調査・広報啓発について	100
«里親制度の認知度»	100

«里親の種類»	101
«里親制度の情報源»	102
«里親の実施に必要なもの»	104
«里親制度にご協力いただけること»	105
8. 広報活動について	
(1) 市政情報の入手について	106
«市政情報の入手方法»	106
(2) 広報さかいについて	108
«広報さかいを読む頻度»	108
«広報さかいの読みやすさ»	109
«広報さかいで利用する情報»	110
«区版広報の掲載内容について»	112
«広報さかいを読まない理由»	113
«紙媒体以外での広報さかいの閲覧方法»	114
(3) 堺市くらしのガイドブックについて	115
«堺市くらしのガイドブックの利用頻度»	115
«堺市くらしのガイドブックを利用しない理由»	116
(4) 市ホームページについて	117
«市ホームページの利用しやすさ»	117
«リニューアル後の市ホームページに対する満足度»	118
«リニューアル後の市ホームページの使いやすさ»	119
(5) 市の公式 SNS について	121
«SNS の利用状況»	121
«市政情報を得たい SNS の種類»	122

■ 調査概要

1. 趣旨・目的

(1) 災害に備えた啓発や情報発信に関する取組について

(担当課：危機管理室 防災課、危機管理課)

国が令和 3 年 9 月に行ったアンケート結果によれば、多くの方にハザードマップ※1 が認知されておらず、有効に活用されていないといった課題が挙げられています。

これらの現状を踏まえ、本市では、市民の方の興味をひくデザインやわかりやすい内容にするなどの工夫を図り、令和 4 年 3 月末にハザードマップと災害種別ごとの情報を掲載した防災マップ※2 を 5 年ぶりにリニューアルしました。

これまでは防災マップを一律に全戸配布し、啓発をしていましたが、リニューアルした防災マップは、市内民間事業者の協力による各民間施設への配架を行い、啓発に取り組むこととしました。また、作成にあたっては、内容の充実、デザインの工夫、わかりやすい表記を重視しました。

あわせて、本市では大雨や台風、地震などによる災害時に、避難所の開設や避難情報の発信を様々な手法で行っています。

今回のアンケートでは、リニューアルした防災マップの啓発、情報に関する効果測定を行い、また、市民の皆様による情報の取得方法についての現状を把握し、よりよい情報発信の方法を検討することを目的に実施するものです。

※1 被災想定区域や避難場所などの位置を表示した地図

※2 災害種別ごとの特徴や避難行動についての情報面と地図面のハザードマップ（※1）を 1 つの冊子にした本市作成のマップ

(2) 上下水道局の取組について

(担当課：上下水道局 経営企画室)

上下水道局では、水需要の減少に伴う収入の減少が見込まれるなか、将来にわたって安全安心なライフラインを守るため、平成 28 年 3 月に「堺市水道ビジョン」「堺市下水道ビジョン（改定版）」を策定し、効果的・効率的な事業運営を進めています。

現在、令和 5 年度から令和 12 年度までの 8 年間で計画期間とし、今後、取り組むべき具体的施策や事業及びそれらのゴール（令和 12 年度達成目標）を取りまとめた「堺市上下水道事業経営戦略」の策定を進めており、利用者に信頼される事業運営をめざします。

また、令和 4 年度は、これまでの市政モニターアンケート結果や令和 2 年度に実施した市民 WEB アンケート結果などを踏まえ、ホームページのリニューアルや SNS での情報発信の強化に取り組んでいます。

今回のアンケートでは、上記の取組の結果、上下水道事業に関する認知度や満足度がどのように変化しているかを確認し、今後の経営戦略や広報広聴体制に反映させるため、実施するものです。

(3) 公共交通について

(担当課：建築都市局 交通部 公共交通担当)

人口減少に伴う通勤・通学利用の減少、運転手などの担い手不足、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う働き方や人の行動変容など新しい生活スタイルの浸透などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

本市において、地域の社会生活・経済活動に不可欠な公共交通の維持・確保に向けて、現在、市域を対象とした「地域公共交通計画※」の作成に向けた検討を行っています。

今回のアンケートは、公共交通の利用状況や公共交通に対するご意見をお伺いし、今後の「地域公共交通計画」の作成に活用するものです。

※地域公共交通計画とは

住民などの移動ニーズにきめ細かく対応できる立場にある本市が中心となって、交通事業者や地域の関係者などと協議しながら持続可能な地域旅客運送サービスの提供を確保することを目的に策定し「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにするものです。

(4) 中百舌鳥駅前北側広場の活性化について

(担当課：建築都市局 都市整備部 中百舌鳥・拠点整備担当)

現在、本市では中百舌鳥駅周辺の活力と多様な交流を育むイノベーション※創出拠点の形成に向けた取組の1つとして、駅前空間の活性化や交通利便性の向上に取り組んでいます。

今回のアンケートでは、都市拠点にふさわしい賑わいや活力を感じられる駅前空間の実現に向けて、駅前広場の使われ方やニーズの把握を目的として、市民の皆様の意識や意見を伺い、今後の取組に活用したいと考えています。

※イノベーションとは

モノや仕組み、サービス、組織、ビジネスモデルなどに新たな考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会にインパクトのある革新や刷新、変革をもたらす、それらが一般的、普遍的に活用される状態になることです。

(5) 環濠都市堺の再生事業について

(担当課：建築都市局 都心未来創造部 堺駅エリア整備担当)

本市都心部に位置する環濠エリアは、町家や寺社などの歴史的建造物、包丁・線香などの伝統産業、老舗の和菓子店などといった豊かな歴史・文化資源を数多く有しており、堺の繁栄の歴史を感じることができるエリアです。

本市では、このような堺ならではの豊かな歴史・文化資源を活かしながら、『堺グランドデザイン 2040』に示した環濠エリアの将来イメージ実現に向け、都市空間を車中心から人中心へと転換し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(ウォークアブル)をめざし、取り組んでいます。

また、令和4年度からは、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」をめざす取組の一つとして、環濠の水辺や公園、通りなどの公共空間を、人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げられるような場へと公民連携で転換する取組(公共空間利活用)を行っています。

今回のアンケートでは、現在の環濠エリアのポテンシャルや課題点を把握し、今年度の取組に対する評価と、今後事業を進める上で、参考にすることを目的に実施するものです。

(6) ごみ減量化・リサイクル、適正排出について

(担当課：環境局 環境事業部 環境事業管理課)

地球温暖化などの環境問題や食品ロス、衣服ロスなどの社会問題が深刻化しており、これらの問題には私たちが日常生活で繰り返している「捨てる」ことが影響しています。また、近年本市のごみ減量はあまり進んでいません。そこで、本市ではごみに関わる環境問題の解決及び安定的なごみ処理体制の構築を目的として、令和4年7月から「堺・ごみ減量 4R 大作戦」を実施しています。

今回のアンケートは、市民の皆様のごみ減量・リサイクルに対する意識及び取組状況を調査し、今後の事業実施の基礎資料とするものです。

(7) 里親制度に関する意識調査・広報啓発について

(担当課：子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課)

今回のアンケートでは、市民の皆様がどれだけ知られているか、また、本市が行う里親制度の広報啓発活動について、市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の里親制度の啓発、新規里親開拓の充実に活用したいと考えています。

(8) 広報活動について

(担当課：市長公室 広報戦略部 広報課)

本市では、市民に開かれた市政、市民協働による取組を進めるため、様々な広報活動を行っています。現在、「広報さかい」「市ホームページ」「堺市くらしのガイドブック」「堺市の公式 SNS」などの各種媒体を使って広報活動を行い、広く市民と行政を繋ぐ様々な情報の発信をしています。

今回のアンケートでは、本市の広報活動についての市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の広報活動の充実に活用したいと考えています。

2. 調査期間

令和4年12月1日(木)～令和4年12月14日(水)

3. 調査方法

(1) 対象

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方で、公募による市政モニター

(2) 人数

496人

(3) 調査方法

インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

調査対象者496人に対して、有効回収数466人 回収率94.0%となった。

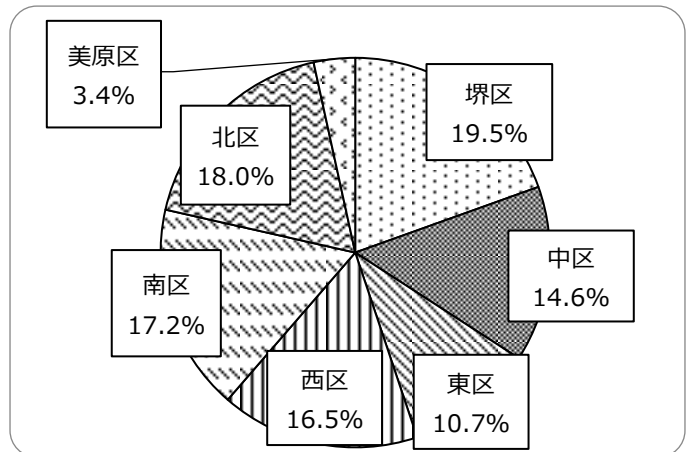
4. 報告書の見方

- (1) 本調査の集計分析対象とした調査票総数は466である。数表中のNは比例算出の基礎となる回答者総数を表している。
- (2) 個々の選択肢比率を合算する場合は、個々の回答数の合計をNで除して百分率を求め、小数点第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。
- (4) 「その他記述」および「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

■ 回答者属性

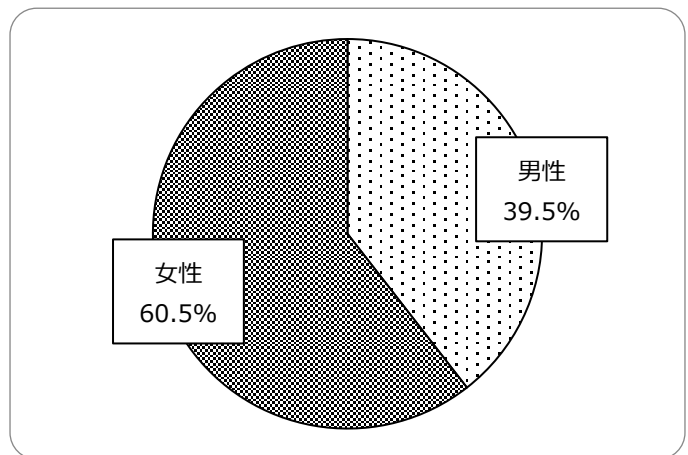
居住区別		回答数	構成比
1	堺区	91	19.5%
2	中区	68	14.6%
3	東区	50	10.7%
4	西区	77	16.5%
5	南区	80	17.2%
6	北区	84	18.0%
7	美原区	16	3.4%
計		466	100.0%

居住区別



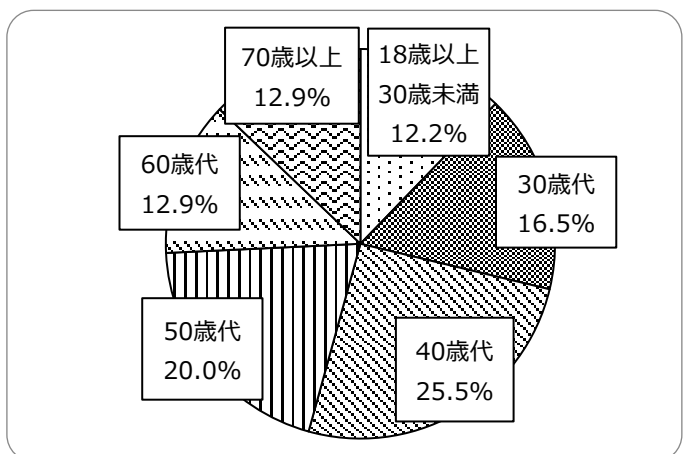
性別		回答数	構成比
1	男性	184	39.5%
2	女性	282	60.5%
計		466	100.0%

性別



年齢層別		回答数	構成比
1	18歳以上30歳未満	57	12.2%
2	30歳代	77	16.5%
3	40歳代	119	25.5%
4	50歳代	93	20.0%
5	60歳代	60	12.9%
6	70歳以上	60	12.9%
計		466	100.0%

年齢層別



■ 調査結果

1. 災害に備えた啓発や情報発信に関する取組について

(1) 防災への関心について

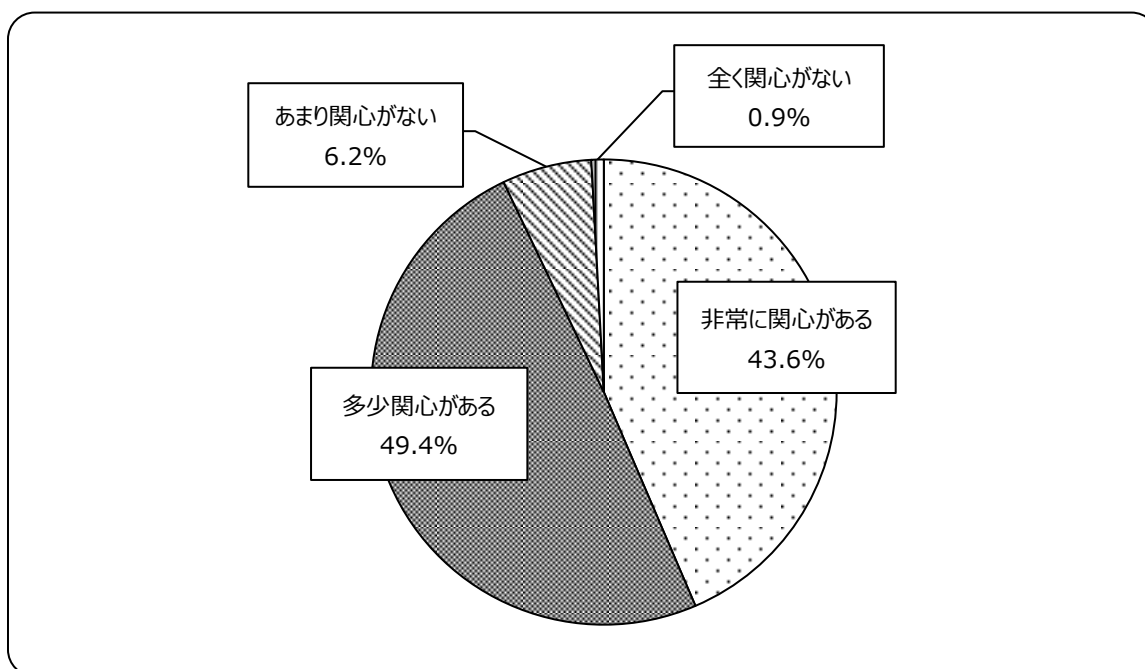
«防災への関心の程度»

問 1. 防災に関してどの程度関心がありますか。

【選択は1つ】

「非常に関心がある」、「多少関心がある」が、9割以上を占めている。防災への市民関心度は高いことがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	非常に関心がある	203	43.6%
2	多少関心がある	230	49.4%
3	あまり関心がない	29	6.2%
4	全く関心がない	4	0.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%



(2) 防災マップについて

«防災マップのリニューアル について»

問 2. 防災マップがリニューアルされたことをどのように知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

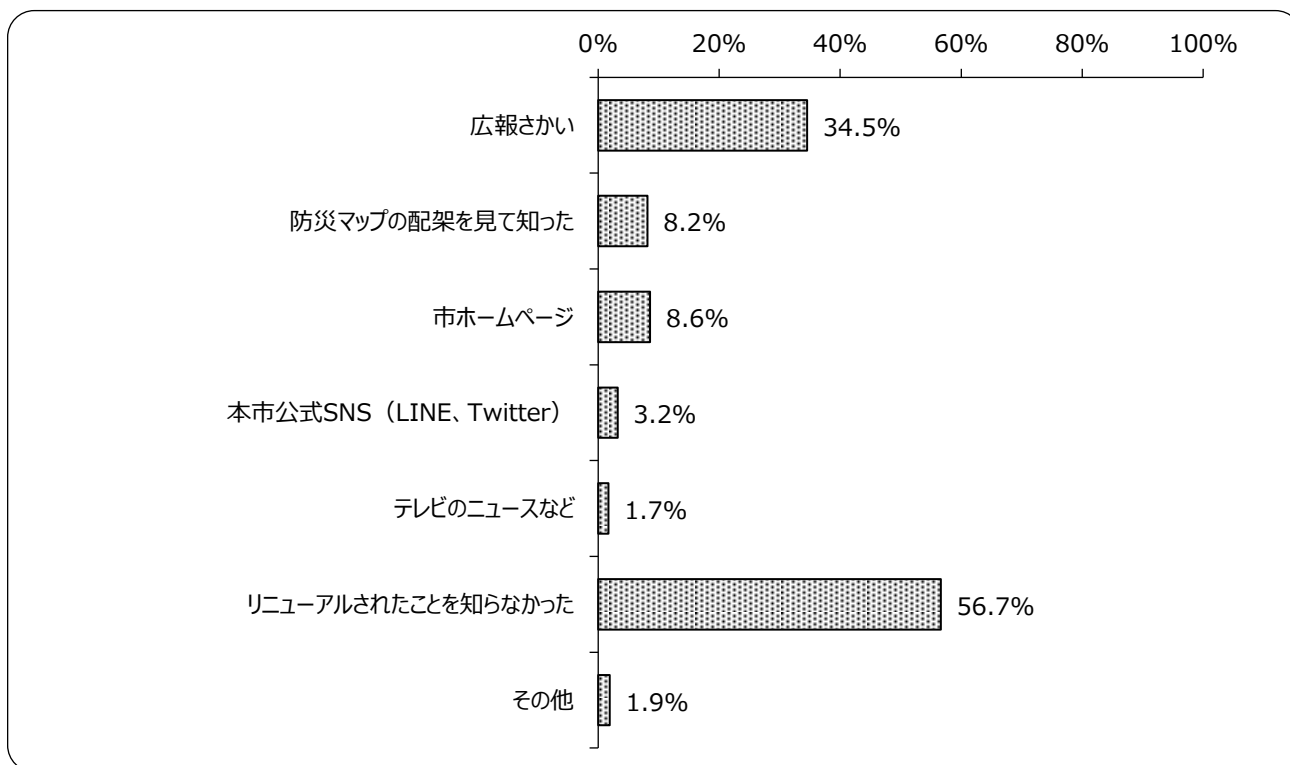
「リニューアルされたことを知らなかった」が最も高い。リニューアルを知った媒体として広報さかいの割合が高かったため、継続的な掲載や内容の充実を図る必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	161	34.5%
2	防災マップの配架を見て知った	38	8.2%
3	市ホームページ	40	8.6%
4	本市公式SNS (LINE、Twitter)	15	3.2%
5	テレビのニュースなど	8	1.7%
6	リニューアルされたことを知らなかった	264	56.7%
7	その他	9	1.9%

[7 その他]

【主な回答】

- 堺区政策会議に参加しているため
- 大学の授業
- 防災フェア
- 自治会
- 議員の報告会
- 校区防災委員会での配布



「防災マップの入手先について」

問 3. リニューアルされた防災マップをどこで入手しましたか。

【複数選択可：いくつでも】

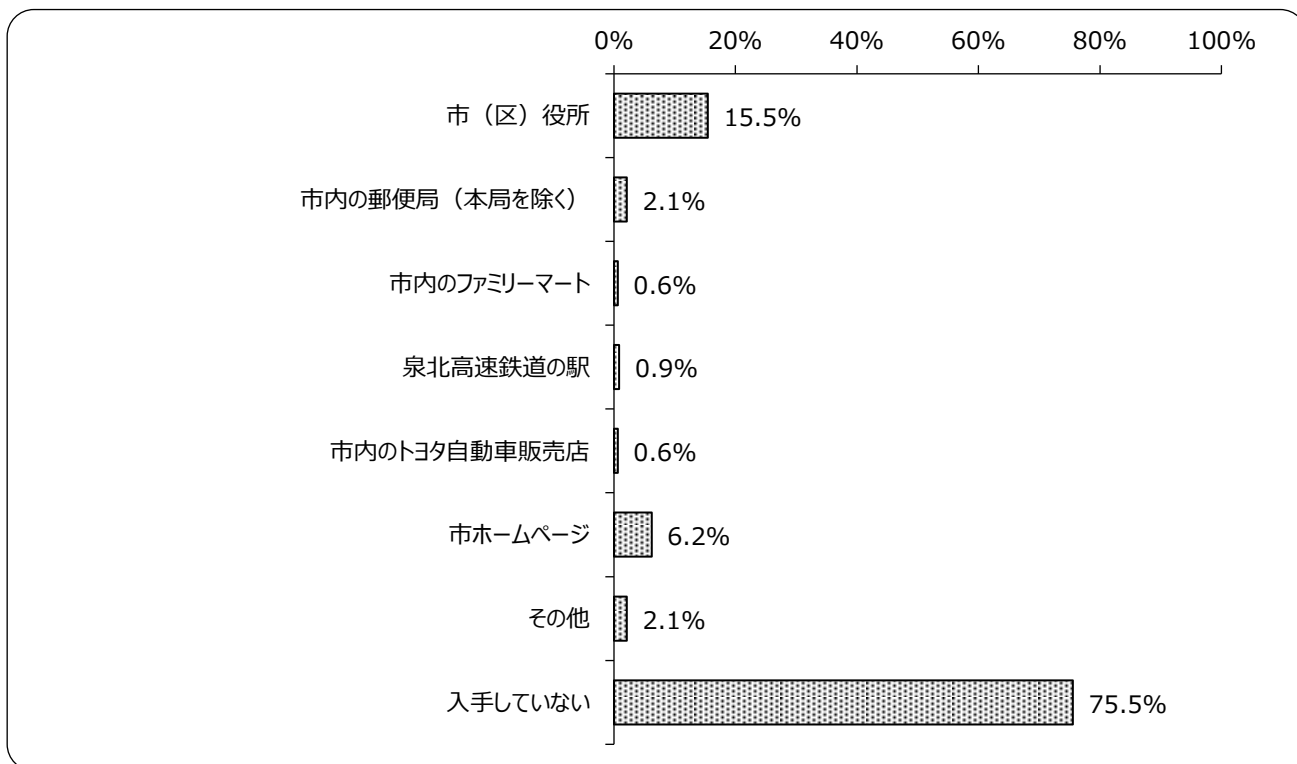
「入手していない」が最も高い。入手している場合は、市（区）役所が多い。民間事業所での配架を知らない市民が多いため、広報さかいや市ホームページでの配架場所の発信について引き続き検討する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	市（区）役所	72	15.5%
2	市内の郵便局（本局を除く）	10	2.1%
3	市内のファミリーマート	3	0.6%
4	泉北高速鉄道の駅	4	0.9%
5	市内のトヨタ自動車販売店	3	0.6%
6	市ホームページ	29	6.2%
7	その他	10	2.1%
8	入手していない	352	75.5%

[7 その他]

【主な回答】

- イベントでの入手
- 校区防災委員会会議
- 堺市障害者自立支援協議会



«防災マップの入手理由について»

問 4. 問 3 で 1～7 と回答された方に伺います。

なぜ、リニューアルされた防災マップを入手しようと思いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

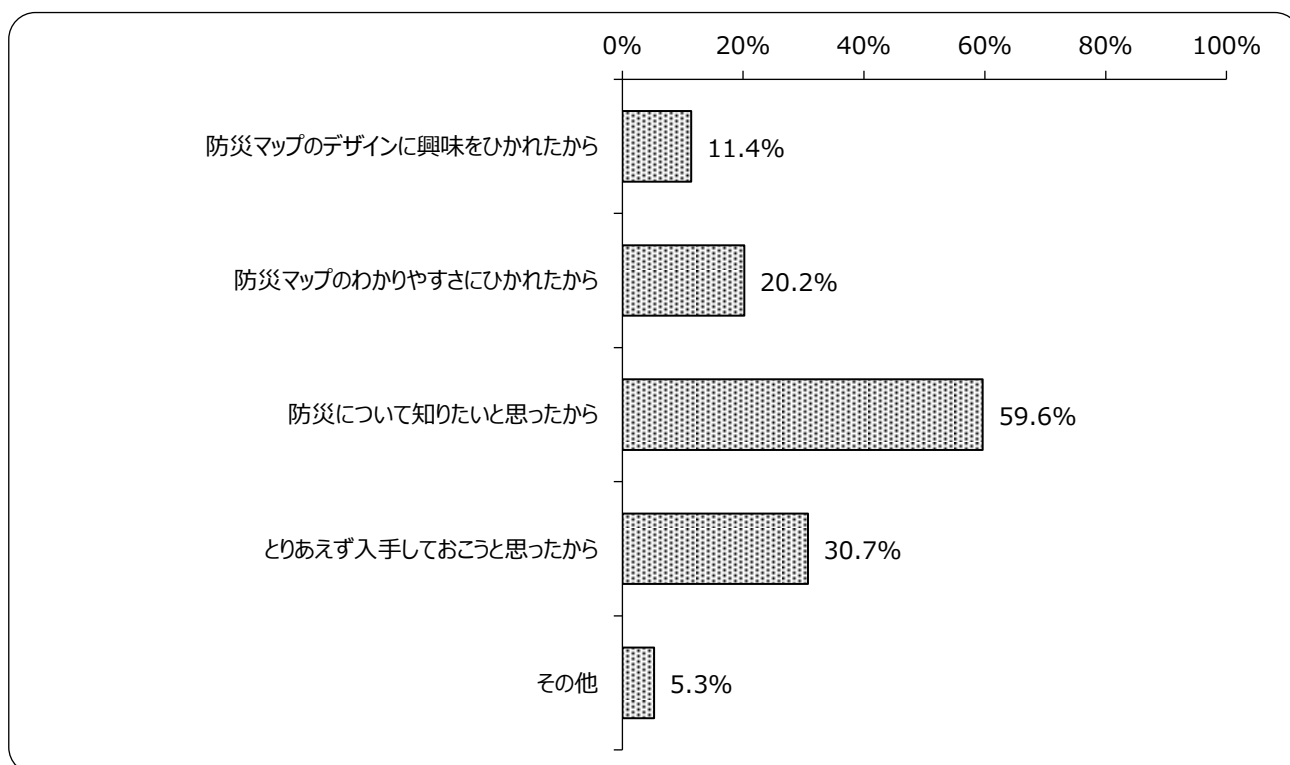
「防災について知りたいと思ったから」が最も高く、防災への関心度の高さが防災マップの入手につながっている。デザイン改訂やイラストを使用し、わかりやすい内容にしたことによる効果もあったことがわかる。

	選択項目 (N=114)	回答数	回答数/N
1	防災マップのデザインに興味をひかれたから	13	11.4%
2	防災マップのわかりやすさにひかれたから	23	20.2%
3	防災について知りたいと思ったから	68	59.6%
4	とりあえず入手しておこうと思ったから	35	30.7%
5	その他	6	5.3%

[5 その他]

【主な回答】

- 校区内で理解しておくため
- 市のイベントで配布されていたため
- 防災委員会活動に必要不可欠
- ハザードマップから自宅の危険度を知ること、また避難場所がどこかを知るため



≪防災マップの内容について≫

問 5. 問 3 で 1～7 と回答された方に伺います。

防災マップの内容について、良いところや悪いところがあれば、ご記入ください。

【自由記述】

「見やすい」「わかりやすい」といった意見が多く、デザインを改訂したことによる効果があらわれていることがわかる。

【良いところ】

- 見やすく、内容がわかりやすい。
- 生活上必要なものであり悪いところはない。
- シニア世代向け防災マップは具体的な準備など良く理解できた。
- 一冊の防災マップとしてまとまっているので、見やすくなったと思う。
- 避難方法、公衆電話のかけ方、ローリングストック法、子どものストレス反応をわかりやすく記載している。（妊産婦・子育て世帯向け防災マップ）
- 自宅周辺の災害リスクや避難先、避難するタイミングがわかりやすい。
- 各区版、対象別の防災マップを作成している点。
- 自ら考えて書いていけるような工夫（備蓄品のチェックリストページ）
- 堺市民としてゴルゴ 13 が嬉しい。
- イラストが多く使用されておりインパクトがあり興味を惹いた。
- 防災に興味が無い方にも目を惹くデザインで良い。
- カラフルでわかりやすい。字も大きくてわかりやすかった。
- 白を基調としたシンプルなデザインで、手に取りやすいと思う。

【悪いところ】

- 防災マップはデジタルで見ると紙の方が見やすいと思う。
- ページが多く開けて見にくい。
- 子どもが手にしてもわかる内容のものがあると良いと思った。
- 避難場所がよりわかりやすく表示されると良いと思う。
- 住居表示検索の容易化を図ってほしい。
- 防災マップに撤去済の防災スピーカーの記載があり、撤去予定の表示をしてほしかった。
- 種類が多く情報量が多すぎる。（ダイジェスト版の作成、郵便番号入力の災害リスクの表示など）。
- ペット同行避難所についての記載がない。
- 防災マップに建物記載がないため避難対象地区、避難経路をイメージしにくいいため、細かい町名の表示を希望する。
- 津波ハザードマップの避難目標に霞ヶ丘公園の記載がない。
- カラーになっているので良かったが、字が細かいため高齢者には見にくいと思った。
- 冒頭の「知る・考える」について地震編と風水害編の色を分けるとより見やすいと思う。
- 見出しがあった方が良かった。
- ゴルゴ 13 のイラストは、高齢の一定層にしか届きにくいように思う。
- ホームページのものを印刷すると白黒になって見づらい。
- 過去の災害事例が入ると、より具体的になるように思う。

【その他】

- 広報さかいでも「全戸に配布しません」という記述があれば良かったと思う。
- 高齢者が災害時に自分で安全に避難することが難しい方もおられます。そのために、支援を要する人が安全に避難できるように組織的な体制作りが必要ではないかと思う。
- もし定期的に更新されることがあれば、「2022」を前面に出しても良いと思った。
- 防災マップや広報紙、更新情報の媒体そのものに興味のない層とある層で情報格差が生まれるのではないか。
- 地域の実情が反映されていないことが残念。

(3) 防災マップの配架先について

≪防災マップの配架先拡充検討について≫

問 6. 防災マップの配架先について、問 3 の 1～6 以外の場所で入手しやすい（したい）と考える場所があれば、ご記入ください。 【自由記述】

駅や図書館など、普段利用する機会の多い場所への配架を希望する回答が多くみられた。防災マップの性質上、公共性の高い場所での配架が有効である。

【公共施設】

- 小中学校
- 大学
- 保育園や幼稚園
- 図書館
- 体育館など市の各施設
- マイナンバー受付所、ワクチン接種会場など
- 子育てひろば

【民間施設】

- コンビニエンスストア
- セブンイレブンやローソン（ファミリーマート以外のコンビニエンスストア）
- 配架先のコンビニエンスストアで該当区以外のもも配架してほしい。
- ファミリーマートに置いてあったようですが、近所にはないのでまず入手できません。
- ライフやコノミヤなどのスーパーマーケット
- イオンモールだと主婦の人たちも手に入りやすいと思う。
- 鉄道各社の堺市内各駅
- マクドナルド
- ドラッグストア
- トナリエ
- 堺高島屋
- 堺市内にある会社
- 病院、金融機関
- 不動産会社
- バス停、バスの車内案内
- ファミリーレストラン
- 理容、美容店
- スポーツクラブ
- ホームセンター
- ディスカウントストア

【その他】

- 地域会館
- 自治会の掲示板、回覧板
- 地域の防災訓練

- インターネットでみれるので、リンクにアクセスしたくなる広報活動をした方がいいと思う。
- 入手場所の周知を図る。
- インターネット配信、堺市ホームページ、子育て応援アプリ、LINE、Google、メールマガジンでも案内
- 広報さかいと一緒に折り込み全戸配布
- 日常生活の中で防災マップが目に入るように工夫すればよいと思う。
- 公道に防災マップの立て看板を立てる。
- 民間配架施設で配架していることがわかるようにポスターなどを掲示する。
- 泉北コミュニティ
- 市内の小中学校を通じて全生徒への配布はいかがでしょうか。大人よりも子どもたちのほうが防災意識や防災マップに興味を持つと思う。子どもたちを通じて、全市民への防災意識の向上に繋げてはいかがでしょうか。一人でも多くの命が災害から守られれば、防災マップの発行費用など安いものです。何でもかんでも、経費削減はやめましょう。

(4) 防災マップの啓発効果について

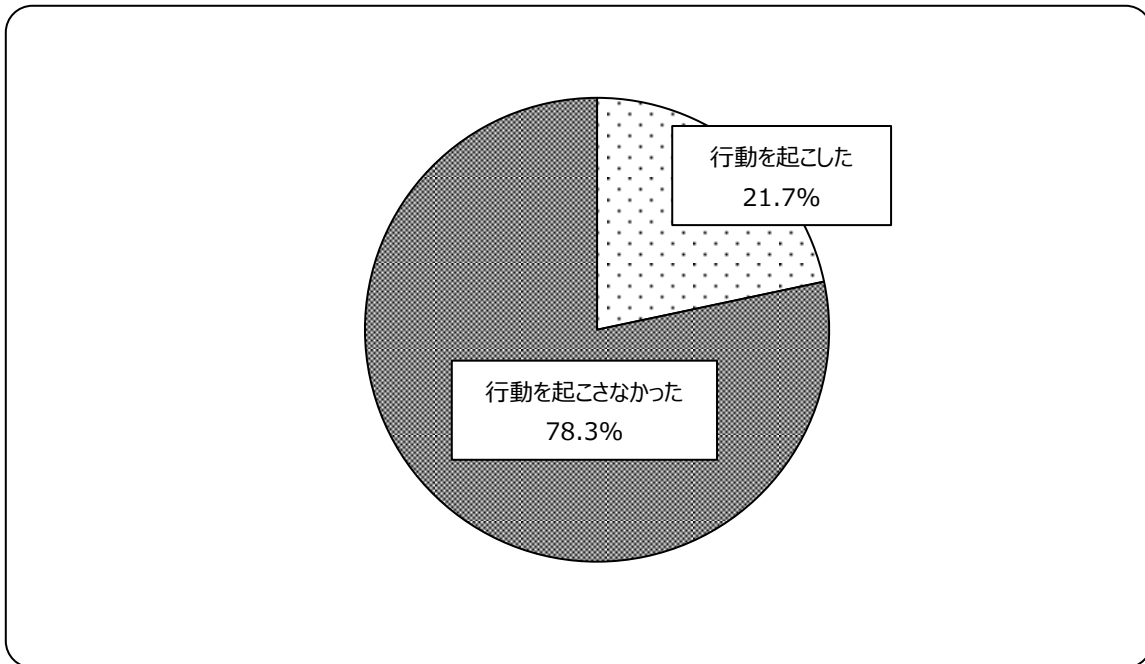
«防災マップによる行動変容について 1»

問 7. 防災マップを見て、災害に備えて何か行動を起こしましたか。

【選択は 1 つ】

「行動を起こさなかった」が 78.3%であった。広報さかいや市ホームページなどで、具体的な災害へ備えた行動を提案するなどの周知活動を拡充し、行動に移してもらえるよう促すことが必要である。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	行動を起こした	101	21.7%
2	行動を起こさなかった	365	78.3%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「防災マップによる行動変容について 2」

問 8. 問 7 で「1 行動を起こした」と回答された方に伺います。

災害に備えて、具体的にどのような行動を起こしましたか。

【複数選択可：いくつでも】

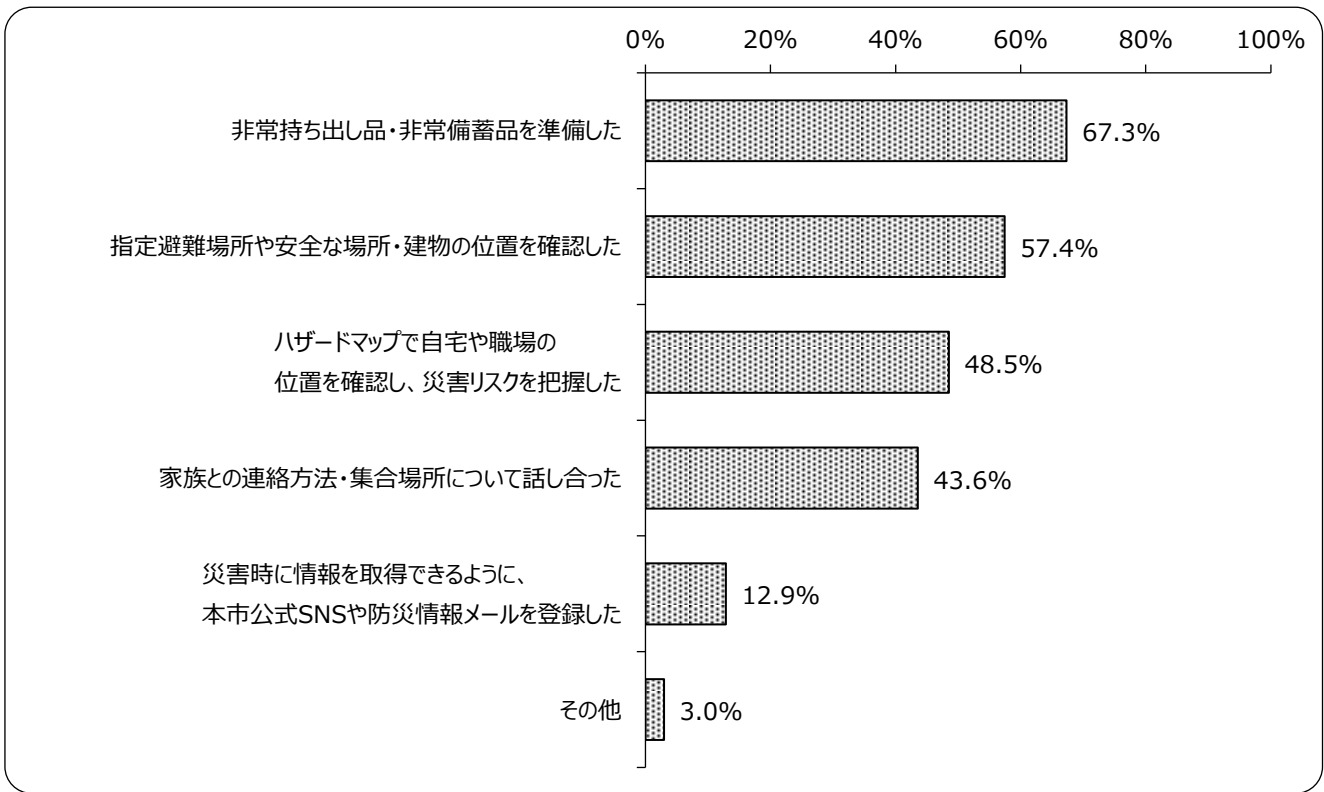
災害リスクへの備えや確認を行った人が多かった一方で SNS や防災情報メールの登録者が少なかった。自発的な情報収集を促せるような周知を行うことが今後の検討課題である。

	選択項目 (N=101)	回答数	回答数/N
1	非常持ち出し品・非常備蓄品を準備した	68	67.3%
2	指定避難場所や安全な場所・建物の位置を確認した	58	57.4%
3	ハザードマップで自宅や職場の位置を確認し、災害リスクを把握した	49	48.5%
4	家族との連絡方法・集合場所について話し合った	44	43.6%
5	災害時に情報を取得できるように、本市公式SNSや防災情報メールを登録した	13	12.9%
6	その他	3	3.0%

[6 その他]

【主な回答】

- 不動産購入の際の参考
- 非常持ち出し袋などの再確認をした。



(5) 避難に関する情報の取得方法について

「避難に関する情報の取得方法」

問 9. 本市では、大雨や台風、地震などによる災害発生時や、災害発生が予測されるような時に、避難所の開設や避難指示などの避難情報の発信を様々な手法を用いて行っています。これらの情報を取得するために特に利用しているものは何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

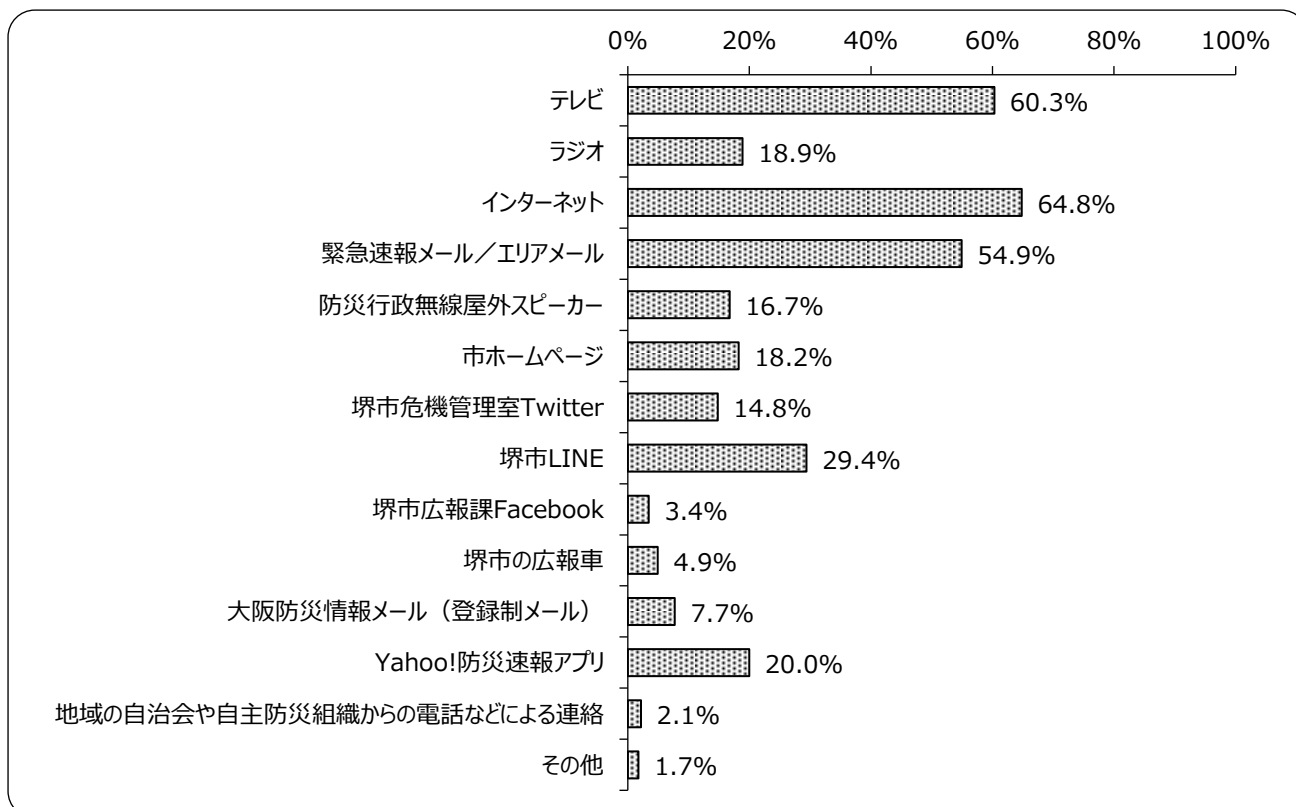
「インターネット」による情報取得が 64.8%と高く、続いて「テレビ」・「緊急速報メール／エリアメール」の順に高くなっている。このことから、災害発生時は身近な媒体を利用し、また自ら情報を取得している方も多いことがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	テレビ	281	60.3%
2	ラジオ	88	18.9%
3	インターネット	302	64.8%
4	緊急速報メール／エリアメール	256	54.9%
5	防災行政無線屋外スピーカー	78	16.7%
6	市ホームページ	85	18.2%
7	堺市危機管理室Twitter	69	14.8%
8	堺市LINE	137	29.4%
9	堺市広報課Facebook	16	3.4%
10	堺市の広報車	23	4.9%
11	大阪防災情報メール（登録制メール）	36	7.7%
12	Yahoo!防災速報アプリ	93	20.0%
13	地域の自治会や自主防災組織からの電話などによる連絡	10	2.1%
14	その他	8	1.7%

[14 その他]

【主な回答】

- Yahoo!天気アプリ
- 地域の自治会や自主防災組織からの LINE
- 友人に聞く

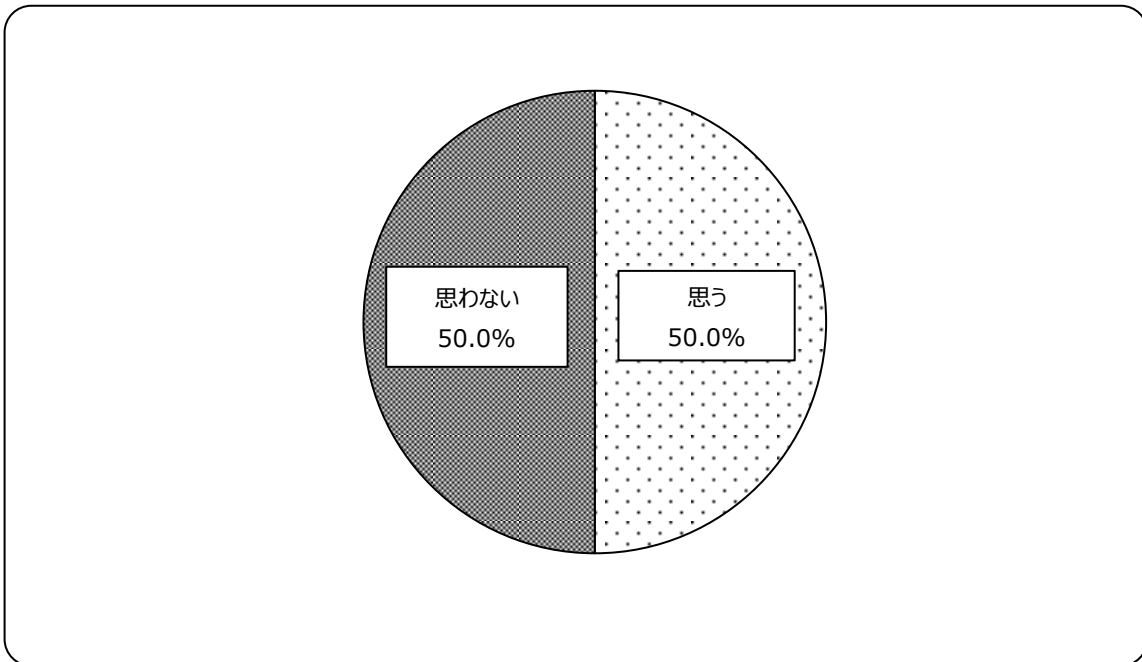


「避難に関する情報の取得方法の評価」

問 10. 避難所の開設や避難指示など、市が発信している避難に関する情報は、現状で十分取得できていると感じますか。 【選択は 1 つ】

「思う」と「思わない」が同数であり、半数の方に対して既存の方法が有効である一方、不十分であると感じている方に対する効果的な情報発信について引き続き検討する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	思う	233	50.0%
2	思わない	233	50.0%
	計 (回答総数)	466	100.0%



2. 上下水道局の取組について

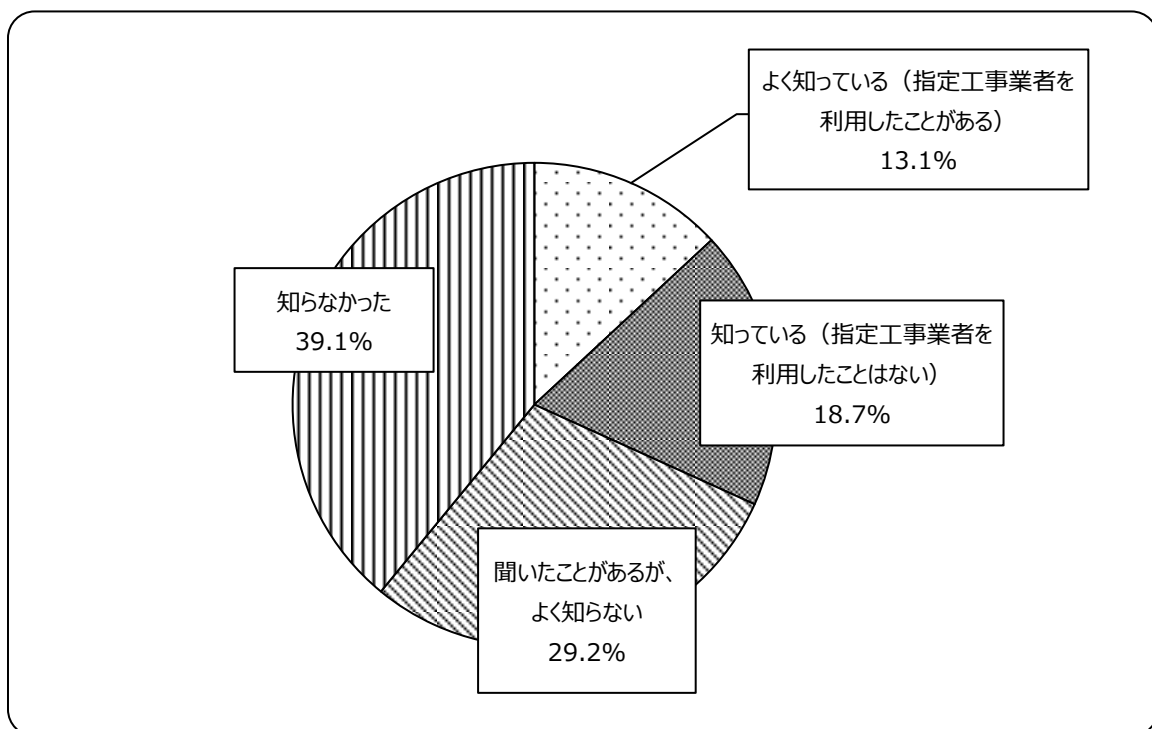
(1) 身近な上下水道について

«堺市指定工事業者»

問 11. 敷地内で、水道工事や排水設備工事を行う場合、市の指定を受けた工業者に施工させなければならないと法律や条例で定められていることを知っていますか。 【選択は1つ】

「知らなかった」及び「聞いたことがあるが、よく知らない」の合計が 68.3%であり、認知度向上のために様々な媒体を活用して広報する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	よく知っている (指定工事業者を利用したことがある)	61	13.1%
2	知っている (指定工事業者を利用したことはない)	87	18.7%
3	聞いたことがあるが、よく知らない	136	29.2%
4	知らなかった	182	39.1%
	計 (回答総数)	466	100.0%



(2) 災害・地震対策について

「災害・地震対策の認知度」

問 12. 次の (1) ~ (4) は、上下水道局が地震などの災害対策として重点的に取り組んでいる内容です。これらについて、知っているものはどれですか。以下の文章をお読みいただいたうえでお答えください。

(1) 上下水道施設の耐震化

地震発生時でも指定避難所の水道や下水道を使用できるようにするため、病院や指定避難所までの水道管やその下流の下水道管、及び配水場や下水処理場などの基幹施設の耐震化を優先的に進めていること。

(2) 避難所でのトイレ機能の確保

災害発生時における指定避難所のトイレ機能の確保のため、市内すべての小学校にマンホールトイレを整備していること。

(3) 避難所での給水設備

給水タンク車から水道水を一時的に貯留し配布するため、組立式簡易給水タンクを市内すべての小学校に整備していること。

(4) 災害時給水栓（すいちゃんのビックリじゃぐち）の設置

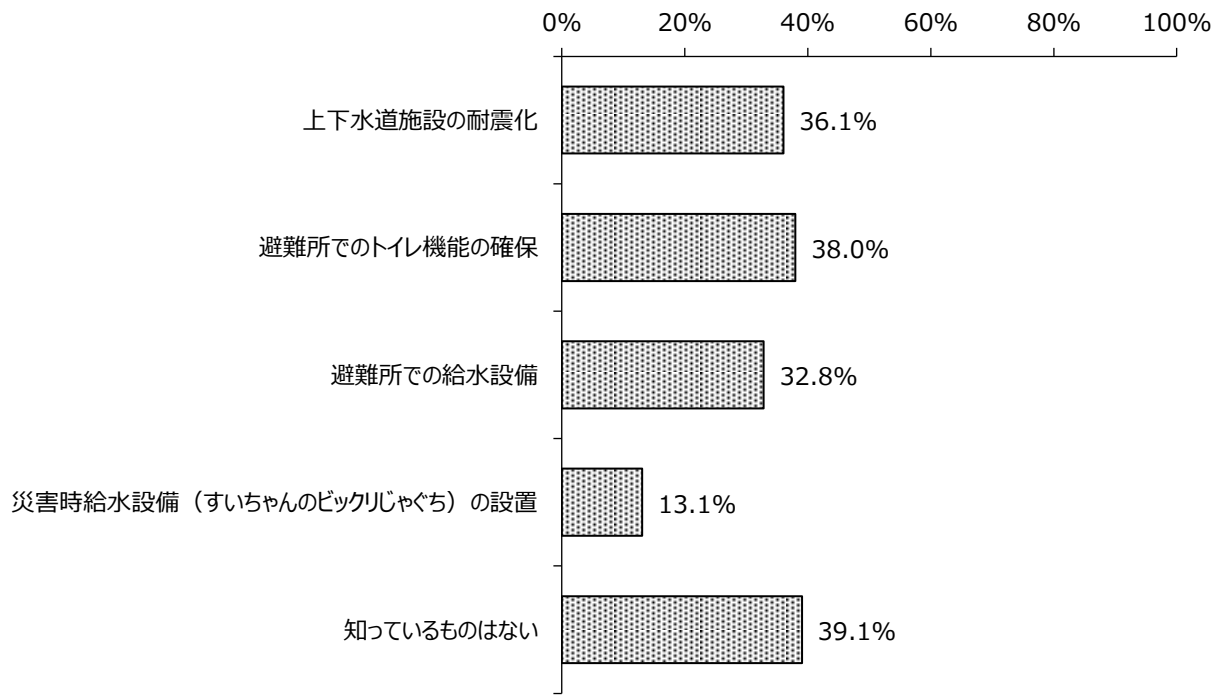
指定避難所となる小学校に、災害発生による避難所内の水道設備の破損や停電などに備え、すいちゃんのビックリじゃぐち（ベンチ型の収納ボックスに、仮設蛇口や給水ホースなどを格納している災害時用の給水設備）を設置していること。

【複数選択可：いくつでも】

各項目の「知っている」と回答した割合は「避難所でのトイレ機能の確保」が 38.0%、「上下水道施設の耐震化」が 36.1%、「避難所での給水設備」が 32.8%、「災害時給水栓（すいちゃんのビックリじゃぐち）の設置」が 13.1%となっている。

各項目とも継続して積極的に広報を進める必要があるが、比較的新しい施策である「4.災害時給水栓（すいちゃんのビックリじゃぐち）の設置」については特に認知度が低いため、今後も校区防災訓練などへの積極的な支援や、広報マンガ、Twitter、YouTube などを活用して重点的に広報する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	上下水道施設の耐震化	168	36.1%
2	避難所でのトイレ機能の確保	177	38.0%
3	避難所での給水設備	153	32.8%
4	災害時給水設備（すいちゃんのビックリじゃぐち）の設置	61	13.1%
5	知っているものはない	182	39.1%



「**応急給水の場所**」

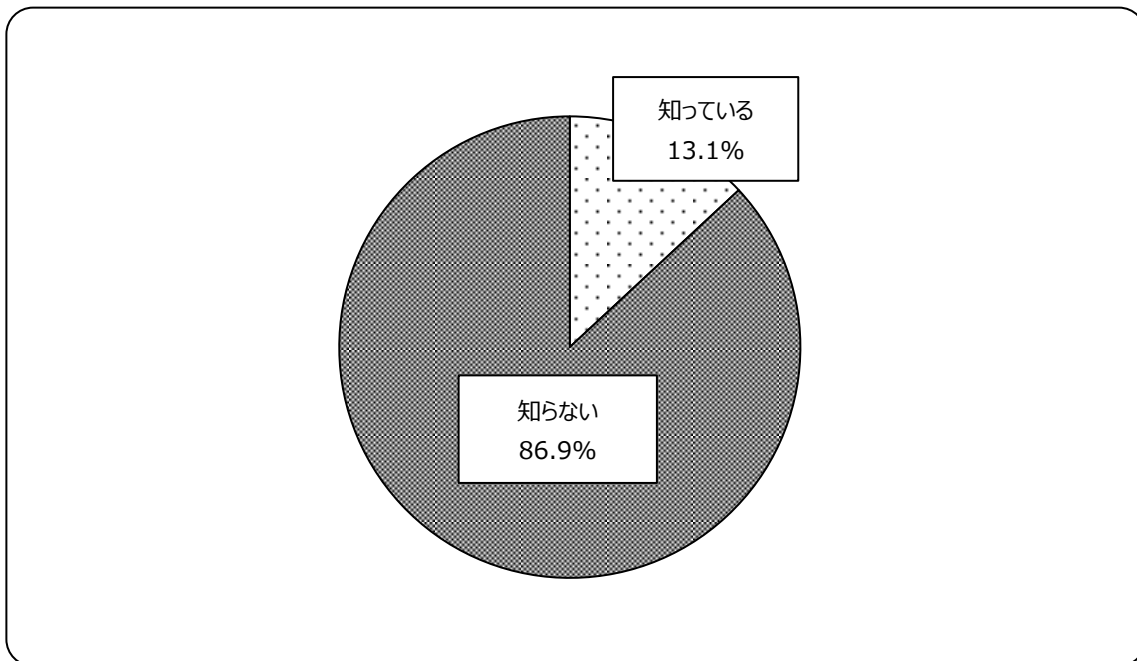
問 13. 大規模地震が発生して市内全域で断水した場合の応急復旧は 25 日を目標としています。

まずは病院などへの応急給水を優先するため、市民の皆様への応急給水は発災から 1 週間程度かかる恐れがあります。その場合、応急給水がどこで行われるか知っていますか。 【選択は 1 つ】

「知らない」が 86.9%となっている。

これまで応急給水が指定避難所で行われることについての広報は、災害対策や水の備蓄の周知の中で行ってきたが、応急給水場所がほとんど認識されていない結果を踏まえ、災害時給水栓と併せて、広報マンガや Twitter などを利用して重点的に広報する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っている	61	13.1%
2	知らない	405	86.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「内水ハザードマップ」

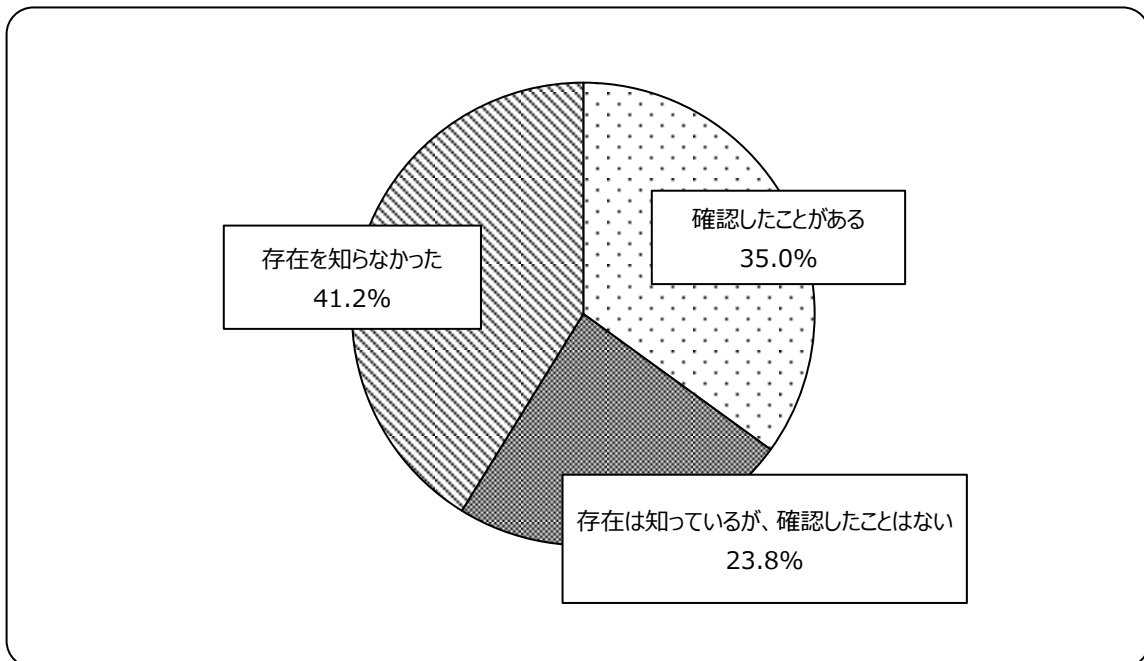
問 14. ゲリラ豪雨などの風水害発生時に、市民の皆様が迅速・的確に避難することができるように「内水ハザードマップ」を作成しています。これを確認したことがありますか。 【選択は 1 つ】

「存在を知らなかった」が 41.2%、「存在は知っているが、確認したことはない」が 23.8%となっている。また、居住区域別に「確認したことがある」と回答した割合は、西区（48.1%）東区（42.0%）堺区（41.8%）美原区（37.5%）中区（30.9%）北区（29.8%）南区（18.8%）となっており、居住区域により風水害への危機意識に差がある。

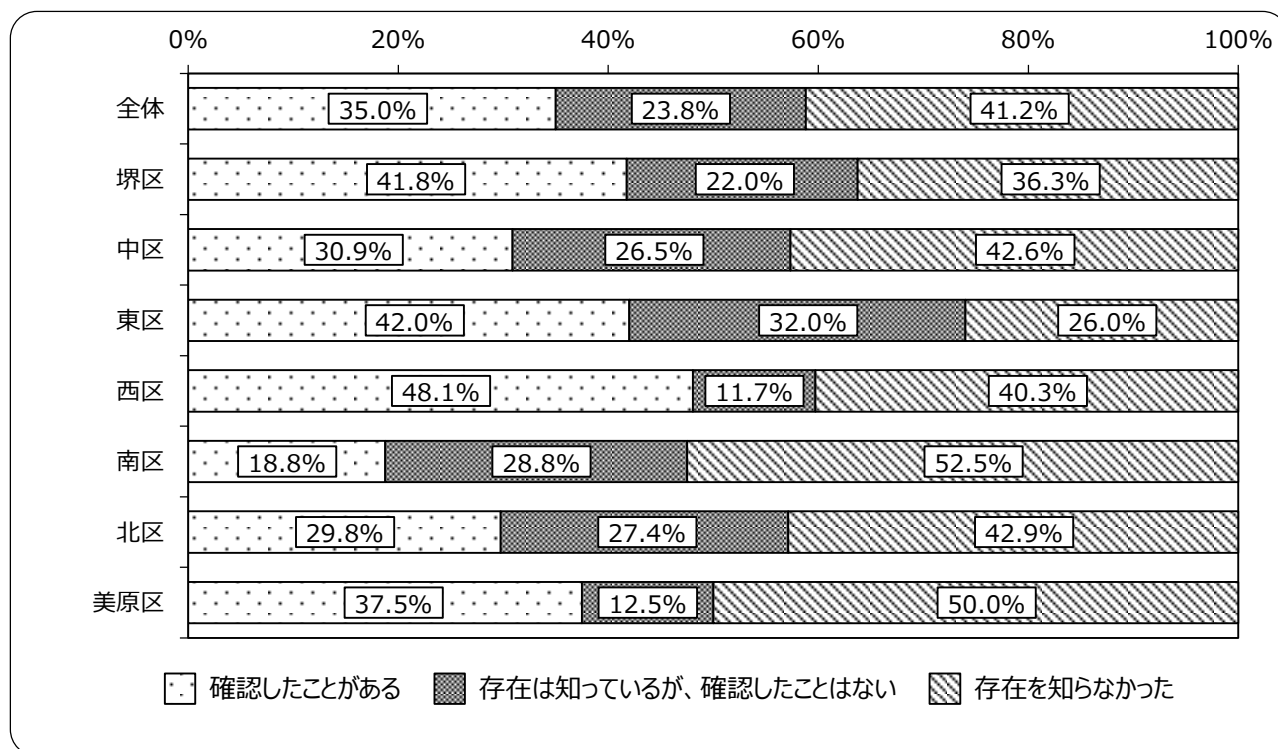
内水ハザードマップの確認した割合が低い区は、特に早めの避難を必要とする高齢者を中心に危機意識を持っていただくための手法を検討し、危機管理室や各区役所とも連携し情報発信する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	確認したことがある	163	35.0%
2	存在は知っているが、確認したことはない	111	23.8%
3	存在を知らなかった	192	41.2%
	計 (回答総数)	466	100.0%

「全体」



《居住区域別》

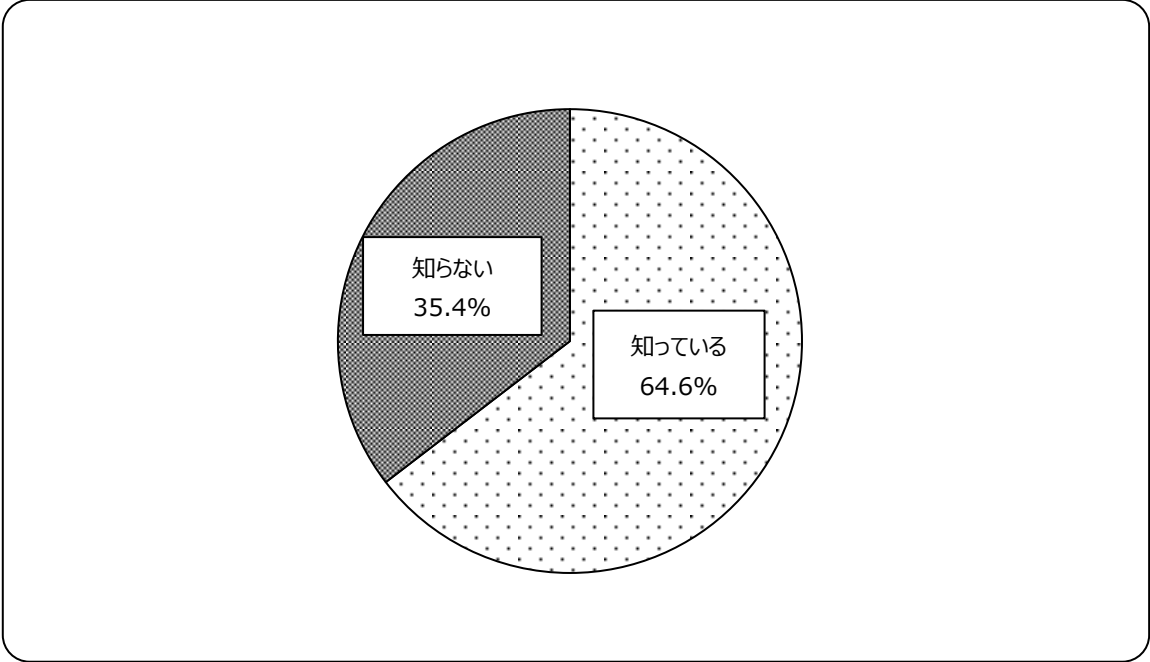


「集合住宅における備蓄の重要性」

問 15. 多くの集合住宅では、電力を使用したポンプを使って各階に水道水を送っています。台風などで停電が発生した場合、このポンプなどが停止することで、水道管に異常がなくても各住戸内の水が出ないことがあります。ポンプなどの管理は断水対応も含め集合住宅の管理者（管理組合、所有者など）が行い、上下水道局は応急給水などの個別対応はいたしませんので、停電対応が完了するまで、水が手に入らないことがあります。停電に備えて水の備蓄が必要であることを知っていますか。 【選択は 1 つ】

「知っている」が 64.6%、「知らない」は 35.4%となっている。
停電による断水については、令和 4 年度は広報さかいで周知しなかったが、昨年度から継続して高い認知度となっている。これは台風接近時に Twitter やホームページで情報発信したことが、認知度向上の要因の一つと考えられる。今後も継続して広報を行う。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っている	301	64.6%
2	知らない	165	35.4%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「家庭での備蓄状況」

問 16. 大規模地震など災害発生に備え、ご家庭で 1 週間程度の飲料水（お茶、ジュースなどを含む）を備蓄していますか。

※必要な備蓄量（リットル）：世帯人数×3 リットル×7 日

2 人世帯の場合 42 リットル（2 リットルのペットボトル 21 本）

3 人世帯の場合 63 リットル（2 リットルのペットボトル 32 本）

4 人世帯の場合 84 リットル（2 リットルのペットボトル 42 本）

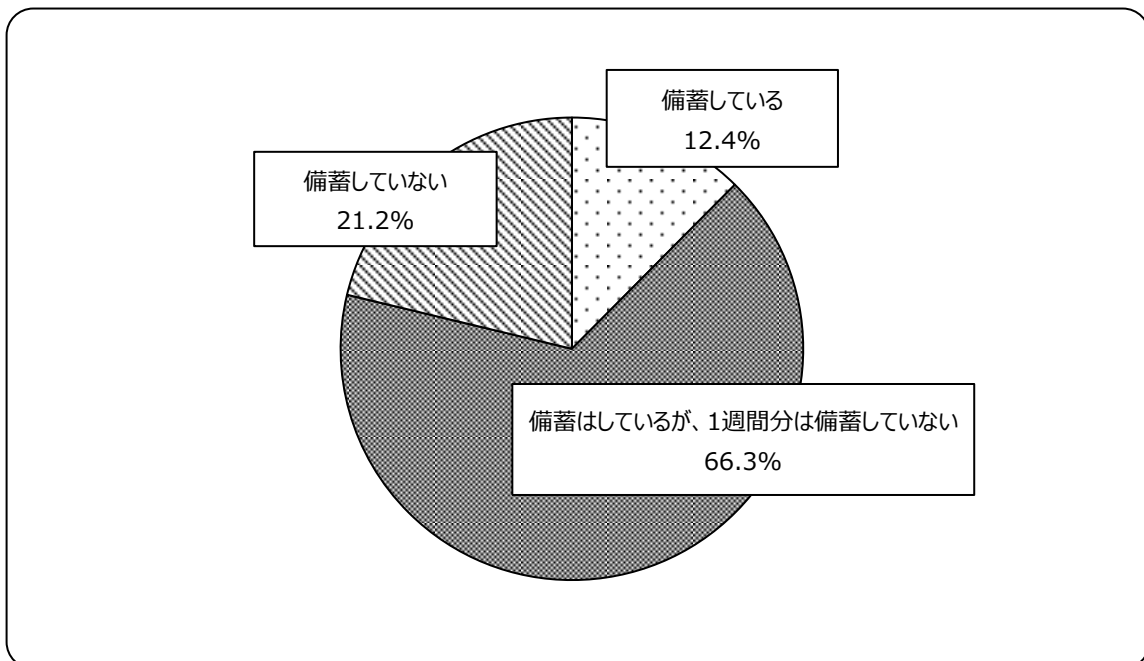
5 人世帯の場合 105 リットル（2 リットルのペットボトル 53 本）

【選択は 1 つ】

「備蓄していない」が 21.2%となっており、令和 2 年度の 27.8%、令和 3 年度の 28.7%に対して、若干減少傾向にある。

令和 4 年度は広報さかいなどで周知しなかったことが減少の一因ではないかと考える。大規模災害の発生から年月が経過することで、防災意識が薄れると考えられるため、今後も継続して局ホームページや Twitter などを活用して備蓄の重要性を伝える。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	備蓄している	58	12.4%
2	備蓄はしているが、1週間分は備蓄していない	309	66.3%
3	備蓄していない	99	21.2%
	計 (回答総数)	466	100.0%



≪飲料水を備蓄していない理由≫

問 17. 問 16 で「2 備蓄はしているが、1 週間分は備蓄していない」または「3 備蓄していない」と回答された方に伺います。備蓄していない理由は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

「スペースがないから」が一番多く 62.0%となり、続いて「消費期限の確認や買い直しが面倒だから」が 49.5%、「費用がかかるから」が 27.7%、「必要性を感じないから」が 7.1%となっている。

「必要性を感じないから」と回答した割合は、令和 2 年度の 10.7%、令和 3 年度の 8.8%と比べ、徐々に減少している。

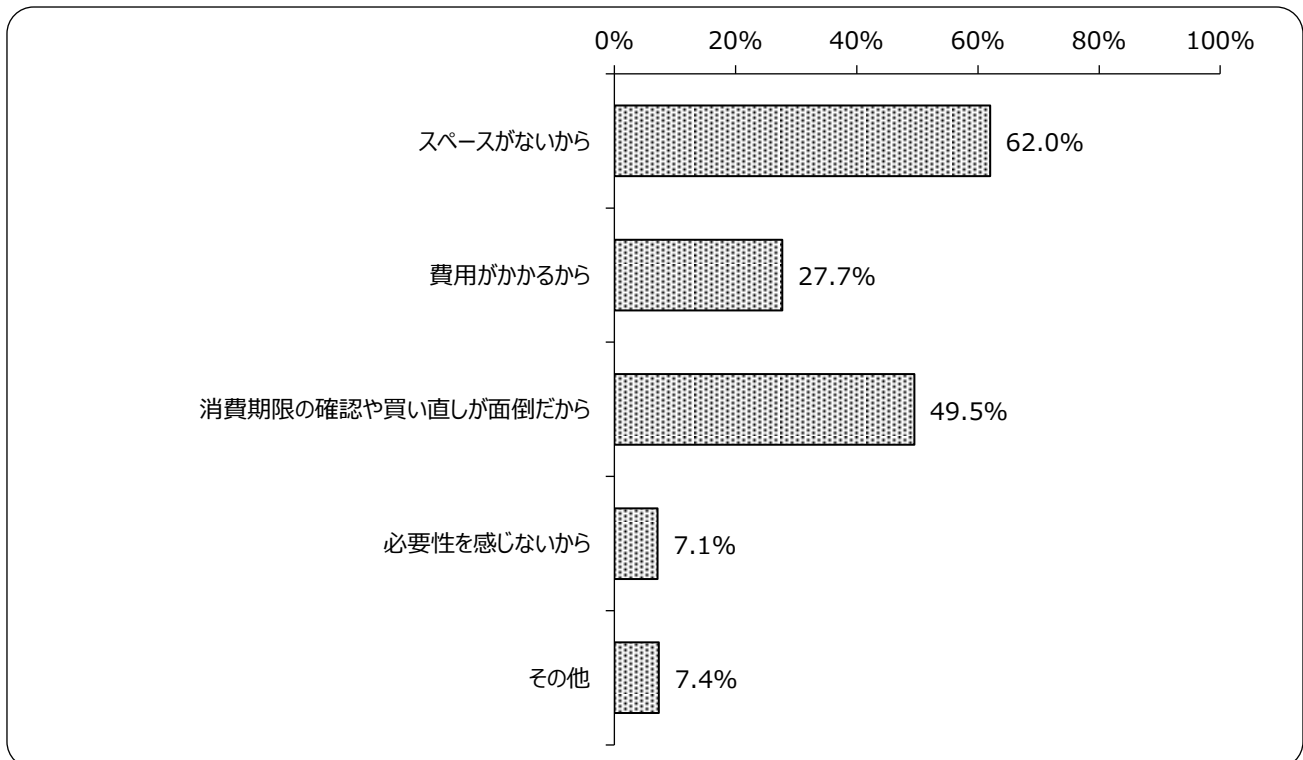
今後も、「スペースがないから」「消費期限の確認や買い直しが面倒だから」という点を補えるローリングストックの有効性を局ホームページや Twitter などを活用して積極的に伝える。

	選択項目 (N=408)	回答数	回答数/N
1	スペースがないから	253	62.0%
2	費用がかかるから	113	27.7%
3	消費期限の確認や買い直しが面倒だから	202	49.5%
4	必要性を感じないから	29	7.1%
5	その他	30	7.4%

[5 その他]

【主な回答】

- 1 週間分を備えることが重要だと把握していなかったから
- 必要性は感じているが、食料と違って水はつい後回しにしてしまうから
- 水は重い、買いに行くのが負担だから



「ローリングストック」

問 18. ローリングストック※を知っていますか。

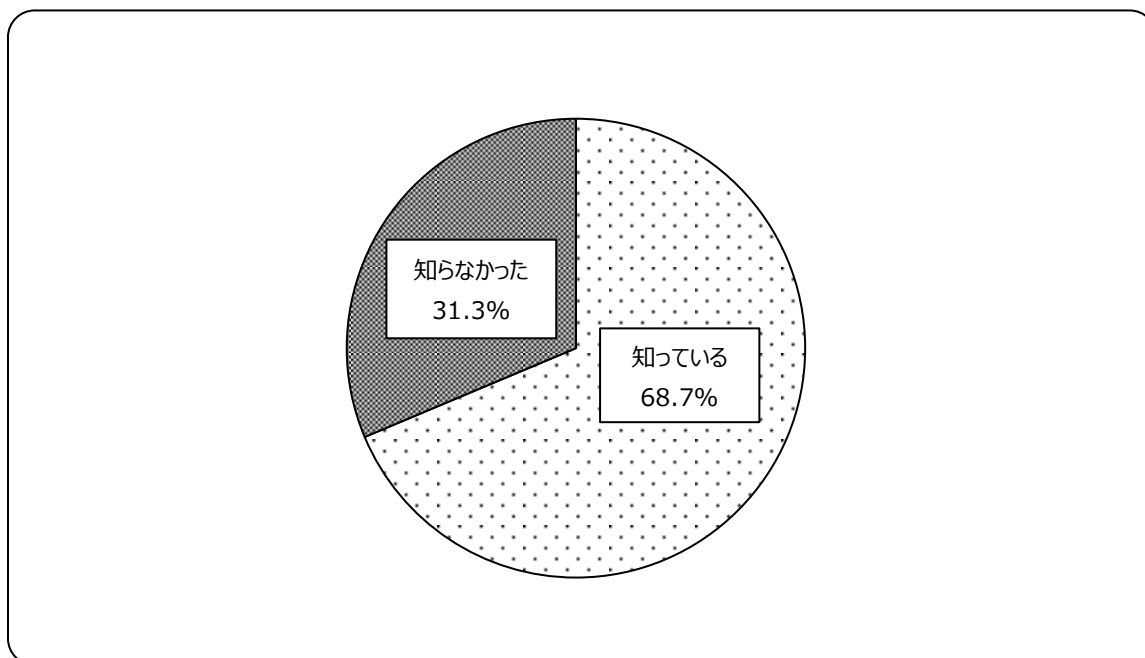
※ローリングストックとは、普段から少し多めに飲料水（お茶、ジュースなどを含む）、食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足すことで、常に一定量の食料や飲料水を家に備蓄しておく方法

【選択は 1 つ】

「知っている」が 68.7%、「知らなかった」が 31.3%となっている。

令和 3 年度と比べ、「知らなかった」と回答した割合が 34.3%から 31.3%に減少した。これは台風接近時や全国で過去に起きた災害発生日に併せて Twitter やホームページなどで情報発信したことに加え、区民まつりなどの対面イベントで積極的に周知したことが、認知度向上の要因の一つになったと考えられる。今後も引き続き Twitter やホームページなどを活用して広報する。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っている	320	68.7%
2	知らなかった	146	31.3%
	計 (回答総数)	466	100.0%



(3) 水道・下水道事業の経営・料金について

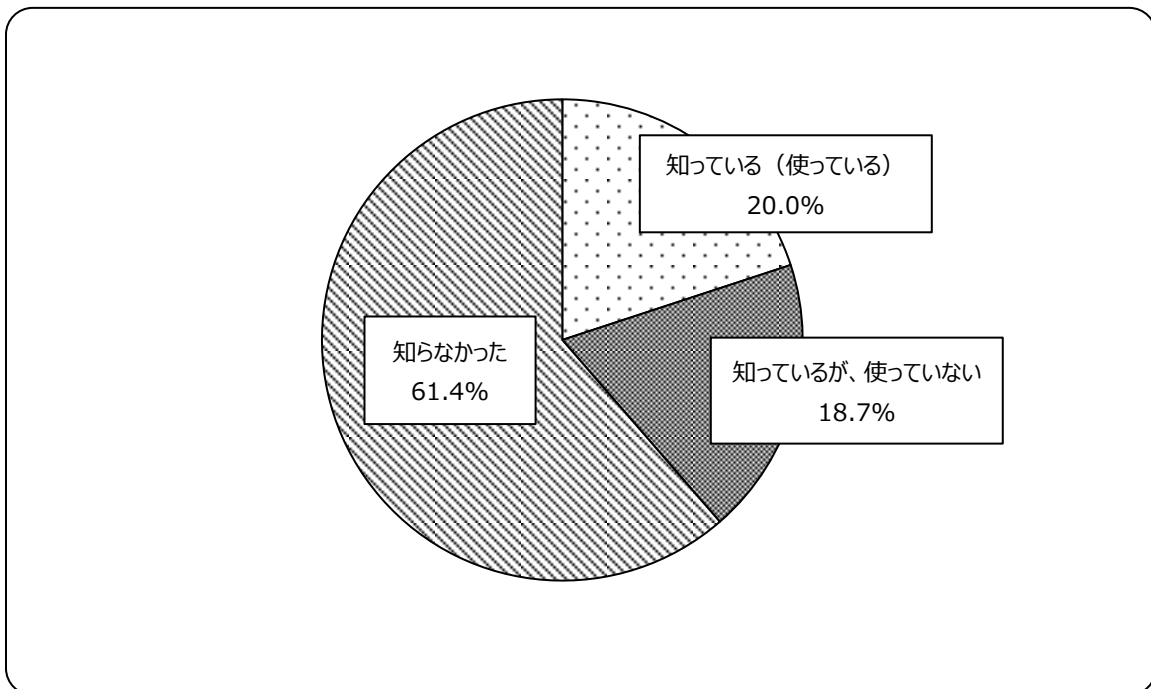
「上下水道局スマホアプリ「すいりん」」

問 19. 令和 3 年 2 月から運用を開始した上下水道局スマホアプリ「すいりん」は、過去 2 年分の水量や水道料金などの確認、ペーパーレス決済、クレジット決済の申込みができる便利なアプリです。「すいりん」を知っていますか。 【選択は 1 つ】

「知らなかった」が 61.4%となっており、認知度が低い状況となっている。

様々な媒体を活用した広報を強化する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っている (使っている)	93	20.0%
2	知っているが、使っていない	87	18.7%
3	知らなかった	286	61.4%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「上下水道局スマホアプリ「すいりん」を使っている理由」

問 20. 問 19 で「1 知っている（使っている）」と回答された方に伺います。

上下水道局スマホアプリ「すいりん」を使っている理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

「クレジット決済ができるから」が 73.1%、「水量や水道料金などの履歴確認ができるから」が 58.1%、「紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が不要だから」が 28.0%、「ペーパーレス決済（すいりんに表示される請求データでのコンビニ払いやモバイル決済）ができるから」が 21.5%、「各種申込みがしやすいから」が 12.9%となっている。

キャッシュレスやペーパーレスを希望している利用者に対しては、サービスの向上につながっていることがわかる。

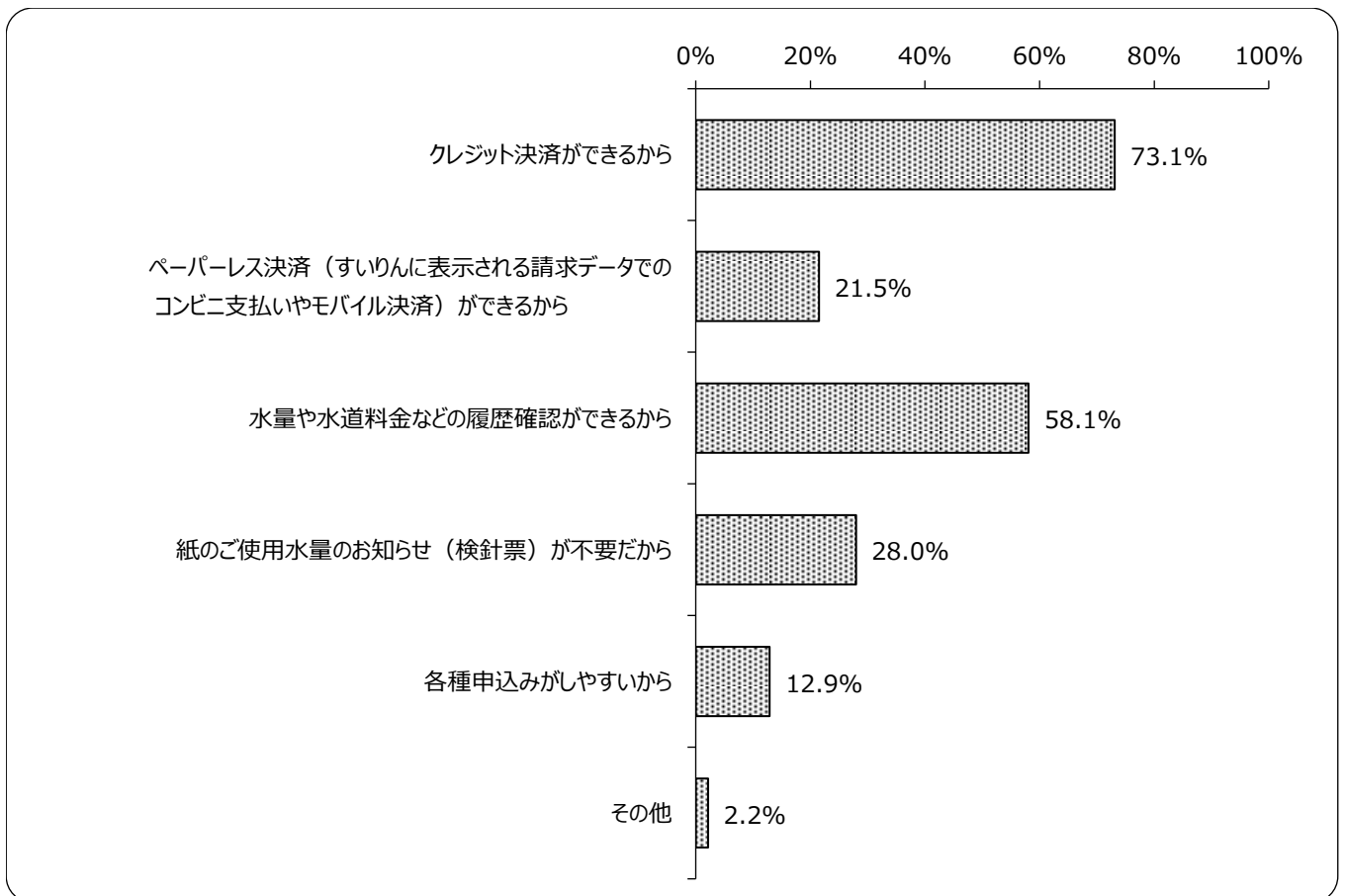
「各種申込みがしやすいから」と回答した割合は、令和 3 年度の 5.9%と比べ上昇しており、名義変更などの申込機能拡充の成果と考えられる。より魅力的なアプリになるよう、さらなる機能拡充を検討する。

	選択項目 (N=93)	回答数	回答数/N
1	クレジット決済ができるから	68	73.1%
2	ペーパーレス決済（すいりんに表示される請求データでのコンビニ支払いやモバイル決済）ができるから	20	21.5%
3	水量や水道料金などの履歴確認ができるから	54	58.1%
4	紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が不要だから	26	28.0%
5	各種申込みがしやすいから	12	12.9%
6	その他	2	2.2%

[6 その他]

【主な回答】

- キャラクターが可愛くアプリ管理に不具合がないから
- 登録により、クレジットカード会社からポイント還元があるため



「上下水道局スマホアプリ「すいりん」を使っていない理由」

問 21. 問 19 で「2 知っているが、使っていない」と回答された方に伺います。

上下水道局スマホアプリ「すいりん」を使っていない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

「紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が必要だから」が 29.9%、「使いたいペーパーレス決済が対応していないから」が 12.6%となっている。

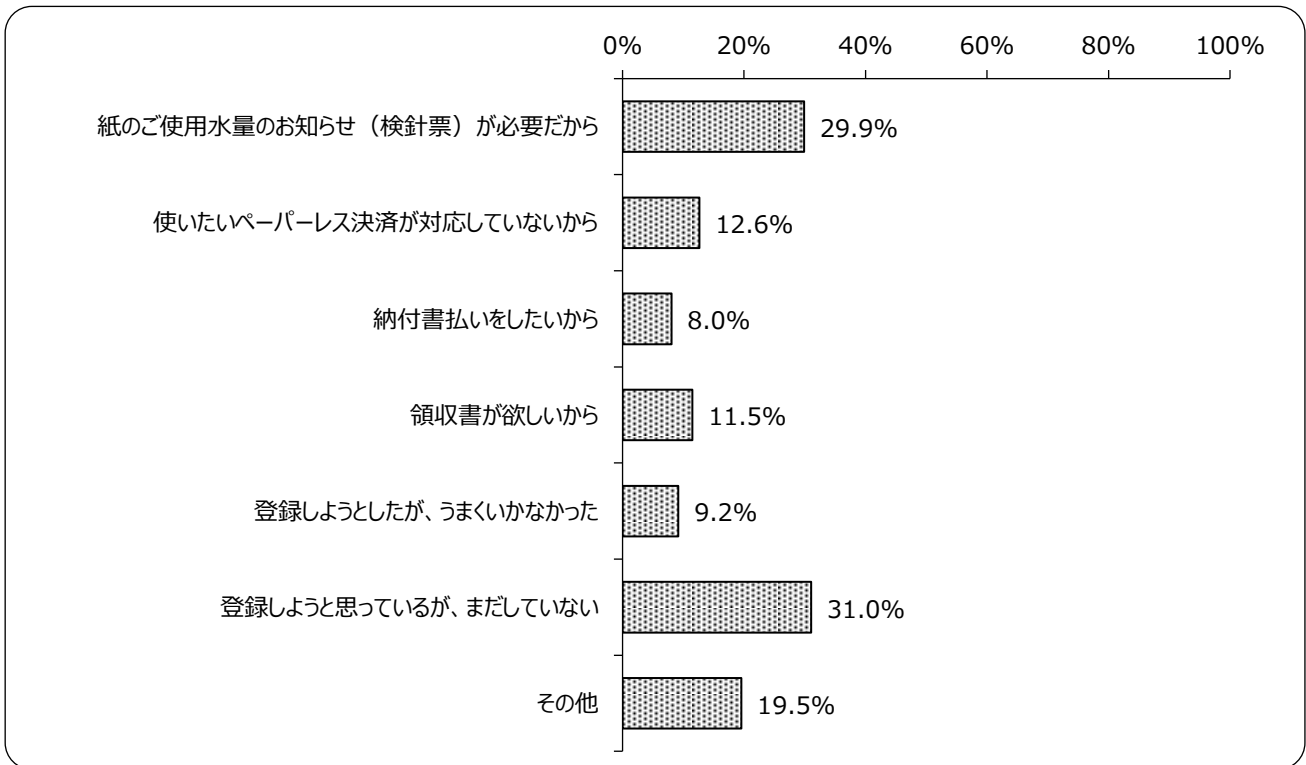
一定の利用者からは、まだまだ紙が必要という声も聞かれますが、将来的にはペーパーレスへと移行するものとする。決済手法の増加に向けて引き続き検討を図り、利用者の獲得に取り組む。

	選択項目 (N=87)	回答数	回答数/N
1	紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が必要だから	26	29.9%
2	使いたいペーパーレス決済が対応していないから	11	12.6%
3	納付書払いをしたいから	7	8.0%
4	領収書が欲しいから	10	11.5%
5	登録しようとしたが、うまくいかなかった	8	9.2%
6	登録しようと思っているが、まだしていない	27	31.0%
7	その他	17	19.5%

[7 その他]

【主な回答】

- パソコンで利用できないため
- 必要性やメリットがわからない。



「上下水道局スマホアプリ「すいりん」の機能について」

問 22. 「すいりん」では、これまでも水道料金・下水道使用料のお支払にクレジット決済機能や、水道の使用開始・休止申込、名義変更・再請求依頼などの機能追加を行ってきました。

そこで、「こんな機能があれば便利」、「すいりんを知らなかったが、こんな機能があれば登録する」などのご意見があれば、ご記入ください。

いただいたご意見をもとに、利用者サービスの更なる向上に努めていきます。

【自由記述】

ポイント還元や割引などのメリット、節水などの情報提供、水量や料金をデータや印刷で確認できる機能がほしいという回答が多かった。より魅力的なアプリになるよう、さらなる機能拡充を検討する。

【ポイント還元や割引など】

- 毎日ログインや支払額に応じてポイント還元サービス、そのポイントを他社ポイントに変更できるサービス
- アプリと連携すると水道料金を割引
- 特典やキャンペーン
- 水道に関するクイズなどのゲームで、ポイントを獲得し、一部を水道料金に還元
- 水道事業啓発グッズプレゼント
- 水道局がやっている啓発イベントを示す機能
- 季節のキャラクターの壁紙に変わる機能
- 前年に比べて節水ができたならポイント還元や割引できるサービス
- 水道料金の割引制度
- 利用してもお得なものはないので何か改善を。
- 関西電力みたいにガチャポンみたいなものをして当たったら少し安くなる仕組み
- クレジットカードへの切り替え時のみの使用で特に問題はありますが、抽選などで割引などがあると見るのが楽しいでしょうし登録する人も増えるかもしれません。

【節水など】

- 節水に関する情報や方法、豆知識、アイデア、アドバイス、コラム、取組事例などの掲載

【使用量や料金の把握】

- 使用料管理が出来るのが便利だと思う。
- 水道使用量、料金の履歴を月別でエクセルにてダウンロードできるサービス
- 2ヶ月毎の水道使用量と下水道使用量の推移のグラフが確認出来るシステムなど
- 水の使いすぎ注意報、使用時間帯のグラフなど
- 月ごとの使用量・費用や推移グラフがわかる機能、昨年との比較できるもの
- 年間合計金額
- 毎月の使用量、料金の表 5 年分がわかる。
- 毎月の使用量、料金の連絡は有るが年間の使用実績グラフを載せてほしいです。データベースを作りたいが難しいです。
- 過去の使用量を CSV などでダウンロードできるようにしてほしい。パソコン版の開発が必要になるのでしょうか。
- 今月の水道料金などが、前月や昨年度同月と比較して見られるようになれば、節水・節約につながるのではないかと思います。
- コロナ対策として基本料金を 0 にしていただけていることがわかれば、より良い。
- 昨年度との比較グラフも分かりやすい。他の家庭と差がどの程度あるのか知れると、自分が使いすぎてるのか、節水できてるのかわかるのではないかと。
- 属性による水道使用量平均と我が家を棒グラフで比較する（4 人家族・マンションなど）

- 一定の使用量が超えたらアラートする。節水のポイントの情報提供。
- 水道料金の上限を入力できて、超過しそうになったら、通知が入る。
- 異常に使用量が増えた時に教えてほしい。
- 出しっぱなしの水がどれくらいの量になるかなどがわかるもの

【支払いについて】

- 他の電子マネー
- PayPayでの支払い
- クレジット決済が出来るようになっているようなので、今は特にありません。
- 「あそこも PayPay 払い始めたわ」と聞くので水道代もそういった対応が出来ていくとすいりんなどのアプリに興味が出てきて、水道局の PR に対してもプラスになるかなと思う。
- いつ頃に水道利用料金が確定するのかの記載があればよいと思う。毎月大体同じ頃だとは思いますが、いつからいつまでに確定する、という通知文があれば家計の管理がしやすくなり、安心できる。
- 親の上下水道料金を一緒に払う機能
- アプリができたのは知っていたが、支払いのクレジットカード登録方法について不明点がありそのままにしている。

【すいりんについて】

- 便利で満足している。
- 現在使用していて、年配の方にもわかりやすく、文字も大きめなので使いやすい。
- 定期的な更新をお願いします。
- 何かあったらすいりに聞く。
- もっと便利になって行けばいいなと思う。
- 可愛いキャラ
- 「すいりん」を知りませんでした。使用水量や水道料金の履歴が気になりますし、クレジット決済機能もあるとの事で便利だと思ふ。早速ダウンロードして機能の確認をします。
- スーパーマーケットの窓口ですいりんの手続きはしたがスマートフォンで月額料金は見られるが、口座振替のままです。
- 利用者サービスがある事を知らなかった。まずは知ろうと思う。
- 家族は知っているかわからないので、尋ねて対応します。
- すいりんを知らなかった。一度使ってみようと思った。
- 機能追加をすればするほど操作が難しくなり、ご年配の方などは特にわからなくなってしまうことも多くなると思うので、わかりやすい操作手順を動画にしたらよいと思った。
- 市ホームページで「すいりん」を知りましたが、自宅の上下水道料金は口座振替になっていますので、どうすべきか考慮中です。
- クレジットカード決済にしたいが、その設定をただで他にアプリの使い道なさそうですね。
- 50代以上だとそもそもスマートフォンアプリを使いこなせない人が多くアプリが本当に有用か若干疑問
- 若者にも何かメリットがあれば利用したいと考える。
- 水道にそれほど関心を持ったことがないので、水道そのものに興味を持てるような、利用者視点のコンテンツがあれば良いと思う。多くの情報は水道局側発信（こんな取り組みしていますという情報）なので、興味を持ってない。
- 使いたいが使えない。
- 特になくとも不便でないため登録していない。
- 年寄りには使いにくいけど。
- すいりんアプリを知らなかった。機能について、イメージが湧きません。

- パスワード忘れてたりして、面倒

【すいりんの登録について】

- 登録の仕方がわからないので、すいりんのスマートフォンアプリのことをもっとわかりやすく提示してもらえると嬉しいです。
- 簡単に登録出来る機能
- 確認番号とかパスワードとか、よくわからないことが多い。また、アプリが見にくいので、使いやすさを重視してほしい。
- 一度チャレンジしたが、あきらめたのでなかなかその気になれない。
- 誰でも使えるようにしてくれれば使うと思う。例えば、水道の番号が解らなくても使えるように。高齢者でも理解できる内容。
- 簡単にダウンロードできる動線
- 二次元コードで、簡単に登録できれば使いたい。登録がうまくいかず、すいりんを使いたいとは思わない。

【すいりんと他サービスの連携について】

- 堺市に関する全ての公共料金を一括で管理できるアプリなら登録したい。これだけのためにアプリを追加するのは非常に面倒だと感じる。
- 多機能にする必要はないと思うが、堺市が提供する様々なサービスをひとつのアプリにまとめて、入口をひとつにすれば使いやすいです。
- 電気、ガス、水道機能の統合
- 公共料金の一元管理ができ、日常よく利用する他のアプリやシステムとの連携が出来るともっと意識出来るかと思う。

【アプリやスマートフォンについて】

- スマートフォンを使ってないので、なんでもかんでもスマートフォンにされるのが一番困る。
- スマートフォンを持っていない。
- スマートフォン以外での利用がないのか。
- なんでもかんでもアプリを携帯にいれるのに抵抗がある。
- 高齢者とまでいなくても、なかなかスマートフォンで手続などをするのは難しい。
- スマートフォンがないと利用できない。高齢者は利用できない。他の方法も検討すべき。
- 全てをスマートフォンで行うことに不安がある。故障、紛失、認知症。
- 携帯にはアプリだけで、もうこれ以上入れたくない。
- スマートフォンアプリではなくパソコンのウェブサイトで確認したい。
- パソコンと同期して必要な資料が直ぐにプリントアウト出来るようにしてほしい。また、プリントアウトする資料は A4 判に収まるようにしてほしい。
- パソコンでの利用や検針票の電子ファイルでの提供
- アプリではなくブラウザで完結すると嬉しいです。
- アプリ「すいりん」の機能は必要十分だと思うが、「すいりん」を公開している媒体形式を増やしてほしいと思う。具体的には、ブラウザで参照できるホームページ形式が望ましいです。アプリは毎日のように使うものですが、水道や電力（関西電力では「はぴ e みる電」）の料金確認は月に 1 度ぐらいしか確認しないものと考えています。
- そもそも専用アプリでやる必要が無いと思う。公式サイトで対応すれば済む話。
- 市のウェブサイトで確認や手続ができれば十分であり、個別のアプリを作成などする必要はないと思う。
- 申し訳ないですが、ほかのアプリからハッキングの被害をうけたことがあるため消極的になります。

【広報活動について】

- すいりんアプリを知らなかった。すでに便利な機能があるようなので、知れば利用者が増えると思う。

- 「すいりん」についてもっと周知していただけると登録する世帯も増えると思う。
- すいりんについての広報活動が必要。
- 検針票にでも記載して貰えれば、周知できると思う。
- 引越の際、水道だけが、電話連絡しかできなかったことを思い出しました。アプリでできるなら便利だし、高齢者にも使いやすいように、アプリの使い方など、教える窓口を、つくる。
- 登録のメリット、デメリットを広報で広めてほしいと思う。そのとき、意見や要望も募集してほしいと思う。
- そもそも存在を知らなかったので、周知を工夫してほしい。
- 口座振替なので初めて知った。
- スマートフォンで出来るので簡単というが老人には簡単でない。地域の回覧などで詳しく説明して頂きたいです。
- 知れわたるようにする必要があると思う。
- 知名度を上げないと、何をしているのかわからないので登録者数が増えないと思う。現に私も一切知らなかった。

【マンション住まいについて】

- マンションで水道料は一括引き落としされているのが困ってます。こちらで支払い方法とか決めたいのに。
- マンションの管理組合経由の契約の為、登録することは無いかと思う。
- 賃貸マンションのため大家さんの口座に水道料金を振り込んでいる。大家さんを介さず直接振込となれば利用する。
- マンションの水道でもそのアプリは有効なのか。
- マンションで水道代の支払い方法を変更出来ない。是非ともすいりんを使って便利な支払い方法を選びたい。
- マンション住まいなので必要性を感じなかった。
- マンション管理のため利用出来ない。
- マンションなのであまり意識していない。
- 分譲マンションにつき具体的なイメージがよくわからない。

【水質について】

- 水道水の品質、成分表
- 水質基準がたまに変更になっていますが、そういうことをお知らせしてほしいと思う。

【修理などについて】

- 敷地内の水漏れ時の指定業者への見積りから修理の依頼

【災害時について】

- 被災時の断水復旧状況

【その他】

- 家族が、水が不味いというので簡易な浄水器を蛇口に付けているが、カートリッジ交換などの費用、面倒さがある。ダスキンは在宅していないとカートリッジ交換はできないので利用していない。水道局で浄水器を販売してもらえたら、アプリで管理などしてもらいたい。
- ミニゲームを作ってほしい。

(4) 上下水道局の広報について

≪上下水道局のホームページ≫

問 23. 上下水道局のホームページでは、水道、下水道のご使用に関するお知らせのほか、事故・災害時の緊急情報（断水・濁水の発生、給水拠点の場所）などについても情報発信しています。

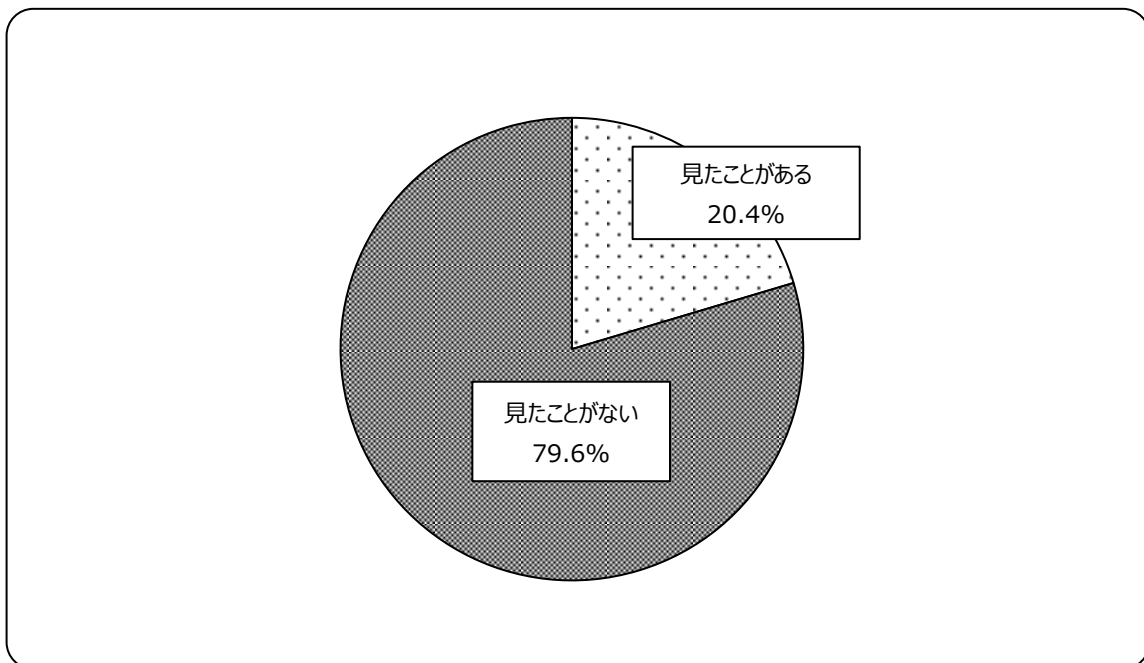
今までに、上下水道局のホームページをご覧になったことはありますか。

【選択は 1 つ】

「見たことがある」が 20.4%となり、令和 3 年度の 21.2%に対して微減している。

令和 5 年度に上下水道局ホームページをリニューアルすることから、今後も上下水道局ホームページでの積極的な情報発信や見やすいホームページへとリニューアルした後も、利用者が求める情報に簡単にたどり着けるよう検索性などの改善に取り組む。また、SNS での発信や印刷物で 2 次元コードを使用するなどの工夫を行う。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	見たことがある	95	20.4%
2	見たことがない	371	79.6%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「上下水道局からのお知らせ」

問 24. 上下水道局からのお知らせなどについて、どこから情報を得ていますか。

【複数選択可：いくつでも】

「上下水道局スマホアプリすいりん」が 10.1%となり、「すいりん」から情報を得る割合が令和 3 年度の 9.6%に比べ向上している。

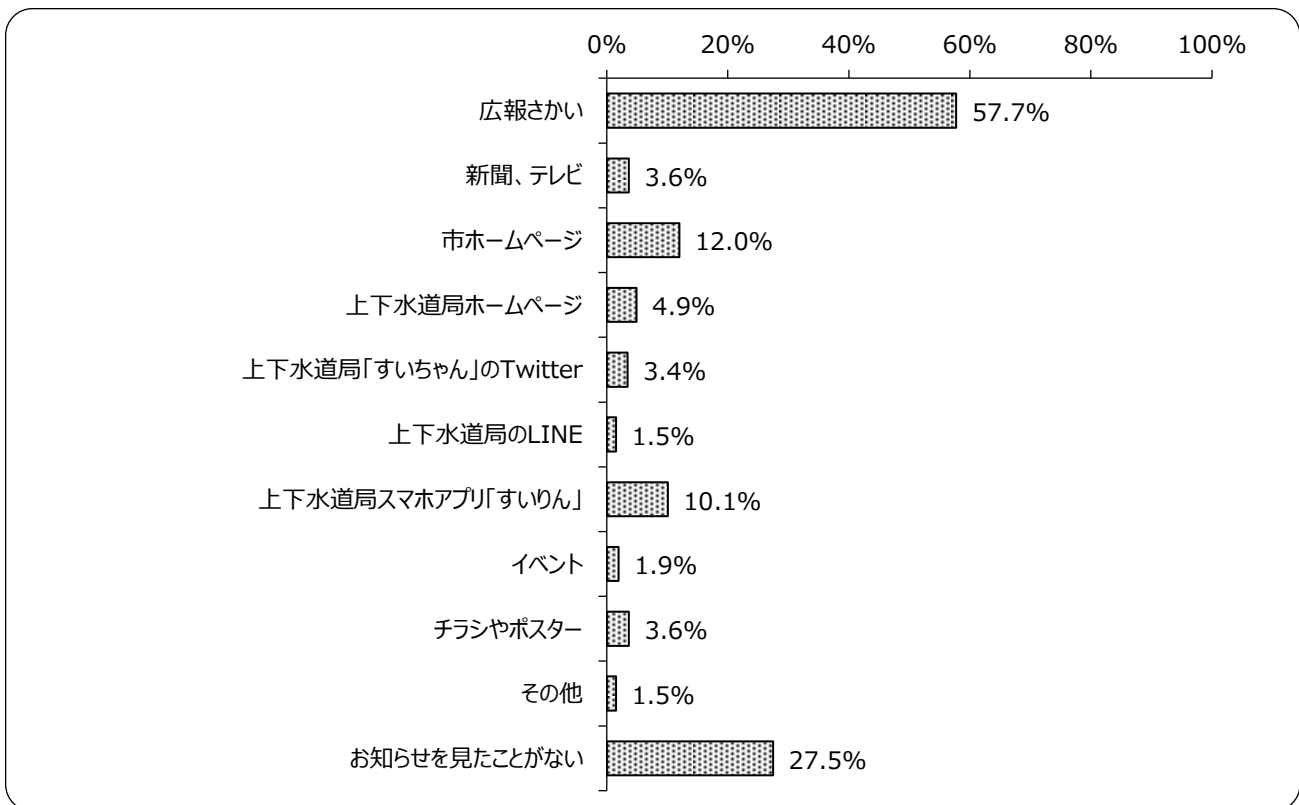
今後も広報さかいやホームページへの掲載、新聞などへの情報提供、SNS や動画での情報発信を積極的に進める。また、「上下水道局スマホアプリすいりん」の PR をさらに進める。さらに、令和 5 年度からは各区区民まつりや、企業イベントへのブース出展など対面広報を行う機会の増加が見込まれるため、その機会を積極的に活用し、ターゲットに応じた情報発信を展開する。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	269	57.7%
2	新聞、テレビ	17	3.6%
3	市ホームページ	56	12.0%
4	上下水道局ホームページ	23	4.9%
5	上下水道局「すいちゃん」のTwitter	16	3.4%
6	上下水道局のLINE	7	1.5%
7	上下水道局スマホアプリ「すいりん」	47	10.1%
8	イベント	9	1.9%
9	チラシやポスター	17	3.6%
10	その他	7	1.5%
11	お知らせを見たことがない	128	27.5%

[10 その他]

【主な回答】

- 自治会などの回覧物
- 利用明細と一緒にポスティングされているお知らせ



(5) 上下水道局の取組の満足度について

≪上下水道局の取組の満足度≫

問 25. 上下水道局では、これまでの設問に記載している取組や啓発を行っていますが、これらの取組などの中で、満足していないものはありますか。 【複数選択可：いくつでも】

「特にない」が 44.6%となり、令和 3 年度の 65.7%に対して減少した。この要因としては、令和 3 年度に配布した情報誌の効果が薄れてきているものと考えられる。

今後も正確な情報を認識していただけるよう様々な媒体を用いて情報発信する。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	身近な上下水道 (検針・工事など)	42	9.0%
2	災害・地震対策	41	8.8%
3	経営・料金	186	39.9%
4	広報・広聴	39	8.4%
5	水道水の安全性	47	10.1%
6	特にない	208	44.6%

【「1 身近な上下水道 (検針・工事など)」の主な回答一覧】

- 上下水道工事について道路工事・ガス工事などと連携した工事を進めてほしい。
- 目先の低価格よりも、安定した経営を希望

【「2 災害・地震対策」の主な回答一覧】

- 耐震の対策ができていないか不安
- 災害、地震対策についての PR が不足している。
- 災害時の復旧日数
- 実感が無い。

【「3 経営・料金」の主な回答一覧】

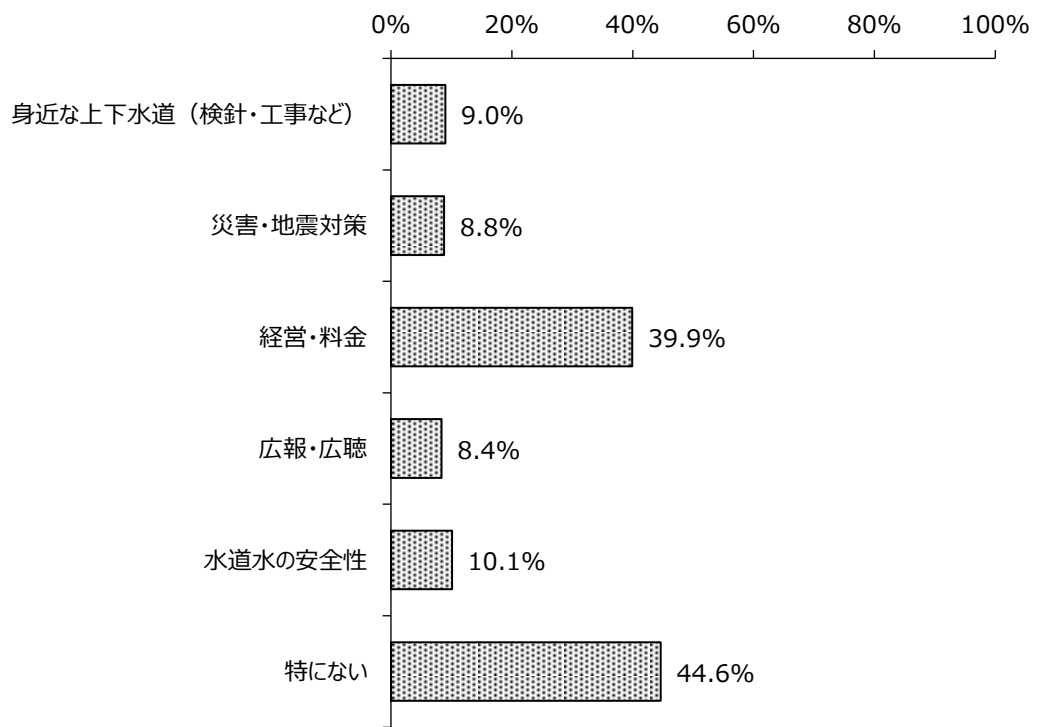
- 水道料金が安い。

【「4 広報・広聴」の主な回答一覧】

- 上下水道局が行っていることの情報が届いてこない。
- 取組・啓発をほぼ目にする機会がない。
- 十分に市民に伝わっていない。

【「5 水道水の安全性」の主な回答一覧】

- 安全とは知っているがアピールがない。
- 水道本管の腐食による水質悪化が心配



3. 公共交通について

(1) 公共交通の利用状況について

「公共交通の利用頻度について」

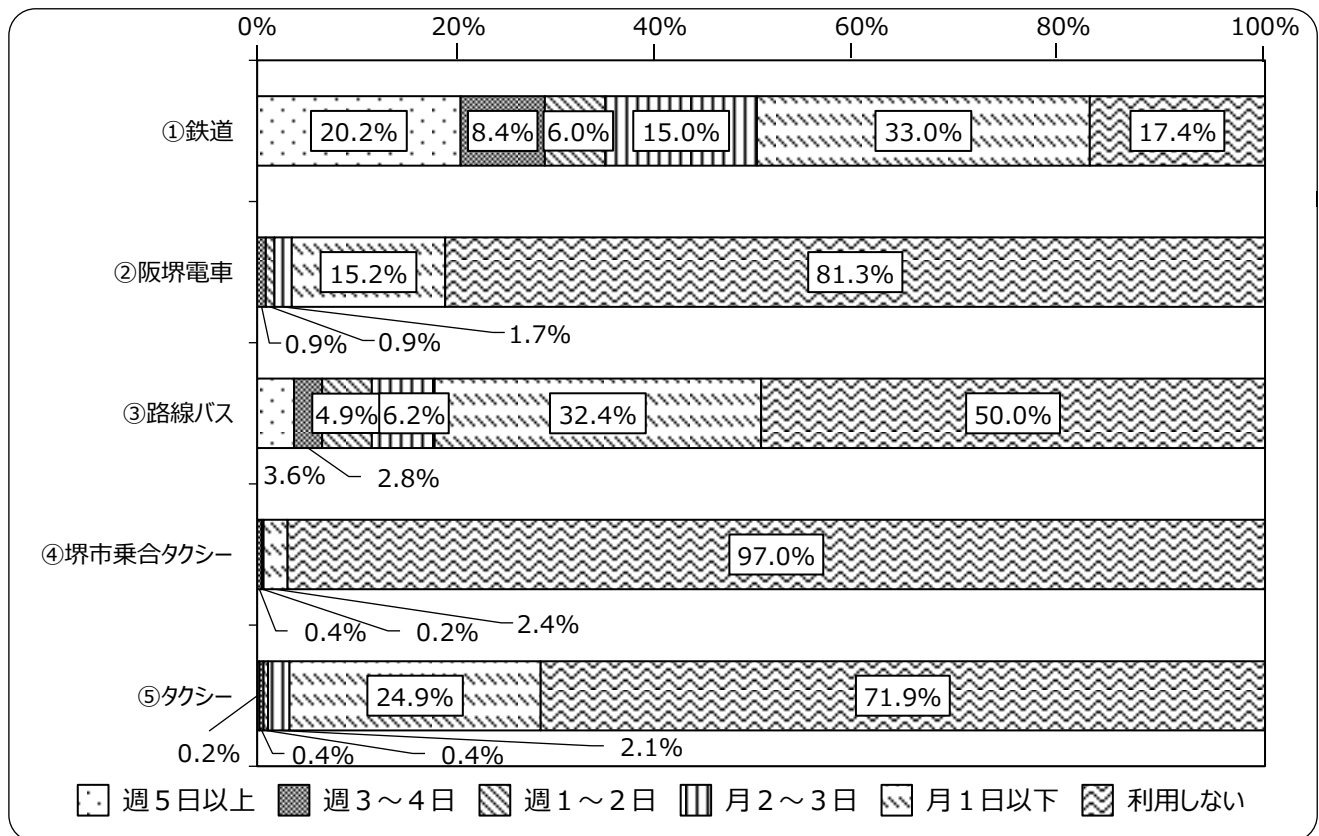
問 26. 日頃、次の公共交通をどの程度利用されていますか。

【各項目：選択は1つ】

週1日以上利用する方（「週5日以上」「週3～4日」「週1～2日」の合計）は、「鉄道」が34.6%と最も高く、次いで「路線バス」が11.3%、「阪堺電車」が1.8%、「タクシー」が1.0%、「堺市乗合タクシー」が0.6%となっている。

一方で、「阪堺電車」、「堺市乗合タクシー」を利用しない方は、81.3%、97.0%と高くなっているが、利用できるエリアが限定されているためと考えられる。

選択項目 (N=466)	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3日	月1日以下	利用しない	計 (回答総数)
①鉄道	94 20.2%	39 8.4%	28 6.0%	70 15.0%	154 33.0%	81 17.4%	466 100.0%
②阪堺電車	0 0.0%	4 0.9%	4 0.9%	8 1.7%	71 15.2%	379 81.3%	466 100.0%
③路線バス	17 3.6%	13 2.8%	23 4.9%	29 6.2%	151 32.4%	233 50.0%	466 100.0%
④堺市乗合タクシー	0 0.0%	2 0.4%	1 0.2%	0 0.0%	11 2.4%	452 97.0%	466 100.0%
⑤タクシー	1 0.2%	2 0.4%	2 0.4%	10 2.1%	116 24.9%	335 71.9%	466 100.0%



「公共交通の利用目的について」

問 27. 日頃、次の公共交通を利用される際、どのような目的で利用されていますか。

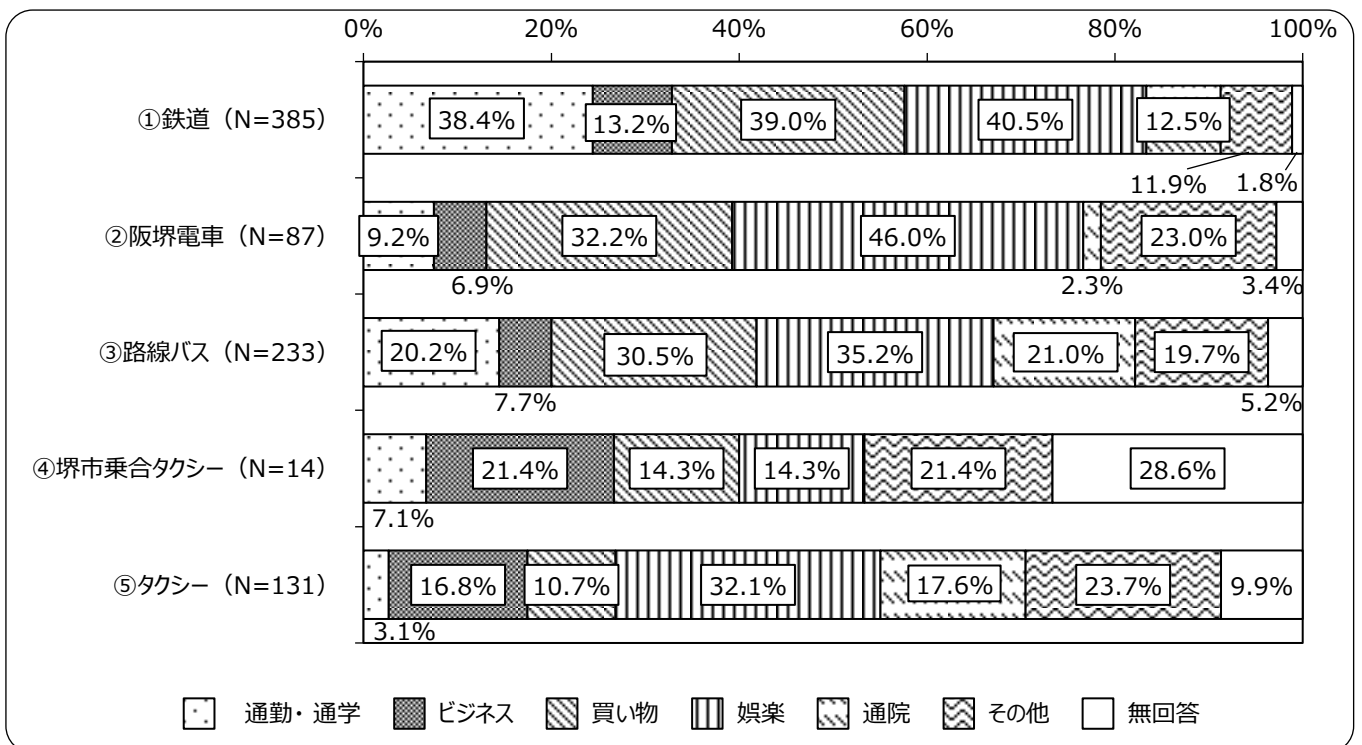
※問 26 で「6 利用しない」を選択された項目については、回答不要です。

【各項目：複数選択可】

鉄道において「通勤・通学」が 38.4%、「買い物」が 39.0%、「娯楽」が 40.5%であり、主な利用目的となっている。また路線バスにおいては上記の目的に加え、「通院」が 21.0%と高い割合となっている。阪堺電車においては「娯楽」が 46.0%と高い割合を示している一方、「通勤・通学」が 9.2%と鉄道、路線バスと比べて割合が低くなっていることがわかる。

堺市乗合タクシーにおいては回答者数が少ないが、「ビジネス」が 21.4%、「買い物」が 14.3%、「娯楽」が 14.3%であり、主な利用目的となっている。タクシーにおいてはこれらの目的に加え、「通院」が 17.6%と高い割合になっている。

選択項目	通勤・通学	ビジネス	買い物	娯楽	通院	その他	無回答
①鉄道 (N=385)	148 38.4%	51 13.2%	150 39.0%	156 40.5%	48 12.5%	46 11.9%	7 1.8%
②阪堺電車 (N=87)	8 9.2%	6 6.9%	28 32.2%	40 46.0%	2 2.3%	20 23.0%	3 3.4%
③路線バス (N=233)	47 20.2%	18 7.7%	71 30.5%	82 35.2%	49 21.0%	46 19.7%	12 5.2%
④堺市乗合タクシー (N=14)	1 7.1%	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	3 21.4%	4 28.6%
⑤タクシー (N=131)	4 3.1%	22 16.8%	14 10.7%	42 32.1%	23 17.6%	31 23.7%	13 9.9%



(2) 公共交通の満足度について

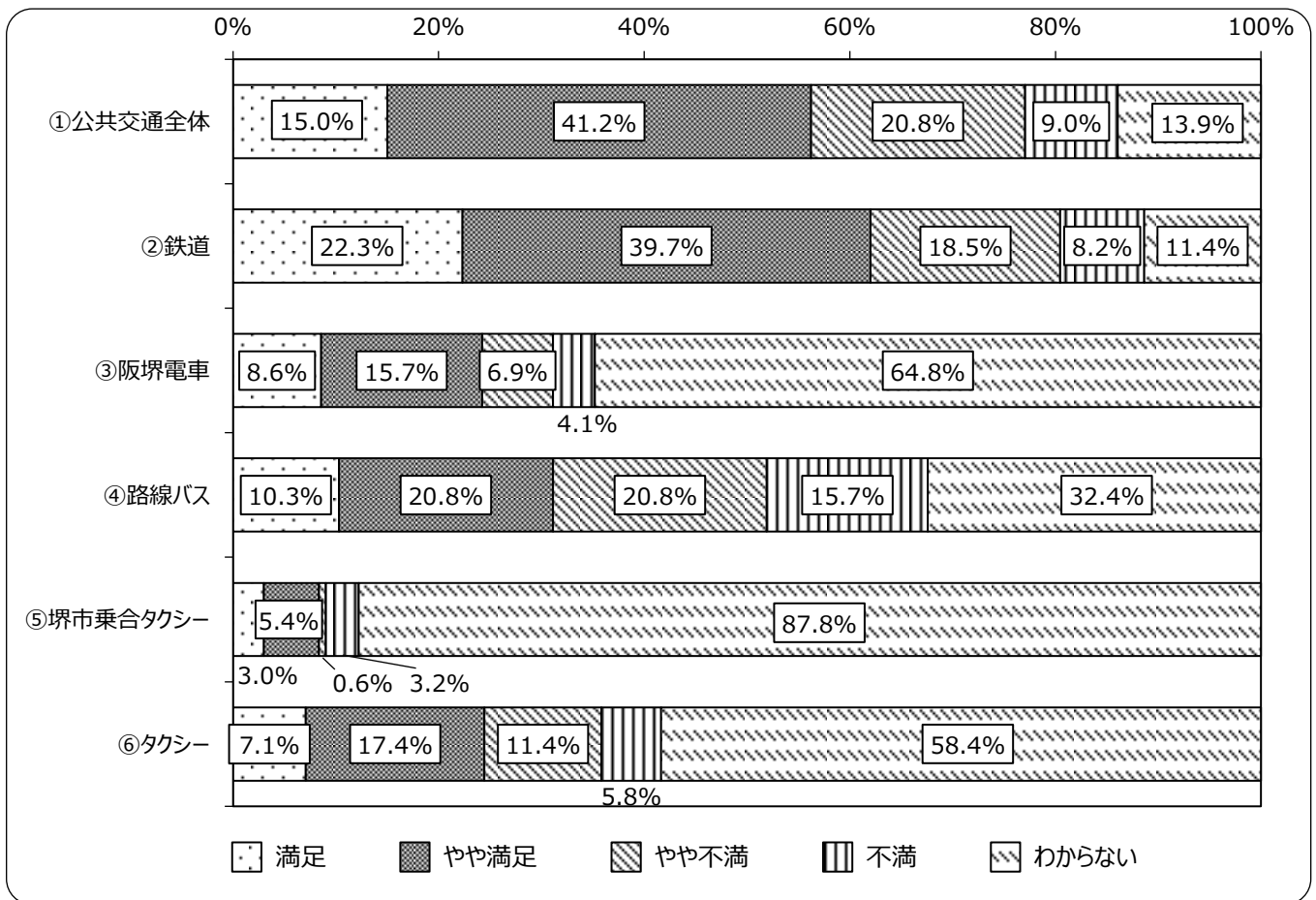
≪公共交通の満足度について≫

問 28. 現状の公共交通に対する満足度をお答えください。

【各項目：選択は1つ】

「公共交通全体」に対して「満足」「やや満足」の合計は 56.2%と半数以上が満足となっている。「鉄道」に対して「満足」「やや満足」と答えた方の割合は 62.0%となっている。

選択項目 (N=466)	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	計 (回答総数)
①公共交通全体	70 15.0%	192 41.2%	97 20.8%	42 9.0%	65 13.9%	466 100.0%
②鉄道	104 22.3%	185 39.7%	86 18.5%	38 8.2%	53 11.4%	466 100.0%
③阪堺電車	40 8.6%	73 15.7%	32 6.9%	19 4.1%	302 64.8%	466 100.0%
④路線バス	48 10.3%	97 20.8%	97 20.8%	73 15.7%	151 32.4%	466 100.0%
⑤堺市乗合タクシー	14 3.0%	25 5.4%	3 0.6%	15 3.2%	409 87.8%	466 100.0%
⑥タクシー	33 7.1%	81 17.4%	53 11.4%	27 5.8%	272 58.4%	466 100.0%



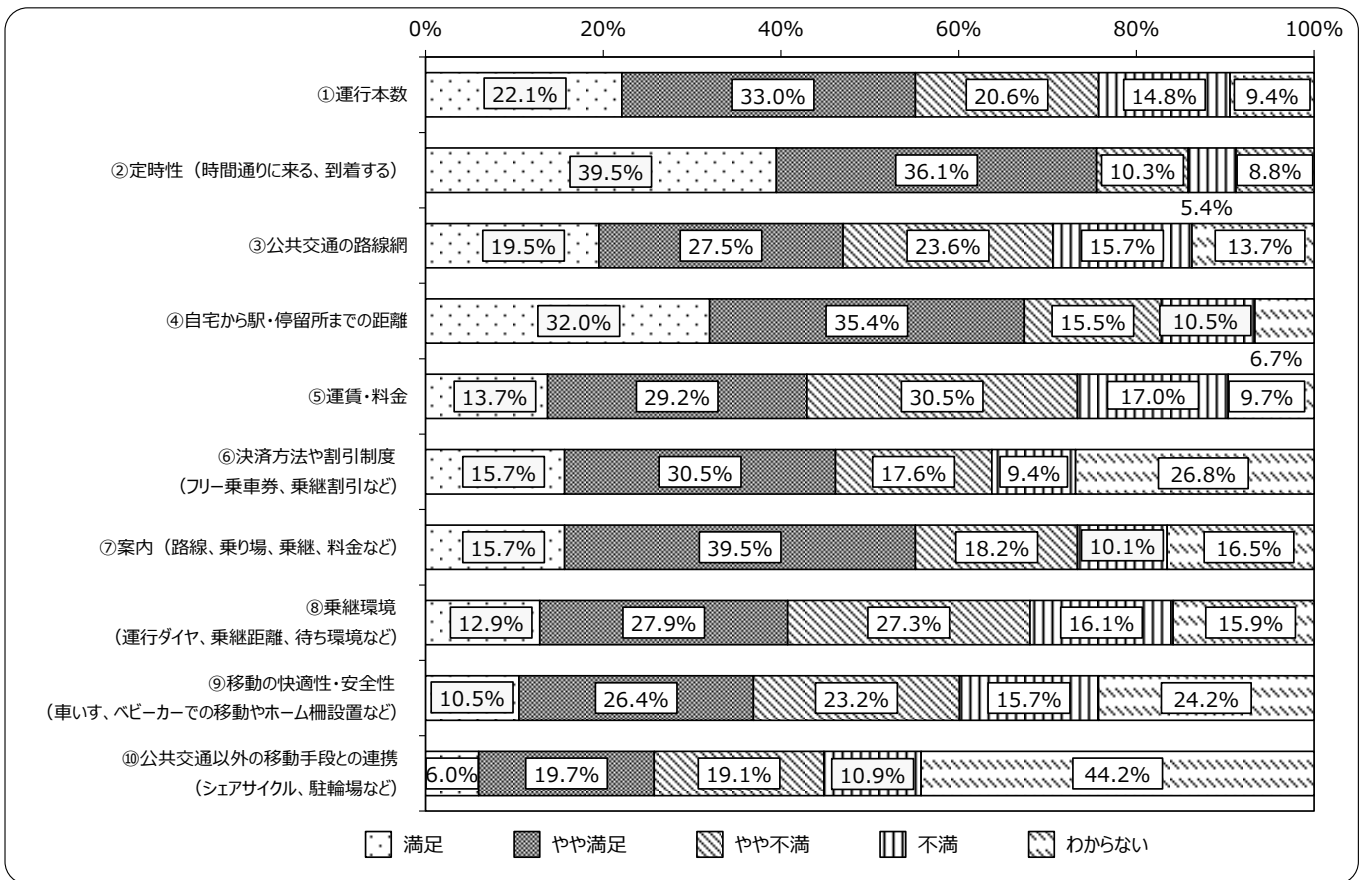
「公共交通の利用環境の満足度について」

問 29. 公共交通全体の利用環境に関する各項目の満足度をお答えください。

【各項目：選択は1つ】

「満足」「やや満足」の合計が高いものとして「定時制（時間通りに来る、到着する）」が75.6%、「自宅から駅・停留所までの距離」が67.4%、「案内（路線、乗り場、乗継、料金など）」が55.2%となっており、「不満」「やや不満」の合計が高いものとして、「運賃・料金」が47.5%、「乗継環境（運行ダイヤ、乗継距離、待ち環境など）」が43.4%となっている。

選択項目 (N=466)	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	計 (回答総数)
①運行本数	103 22.1%	154 33.0%	96 20.6%	69 14.8%	44 9.4%	466 100.0%
②定時性（時間通りに来る、到着する）	184 39.5%	168 36.1%	48 10.3%	25 5.4%	41 8.8%	466 100.0%
③公共交通の路線網	91 19.5%	128 27.5%	110 23.6%	73 15.7%	64 13.7%	466 100.0%
④自宅から駅・停留所までの距離	149 32.0%	165 35.4%	72 15.5%	49 10.5%	31 6.7%	466 100.0%
⑤運賃・料金	64 13.7%	136 29.2%	142 30.5%	79 17.0%	45 9.7%	466 100.0%
⑥決済方法や割引制度（フリー乗車券、乗継割引など）	73 15.7%	142 30.5%	82 17.6%	44 9.4%	125 26.8%	466 100.0%
⑦案内（路線、乗り場、乗継、料金など）	73 15.7%	184 39.5%	85 18.2%	47 10.1%	77 16.5%	466 100.0%
⑧乗継環境（運行ダイヤ、乗継距離、待ち環境など）	60 12.9%	130 27.9%	127 27.3%	75 16.1%	74 15.9%	466 100.0%
⑨移動の快適性・安全性 （車いす、ベビーカーでの移動やホーム柵設置など）	49 10.5%	123 26.4%	108 23.2%	73 15.7%	113 24.2%	466 100.0%
⑩公共交通以外の移動手段との連携 （シェアサイクル、駐輪場など）	28 6.0%	92 19.7%	89 19.1%	51 10.9%	206 44.2%	466 100.0%



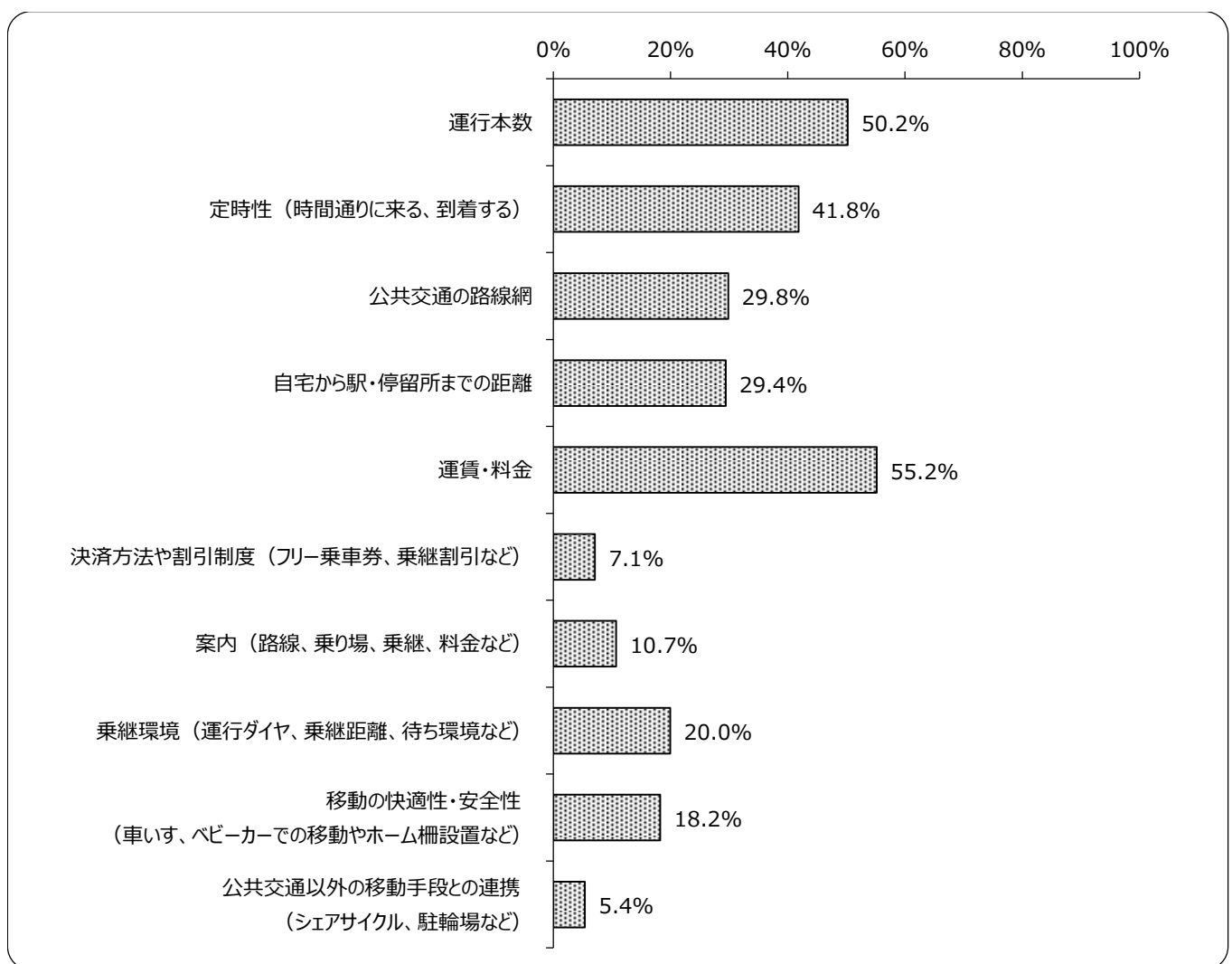
「公共交通における重要度について」

問 30. 公共交通を利用するうえで、特に重要と思うものは何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

「運賃・料金」の 55.2%が最も割合が高く、次いで「運行本数」の 50.2%、「定時性（時間通りに来る、到着する）」の 41.8%の順に重視されていることがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	運行本数	234	50.2%
2	定時性（時間通りに来る、到着する）	195	41.8%
3	公共交通の路線網	139	29.8%
4	自宅から駅・停留所までの距離	137	29.4%
5	運賃・料金	257	55.2%
6	決済方法や割引制度（フリー乗車券、乗継割引など）	33	7.1%
7	案内（路線、乗り場、乗継、料金など）	50	10.7%
8	乗継環境（運行ダイヤ、乗継距離、待ち環境など）	93	20.0%
9	移動の快適性・安全性（車いす、ベビーカーでの移動やホーム柵設置など）	85	18.2%
10	公共交通以外の移動手段との連携（シェアサイクル、駐輪場など）	25	5.4%



(3) 自動車の利用について

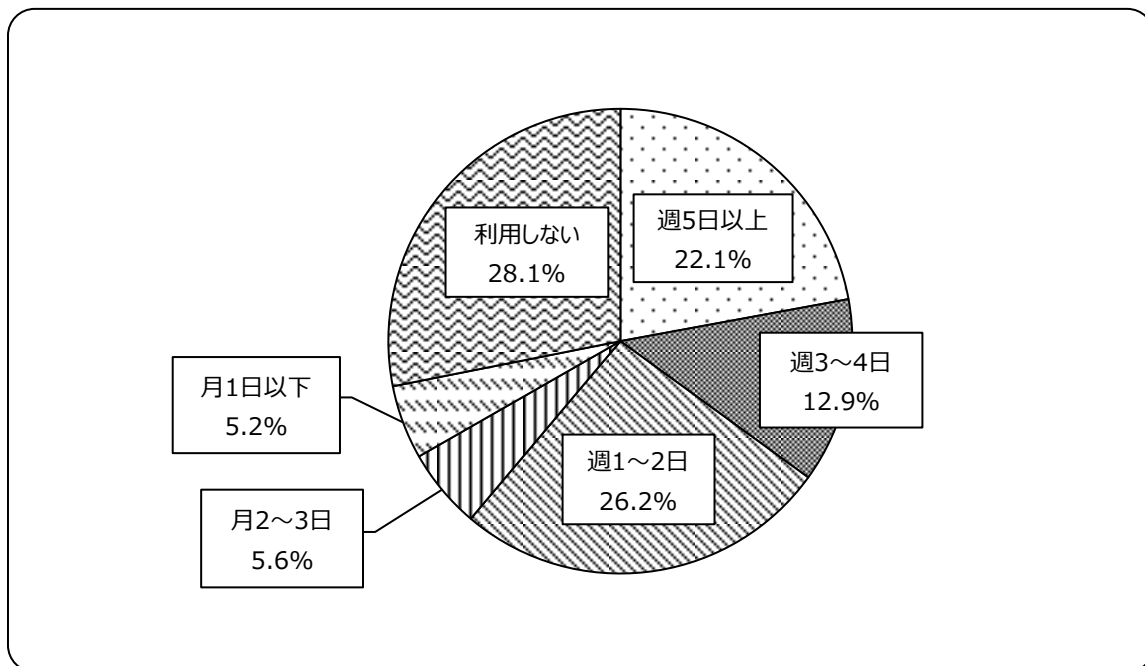
《自動車の利用頻度について》

問 31. 日頃、自動車をどの程度利用していますか。

【選択は 1 つ】

日頃、自動車を「利用しない」割合が 28.1%と最も高いが、「週 1 日以上」自動車を利用する割合（「週 5 日以上」「週 3～4 日」「週 1～2 日」の合計）が 61.2%となっており、日常的に自動車が利用されていることがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	週5日以上	103	22.1%
2	週3～4日	60	12.9%
3	週1～2日	122	26.2%
4	月2～3日	26	5.6%
5	月1日以下	24	5.2%
6	利用しない	131	28.1%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「自動車から公共交通への利用転換について」

問 32. 問 31 で 1～5 と回答された方に伺います。自動車から公共交通利用に転換することについて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。 【選択は 1 つ】

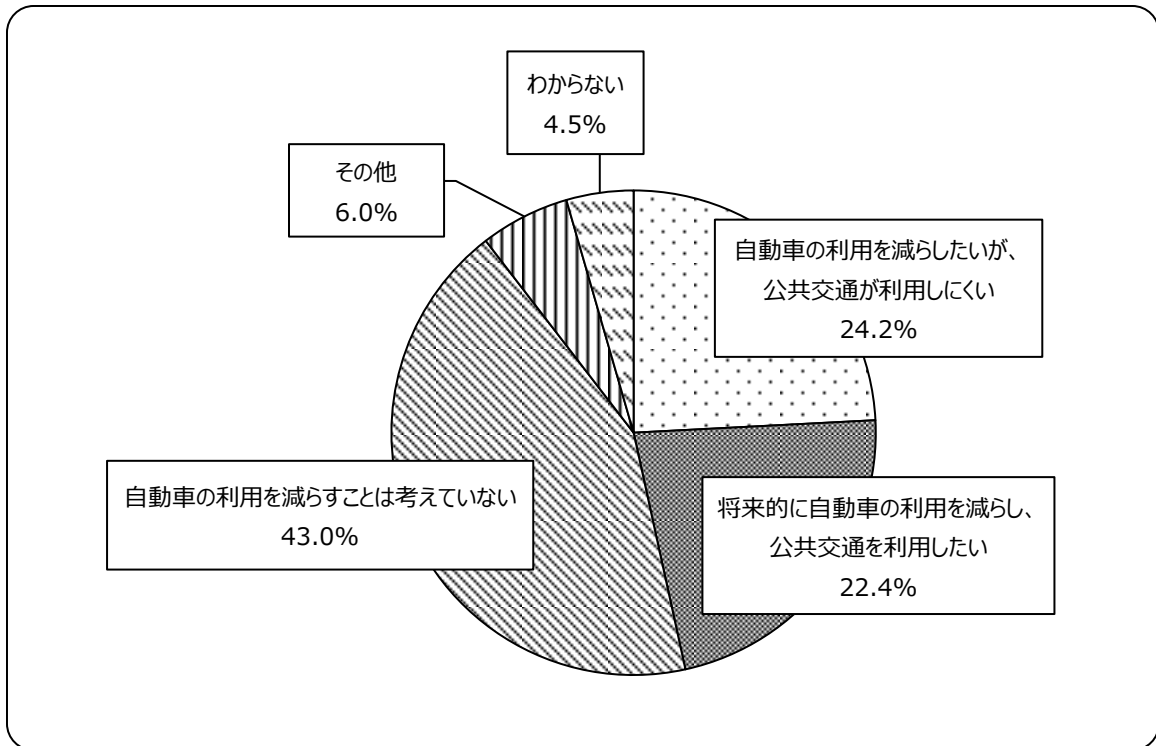
「自動車の利用を減らすことは考えていない」が 43.0%と最も割合が高くなっている。一方、「自動車の利用を減らしたいが、公共交通が利用しにくい」が 24.2%、「将来的に自動車の利用を減らし、公共交通を利用したい」が 22.4%となっており、公共交通の利便性が向上することで、公共交通への利用転換が進む。

	選択項目 (N=335)	回答数	構成比
1	自動車の利用を減らしたいが、公共交通が利用しにくい	81	24.2%
2	将来的に自動車の利用を減らし、公共交通を利用したい	75	22.4%
3	自動車の利用を減らすことは考えていない	144	43.0%
4	その他	20	6.0%
5	わからない	15	4.5%
	計 (回答総数)	335	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- 会社はガソリン代の支給の方が経費節減できると考えていると思う。
- 停留所まで遠い。
- 公共交通のない所へ行くために必要
- 身体障害者なので、買い物、病院、薬局に行くのにドアツードアでないで困難である。
- 高齢の母を買い物へ連れて行くために必要
- 子どもが小さいうちは難しい。
- コロナの状況や、時と場合による。
- もともと自動車の利用は少ない。



(4) 公共交通の必要性について

「公共交通の必要性について」

問 33. 公共交通の必要性について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

【選択は 1 つ】

「公共交通のサービスが低下する（なくなる）と、日常生活（通勤・通学・通院・買い物など）に支障が出る」と答えた割合が最も高く、54.7%と過半を超えている。次いで、「今は公共交通のサービスが低下しても（なくなっても）困らないが、将来高齢になると困る」が 25.1%、「公共交通のサービスが低下する（なくなる）と、外出機会が減少する」が 13.5%、「公共交通のサービスが低下しても（なくなっても）、他の移動手段で対応できるので困らない」が、5.2%となっており、将来も含めると約 9 割以上の方が公共交通のサービスが必要であると考えている。

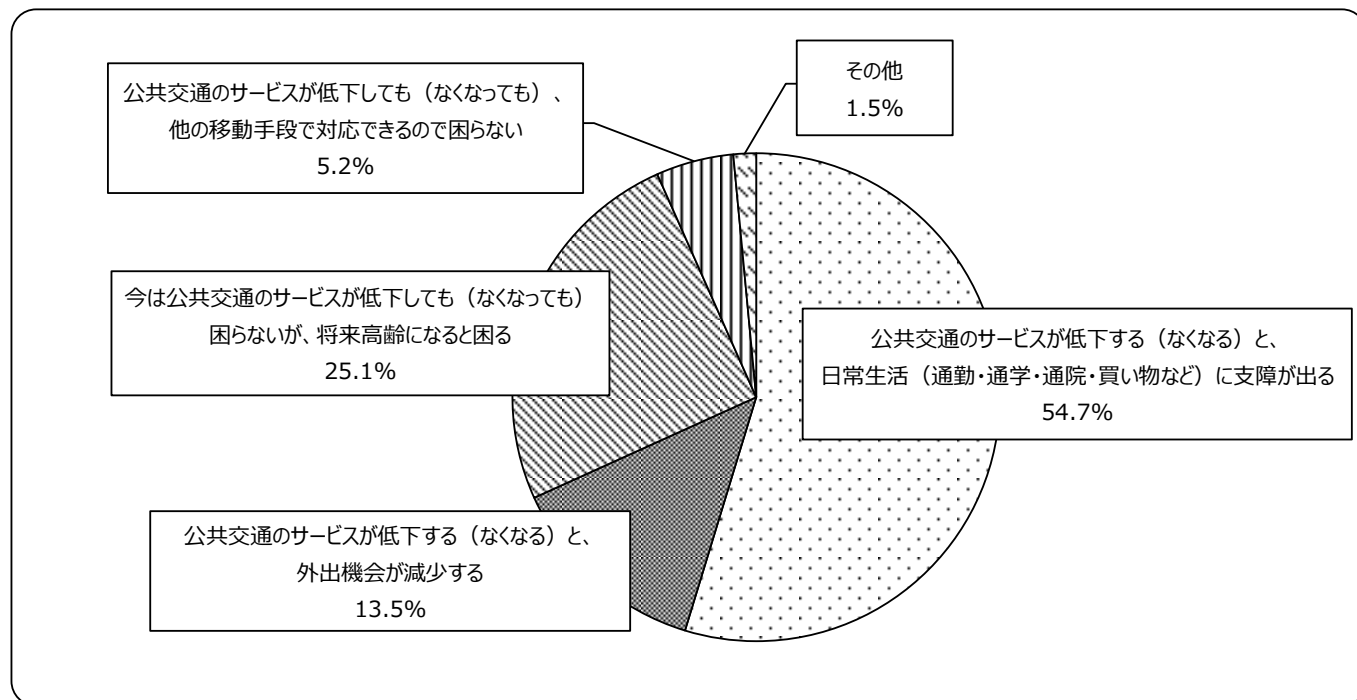
	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	公共交通のサービスが低下する（なくなる）※と、日常生活（通勤・通学・通院・買い物など）に支障が出る	255	54.7%
2	公共交通のサービスが低下する（なくなる）※と、外出機会が減少する	63	13.5%
3	今は公共交通のサービスが低下しても（なくなっても）困らないが、将来高齢になると困る	117	25.1%
4	公共交通のサービスが低下しても（なくなっても）、他の移動手段で対応できるので困らない	24	5.2%
5	その他	7	1.5%
	計 (回答総数)	466	100.0%

※サービスの低下（なくなる）：運行本数の減便や路線の廃止、運賃の値上げなど

[5 その他]

【主な回答】

- 車を自己所有しない街にできれば良い。
- 高齢者なので免許証返納の時期が来ればタクシーと公共交通機関のお世話にならざるを得ない。
- 自転車の利用が多いので低下しても、今は困らない。
- 歩行が難しいので、公共交通はほとんど使用できない。
- 東西の移動が難しい。



(5) 公共交通の維持・確保について

《公共交通の維持・確保について》

問 34. 今後、人口減少や高齢化による利用者の減少に伴い公共交通を取り巻く環境は、より厳しくなることが想定されますが、現状の公共交通を維持・確保することについて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

【選択は 1 つ】

「現状の公共交通を維持・確保するために、市の財政負担増はやむを得ない」が 52.8%と最も割合が高く、次いで「現状の公共交通を維持・確保するために、運賃が高くなってやむを得ない」が 25.5%、約 8 割の方が市、もしくは利用者の負担が増えても公共交通の維持・確保が必要と考えている。

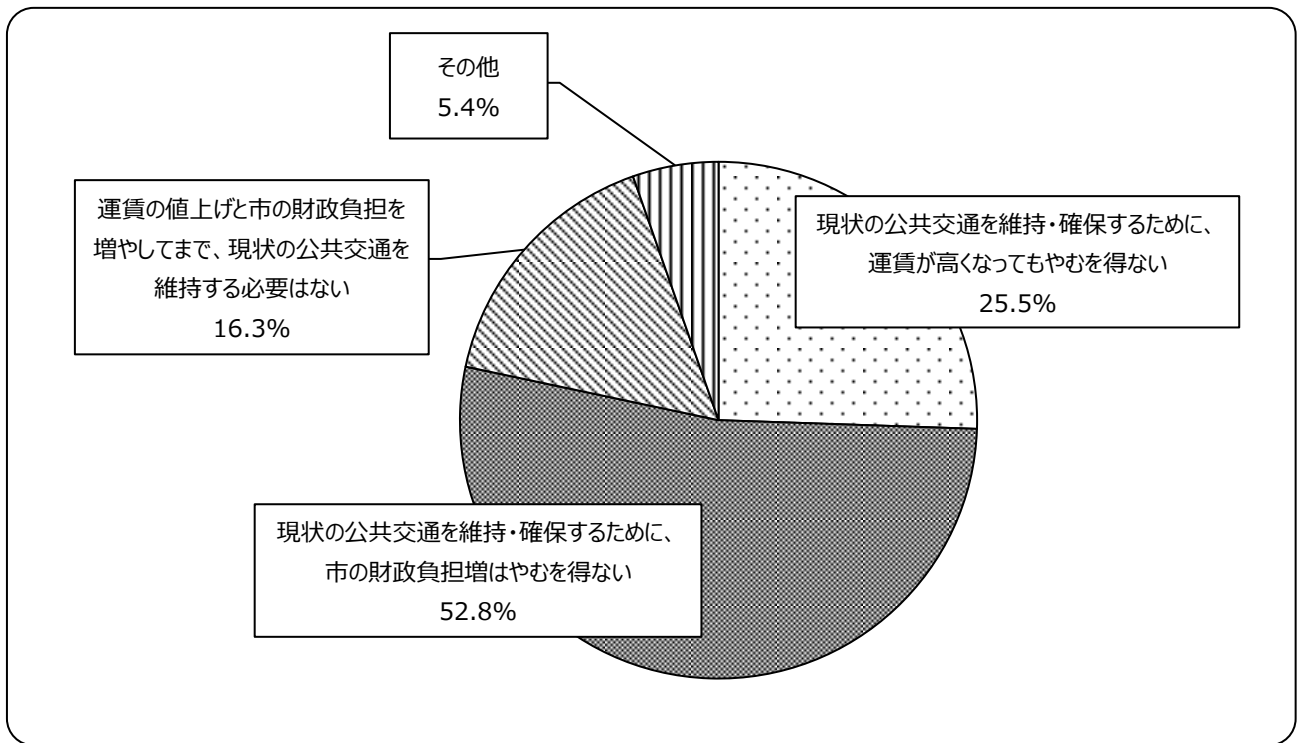
	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	現状の公共交通を維持・確保するために、運賃が高くなってやむを得ない	119	25.5%
2	現状の公共交通を維持・確保するために、市の財政負担増はやむを得ない	246	52.8%
3	運賃の値上げと市の財政負担を増やしてまで、現状の公共交通を維持する必要はない	76	16.3%
4	その他	25	5.4%
	計 (回答総数)	466	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- 本数を減らす、乗り継ぎをうまくする、車両数を減らすことの努力
- 日中は本数を減らしている。
- 無駄な路線は廃止して皆が使う路線の方に力を入れる。その際に運賃が少し上がるのは仕方ない。
- 必要な値上げや負担はやむを得ないと思うが、基本的に関東などと比べても、既に初乗り運賃が高かったりするの
で、他機関との連携など、他の施策も織り交ぜながら、不要なコストは落とすなどのメリハリは必要に思う。
- なんでも市が負担するわけにもいかない。市のお金は税金だから、自己負担を増やせばいい。
- 確保して運賃の値上げをしてもいいが、その情報を詳細に公開してほしい。
- 高齢化による影響がよくわからない。厳しい状況である理解がまだできていない。新たな発想での解決策もあれば。
駅までの移動手段のウーバーイーツ化など（タクシーより安価で気軽に呼べる電動自転車タクシーなど）
- 全体に負担を求めるのではなく、受益者負担を推進すべき。高齢者が増えて公共交通機関の利便性や特定地
域へのサービス拡充が必要であるなら、その利用者が負担を多くし、全体で負担して全体の不満が高まらないよう
にしてほしい。
- 高齢化が進めば進むほど、公共交通の存在価値が高まり維持が必要。年金生活者が多くなり、高額なタクシーに
手が出ない状況を考慮すれば、公共交通の維持・確保が難しいとなれば、国からの援助を待つしかないのでは
- 全体のバランスなので運賃が高くなるなら、何か別のものを安くするなどの措置がほしい。
- 今より経費を下げる方法を考える。乗合タクシーのようなものの普及
- 市民に負担してもらおう考えが違う。
- 利用者が少なく採算性のない公共交通は廃止
- 自動化を進める。
- 内部改革
- 難しい。今の高齢者のバス、阪堺電車の補助を続けられるのか。
- 難しい問題でわからないが、交通環境が悪化し生活困難が生じれば、現在の住居を捨て便利な所へ転居を考え
ている。
- 別の方法を考えてほしい。
- バランスです。
- 根本の人口減少への取組が国に必要。市には子どもがいる家庭の堺市への誘致への取組が必要

- 観光や訪堺外国人を増やし、その税金を公共交通に充ててほしい。ベトナム大使館との連携など
- お店の出店促進や人が集まる仕組みを作り、財源確保を試みるのも必要
- まずは魅力向上、選ばれる公共交通となる施策を進める努力が必要
- わからない。



(6) 本市の公共交通について

《本市の公共交通について》

問 35. 市の公共交通に関するご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記述】

「市の公共交通に関する意見（自由意見）」では、市の交通全般に関すること、鉄道、バス、阪堺電車、その他交通に関して意見があった。

交通全般に関する意見としては、公共交通の利便性向上の意見が多く、次いで、おでかけ応援制度の維持・継続や拡充の意見が寄せられていた。また、東西方向の移動改善を望む声が多く寄せられていた。

鉄道に関する意見としては、特急や快速の通過待ちや停車駅に関する意見、乗換え、他交通への接続に関する意見が多く寄せられていた。

バスに関する意見としては、運行本数に関する意見や、停留所の案内に関する意見が多く寄せられていた。

引き続き交通事業者と共に、公共交通の利便性向上につながる施策の検討や施策展開に努める。

紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載しています。

【主な回答一覧】

1 交通全般

- 鉄道、阪堺電車、バスなど、交通網が整っており、便利。
- とても満足している。
- 市の公共交通には感謝している。
- 当たり前と思っているだけで、目の見えない気付かないところで助かっている。
- 「おでかけ応援カード」は有難く有効に利用させていただいている。
- 現状には個人的に非常に満足して利用している。障害のある方や高齢者、妊婦の方、子連れの方など、何かのきっかけあるいは必ずその時を迎えることになる状況に今ある人々も利用しやすいように今後も改善してほしい。
- 乗車の時間帯による金額の変動や、乗車回数による割引、アプリなどによる最新の運行状況の把握など、すべての面で便利、利用したいと思うようになれば利用回数を増やしたい。
- 公共交通機関も安定した経営が大切だから、多少の値上げは仕方ない。
- 人口減少からの運賃値上げもある程度仕方がない。交通系電子マネーなどの利用で運賃の値上がりを抑えられる部分もある。私は交通系電子マネーが難なく使えるけど、苦手な人には昔ながらの支払い方法も必要。堺まつりをきっかけに、環濠ツアーへ行った。その際バスの1日乗車券を購入しバスを利用した。とても便利で魅力的で堺を1日走り回った。堺にはまだまだ知らないところがあった。時間の都合、海遊館方面行きを諦めた。電車で行くより便利だとわかった。
- 現在の住まいは駅に近く便利であるが、駅から遠く、路線バスも1時間に2、3本のところに住む父母は不便。近くの病院へもタクシーを呼ばないといけない。
- 車の運転をしないので、電車、バスは必要
- 公共交通は市民生活の重要な基盤である。合理的な維持がなされてはじめて近代的なコミュニティが際立つ要である。
- 駅と駅の間が広い。停留所が近隣になく不便
- 阪堺線と堺市内バスは65歳以上は100円なので、近所の人もよく利用している。動くことで、老化や体力の維持にも繋がる。廃止する動きもありましたが、長い目でみると健康になり、医療費面での削減になると思う。ぜひ続けてほしい。
- 今の制度である、100円制度を維持して欲しい。電車にも広げてほしい。
- 高齢者の方が、公共交通利用する機会が多いと思われるので、料金面、施設面の高齢者支援策が重要。
- このままの路線で運用するのは厳しいのであれば料金が高くなったり本数が減るのはやむを得ないと思うが、高齢になって高い運賃を払うのはきついと思うので、混雑する時間以外は利用しやすい料金にするなどの検討していただけるとありがたい。
- 高齢者こそ気軽に、いつでも乗れてこそその、価値だと思う。

- 不必要な時間帯の本数を減らすことは必要。しかし、高齢者や身体障害者には優しい公共交通になってほしい。
- 市の財政状況を考えると湯水のように注ぎ込めない。赤字路線は減便も仕方がないし、高所得の高齢者にも負担いただくのはある程度仕方がないかと。難しい問題だが、若者世帯にツケが回るのだけはやめてあげてほしい。
- お年寄りの値段、もう少しあげてもいいのではないか。ほとんどお年寄りが乗っているし、安すぎる。大人 1 人に対して、幼児代金は 1 人しか対応してくれないのも困る。せめて、2 人にしてほしい。双子なので、シングルベビーカーと抱っこ紐で乗りましたがとても不親切で、困った。その様な事があり、子どもが歩けるまでは、乗らなかった。
- 高齢者にはバス、阪堺電車の割引があるが妊婦、子連れへの支援がない。妊婦や赤ちゃんがいると自転車に乗れない。健康な高齢者よりも、移動が難しい。妊婦、子連れへの割引支援を強く希望する。
- 高齢者を優遇する政策はやめてほしい。堺市は人口が多いと思うので高齢者優遇よりもっと将来を担う子どもたちに向けた政策を考えてほしい。
- 子ども料金をせめて中学生までにしてほしい。部活の試合などですぐ料金がかかった為つらかった。
- 65 歳以上の 100 円で乗れるバスは IC カードにチャージ機能を持たせて降車時に 100 円支払わずに済むようにすべき。100 円を落としたり探したりしてバスの車内事故のもとに思う。
- 堺市の一部は大阪市バスの乗り入れがあるが堺市自体にないのが不思議。政令指定都市として利便性を考慮すべき
- 公共交通維持のため予算化すべき
- 公共交通こそ、必要なら赤字でもすべきだと思う。民営化ばかり進んで、弱者は切り捨てられ、公共でされていた意味がわからない。
- 公共交通の維持が必要であれば、値上げよりも先に、公務員の人件費を適正なレベルに下げて、財源をねん出することが必要
- 運賃が高くなるのは困るが、税金で賄われるのも困る。
- 公共交通など、直接市民に還元される部分にもっとお金を回してほしい。
- 私自身は利用しないが、家族が利用するので値上げは本当に家庭が厳しくなる。
- 南海堺、堺東から松原、羽曳野方面（東西）の公共交通をもっと利用しやすくする工夫が必要
- 東西方向の移動が特に不便。これがもっと整備されれば私自身、車じゃなくて公共交通を利用するようになる。
- 堺は横（東西）の移動が非常にわかりにくい。特に外国人にとっては難易度が高いように感じる。堺でインバウンド需要を取りこむにはしっかりとした対応が必要。住民で需要が取れないなら、外国人インバウンドに頼るべき。
- 旧市内（堺区）や東西交通網の便数、不足の検討（便数が減り悪循環になっている、以前から検討されている東西交通の早急な検討）。大阪メトロの延伸やモノレールの延伸などの検討も早急にしてほしい。
- 堺は南北は南海本線・高野線があり便利だが、東西には鉄道がなく、堺市内を移動するには車がないと不便が多い。例えば大型公園（大仙公園など）を経由する路線バスには、ペットも乗れるようにしてほしい。そうすれば、車を運転しない人もたまには大きな公園にペットを連れていくことができる。
- 東西の交通をもっと充実させる事が必要。観光にも相乗効果があるはず。前まで東西の利便性を計画していたと思うが、どうなったのか。
- 市内の東西の鉄道網が無い。バスの乗継割引が無い。阪堺電車の停留所が遠くて利用しづらい。
- 横の横断が難しい。美原区に行くにもバスの乗り換えが大変
- 中区在住だが、泉北高速線・南海高野線から南海本線に行くために、一度堺市から出て大阪市（天下茶屋）に行ってから堺市に戻ってくるルートを取らざるを得ないことが不満。堺東からシャトルバスに乗る選択肢では初乗り運賃×2 が掛かるので余程のことがない限り選択しない。例えば、堺東駅と堺駅間の乗り継ぎなら 1 時間以内であれば初乗り運賃不要とするとか、シャトルバスも南海グループなのだから同様の措置が取られれば良い。
- 市内の東西の移動に不便さを感じる。鳳から深井まで自転車で行くには遠いし停める場所もない。バスを利用すると運行コースがあるのですぐ時間がかかるし、電車を利用すると三国ヶ丘駅経由で遠回りになる。
- 近い将来、南海本線と阪堺線が浜寺公園駅での乗り換えが便利になる。このような形で「鉄道と軌道」、「鉄道とバス」、

「軌道とバス」の乗り継ぎがダイヤだけではなく接続点の整備が重要だと思う。行政ももっと積極的に公共交通機関の維持に努めるべき。これは、市内を東西に結ぶ鉄軌道も同様。現在では技術も進歩し、蓄電池車両の LRT を活用すれば、架線は不要となり軌道部分の整備のみとなる。また、排気ガスも出さないのがクリーンな環境にやさしい交通機関にもなる。車がなくてももっと移動しやすい交通体系になってほしい。

- ららぽーと堺までの公共交通をもう少し増やしてほしい。
- 私の住んでいるところは交通機関特にバスも通わぬところですが何とかできないか。高齢社会の中大変困る。陸の孤島で、何とかしてほしい。
- 本数が少ない、乗っている人が少ない、このまま維持できるのが不安
- 観光施設が散らばりすぎて公共交通でつなぐのがむずかしそう。イベントで周遊バスがあるときは利用させてもらっている。子ども達は堺の灯台を見られて喜んでいて。駅前に住んでいるのと休日は自動車での移動がメインなので交通網をよく理解していない。広報さかいに交通網と各施設をのせた簡易マップがあると助かる方もおられるかもしれない。
- サービスの提供が堺区に集中していると思う。都市部以外の利便性を考えていただきたい。
- 美原区在住、バス路線が少なく本数も少ない。電車が通っていないので不便
- バスや電車など乗りたいがまだ小さい子どもがいて、停留所などに行くのも大変。駅のそばに電車に乗った証明があれば割引になる駐車場があればありがたい。
- 高齢者の自動車事故が減らすため、免許を手放す高齢者へのタクシーチケット・バスチケット発行など、「堺はやってますよ！」と話題になるような政策をすべき。自分を顧みない高齢者の事故が多すぎる。程よく都会で便利な堺の地の利や公共サービスをもっと生かすべき。
- 高齢の親のために、マンション前から病院までの公共交通サービスを行ってほしい。最寄りの駅、停留所まで歩いていくことも難しいため
- 足が悪く杖を使用し、弱視停留所まで遠く乗り降りも怖くて出来ない方も多い自転車云々よりも弱者の市民が通院出来る交通機関の充実をすべき
- 弱者に寄り添う交通機関を常に考えてもらいたい。
- コミュニティバス路線の充実。高齢者パス、精神障害者保健福祉手帳所持の人にも割引。バスの中でも観光案内や個人店舗の広告メッセージを流して、乗客の料金負担を軽減する。バスに乗る人にはバスポイントが貯まるなどのお得感を付加してほしい。
- 利用しやすいように、ポイントが貯まったら一回無料やサービスデーなどあれば良いのでは
- 高い。不便
- 土日、早朝、夕方利用すると割引になるなどのお得キップがあれば、利用も考える。
- 利便性をよくしてほしい。
- 本数は 1 時間に 2 本を基準にしてほしい。
- 病院やリハビリ、デイサービスの送迎車は増えたが市営バスは年々乗車人数や本数が減っている。理想は送迎車の用な家の近くを通るマイクロバスのようなものや、もっと小回りがきく小さい乗り物（4～5 人乗り）であれば乗る人も増えるのでは。バスの運転手は大型免許など必要ですが大型免許が必要無い乗り物であれば運転手も増やしやすいかと。これから高齢者はまだ増える。小回りのきく乗り物が街中を走ってくれると有難い。今の停留所は遠いし本数が少な過ぎる。
- 子どもが小さいためベビーカーで公共交通機関を利用する。エレベーターがない駅がある、乗り降りする際段差がある車両が多い、ベビーカーやキャリーバッグを持った人用のスペースに関係のない人が占領していて使えず肩身が狭い時が多い。
- 泉ヶ丘駅前（北側）ロータリーのエレベーターが古い、狭くて小人数しか乗れないことが問題と感じる。
- 阪堺電車を利用したいと思うが、駅までのアクセスが悪いため、休日だけでも JR か南海バス沿線からのシャトルバスなどあれば、もっと利用できるのと思う。
- バス、電車などの調べ方の簡素化と無料での利用幅の増加。調べようとすると、有料の方だけ見られる。などがあり、不便と感じた事がある。特にバス。堺市は沢山バスが走ってるので、もっとわかりやすくしてもらえると助かる。まだ若い方に入る

年代だと思うが、調べにくく諦めたことが多々ある。

- ダイヤ改正時の周知徹底が不十分。できるだけ「広報さかい」や LINE で知らせてほしい。
- 公共交通の自動化
- 経済発展と人口増加に伴って拡大してきた公共交通を、経済縮小と人口減少の現在も維持するのは、どうやっても不可能だと思い。無理に「維持」や「改善」しようとすると、何らかの不可（金銭的な負荷を含む）も生じる事を思えば、適当な時期に公共交通の「縮小」や「閉鎖」もすべきと考える。
- 基本の移動は自転車だが、公共交通がなくなる（減る）と行きにくい場所が出てくると思う。乗車人数があまりにも少ないところなどは減便などの検討の余地があるかもしれないが、使用する人がひとりでもいるなら代替案もあれば嬉しい。
- 世の中便利になり過ぎている。過去に戻りましょう。
- 目新しいさやマスコミ受けをするもの、派手さ強調するよりも利用しやすい体系交通網を整備してほしい。
- 少なくとも現状のサービスを維持してほしい。
- 減多に利用しないので特にない。
- 現状は特に問題はない。

2 鉄道

- 最寄り駅が無人駅になった時は驚いたけど、これはこれでありだなと思った。困った時も遠隔で対応してもらえた。
- 日常では阪和線しか使わないが、特に不便を感じたことはない。
- 利便性の向上や東西鉄道の整備は必要だと思う。
- 東西の移動が不便。南海高野線沿線に住んでいますが、堺市内への移動のために天下茶屋経由をすることが多い。電車での東西交通の整備を希望します。
- 東西に鉄道がないのは弱点
- 世界遺産が最寄り駅である JR 百舌鳥駅に快速が停車しないことに不便を感じる。
- JR 阪和線の特急電車を堺市内（特に鳳駅）で停車するようにしてほしい。特急はるかが停車すれば、堺市民の新大阪や京都へのアクセスが良くなるし、海外からの観光客も堺を訪れやすくなる。
- 津久野に快速が止まるように、働きかけてほしい。市民病院もあるし、利用者が多いのに、天王寺から帰る時間は、和歌山方面の富木や和泉府中よりも時間がかかり、大変不便である。何とか、津久野にも快速列車が止まるように堺市長からも働きかけてほしい。
- 阪和線の津久野駅に快速が止まるように堺市から財源を投入してほしい。
- 天王寺から津久野に各駅停車で帰ってくると、長居と杉本町と上野芝と待ち時間だけでも 20 分近い時があり、動いている時間より長いように思い、イライラする。堺市の財源使っても、津久野に快速が止まるように依頼してほしい。もしくは、鳳から天王寺は快速をなくして、地下鉄のようにすべて各駅停車にして、快速待ち時間をなくしてほしい。
- 電車は快速通過待ちで待ち時間が長すぎる。
- JR 阪和線の百舌鳥、上野芝、津久野（特にひどい）の 3 駅の天王寺駅からのダイヤは無茶苦茶で、快速電車優先がひどすぎる。堺市駅で快速電車から各停への乗換待ち時間の長さは全国の政令指定都市のなかでも最も長いのではないかと。これでは JR 離れが増えると思う。
- ちょっとした事での遅延が多い。事故などの場合は各停は後回しで快速が優先されるため非常に不便。快速よりも各停を優先運行すべき
- 南海以外にも JR も重視してほしい。
- JR と南海の乗り継ぎが悪い、不便すぎる。
- 南海本線と泉北高速鉄道の乗り換えがかなり不便
- 中百舌鳥にも南海線の急行電車を停車させてほしい。
- 泉北高速鉄道を利用している市民は、泉北高速鉄道が麻痺してしまうと陸の孤島になり、身動きが出来なくなるので、

困る。

- 泉北高速鉄道の運賃が高すぎる。南海電鉄との合併を元株主の大阪府と連携して、堺市として要望すべき。東西交通の鉄道は不要。大阪市の市営地下鉄の大赤字と同じ轍を堺市は踏まないでほしい。阪堺電車の赤字を教訓にしてほしい。
- 中百舌鳥に全列車を停めて、ガラガラの有料特急をやめてほしい。
- 南海電車の問題だと思うが、中百舌鳥駅を改装して地下鉄に近づけたのは良いが、その分階段が急になって、高齢者には辛いと思う。中百舌鳥の乗り継ぎはずっと課題
- 中百舌鳥駅の乗り継ぎ時刻の連携をしてほしい。
- なかもず駅の地下鉄と南海の接続は改善してほしい。地下での乗り換えをできるように
- 泉北高速鉄道の椅子が臭い。
- 南海高野線初芝駅の西側に改札がほしい。
- 地下鉄御堂筋線の駅の改札口を、大阪市内のように複数にしてほしい。
- ラピートは不要
- 地下鉄御堂筋線や泉北高速鉄道線がもう少し南部方面まで延長してくれれば、本当に有り難い。
- JR 沿線に住んでいるのですが、ホームと電車の間が広く、ベビーカーで乗り降りするのにいつも苦労している。
- 朝方や夜遅くに行くと座席で寝ている人がいて迷惑。食事や化粧を電車ですると匂いが充満し嗚咽感を感じる事がしばしばある。乗り換えをスムーズにしてほしい。乗客が最近喧嘩をしている人をよく見るので監視体制を見直してほしい。
- 電車を利用する際に妊婦やお年寄りに席を譲らない人が多すぎる。また、妊婦で顔を真っ青にしているも見ないふりして携帯へ目を移す社員が多いのが嫌。優しく無さすぎる。
- 南海高野線は遅れる事が多い。2、3分の事だが朝の2、3分は大事
- 南海電鉄、三国ヶ丘駅すぐ横の踏切が酷すぎる。開かずの踏切になる事が多い。そもそも駅のホームに停車している間、ずっと踏切閉鎖している事が問題。ホーム停車中は踏切を空け、発車直前に遮断するようにすれば、その間だけでも相当数が踏切を渡れる。JR 阪和線も同様だが、どちらも予算的に高架化は先ず無理だと思うので、ホーム停車中は踏切を開放する方向で改善してほしい。
- 高齢者の地下鉄の料金を大阪市と同じように安くしてほしい。

3 軌道（路面電車）

- 阪堺電車が安く利用できて良い。
- 私自身はあまり利用しないが阪堺電車は町の1つ風景として小さい頃からずっと利用してきた。阪堺電車からお年寄りや子どもが1人で降りてくる所を見ると他の電車とは違う気軽さや敷居が低いのかと思う。色々問題はあると思うが、堺市の交通と町の風景との両面で残して欲しい。
- 阪堺電車を堺市は負担しているが、未来に残さないといけない公共交通だと思う。乗客減少が避けられないのであればJR九州の様にもっと観光（豪華列車とか貸し切り）に特化してもいいんじゃないかと思う。やはり、地元商売を巻き込んで（観光とか）自分の儲けで残せるように負担している堺市が間に入ってもっと努力すべきだと思う。
- 堺市駅、堺東駅、堺駅を路面電車をつないだらどうか。
- LRTによる堺駅から堺市駅までを結ぶ東西線計画を復活してほしい。
- 費用は必要になるかも知れないが、阪堺電車の拡充（東西など）をお願いしたい。南海高野線の高架計画よりも先に、堺市電（広島市を参考）の拡充を検討していただきたい。
- 堺市の場合、東西の交通手段が脆弱。10年以上前に大小路にトラム構想があったが住民アンケートの結果などにより議会で否決され実現しなかった経緯があるが再チャレンジしてほしい。堺市駅までは無理だと思うが堺駅－堺東駅だけでも実現してほしい。大小路通りは歩道が広すぎるので「トラム」の運行は可能だと思う。ただし、採算面は難しいと思うので「利晶の杜」などの最寄り先や延長先だけでは採算面が改善されると思う。

- 堺浜シーサイドステージまでの LRT を作ってほしい。
- 泉北ニュータウンに LRT を導入してほしい。
- 東西鉄軌道についてですが、現在南海バスが運行しているのに、費用（税金）をかけてまで行う意味がないと思う。
- 阪堺電車にお金を投入するのは、いかがなものか。

4 路線バス

- もっと気軽に乗れる値段にしてほしい。よほど遠くなければ 100 円にしたらもっと利用する子育て世代がふえるのでは
- 運賃がもう少し安いと嬉しい。
- 運賃がとても高いので、子育て世代には厳しい。割引などがあると嬉しい。
- 近鉄バスと南海バスの運行ルートが競合している部分があり、競争するのはよいが、運賃は安くなっているのか疑問
- 堺市は縦の移動はしやすいのに、横の移動はしにくい。バス路線の拡充を願う。
- 利用していないが高齢になったら必要性があるので減便しないでほしい。
- 堺港の方に行くバスが、朝夕の通勤時間は座りたいが混雑して座れない。朝夕は本数増やしてほしい。
- 健康福祉プラザなどの公共施設への本数が、少し少ない。
- 堺市立総合医療センターへの本数をもう少し増やして欲しい。せめて 1 時間に 1 本はほしい。
- 昼間の本数が少なく、ほとんど使っていない。高齢者は昼間に移動と思うので、配慮してほしい。
- 休日の本数が極端に少ない、老人のみの家庭では大変
- 便が少ないなど子どもが小さい時にはとても不便だった。
- 南海バスをよく利用していますが、路線バスとしてもっと本数を増やしてほしい。
- 1 時間にバスが 2 便。その 2 便が同じ時間に偏って走るのなら、1 時間に 1 便となら変わりはしない。エネルギーも無限にあるわけではないし、人が不足するのは火を見るよりあきらか。タクシーとバスの長所を兼ね備えた、気楽に呼べる、気楽に乗れる、安心して生活できる公共交通を、行政だけではなく、民間事業者、市民、みんなで、みんなが考えるように進めてほしい。
- 南海バスは運賃どうこうの前に、時間通りに来ないし、すごく荒いし、あまり乗りたいと思わない。会社員で朝はいっぱい乗れないから、もう少し本数増やしてほしい。
- 南海バスは、本数が少なく、車椅子の乗降がきちんと把握できていない乗務員が多い。
- 大学に通っているが、泉ヶ丘方面よりも金剛行きの方の方が本数が少なく、不便な思いをしている。
- 中区の公共交通事情がひどい。鉄道駅が深井しかないのに深井に行くバスが極端に少ない。快速停車駅の鳳へ向かう本数が地方ローカルバス級に本数が少ない。政令指定都市なのに恥ずかしい。
- バスを小型化し本数を増やす。
- 鳳地区と泉ヶ丘の直通バスがほしい。
- 堀上緑町から鳳駅へ行く路線バスを希望する。
- 御池台から泉ヶ丘行きのバスはあるが光明池、和泉中央へのバスがなく不便
- 泉北郵便局、南区区役所に停留所が無いのは困る。
- 地下鉄（北花田～新金岡～なかもず）沿線に沿って運行しているバスがないので不便。北花田～阪和堺市駅の循環が多すぎる。
- バスの本数が少ないところには、屋根付きの待てるところがほしい。
- 南海バスが自宅近くを通っているのでよく利用しているが、停留所で屋根無しの所が多い様に感じている。雨天や特に夏は陽射しが強い為、バス待機時に屋根があればと思う事が多かった。
- 停留所の表示名と実態が乖離しているケースが見られる。正確な場所の認定不良や人に場所を正確に教えられない。
例：南海バス「北公園前」は周囲に公園らしきものは全く見えない。おそらく北波止町の海辺にある公園と思われるが、離れており全くわからない。たとえば「神南辺町 2 丁」や「古川橋北詰」などが候補としてあげられる。

- どのバスに乗れば目的地に着くのかわかりづらい。〇〇方面行き、と書いていても、地名と場所が一致しない。ネットで調べた番号の停留所から乗っても、路線や経路が違ったりする。バスの本数が少なくて使いにくい、実際乗客も少ないので、本数を増やすのも難しいだろうと思う。8人乗りなど、コンパクトなバスの本数を増やす。安全機能が整備された車両の運転手に関しては、免許取得のハードルを下げ、アルバイトに近いような運転手の人数を増やす。ICカードを使えるようになってから、支払いについては非常に使いやすくなった。バスのリアルタイム待ち時間は便利
- 利用しにくい。停留所の場所、経路などわかりづらい。
- 停留所や路線などがわかりにくく、電車と違って本数も少ないのであまり利用価値を感じない。
- 停留所の案内板の、見てすぐ理解できるようにしてほしい。現状、時間がかかる。
- もう少し路線が多ければいい。南海とJRを結んでほしい。
- 停留所を増やしてほしい。停留所が近い人が羨ましい。
- 始発の見直し。例えば、津久野駅発の始発に乗れば、新大阪発の新幹線の始発に乗れる。
- 最終時間を伸ばしてほしい。
- 利便性が低下している。乗降客の減少→便数の減少→利便性低下によるさらに乗降客の減少
- 天気や時間によって道路がかなり渋滞し、バスの運行時間への影響が大きい。時刻表なんてあってないようなものだ。道路の渋滞を解消することも必要。
- バス路線で道幅がとても狭い箇所もあるから道路の拡張が必要
- 市内の幅員の狭い道で大型の路線バスが使われていることも不満。運転手の方は細心の注意を払われていると思うが、歩行者や対向車からだと怖く感じる。
- 停留所がわかりにくく、ベビーカーで待っている時に道幅がなく邪魔になり折りたたみたいが、子どもを椅子とかに座らせる事が出来ればいいが何もないのでどこに行くか不安になるので折りたたまず、そのまま乗るには時間がかかる。
- 赤ちゃん連れでバスを利用するには心理的ハードルが高い
- ベビーカーで移動するような小さい子どもがいる家庭では乗降時の困難性からバスを利用するのは控えざるをえない。
- バスは乗降口の段差があり乗り降りしにくい。
- 高齢者、子連れに向けて無料バスを復活してほしい。
- 鳳など西への移動手段がバスしかない。バスの乗り継ぎがよいように改善してほしい。
- 南海バスで堺東での乗り継ぎがうまくいかず不便
- 小型バスの運営
- 夜など、だれも乗ってないのに、大きなバスを走らせるのもどうかと思う。
- 以前住んでいた大阪市では区内の巡回バスが1回100円程で利用できていたが、こちらにもそういうものがあれば子どものお出かけもしやすい。
- バス路線に頼る状況は理解するが、乗客がいらない運行バスを見るとむなしくなる。
- バスが遅れたり本数が少ない所があるのは仕方ない。

5 堺市乗合タクシー

- 個人的には知らなかった。情報を知ることによって使用市民の使用頻度が高まるよう感じる。
- 老若男女分かりやすい説明があればいい。

6 タクシー

- 1人で乗るのが怖いので、あまり使いたくないが、子どもの怪我などで病院に行く時に使った事があるので、必要。
- タクシーアプリを簡単に使えるようになれば、高齢者も利用しやすい。海外ではウーバータクシーが普及している。
- タクシー利用助成券を年間24枚いただいています、月2回なので少ない。
- 運転手が高齢化しており利用するのが怖い。

- 車椅子での使用することが難しい。
- 配車が不便（予約をさせてくれない）

7 その他

- 先日試験的に東西を結ぶバス無人運転されていたが、大いに期待している。
- 堺東から美原の実証実験のバス運行を一度利用したが、とても便利だった。是非定着させてほしい。
- 自転車シェアは便利。ただ、いま、ある場所は、物陰に隠れていることや、駅から少し離れた場所など、探すのに時間がかかり、結局、余裕があるときしか使えないという課題を感じる。
- 駐輪場代金を安くすると、もっと利用が増えるかなと思う。
- 自転車の一時駐輪場所がほしい。定期を買ったり、友人との待ち合わせで駅で待つ際に自転車を置くところがないため困ることがある。駐輪場の台数を増やしてほしい。
- 高齢者だけでなく、免許返納を促進、公共交通利用増、環境配慮、他の都市がやらない政策で差別化を図る。他府県からも人が集まり、税収が入る。政令指定都市なのに知名度が低いと感じる。海に近いのであまり起伏がないので自転車（堺は有名）をうまく活用した政策など
- 今後、高齢者の自動車運転のリスクを軽減する為にも公共の介護タクシーを拡充して幅広く利用出来るようにしてほしい。
- 大小路のモビリティイノベーションでの再開発は緊急性も重要性も感じないので、優先度を下げてほしい。

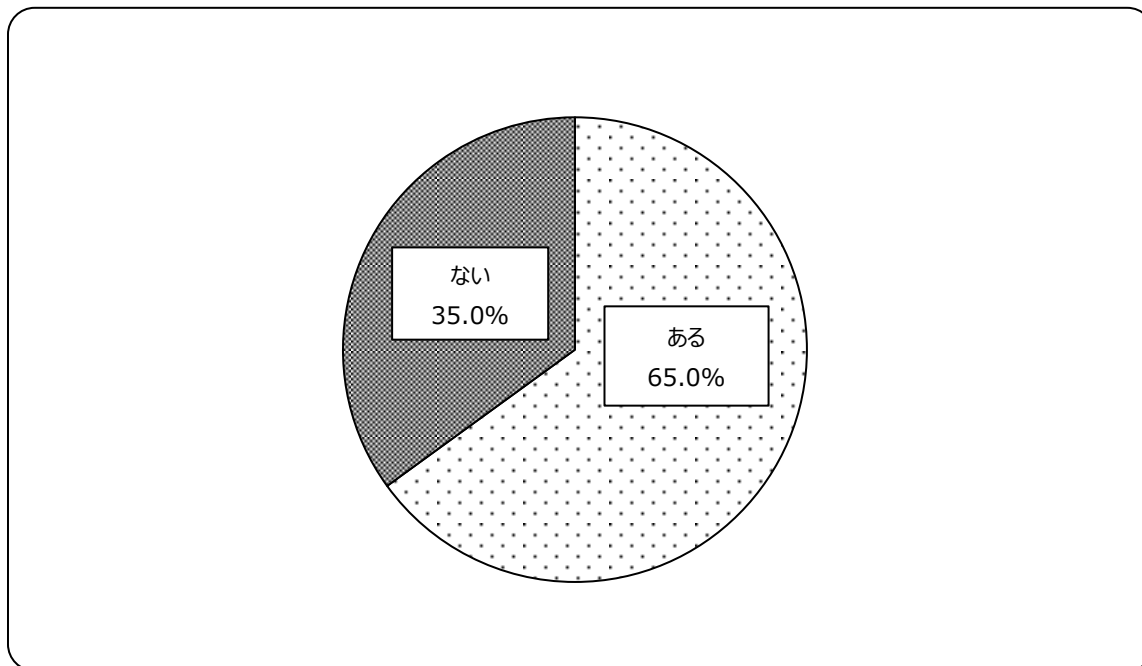
4. 中百舌鳥駅前北側広場の活性化について

「中百舌鳥駅前北側広場の利用状況」

問 36. 中百舌鳥駅前北側広場（以下、「駅前北側広場」という。）を訪れたことはありますか。 【選択は 1 つ】

中百舌鳥駅前北側広場を訪れたことが「ある」が 65.0%となっている。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	ある	303	65.0%
2	ない	163	35.0%
	計 (回答総数)	466	100.0%



≪駅前北側広場の利用目的≫

問 37. 問 36 で「1 ある」と回答された方に伺います。目的地へ向かう際どのような目的で駅前北側広場を利用されることが多いですか。 【選択は 1 つ】

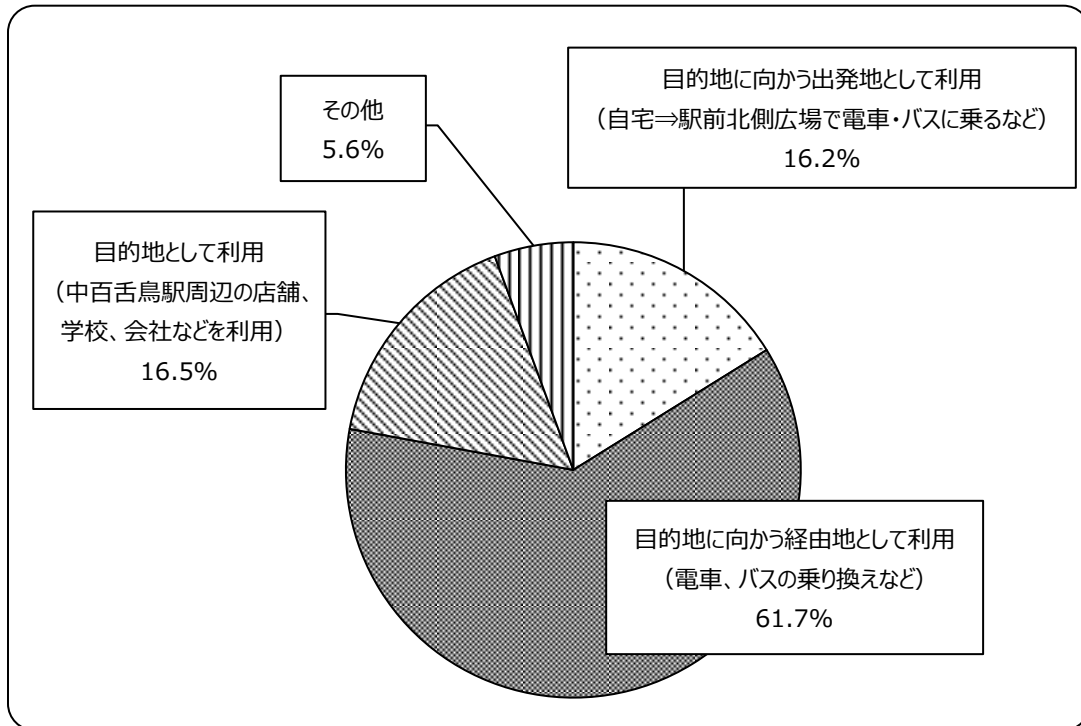
「目的地に向かう経路地として利用（電車、バスの乗り換えなど）」が 61.7%となっており、電車やバスの乗換など経路地としての利用目的が多い傾向である。

	選択項目 (N=303)	回答数	構成比
1	目的地に向かう出発地として利用（自宅⇒駅前北側広場で電車・バスに乗るなど）	49	16.2%
2	目的地に向かう経路地として利用（電車、バスの乗り換えなど）	187	61.7%
3	目的地として利用（中百舌鳥駅周辺の店舗、学校、会社などを利用）	50	16.5%
4	その他	17	5.6%
	計（回答総数）	303	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- 送迎
- 待ち合わせ場所として利用
- 近くの公共施設でのセミナーや講演会に行く時



◀ 駅前北側広場の利用目的の種別 ▶

問 38. 問 36 で「1 ある」と回答された方に伺います。問 37 の目的地で、主にすることは何ですか。【選択は 1 つ】

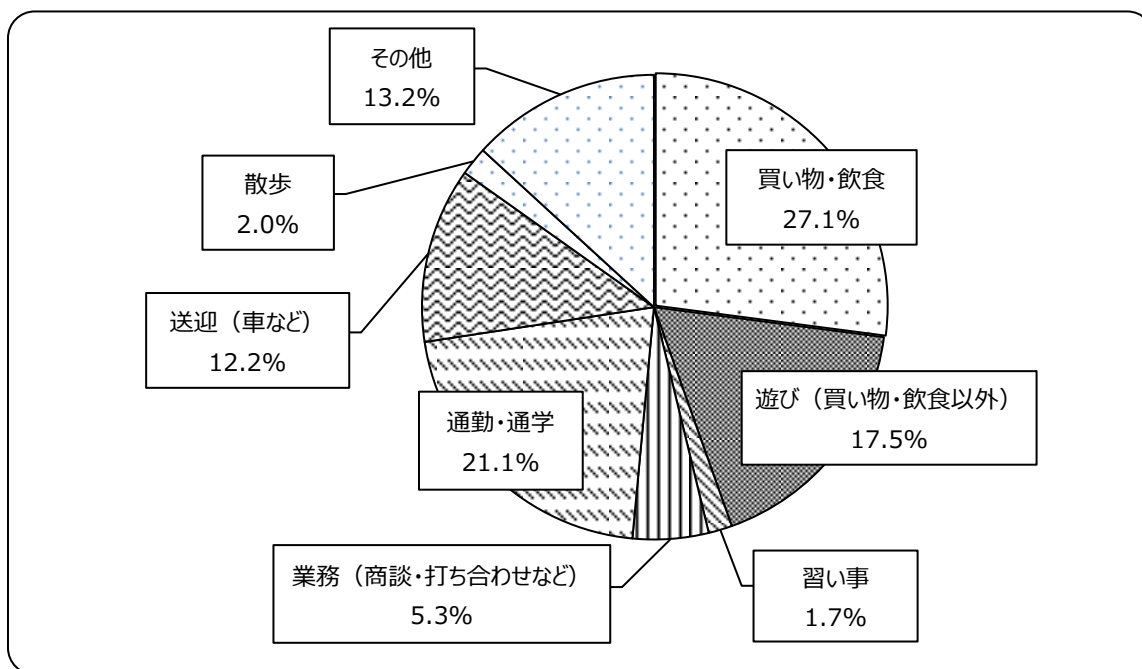
「買い物・飲食」が 27.1%、「通勤・通学」が 21.1%、「遊び（買い物・飲食以外）」が 17.5%となっており、「買い物・飲食」、「遊び」の利用目的が多い傾向である。

	選択項目 (N=303)	回答数	構成比
1	買い物・飲食	82	27.1%
2	遊び（買い物・飲食以外）	53	17.5%
3	習い事	5	1.7%
4	業務（商談・打ち合わせなど）	16	5.3%
5	通勤・通学	64	21.1%
6	送迎（車など）	37	12.2%
7	散歩	6	2.0%
8	その他	40	13.2%
	計（回答総数）	303	100.0%

[8 その他]

【主な回答】

- 研修
- 病院
- 銀行
- 鉄道の乗換え
- 講演会



◀駅前北側広場の課題▶

問 39. 問 36 で「1 ある」と回答された方に伺います。駅前北側広場で課題と思うことは何ですか。【選択は 1 つ】

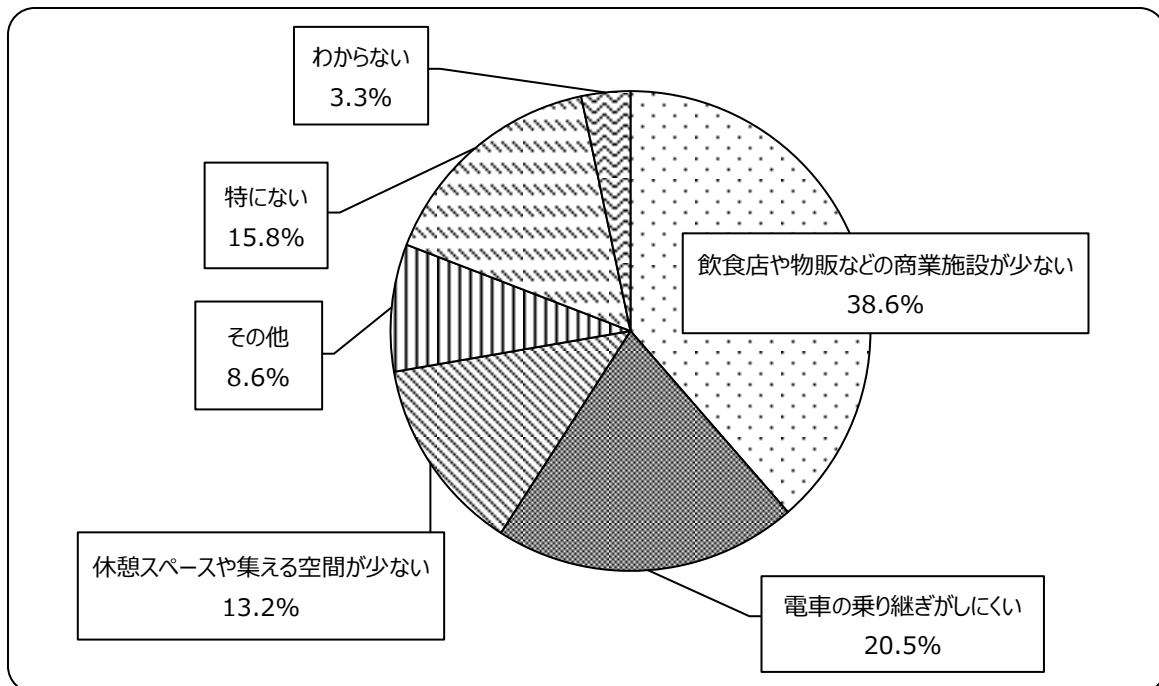
「飲食店や物販などの商業施設が少ない」が 38.6%、「電車の乗り継ぎがしにくい」が 20.5%となっており、商業機能の充実や乗継改善に向けた検討が必要である。

	選択項目 (N=303)	回答数	構成比
1	飲食店や物販などの商業施設が少ない	117	38.6%
2	電車の乗り継ぎがしにくい	62	20.5%
3	休憩スペースや集える空間が少ない	40	13.2%
4	その他	26	8.6%
5	特にない	48	15.8%
6	わからない	10	3.3%
	計 (回答総数)	303	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- 広場の活用
- 喫煙所が乗り換え場所や待合わせ場所に近く、子どもに悪影響で使いにくい。そもそも皆が利用する便利な位置でタバコを吸えることが問題
- 特色が無い。
- 自転車で来てお店を利用したい場合でも停める場所がないので利用できない。
- 自然がない。いかにも人工的
- スケボーしたり、溜まり場になる時間があり、ガラが悪い雰囲気がある。
- 車での送迎の時、一時停車する場所がない。バスの支障になることが多い。



《駅前北側広場の賑わい機能》

問 40. 問 36 で「1 ある」と回答された方に伺います。駅前北側広場がより賑わう空間となるためには、どのような機能や環境があればよいと思いますか。 【複数選択可：2 つまで】

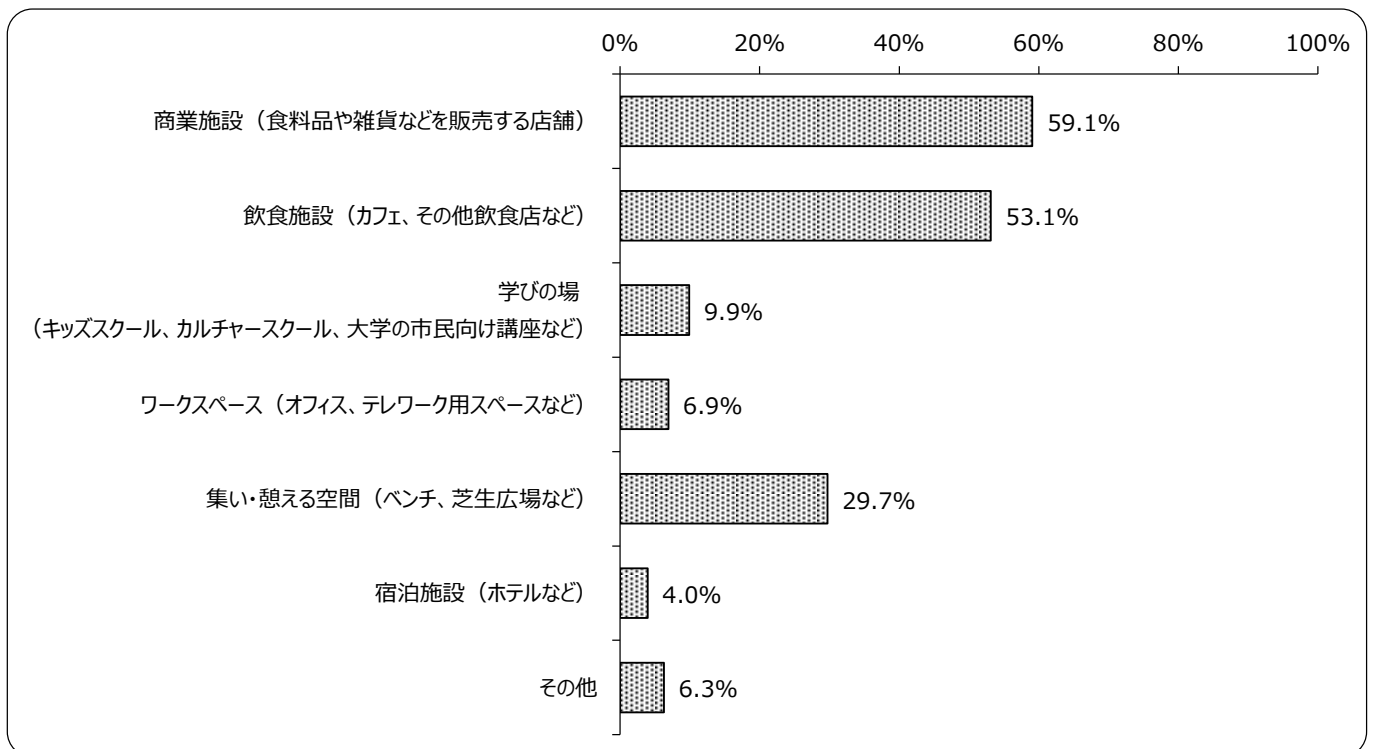
「商業施設（食料品や雑貨などを販売する店舗）」が 59.1%、飲食施設（カフェ、その他飲食店など）が 53.1%、「集い・憩える空間（ベンチ、芝生広場など）」が 29.7%となっており、商業、飲食施設や集い・憩える空間の充実を図る必要がある。

	選択項目 (N=303)	回答数	回答数/N
1	商業施設（食料品や雑貨などを販売する店舗）	179	59.1%
2	飲食施設（カフェ、その他飲食店など）	161	53.1%
3	学びの場（キッズスクール、カルチャースクール、大学の市民向け講座など）	30	9.9%
4	ワークスペース（オフィス、テレワーク用スペースなど）	21	6.9%
5	集い・憩える空間（ベンチ、芝生広場など）	90	29.7%
6	宿泊施設（ホテルなど）	12	4.0%
7	その他	19	6.3%

[7 その他]

【主な回答】

- 遊び場、室内スポーツ
- 小さい子どもでも安全に過ごせる芝生スペース
- 便利な乗換え
- 中百舌鳥駅のターミナル機能を高めるために全電車を停めて、乗降客数を増やすこと。
- 図書館



「駅前北側広場のウォーカブルな空間の創出」

問 41. 問 36 で「1 ある」と回答された方に伺います。駅前北側広場において、ウォーカブル（居心地がよく歩きたくなる）な空間を創出するためには、どのような機能や環境があればよいと思いますか。 【選択は 1 つ】

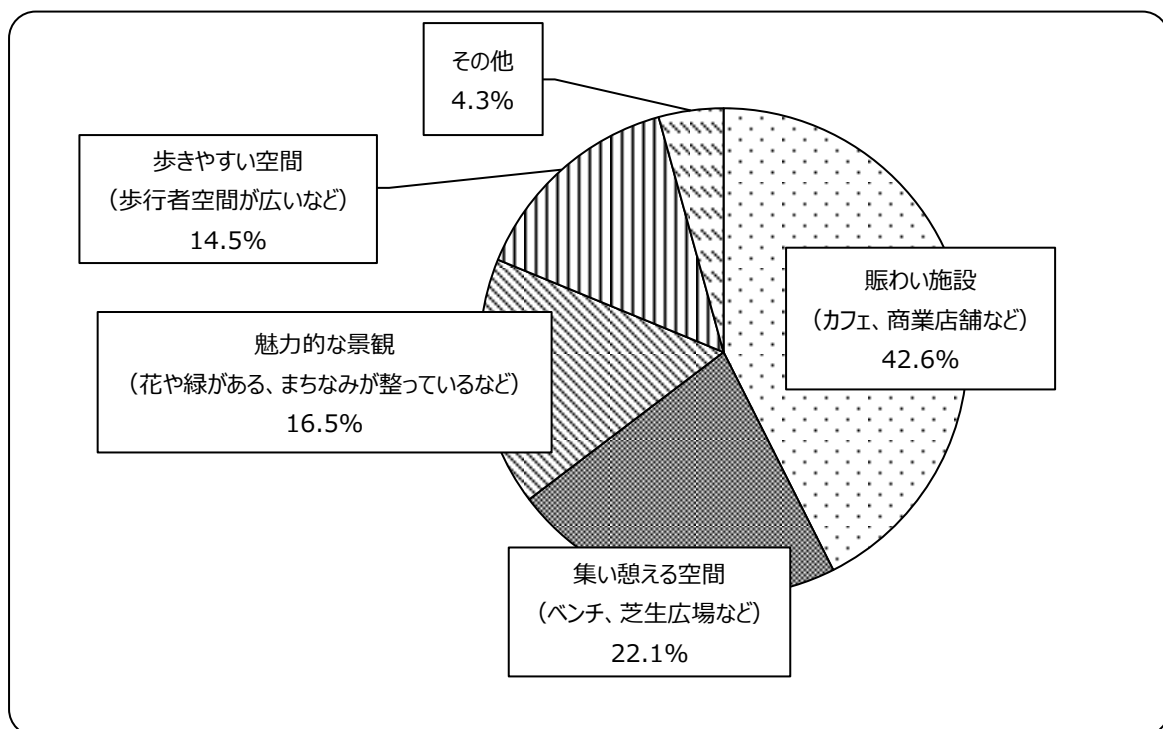
「賑わい施設（カフェ、商業店舗など）」が42.6%、「集い憩える空間（ベンチ、芝生広場など）」が22.1%となっており、賑わい施設だけでなく、集い憩える空間の充実を図る必要がある。

	選択項目 (N=303)	回答数	構成比
1	賑わい施設（カフェ、商業店舗など）	129	42.6%
2	集い憩える空間（ベンチ、芝生広場など）	67	22.1%
3	魅力的な景観（花や緑がある、まちなみが整っているなど）	50	16.5%
4	歩きやすい空間（歩行者空間が広いなど）	44	14.5%
5	その他	13	4.3%
	計（回答総数）	303	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 日差し、雨を避けるための屋根の拡充
- ガラス張りのカフェに iPad を広げている学生が風景としてあれば、意識が高まるのではないかと。中学生スペース、高校生スペースなどがあると互いに意識し合い、良い空間になるのではないかと。
- 清潔感
- 子どもが遊べる広場だとママ同士集まりやすい。
- 交通量が多いので子育て世代は子どもの安全を考えると行きにくい。
- 喫煙所の撤去



「一般的な駅前広場の賑わい機能」

問 42. 問 36 で「2 ない」と回答された方に伺います。一般的な駅前広場において、より賑わう空間にするためには、どのような機能や環境があればよいと思いますか。 【複数選択可：2 つまで】

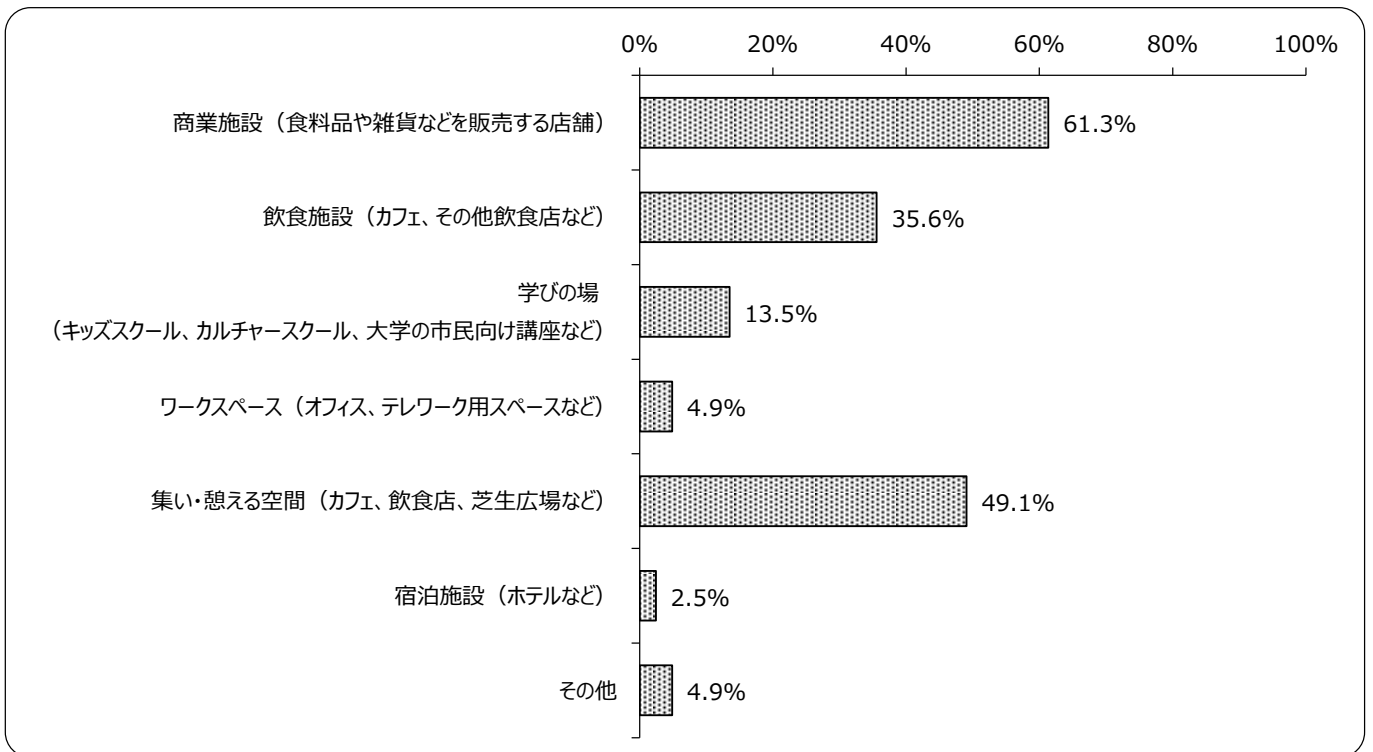
「商業施設（食料品や雑貨などを販売する店舗）」は 61.3%、「集い・憩える空間（カフェ、飲食店、芝生広場など）」は 49.1%、飲食施設（カフェ、その他飲食店など） 35.6%となっている。このことから、商業施設だけではなく、集い・憩える空間の充実を図る必要がある。

	選択項目 (N=163)	回答数	回答数/N
1	商業施設（食料品や雑貨などを販売する店舗）	100	61.3%
2	飲食施設（カフェ、その他飲食店など）	58	35.6%
3	学びの場（キッズスクール、カルチャースクール、大学の市民向け講座など）	22	13.5%
4	ワークスペース（オフィス、テレワーク用スペースなど）	8	4.9%
5	集い・憩える空間（カフェ、飲食店、芝生広場など）	80	49.1%
6	宿泊施設（ホテルなど）	4	2.5%
7	その他	8	4.9%

[7 その他]

【すべての回答】

- 公共の図書館や公民館や公園など
- スターバックス
- 特にターゲットとする年齢層による。
- 多目的な広場。子どもが遊べる日、高齢者向けの企画の日、キッチンカーが集まって出店している日など
- 公的機関や金融機関の窓口
- 泉北パンジョみたいなイベント
- 天王寺みたいな公園 & カフェが必要とは思えない。
- 行くことがないので興味ない。



「一般的な駅前空間のウォーカブルな空間の創出」

問 43. 問 36 で「2 ない」と回答された方に伺います。一般的な駅前広場で、ウォーカブル（居心地がよく歩きたくない）な空間を創出するためには、どのような機能や環境があればよいと思いますか。 【選択は 1 つ】

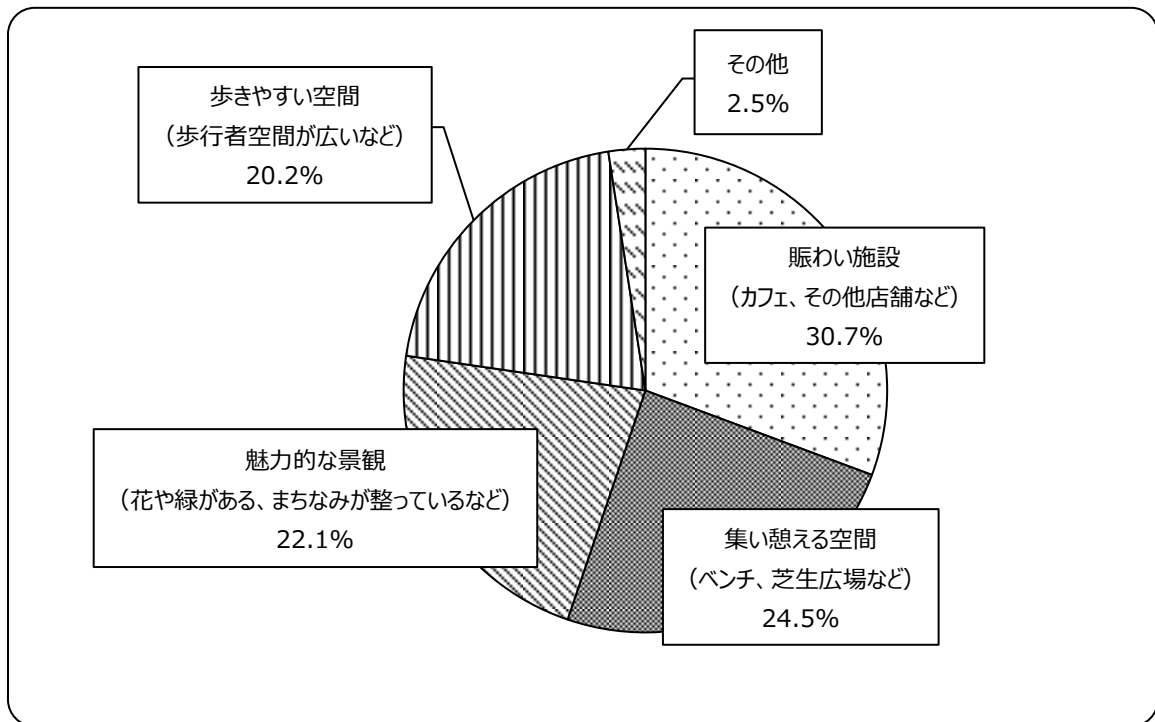
「賑わい施設（カフェ、その他店舗など）」が 30.7%、「集い憩える空間（ベンチ、芝生広場）」が 24.5%、「魅力的な景観（花や緑がある、まちなみが整っているなど）」が 22.1%、歩きやすい空間（歩行者空間が広い）が 20.2%となっている。このことから、カフェやベンチ、芝生広場など効果的な機能配置が必要である。

	選択項目 (N=163)	回答数	構成比
1	賑わい施設（カフェ、その他店舗など）	50	30.7%
2	集い憩える空間（ベンチ、芝生広場など）	40	24.5%
3	魅力的な景観（花や緑がある、まちなみが整っているなど）	36	22.1%
4	歩きやすい空間（歩行者空間が広いなど）	33	20.2%
5	その他	4	2.5%
	計（回答総数）	163	100.0%

[5 その他]

【すべての回答】

- 親子で楽しめる公園やイベントスペース
- 車のない社会
- 排除アートやスケートボード対策を適切に用いて、歩行者が利用者として適切かつ清潔に利用できる空間
- 休憩の出来るベンチなどがあり、治安が良い空間



《駅前北側広場に望む将来イメージについて》

問 44. 問 36 で「1 ある」と回答された方に伺います。これからの駅前北側広場に望むイメージは何ですか。

【選択は 1 つ】

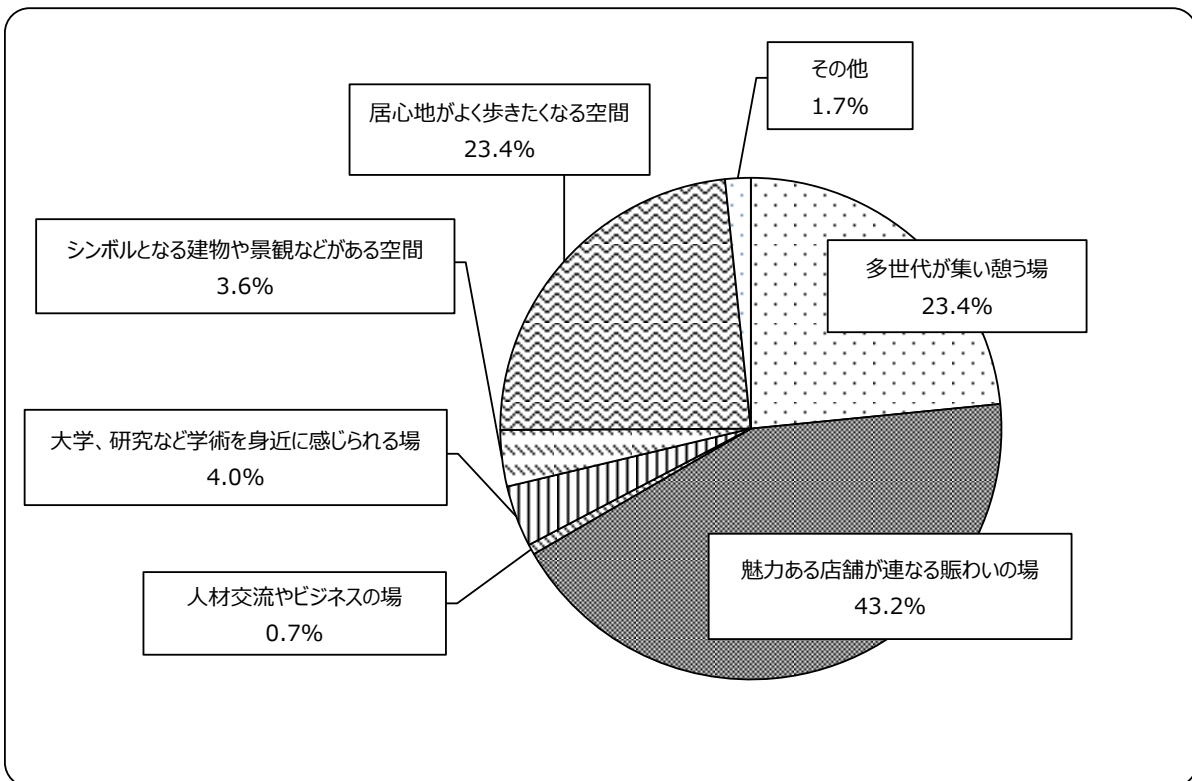
「魅力ある店舗が連なる賑わいの場」が 43.2%、「多世代が集い憩う場」が 23.4%、「居心地がよく歩きたくなる空間」が 23.4%となっており、店舗による賑わい機能だけではなく、集い憩える空間や居心地がよい空間といった環境を併せ持つことが必要である。

	選択項目 (N=303)	回答数	構成比
1	多世代が集い憩う場	71	23.4%
2	魅力ある店舗が連なる賑わいの場	131	43.2%
3	人材交流やビジネスの場	2	0.7%
4	大学、研究など学術を身近に感じられる場	12	4.0%
5	シンボルとなる建物や景観などがある空間	11	3.6%
6	居心地がよく歩きたくなる空間	71	23.4%
7	その他	5	1.7%
	計 (回答総数)	303	100.0%

[7 その他]

【すべての回答】

- タバコの煙が気にならない空間
- 花や木々のある緑豊かな自然のある所
- 予算があったとしても、そもそも人が集まり居心地のいい空間になぜしたいのかわかりません。
- 今のままでよし。お金かけないで
- 興味なし



≪駅前広場の魅力向上について≫

問 45. 駅前北側広場において、人が訪れるような魅力的な駅前広場にするためのアイデアなどがありましたらご記入ください。 【自由記述】

「カフェ、飲食店、スーパーなどの商業施設」「芝生広場、イベントスペースなどの滞在空間」「いろいろな世代が癒される景色」などの意見があった。今後、より人が訪れるような魅力的な駅前広場になるよう検討する。

紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載しています。

【商業施設（飲食・物販など）について】

- 飲食店・レストラン・レストラン専門テナントビル
- 大型フードコート
- スーパーマーケット、食の安全にこだわったスーパー
- 大阪天王寺公園エントランスエリア“てんしば”のようなスペース
- 書店
- 公設民営の書店
- デパート
- ショッピングモール
- ドラッグストア
- ワーキングスペース
- 複合施設
- イベント広場
- おしゃれなカフェ
- 子どもから大人が楽しめるアミューズメント
- 屋台村を作って中洲のような観光名所
- 新大久保のコリア、横浜の中華街、西葛西のインドカレー、駅前広場の〇〇街ベトナムとのコラボ
- 堺市の歴史を活かした千利休の落ち着いた店舗街をつったり、面白さにふったハニワストリート
- 堺の歴史を感じる体験できるもの。堺のお菓子などを取り入れたカフェや軽食ができるもの
- 駐車スペースが少なく、送迎利用が主。留まれる場所が少なく、電車の乗り継ぎ利用ばかりになりがち。
- 大阪市内のような「歩行者天国」は不要。賑わいにより、商業施設もでき、納品が必要となるが、車両が歩行者天国により妨げられ、配送が困難となり、運賃に跳ね返り、商品に転嫁、賑わいの衰退につながるから。

【交流・滞在空間について】

- カフェ・ブックカフェ・オープンカフェ
- イベント・イベントスペース
- 子どもが遊べる広場
- 公園
- 簡易な遊具やベンチ
- アーケード、雨・日差しを避ける屋根、全天候型のプロムナード
- 歩行者天国にする
- フリーマーケット
- 花・花壇、緑地化
- 緑豊かな居心地の良い空間
- ビルの上に芝生

- 子どもが遊べる芝生広場
- 三国ヶ丘のような屋上庭園
- 遊んだり、寝そべるような芝生
- キッチンカー、マルシェ
- 足湯
- 自由にひけるピアノ
- いろいろなパフォーマーに開放する。
- タレントのミニコンサート、漫才
- 歩行者優先の作りにする。
- ラーメン博など食べ歩きができるエリア
- 音楽やアートも楽しめる休憩スペース
- Jazz フェスティバルやコーヒーフェスティバルなどのイベントの定期開催
- 大学の研究発表など。人工で池や小川を自然に近い環境を造って、生きものに住んでもらう。
- 電動車いすが通れる作りにする。

【交通利便性について】

- 急行の中百舌鳥停車
- 泉北高速鉄道の地下鉄への乗入れ
- 地下鉄の駅と南海高野線の駅とを地下で繋げる。
- 南海高野線の高架化
- 南海高野線の地下化
- 南海電車の運賃が他の私鉄に比べて高い。
- 鳳までの地下鉄の延伸
- バスの整備

【景観について】

- 桜並木、紅葉など、綺麗な景色を作る。
- いろいろな世代が癒される景色を作る。
- 学生が多い場所なので、学生が楽しめる所にする。
- 学生から子どもまで皆がくつろげる泉ヶ丘の広場のような人工芝の小山を作る。
- 綺麗に保ち、マナーが悪い人がたむろしないようにする。
- スケボーや電動キックボードの禁止

【公共施設（図書館など）について】

- 図書館、図書館分館
- 児童館

【学びの場について】

- 生涯学習の場にする。
- 複数の大学のサテライトキャンパスの誘致
- 堺の産業の歴史の時系列展示や学習施設の設置
- 職業への学習意欲や職業訓練の設置

【宿泊施設について】

- 中百舌鳥駅は交通機関の接点としての強みがあるため、駅前北側広場に隣接するリーズナブルなホテル
- 観光拠点として生かすため、ホテルの建設

【駐車場関係について】

- 送迎用の有料一時駐車スペース

【自転車関係について】

- 自転車を気軽に置ける駐輪場の整備
- 路上駐輪を減少させる。
- 自転車の通り道を正確に決めてほしい。
- 広場内の自転車を含む車輛の走行を一切禁止する。

【喫煙スペースについて】

- 喫煙スペースの撤去
- 中百舌鳥駅の一定範囲を禁煙エリアにする。
- トイレがあるので、清潔な感じがあまりしない。

【イノベーション施設について】

- 安い賃貸店舗を沢山作り、若者がチャレンジしやすいようにする。コンテストをして、優秀な人材に援助をして、新しいタイプの街にする。

【その他】

- オープンミーティングなどを実施し、住民の要望を聞く。
- スポーツ施設、バッティングセンター
- 中百舌鳥をゴールにした堺市ぐるっとスタンプラリー
- ドッグラン、ドッグカフェ
- 無料ネットカフェや無料 Wi-Fi 施設
- 多様な手土産が購入できる店舗
- 子どもが電車好きなので、電車を見られるような空間
- 「広場は地上に作るもの」という感覚はいらないので、屋上に施設を整備。例えば、Wi-Fi 環境の整った芝生広場やフットサルやバスケットボールが行える小規模施設。あるいは、レンタル型の屋上農園とし、そこで採れた農作物をマルシェで販売。地方の朝市や道の駅をイメージした施設。
- 民間企業の誘致
- 出店を希望する若者を募集し、チャレンジショップとしての場所の提供。そのまま街を散策できるような古代衣装のレンタルショップ
- パワースポットになるようなものを作る。
- 待ち合わせ場所になるようなシンボル、例えば、八二ワ部長の銅像の設置
- 堺市産業振興センターの一体開発による堺市の南部玄関先の魅力向上
- 大阪公立大学方面が閑散としているので、バス停留所の設置
- 鳳公園のような防災機能もある見通しのよい公園
- 避難場所にもなるようにする。

- 交番の設置
- 今のままでよい。特になし
- そんな必要性あるのか
- 中百舌鳥は住む場所の拠点。杓子定規に商業的な魅力を付け足さないといけないわけではない。
- 人は電車の乗降でもう集まっている。人と自転車がごちゃごちゃになっていて、夜が少し怖い感じがする。殺風景で駅の端から端まで歩くととても遠く感じる。
- 南北ともにぎわいを増加させるのは大変難しい。

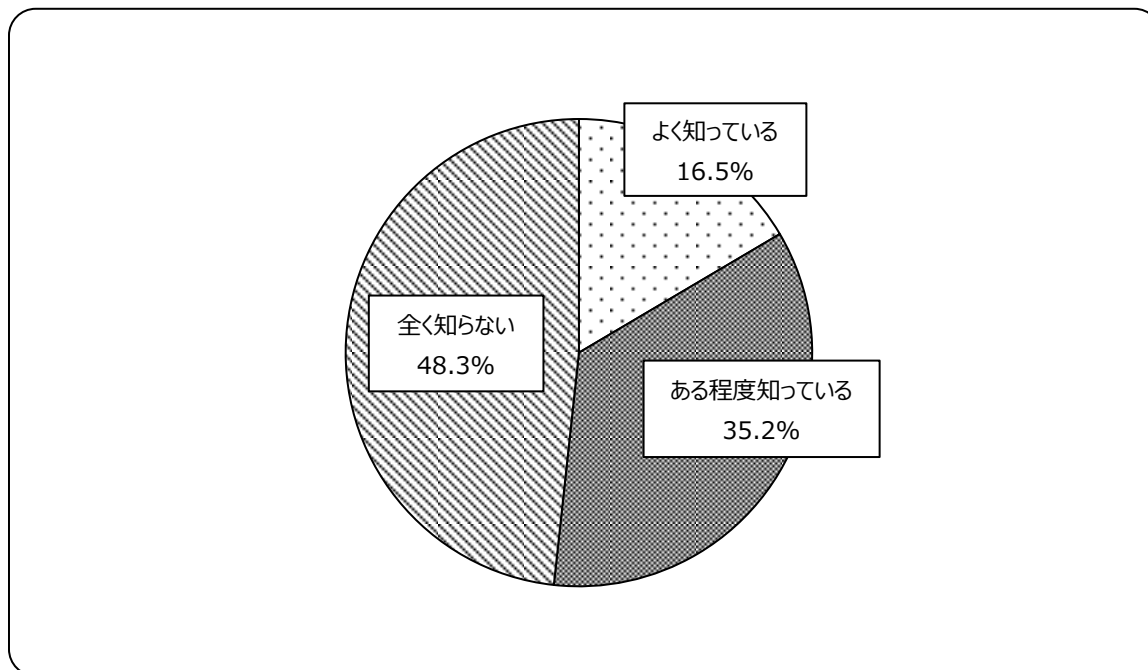
5. 環濠都市堺の再生事業について

◀濠の名残（内川・土居川）の認知度▶

問 46. 本市には、環濠都市の名残である濠（内川・土居川）があることを知っていますか。 【選択は 1 つ】

「よく知っている」「ある程度知っている」が 51.7%となっており、半数以上の方に知られている。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	よく知っている	77	16.5%
2	ある程度知っている	164	35.2%
3	全く知らない	225	48.3%
	計 (回答総数)	466	100.0%

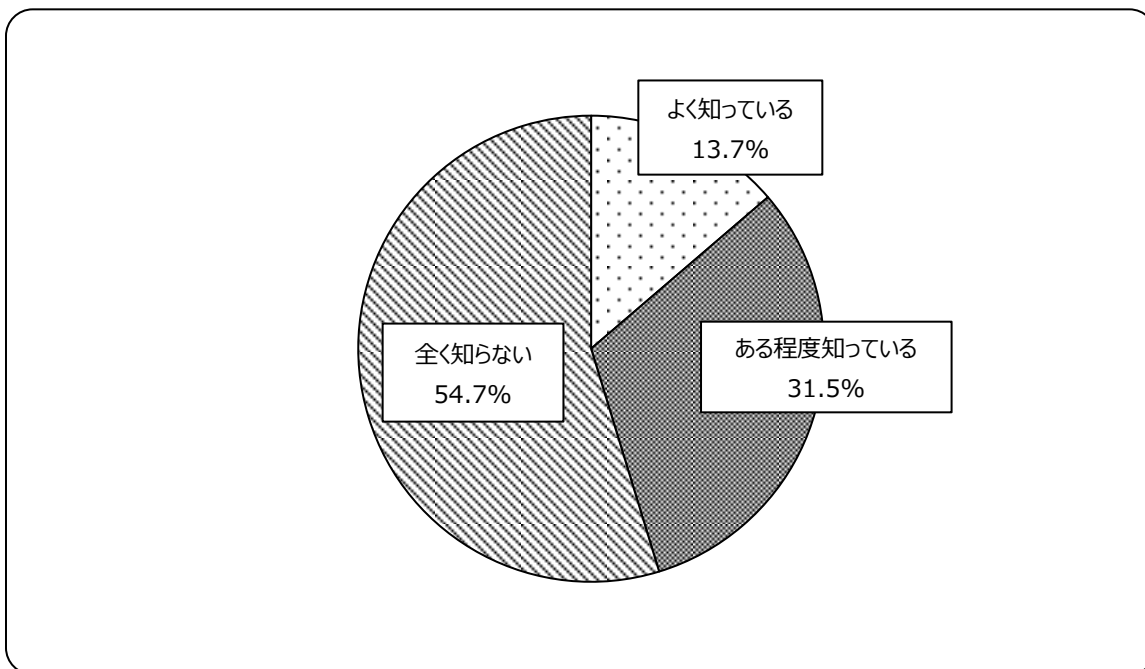


◀環濠都市の認知度▶

問 47. 本市には、かつて戦乱から身を守るために豪商たちが町の周囲を濠で囲った環濠都市が存在していたことを知っていますか。 【選択は 1 つ】

「全く知らない」が 54.7%で、半数以上の方に知られていない。歴史的背景とあわせた広報が必要であると考えられる。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	よく知っている	64	13.7%
2	ある程度知っている	147	31.5%
3	全く知らない	255	54.7%
	計 (回答総数)	466	100.0%

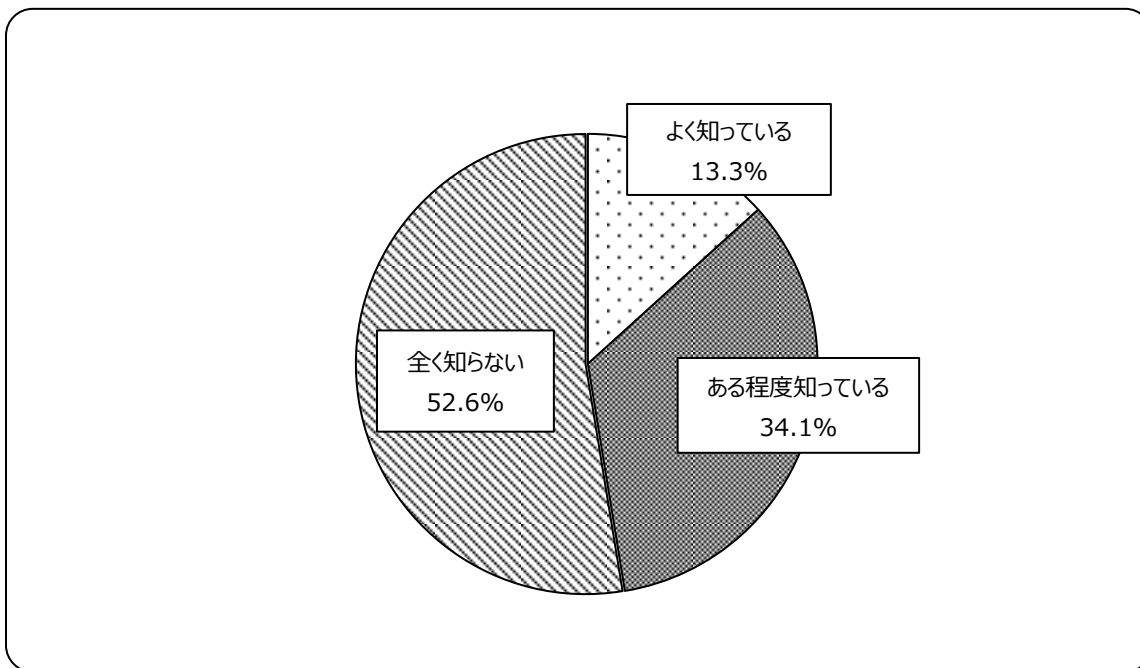


◀環濠エリアの認知度▶

問 48. 現在の環濠エリアには、江戸時代から戦前までの建築物やまちなみの一部、内川・土居川など、環濠都市の面影を残すものが存在することを知っていますか。 【選択は1つ】

「全く知らない」が 52.6%で、半数以上の方に知られていない。今後、現存する歴史的資源について知ってもらう取組が必要であると考えられる。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	よく知っている	62	13.3%
2	ある程度知っている	159	34.1%
3	全く知らない	245	52.6%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「散策を目的とした環濠エリアへの来訪経験の有無」

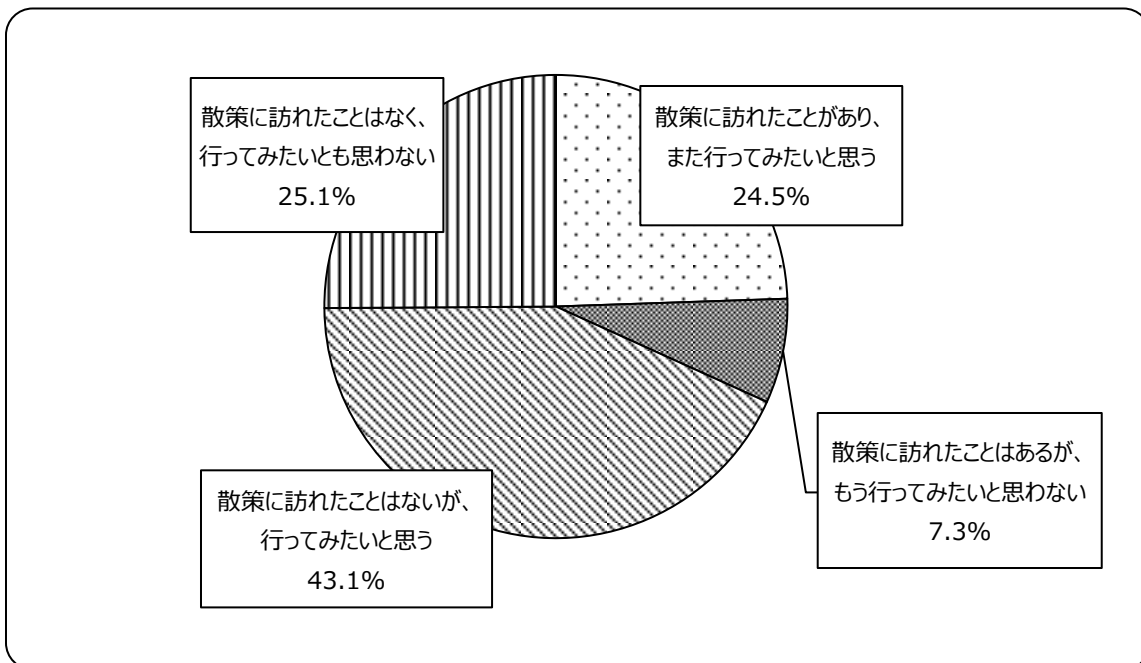
問 49. この環濠エリアに、歴史・文化資源やまちなみの見学、飲食といった「散策」を目的に、訪れたことはありますか（通勤・通学や日常的な買い物などは除く）。
 エリア内にお住まいの方は、通勤・通学や日常的な買い物以外で、エリア内を散策したことがあるかお答えください。 【選択は 1 つ】

散策を目的に訪れたことのある人の割合は、「散策に訪れたことがあり、また行ってみたいと思う」「散策に訪れたことはあるが、もう行ってみたいと思わない」が 31.8%となっている。

散策に訪れてみたいと思っている人の割合は、「散策に訪れたことがあり、また行ってみたいと思う」「散策に訪れたことはないが、行ってみたいと思う」が 67.6%となっている。

環濠エリアに対する関心はあることから、今後、地域資源を活かし、より多くの方々を惹きつける都市魅力を備えることで来訪者の増加につながると考える。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	散策に訪れたことがあり、また行ってみたいと思う	114	24.5%
2	散策に訪れたことはあるが、もう行ってみたいと思わない	34	7.3%
3	散策に訪れたことはないが、行ってみたいと思う	201	43.1%
4	散策に訪れたことはなく、行ってみたいと思わない	117	25.1%
	計 (回答総数)	466	100.0%



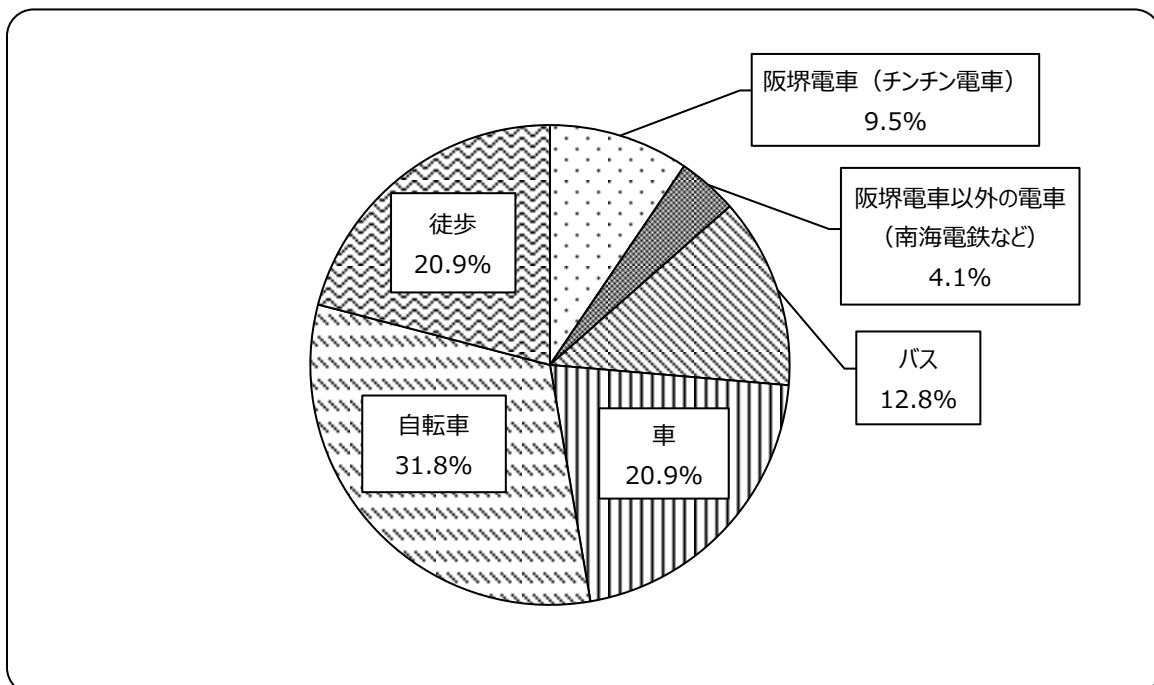
◀環濠エリアへの来訪手段▶

問 50. 問 49 で「1 散策に訪れたことがあり、また行ってみたいと思う」または「2 散策に訪れたことはあるが、もう行ってみたいと思わない」と回答された方に伺います。環濠エリアへは主にどの交通手段で訪れましたか。

【選択は 1 つ】

「自転車」が 31.8%と最も多く、次いで、「車」と「徒歩」の 20.9%となっている。「自転車」「徒歩」が、52.7%となっており、比較的近くの方が環濠エリアを訪れていると考えられる。

	選択項目 (N=148)	回答数	構成比
1	阪堺電車 (チンチン電車)	14	9.5%
2	阪堺電車以外の電車 (南海電鉄など)	6	4.1%
3	バス	19	12.8%
4	車	31	20.9%
5	自転車	47	31.8%
6	徒歩	31	20.9%
7	その他	0	0.0%
	計 (回答総数)	148	100.0%



◀環濠エリアへの散策目的▶

問 51. 問 49 で「1 散策に訪れたことがあり、また行ってみたいと思う」または「2 散策に訪れたことはあるが、もう行ってみたいと思わない」と回答された方に伺います。何を目的に散策に訪れましたか。

【複数選択可：いくつでも】

「町家などによる歴史的なまちなみ」が 70.3%と最も多く、次いで「線香や包丁、和菓子などの伝統製品の買い物」が 31.1%、「社寺や歴史文化資源」が 30.4%となっている。

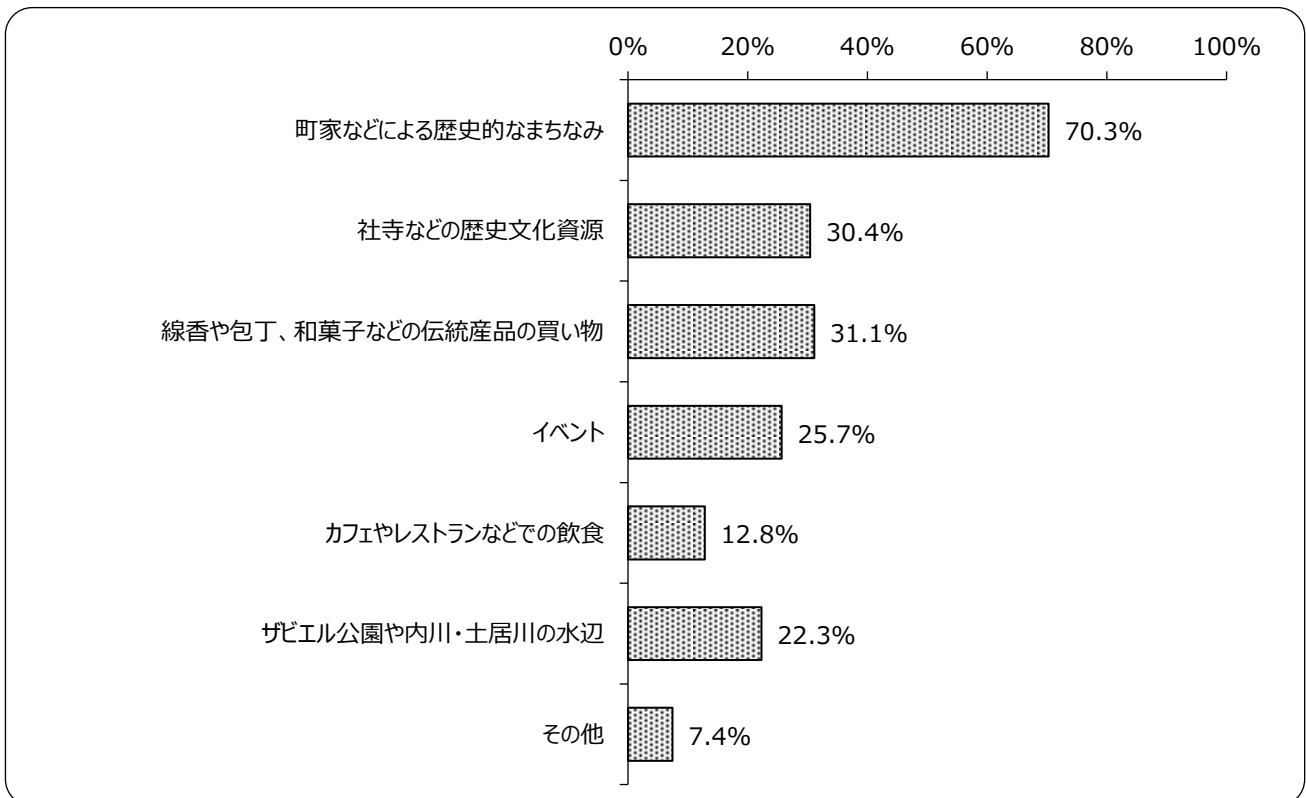
「線香や包丁、和菓子などの伝統製品の買い物」の多かったのは、具体的にくるみ餅とけし餅であった。

	選択項目 (N=148)	回答数	回答数/N
1	町家などによる歴史的なまちなみ	104	70.3%
2	社寺などの歴史文化資源	45	30.4%
3	線香や包丁、和菓子などの伝統製品の買い物	46	31.1%
4	イベント	38	25.7%
5	カフェやレストランなどでの飲食	19	12.8%
6	ザビエル公園や内川・土居川の水辺	33	22.3%
7	その他	11	7.4%

[7 その他]

【主な回答】

- スタンプラリー
- 仕事



◀環濠エリアへの散策意向▶

問 52. 問 49 で「1 散策に訪れたことがあるし、また行ってみたいと思う」または「3 散策に訪れたことはないが、行ってみたいと思う」と回答された方に伺います。今後、どのような目的で散策に訪れたいと思いますか。

【複数選択可：3 つまで】

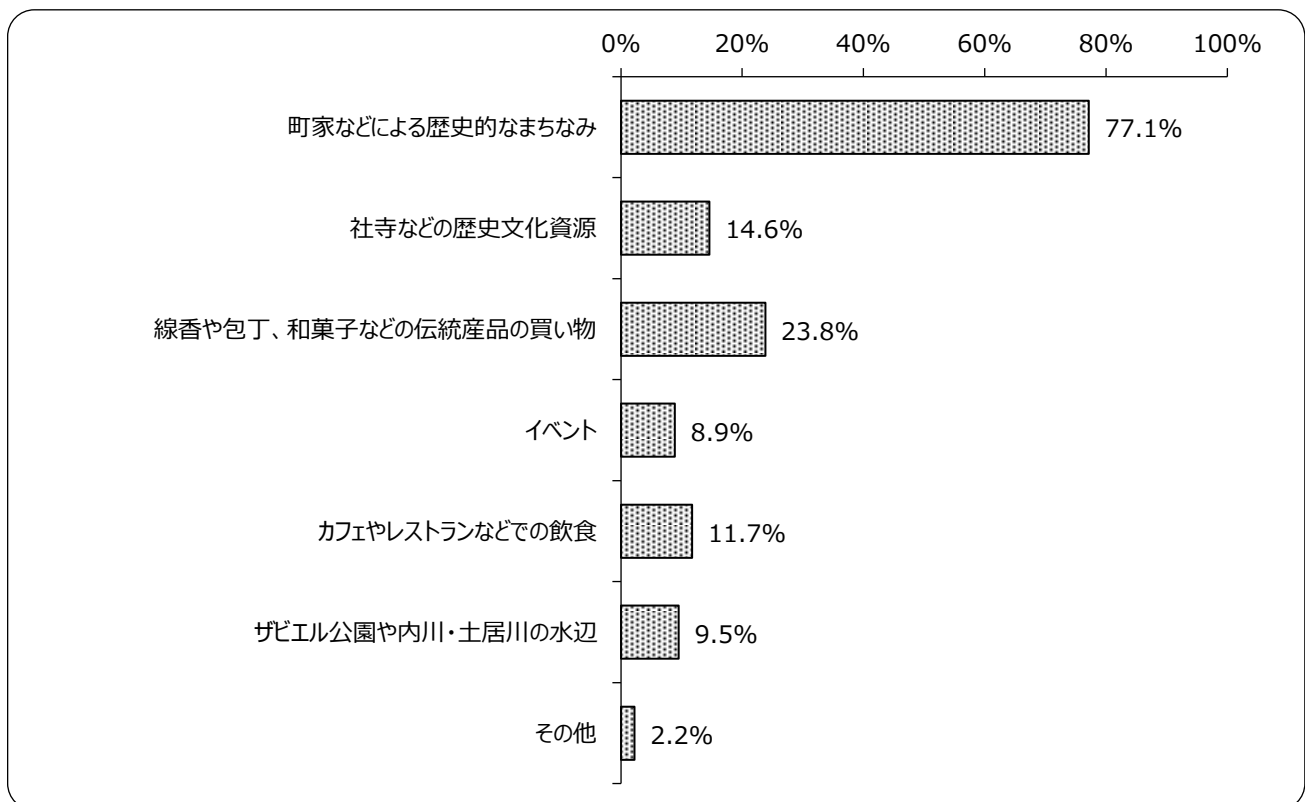
「町家などによる歴史的なまちなみ」が 77.1%と圧倒的に多く、次いで「線香や包丁、和菓子などの伝統製品の買い物」の 23.8%となっている。

	選択項目 (N=315)	回答数	回答数/N
1	町家などによる歴史的なまちなみ	243	77.1%
2	社寺などの歴史文化資源	46	14.6%
3	線香や包丁、和菓子などの伝統製品の買い物	75	23.8%
4	イベント	28	8.9%
5	カフェやレストランなどでの飲食	37	11.7%
6	ザビエル公園や内川・土居川の水辺	30	9.5%
7	その他	7	2.2%

[7 その他]

【主な回答】

- スタンプラリー
- 町の移り変わりを見たり、雰囲気を楽しむ
- 子どもが参加できるウォークラリー
- 河原の景色



◀環濠エリアを訪れたくない理由▶

問 53. 問 49 で「2 散策を訪れたことはあるが、もう行ってみたいと思わない」または「4 散策を訪れたことはない、行ってみたいと思わない」と回答された方に伺います。散策を訪れたいと思わないのはなぜですか。

【複数選択可：3 つまで】

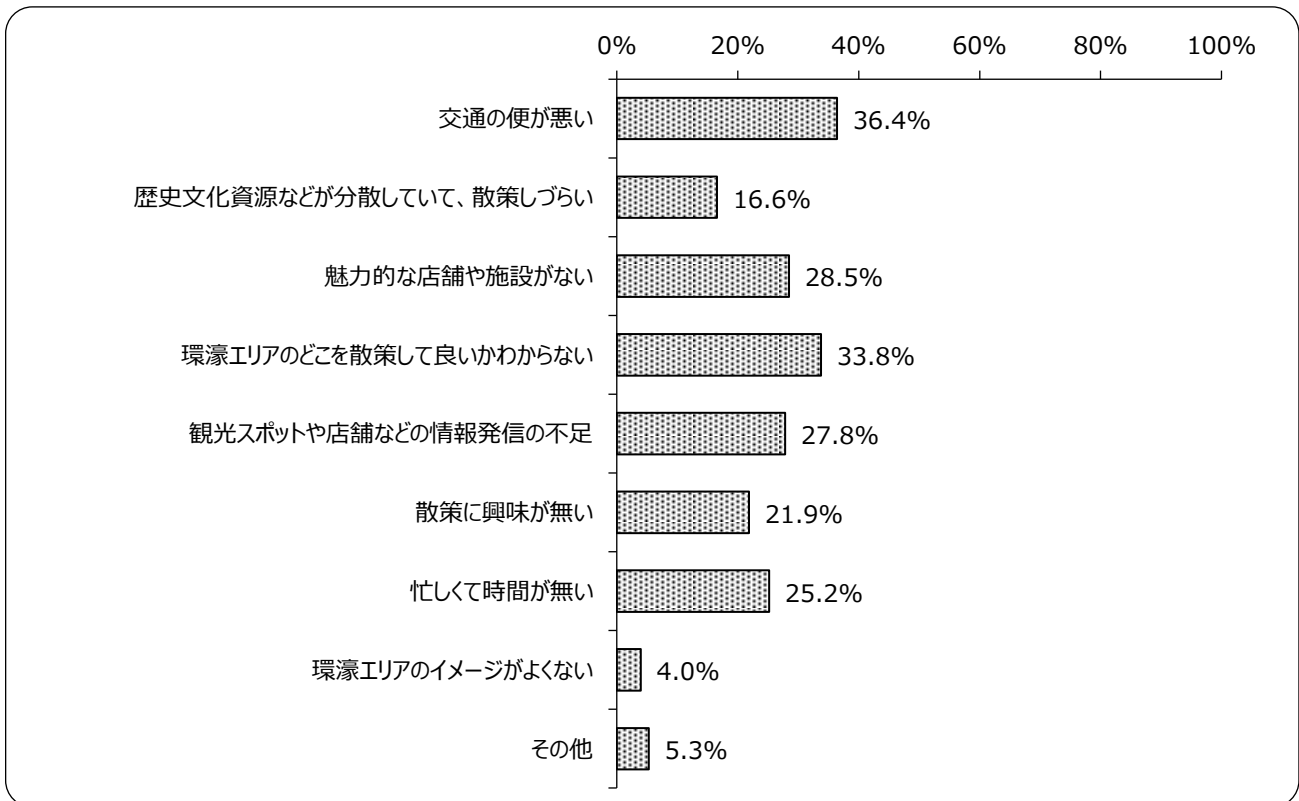
「交通の便が悪い」が 36.4%と最も多く、次いで「環濠エリアのどこを散策して良いかわからない」の 33.8%、「魅力的な店舗や施設がない」の 28.5%となっている。「環濠エリアのどこを散策して良いかわからない」「魅力的な店舗や施設がない」「観光スポットや店舗などの情報発信不足」などの意見が多い。歴史文化資源や魅力的な店舗などの情報を発信する必要がある。

	選択項目 (N=151)	回答数	回答数/N
1	交通の便が悪い	55	36.4%
2	歴史文化資源などが分散していて、散策しづらい	25	16.6%
3	魅力的な店舗や施設がない	43	28.5%
4	環濠エリアのどこを散策して良いかわからない	51	33.8%
5	観光スポットや店舗などの情報発信の不足	42	27.8%
6	散策に興味が無い	33	21.9%
7	忙しくて時間が無い	38	25.2%
8	環濠エリアのイメージが良くない	6	4.0%
9	その他	8	5.3%

[9 その他]

【主な回答】

- 子どもが興味をもてない。
- 特に魅力的ではなかった。
- ただの堀だから。歴史的な建物などがない。
- 観光スポットとして、特に目玉的なものが無く、もともと歴史に興味のある人くらいしかターゲットにならない気がする。



「散策を行うきっかけとして重視する点」

問 54. 散策を行うきっかけとして重視する点はどのようなことですか。

【複数選択可：3 つまで】

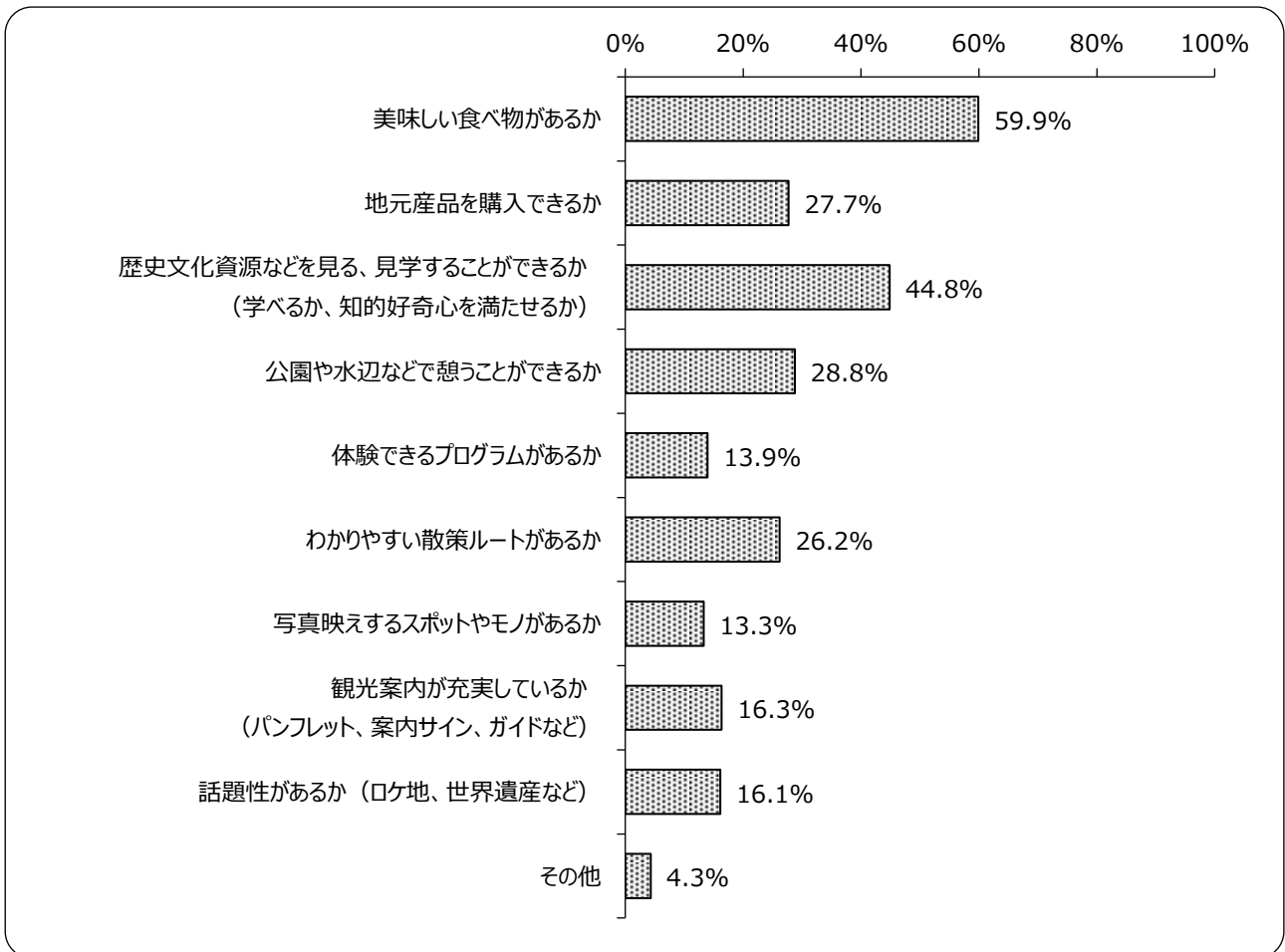
「美味しい食べ物があるか」59.9%と「歴史文化資源などを見る、見学することができるか（学べるか、知的好奇心を満たせるか）」44.8%が多く、次いで「公園や水辺などで憩うことができるか」28.8%となっている。環濠エリア内にある店舗や歴史文化資源、公共空間などを重視する意見が多い。今後はこれらの魅力同士を連携させ、効果的に情報を発信していく必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	美味しい食べ物があるか	279	59.9%
2	地元産品を購入できるか	129	27.7%
3	歴史文化資源などを見る、見学することができるか（学べるか、知的好奇心を満たせるか）	209	44.8%
4	公園や水辺などで憩うことができるか	134	28.8%
5	体験できるプログラムがあるか	65	13.9%
6	わかりやすい散策ルートがあるか	122	26.2%
7	写真映えするスポットやモノがあるか	62	13.3%
8	観光案内が充実しているか（パンフレット、案内サイン、ガイドなど）	76	16.3%
9	話題性があるか（ロケ地、世界遺産など）	75	16.1%
10	その他	20	4.3%

[10 その他]

【主な回答】

- 交通の便が良いこと
- 駐車場幹旋、きれいなトイレのある施設が近いなど子連れで行きやすい環境か
- 安心して散策できる。歩行者と自転車が完全に分離して通行できること
- 治安がよく、明るくて景色がいいこと

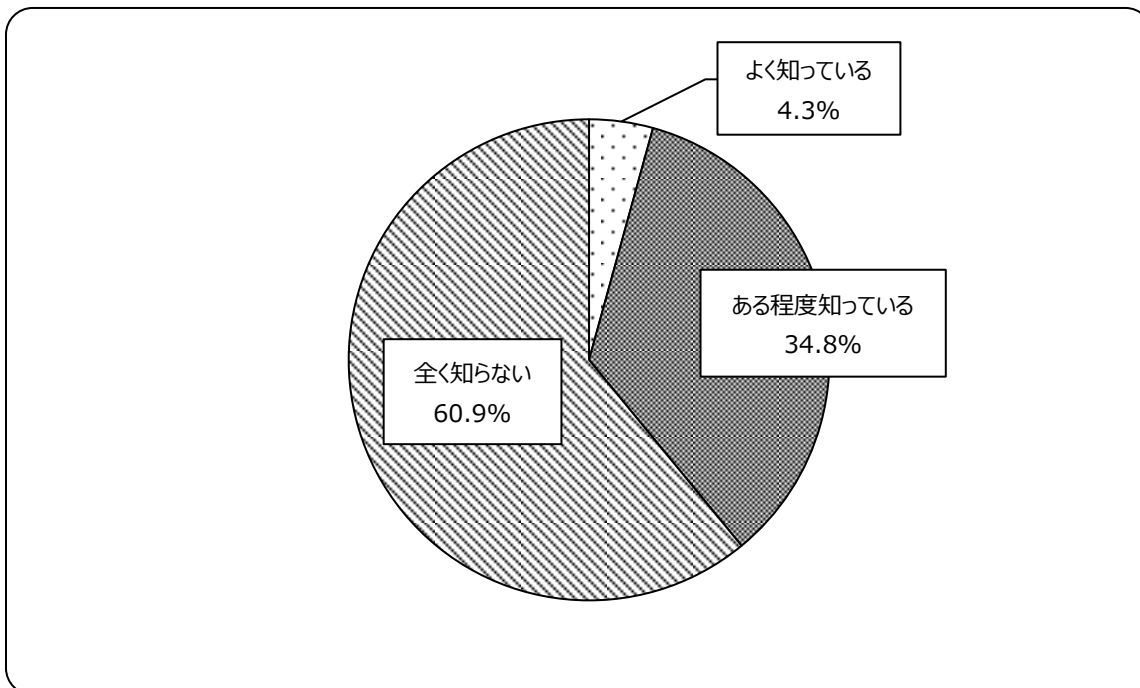


「公共空間利活用に関する取組の認知度」

問 55. 自宅や職場・学校以外で日常的にまちなかで居心地良く過ごすことができ、水辺や公園、通りなどの公共空間を、人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げられるような場へ転換する取組（公共空間利活用）が全国で推進されていることを知っていますか。 【選択は 1 つ】

「全く知らない」が 60.9%で、半数以上の方に知られてない。歴史的背景とあわせた広報が必要である。

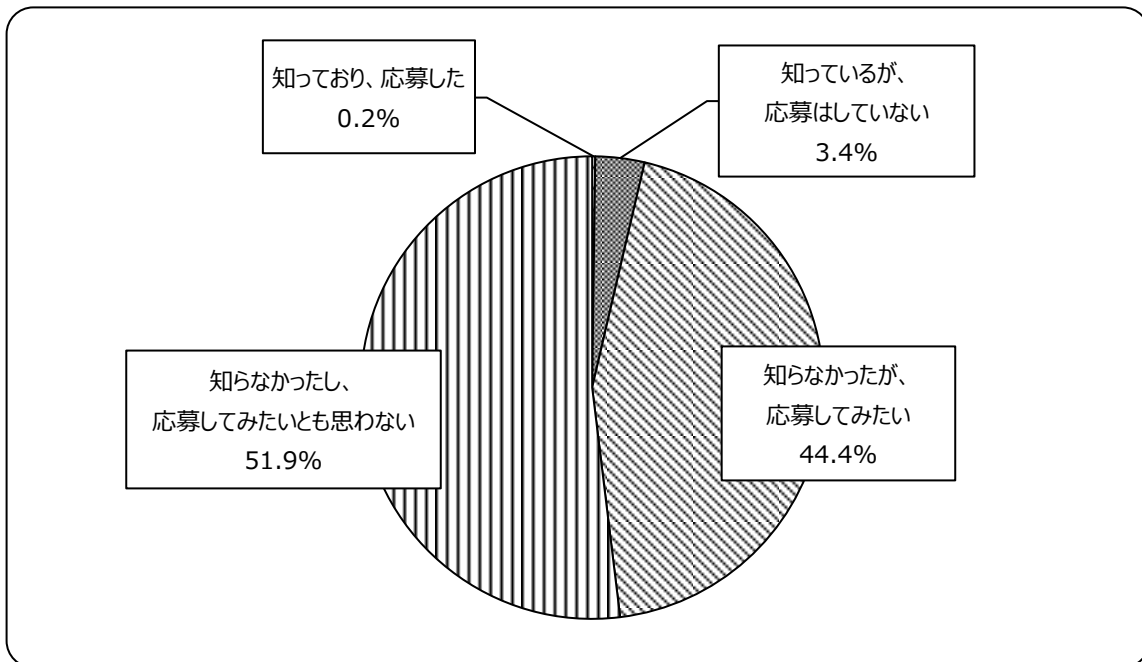
	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	よく知っている	20	4.3%
2	ある程度知っている	162	34.8%
3	全く知らない	284	60.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%



問 56. 環濠エリア内にある水辺や公園、通り、商店街、神社の境内などの公共的な空間のうち、普段から穴場的に利用されている場所や“居心地が良い”“雰囲気がいい”と感じるお気に入りの場所を募集する「環濠マイプレイス」に応募したことがありますか。（令和 4 年 9 月から実施） 【選択は 1 つ】

「知らなかったし、応募してみたいとも思わない」が 51.9%で最も多い。また、「知っているが、応募はしていない」は、3.4%である。単に広報さかいへの掲載、SNS による発信といった方法だけではなく、応募してみたいと思ってもらえる効率的な発信について、検討が必要である。

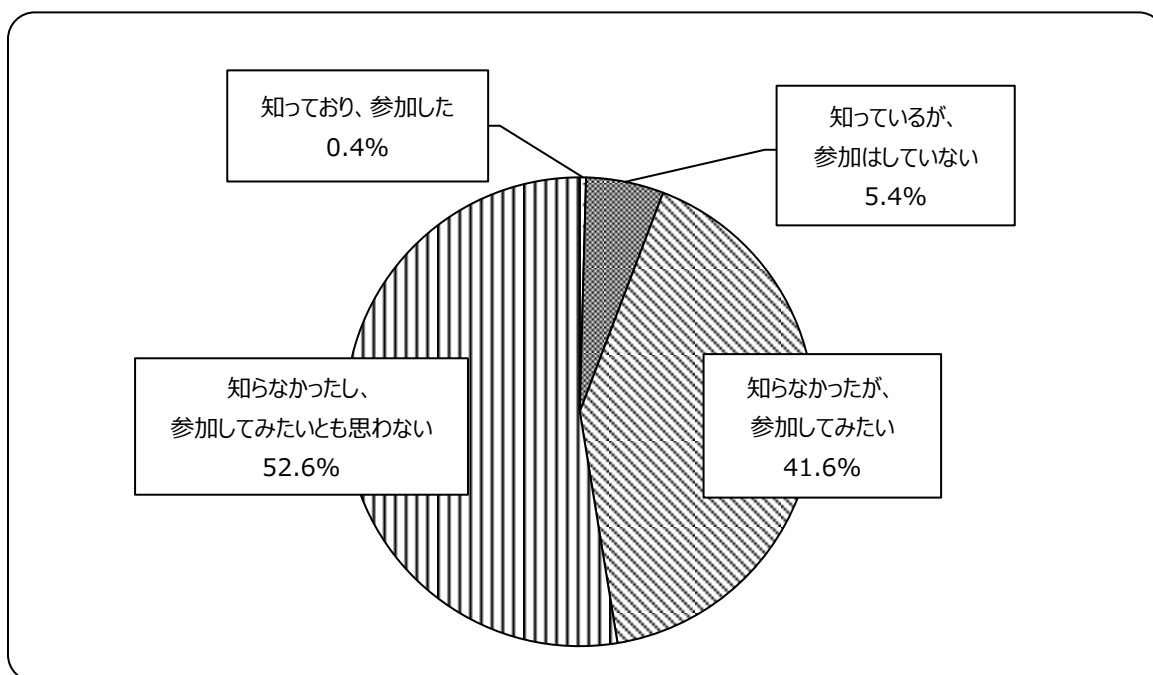
	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っており、応募した	1	0.2%
2	知っているが、応募はしていない	16	3.4%
3	知らなかったが、応募してみたい	207	44.4%
4	知らなかったし、応募してみたいとも思わない	242	51.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%



問 57. ワークショップやフィールドワークを通して環濠エリア内のお気に入りの公共空間を探しながら、その場所の将来のあり方や使い方を市民の皆様と考える「環濠パブリックワークショップ」に参加したことがありますか。
(令和 4 年 9 月から実施) 【選択は 1 つ】

「知らなかったし、参加してみたいと思わない」が 52.6%で最も多い。一方、「知っているが、参加はしていない」は、5.4%である。単に広報さかいへの掲載、SNS による発信といった方法だけではなく、どのような取組を行っているかわかりやすく発信し参加してみたいと思ってもらえるようにすることが必要である。

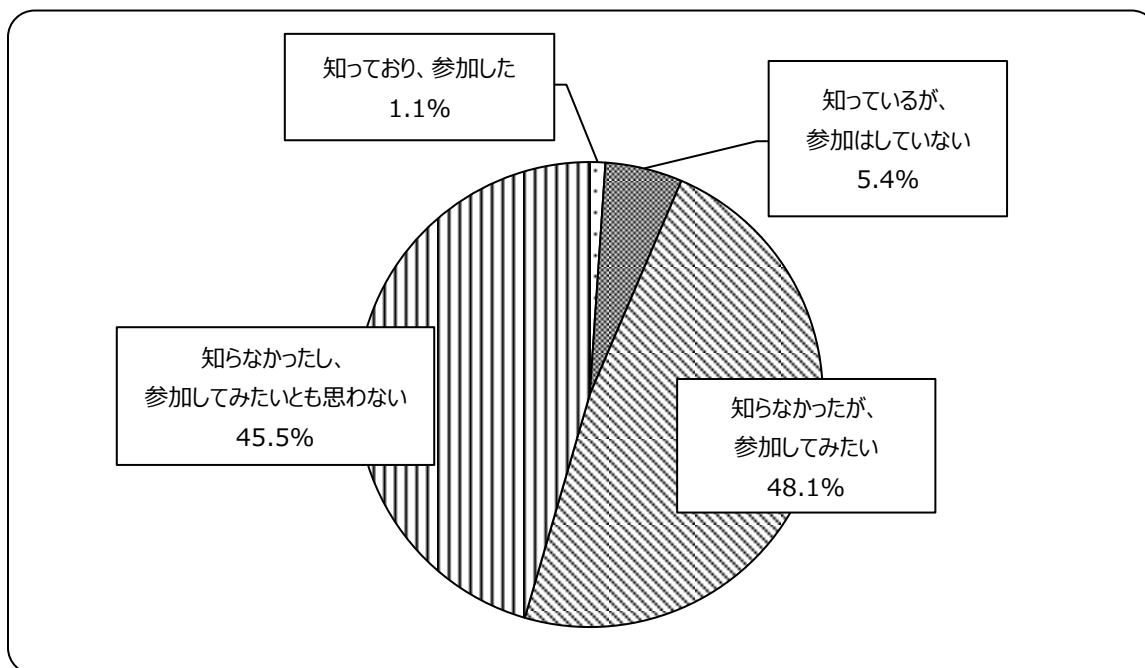
	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っており、参加した	2	0.4%
2	知っているが、参加はしていない	25	5.4%
3	知らなかったが、参加してみたい	194	41.6%
4	知らなかったし、参加してみたいと思わない	245	52.6%
	計 (回答総数)	466	100.0%



問 58. 公共空間での居心地が良い過ごし方や使い方を市民の皆様にご体験してもらおう社会実験に参加したことがありますか。(令和4年11月12日、ザビエル公園・内川河川敷で実施) 【選択は1つ】

「知らなかったが、参加してみたい」が48.1%で最も多い。「知っているが、参加はしていない」は、5.4%である。問56,57の取組と比べると参加してみたい人の割合が最も高いことから社会実験の取組に関しては興味があることがわかる。また、単に広報さかいへの掲載、SNSによる発信といった方法だけではなく、社会実験の取組を継続的にを行い、認知度を上げていくことも重要である。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っており、参加した	5	1.1%
2	知っているが、参加はしていない	25	5.4%
3	知らなかったが、参加してみたい	224	48.1%
4	知らなかったし、参加してみたいと思わない	212	45.5%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「今後の公共空間利活用に関する取組について」

問 59. 今後、環濠エリア内の内川・土居川の水辺や公園を、日常的に人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げられるような場へと転換していくために、積極的に取り組んでいく必要があると思うものは何ですか。

【複数選択可：3つまで】

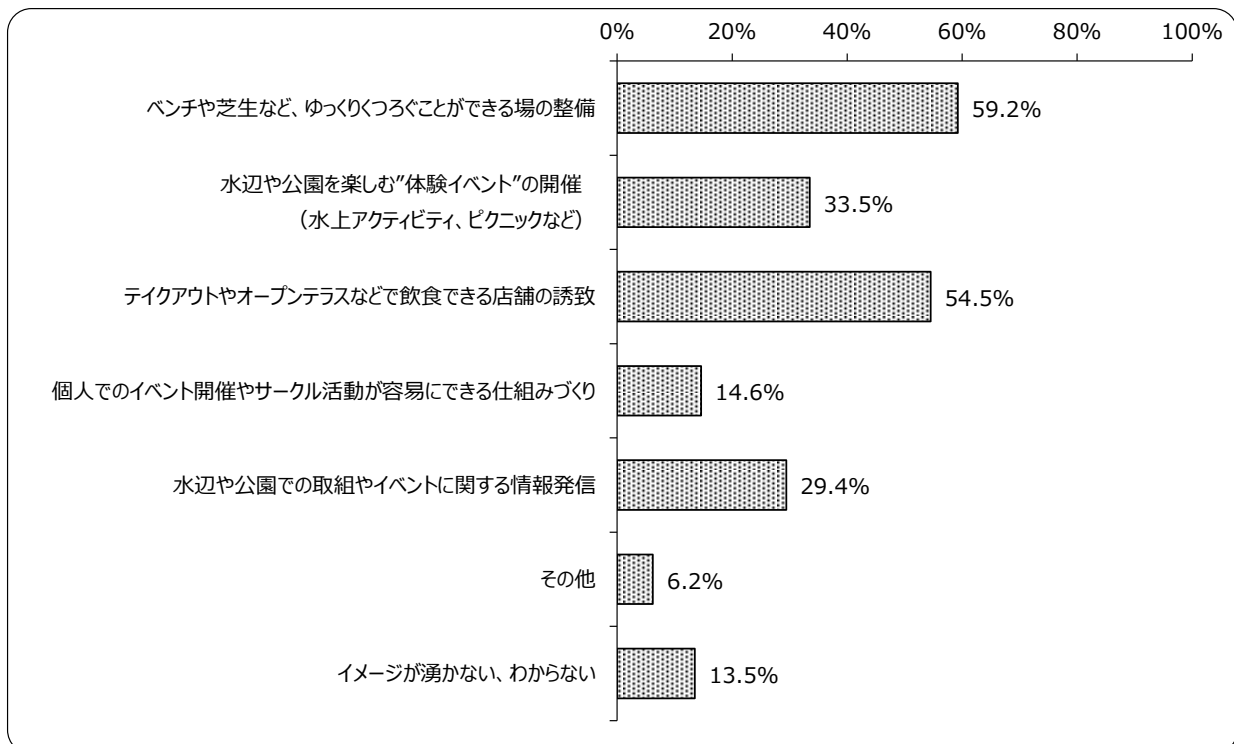
「ベンチや芝生など、ゆっくりくつろぐことができる場の整備」が 59.2%と最も多く、次いで「テイクアウトやオープンテラスなどで飲食できる店舗の誘致」の 54.5%、「水辺や公園を楽しむ”体験イベント”の開催（水上アクティビティ、ピクニックなど）」の 33.5%、「水辺や公園での取組やイベントに関する情報発信」が 29.4%となっている。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	ベンチや芝生など、ゆっくりくつろぐことができる場の整備	276	59.2%
2	水辺や公園を楽しむ”体験イベント”の開催（水上アクティビティ、ピクニックなど）	156	33.5%
3	テイクアウトやオープンテラスなどで飲食できる店舗の誘致	254	54.5%
4	個人でのイベント開催やサークル活動が容易にできる仕組みづくり	68	14.6%
5	水辺や公園での取組やイベントに関する情報発信	137	29.4%
6	その他	29	6.2%
7	イメージが湧かない、わからない	63	13.5%

[6 その他]

【主な回答】

- 水質の改善、清掃、植樹、ライトアップ
- ペットと利用できるカフェ、イベント、トイレ
- きれいで安全なトイレ
- 治安をよくする。
- 魅力的と感じてもらえる宣伝とガイドの常駐手配
- 環濠クルーズの大々的な宣伝
- 綺麗な景色（お花畑など）
- 駐車場
- 集客増加によるマイナス面の地元へのサポート



問 60. 今後、環濠エリア内の大道筋や大小路筋といった大通りの歩道空間を、日常的に人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げられるような場へと転換するために、積極的に取り組んでいく必要があると思うものは何ですか。 **【複数選択可：3 つまで】**

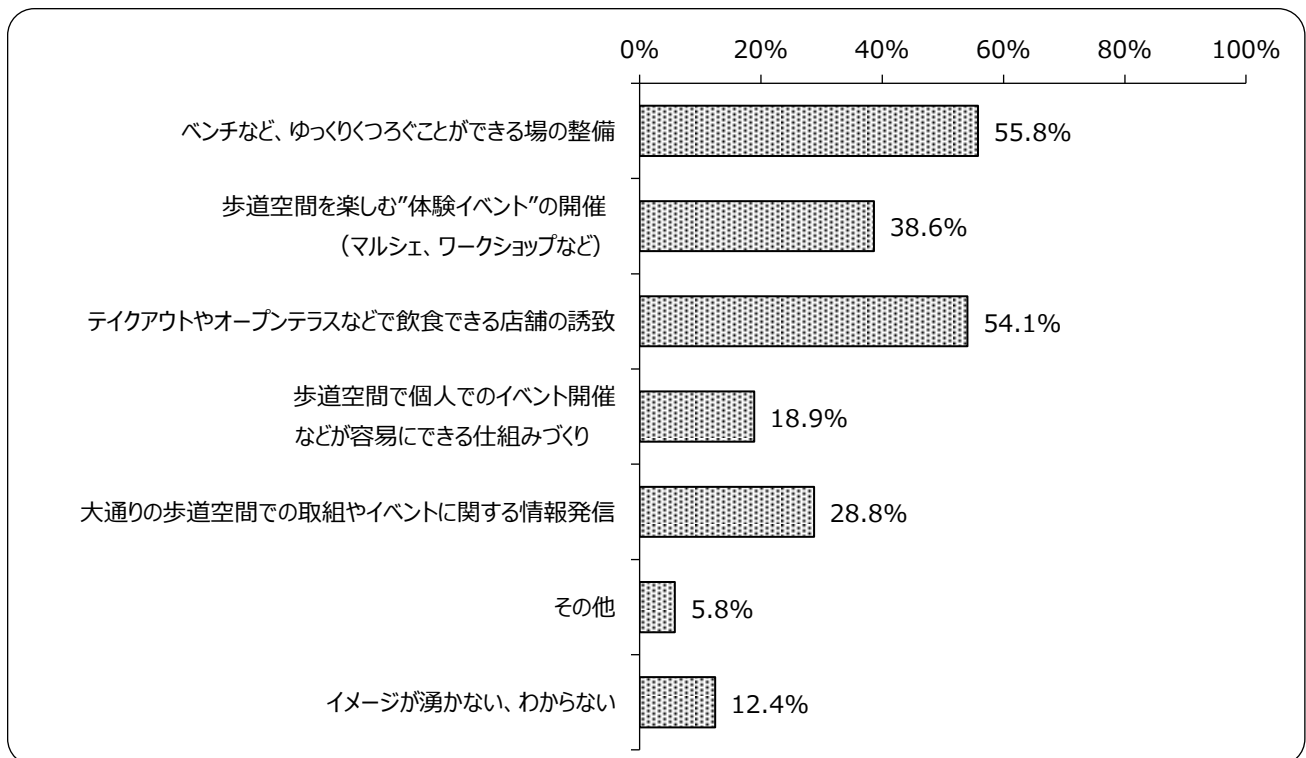
「ベンチや芝生など、ゆっくりくつろぐことができる場の整備」が 55.8%と最も多く、次いで「テイクアウトやオープンテラスなどで飲食できる店舗の誘致」の 54.1%、「歩道空間を楽しむ”体験イベント”の開催（マルシェ、ワークショップなど）」の 38.6%、「大通りの歩道空間での取組やイベントに関する情報発信」が 28.8%となっている。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	ベンチなど、ゆっくりくつろぐことができる場の整備	260	55.8%
2	歩道空間を楽しむ”体験イベント”の開催（マルシェ、ワークショップなど）	180	38.6%
3	テイクアウトやオープンテラスなどで飲食できる店舗の誘致	252	54.1%
4	歩道空間で個人でのイベント開催などが容易にできる仕組みづくり	88	18.9%
5	大通りの歩道空間での取組やイベントに関する情報発信	134	28.8%
6	その他	27	5.8%
7	イメージが湧かない、わからない	58	12.4%

[6 その他]

【主な回答】

- 大小路を歩行者専用として樹木、噴水、花木などの整備
- 車道が広すぎるので有効的に使ってほしい、一車線を歩道にするなど。阪堺電車とのコラボも魅力的になる。
- 交通の便の改善
- 歴史遺産としてもっと広報を行う。
- 治安をよくする。
- LRT の復活
- 環濠エリアではなく堺市全体で取り組んでほしい。
- シャトルバスの運行
- ベビー休憩所の設置



6. ごみ減量化・リサイクル、適正排出について

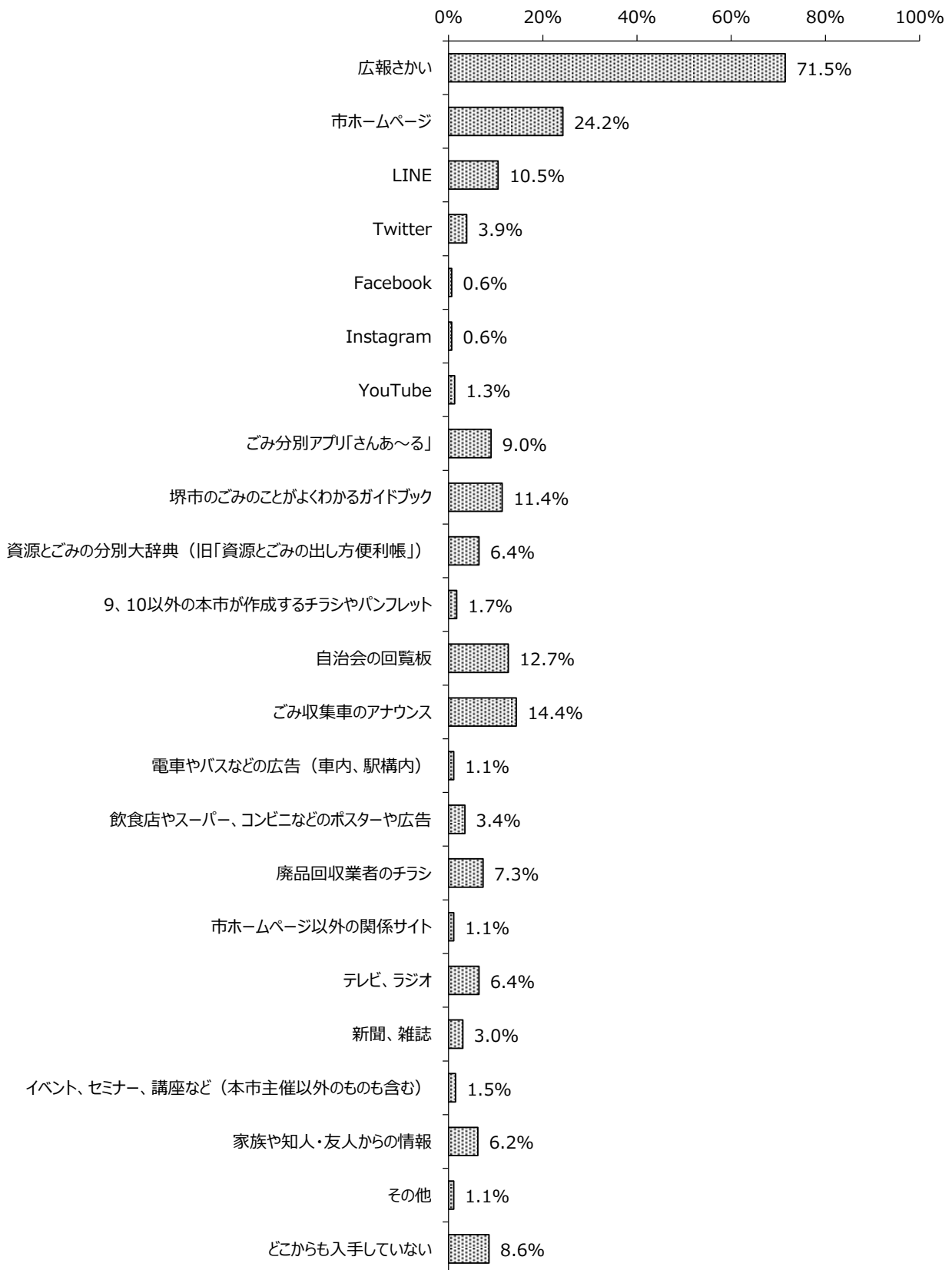
(1) ごみ減量化・リサイクルについて

«ごみ減量化・リサイクルに関する情報の入手方法»

問 61. ごみ減量化・リサイクルに関する情報を、主にどのような方法で入手していますか。【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」が 71.5%と最も高く、次いで「市ホームページ」が 24.2%、「ごみ収集車のアナウンス」が 14.4%、「自治会の回覧板」が 12.7%、「堺市のごみのことがよくわかるガイドブック」が 11.4%となっている。市の広報媒体が主な情報源となっていることから、広報さかいや市ホームページ、ごみ収集車のアナウンスなどを活用して情報発信を継続する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	333	71.5%
2	市ホームページ	113	24.2%
3	LINE	49	10.5%
4	Twitter	18	3.9%
5	Facebook	3	0.6%
6	Instagram	3	0.6%
7	YouTube	6	1.3%
8	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	42	9.0%
9	堺市のごみのことがよくわかるガイドブック	53	11.4%
10	資源とごみの分別大辞典 (旧「資源とごみの出し方便利帳」)	30	6.4%
11	9、10以外の本市が作成するチラシやパンフレット	8	1.7%
12	自治会の回覧板	59	12.7%
13	ごみ収集車のアナウンス	67	14.4%
14	電車やバスなどの広告 (車内、駅構内)	5	1.1%
15	飲食店やスーパー、コンビニなどのポスターや広告	16	3.4%
16	廃品回収業者のチラシ	34	7.3%
17	市ホームページ以外の関係サイト	5	1.1%
18	テレビ、ラジオ	30	6.4%
19	新聞、雑誌	14	3.0%
20	イベント、セミナー、講座など (本市主催以外のもも含む)	7	1.5%
21	家族や知人・友人からの情報	29	6.2%
22	その他	5	1.1%
23	どこからも入手していない	40	8.6%



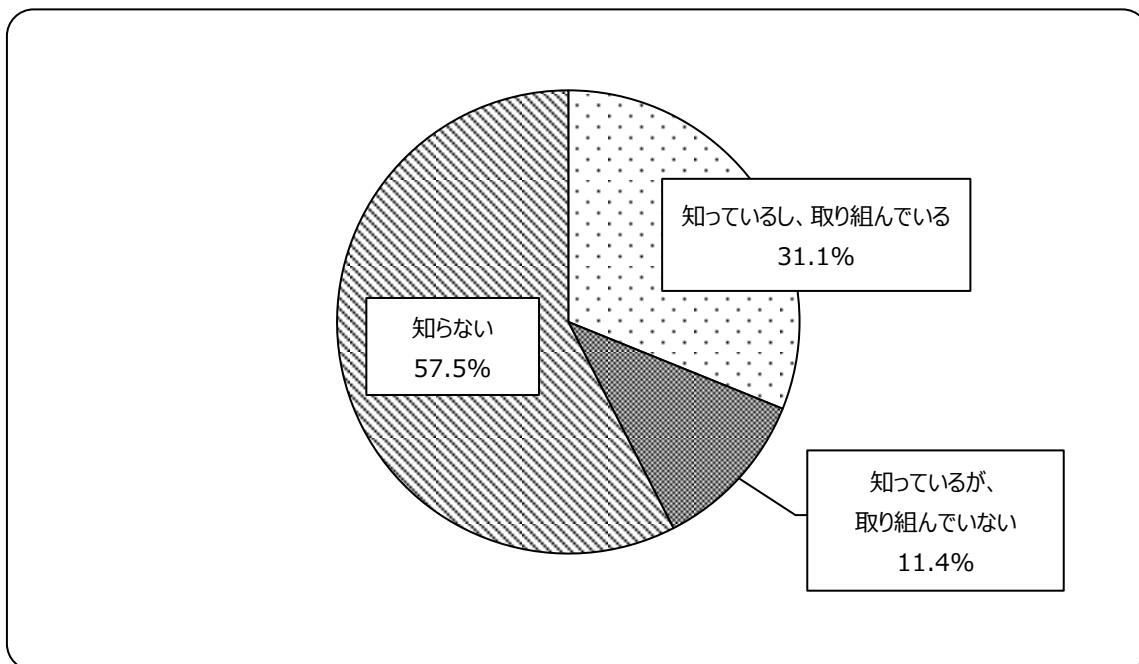
(2)「堺・ごみ減量 4R 大作戦」について

「堺・ごみ減量 4R 大作戦」の認知度

問 62. 本市では、ごみに関わる環境問題の解決と安定的なごみ処理体制の構築のため、令和 4 年 7 月から令和 6 年 3 月までをごみ減量に集中的に取り組む期間と位置づけ、堺・ごみ減量 4R 大作戦を実施しています。この取組を知っていますか。 【選択は 1 つ】

「知らない」が 57.5%と全体の半数を超えている。取組が浸透していないことから、広報さかいや市ホームページ、ごみ収集車のアナウンスに加え、SNS や協力企業・店舗と連携した情報発信も活用してさらなる周知を行う。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っているし、取り組んでいる	145	31.1%
2	知っているが、取り組んでいない	53	11.4%
3	知らない	268	57.5%
	計 (回答総数)	466	100.0%



◀◀堺・ごみ減量 4R 大作戦の情報源▶▶

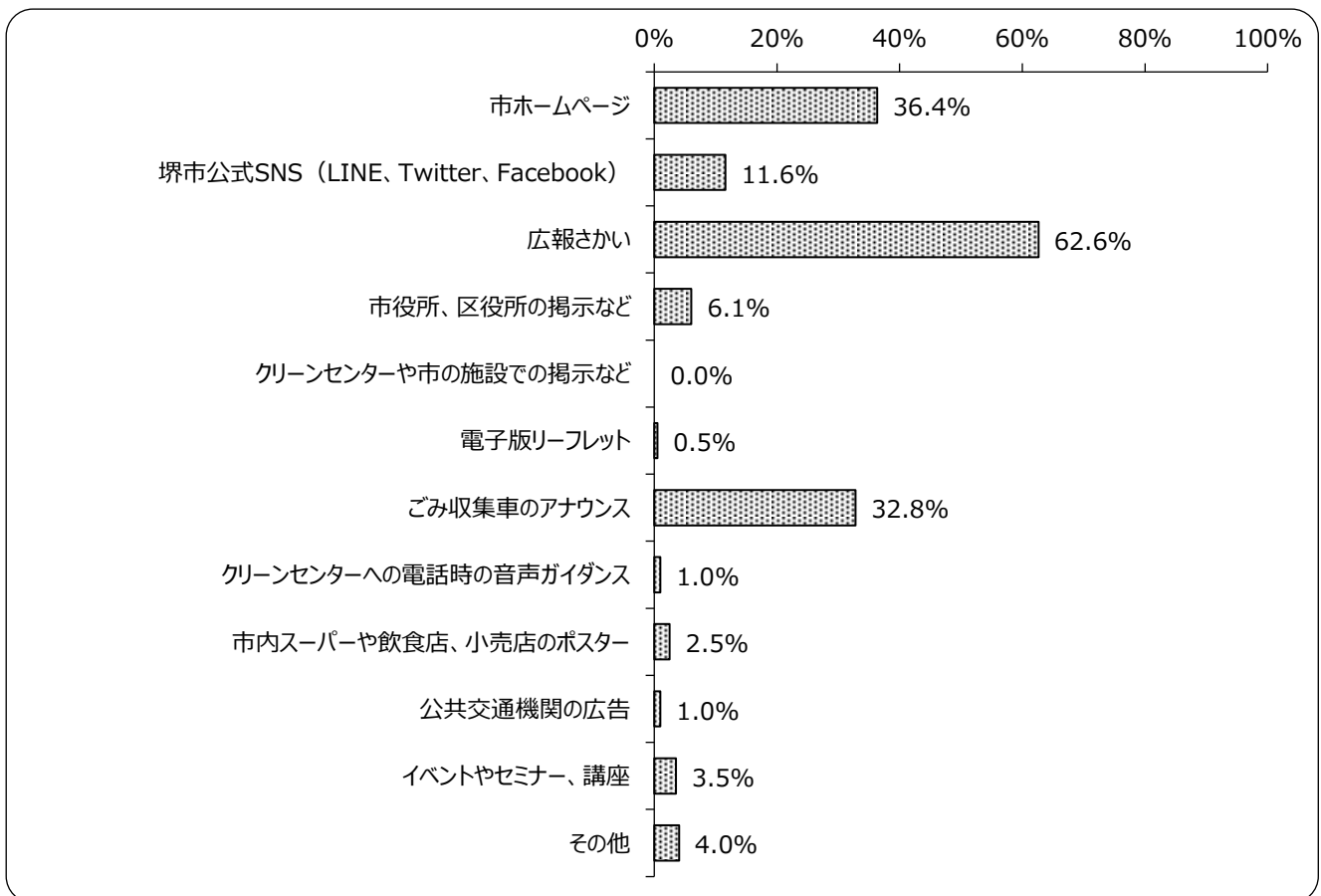
問 63. 問 62 で「1 知っているし、取り組んでいる」「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。

堺・ごみ減量 4R 大作戦についてどこで知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

取組の情報源は、「広報さかい」が 62.6%と最も高く、次いで「市ホームページ」が 36.4%、「ごみ収集車のアナウンス」が 32.8%となっている。広報さかい 7 月号に取組概要の記事、11 月号に関連イベントの告知記事を掲載し、ごみ収集時には取組概要を継続的にアナウンスした。また、令和 4 年 12 月下旬に市ホームページで電子版リーフレットを公開し、令和 5 年 1 月からポスターを公共施設や市内協力店舗に掲出した。引き続き認知度向上及び行動変容につながる取組を推進する。

	選択項目 (N=198)	回答数	回答数/N
1	市ホームページ	72	36.4%
2	堺市公式SNS (LINE、Twitter、Facebook)	23	11.6%
3	広報さかい	124	62.6%
4	市役所、区役所の掲示など	12	6.1%
5	クリーンセンターや市の施設での掲示など	0	0.0%
6	電子版リーフレット	1	0.5%
7	ごみ収集車のアナウンス	65	32.8%
8	クリーンセンターへの電話時の音声ガイダンス	2	1.0%
9	市内スーパーや飲食店、小売店のポスター	5	2.5%
10	公共交通機関の広告	2	1.0%
11	イベントやセミナー、講座	7	3.5%
12	その他	8	4.0%



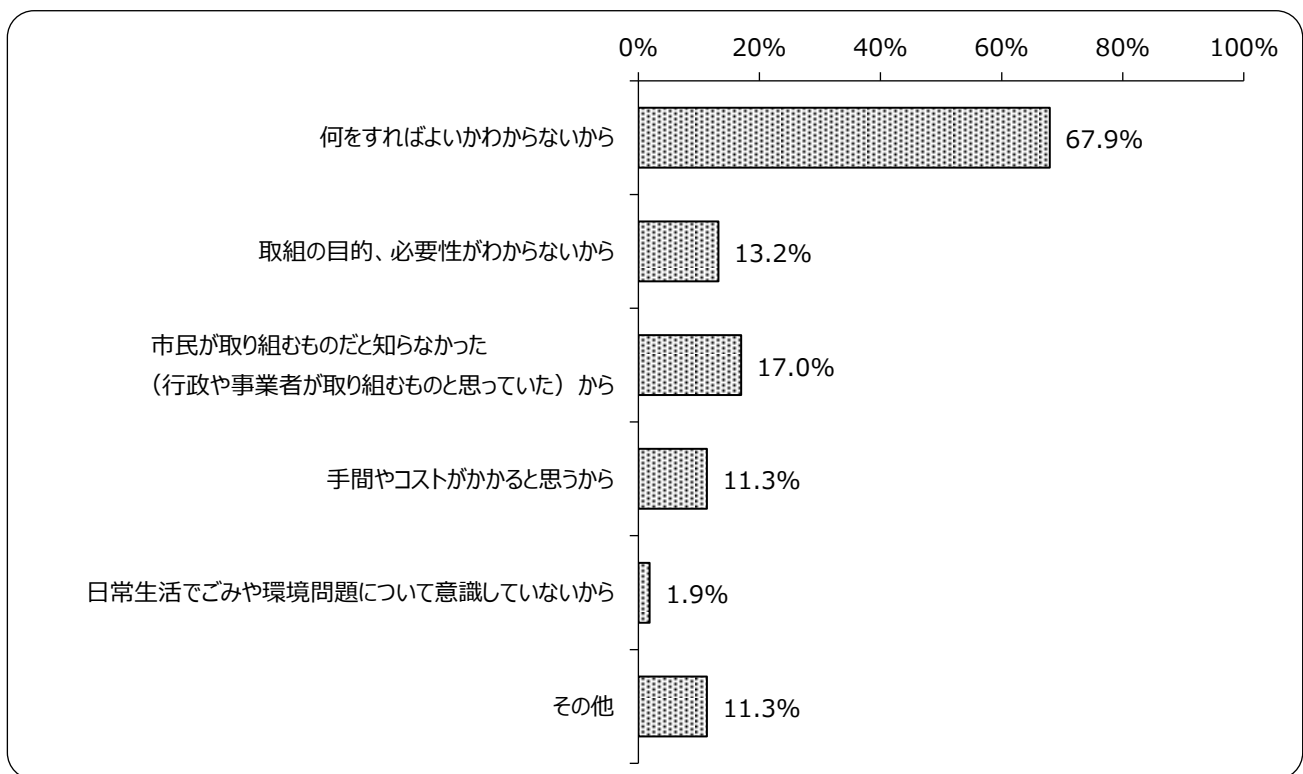
「堺・ごみ減量 4R 大作戦に取り組まない理由」

問 64. 問 62 で「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。取り組んでいない理由は何ですか。
【複数選択可：いくつでも】

「何をすればよいかわからないから」が 67.9%と最も高く、次いで「市民が取り組むものだとは知らなかった（行政や事業者が取り組むものと思っていた）から」が 17.0%、「取組の目的、必要性がわからないから」が 13.2%となっている。

市民にごみ減量の実践方法がまだまだ伝わっていないことから、広報さかいや市ホームページを活用してごみ減量につながるツールを紹介するなど、日常生活で実践できる具体的な行動を周知する必要がある。

	選択項目 (N=53)	回答数	回答数/N
1	何をすればよいかわからないから	36	67.9%
2	取組の目的、必要性がわからないから	7	13.2%
3	市民が取り組むものだとは知らなかった（行政や事業者が取り組むものと思っていた）から	9	17.0%
4	手間やコストがかかると思うから	6	11.3%
5	日常生活でごみや環境問題について意識していないから	1	1.9%
6	その他	6	11.3%



(3) 「ごみの 4R 運動」について

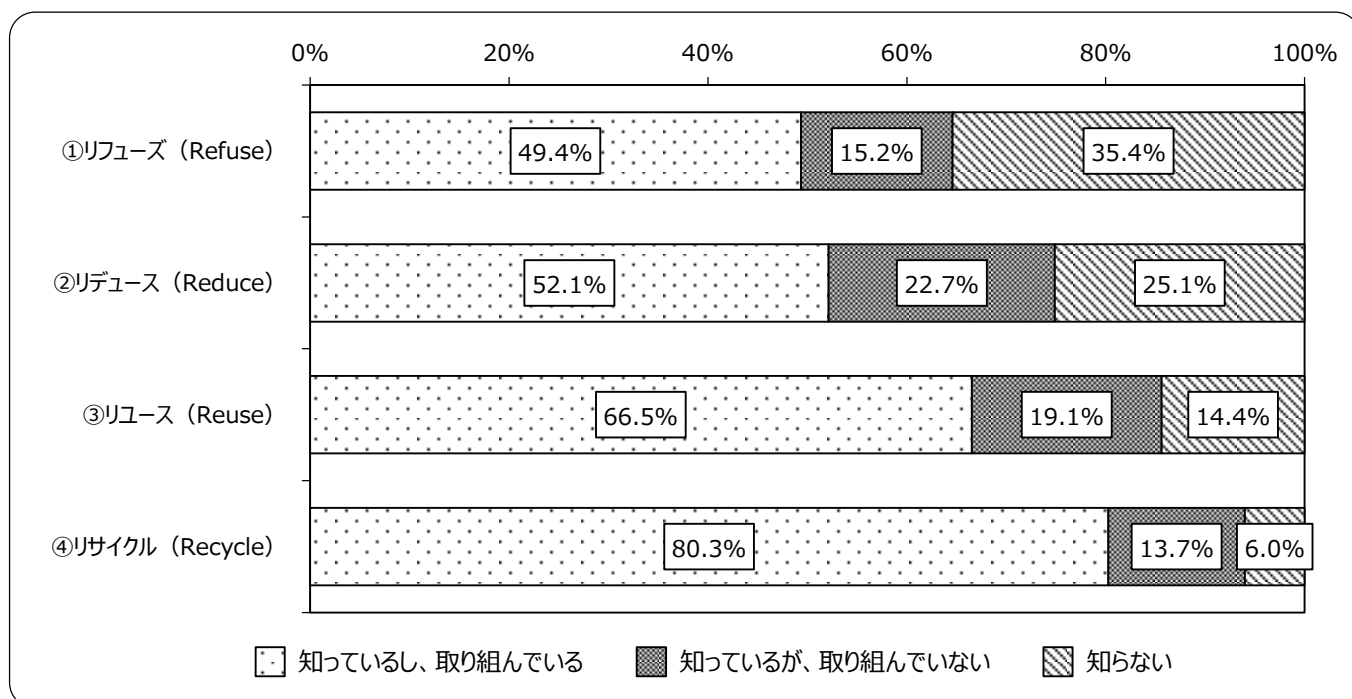
「ごみの 4R 運動の認知度」

問 65. ごみの 4R 運動を知っていますか。ごみの 4R 運動とは、ごみの減量につながる行動を示すリフューズ (Refuse : 不要なものを断る)、リデュース (Reduce : ごみを減量する)、リユース (Reuse : 繰り返し使う)、リサイクル (Recycle : 再資源化する) の 4 つの単語の頭文字をとった総称です。堺・ごみ減量 4R 大作戦では市民の皆様実践してもらいたい取組として推進しています。 【各項目 : 選択は 1 つ】

「知っているし、取り組んでいる」を回答した割合は、「リフューズ」が 49.4%、「リデュース」が 52.1%、「リユース」が 66.5%、「リサイクル」が 80.3%となった。「知らない」を回答した割合は、「リフューズ」が 35.4%、「リデュース」が 25.1%、「リユース」が 14.4%、「リサイクル」が 6.0%となった。

4R のうち、「リサイクル」は、「知っているし、取り組んでいる」「知っているが取り組んでいない」を合計して、94.0%となっているのに対し、「リフューズ」は 64.6%と低いため、リフューズ・リデュースを軸に 4R に関する情報発信を継続する必要がある。

選択項目 (N=466)	知っているし、 取り組んでいる	知っているが、 取り組んでいない	知らない	計 (回答総数)
①リフューズ (Refuse)	230 49.4%	71 15.2%	165 35.4%	466 100.0%
②リデュース (Reduce)	243 52.1%	106 22.7%	117 25.1%	466 100.0%
③リユース (Reuse)	310 66.5%	89 19.1%	67 14.4%	466 100.0%
④リサイクル (Recycle)	374 80.3%	64 13.7%	28 6.0%	466 100.0%



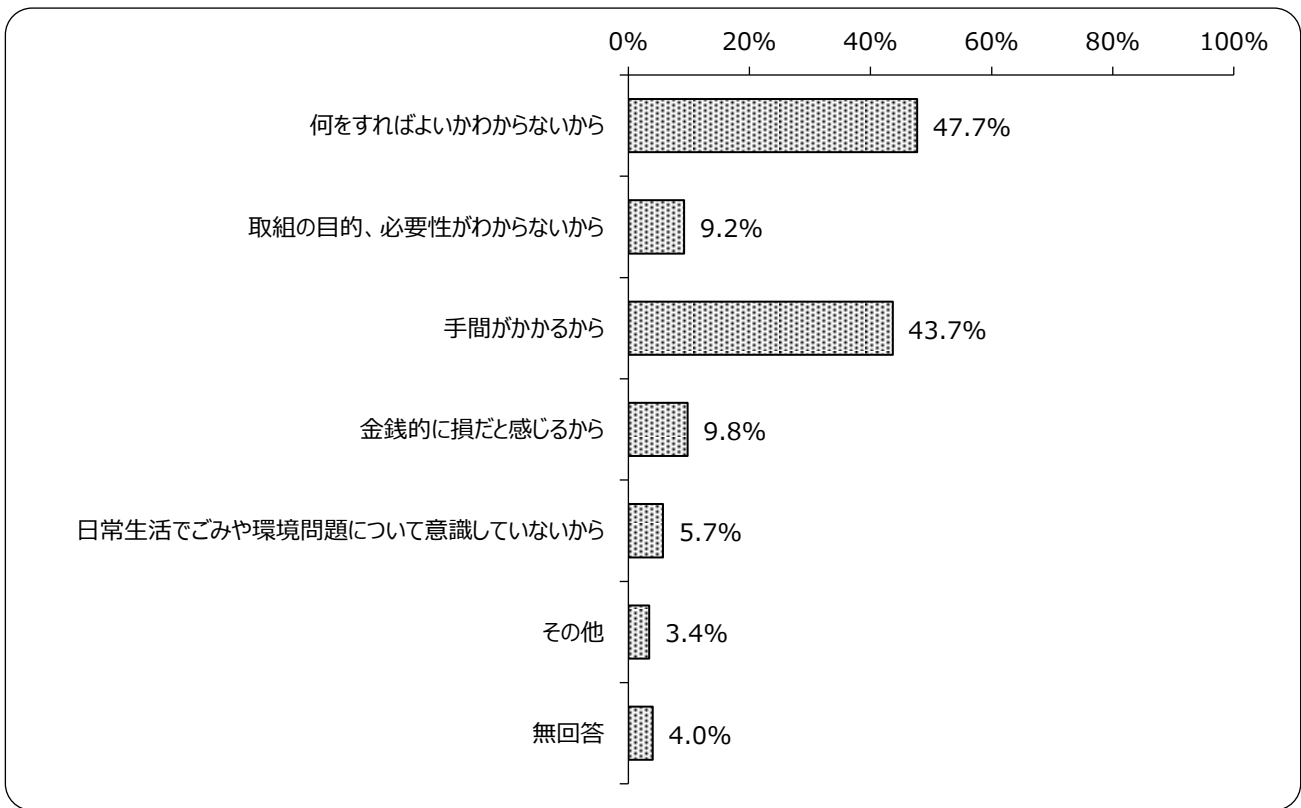
「ごみの 4R 運動に取り組まない理由」

問 66. 問 65 でいずれかの項目について「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。取り組んでいない理由は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

「何をすればよいかわからない」が 47.7%と最も多く、続いて「手間がかかるから」が 43.7%、「金銭的に損だと感じるから」が 9.8%、「取組の目的、必要性がわからないから」が 9.2%となった。

4R 運動の実施に向けて、4R に関する具体的な手法について積極的に情報発信を行い、ごみに関わる環境問題の必要性や目的などについても継続して情報発信を行う必要がある。

	選択項目 (N=174)	回答数	回答数/N
1	何をすればよいかわからないから	83	47.7%
2	取組の目的、必要性がわからないから	16	9.2%
3	手間がかかるから	76	43.7%
4	金銭的に損だと感じるから	17	9.8%
5	日常生活でごみや環境問題について意識していないから	10	5.7%
6	その他	6	3.4%
	無回答	7	4.0%



(4) ごみ減量の具体的取組について

「リユースの取組」

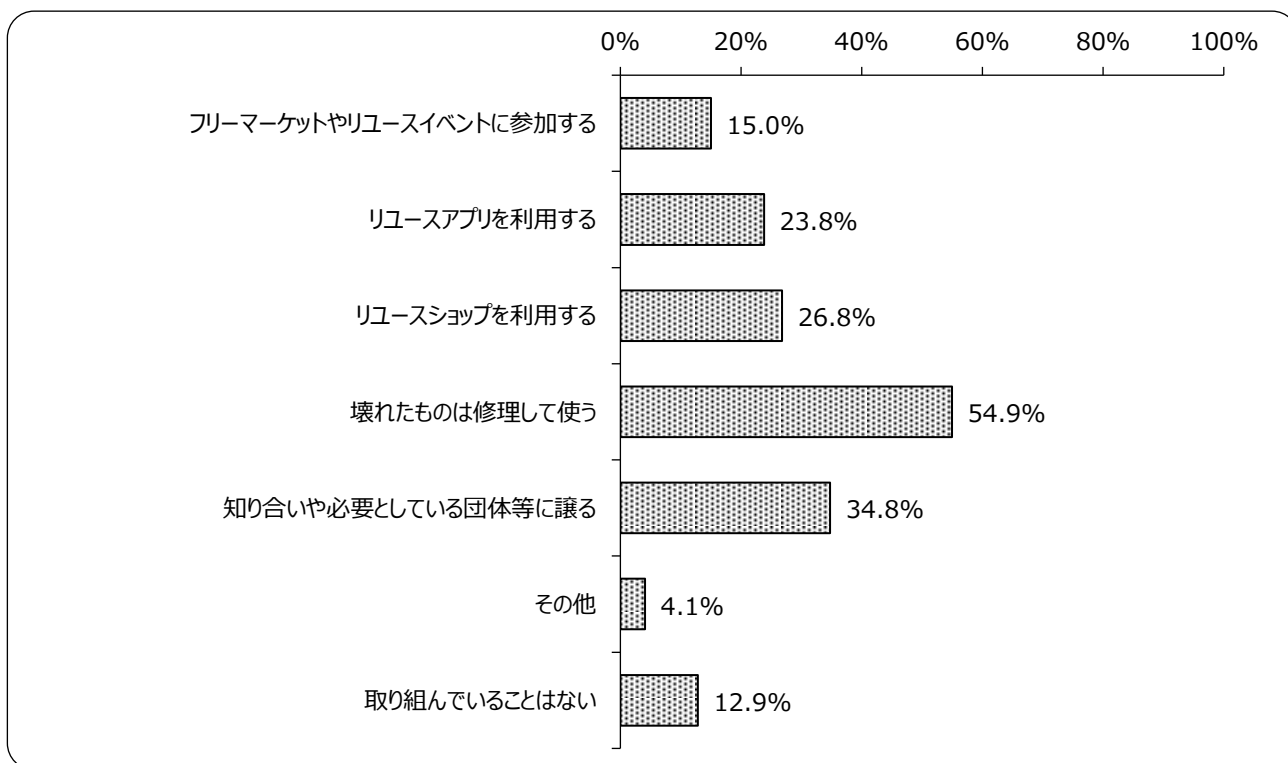
問 67. リユース（Reuse：繰り返し使う）に関して、現在どのような行動に取り組んでいますか。

【複数選択可：いくつでも】

「壊れたものは修理して使う」が 54.9%と最も高く、次いで「知り合いや必要としている団体などに譲る」「リユースショップを利用する」「リユースアプリを利用する」と続いており、一部の市民に関しては、リユース意識の醸成が進んでいることがわかる。

「フリーマーケットやリユースイベントに参加する」を選択した方の割合が最も低く、新型コロナウイルス感染症拡大による影響でイベントが開催できない状況が続いたことが要因の一つと考えられる。広報さかいや市ホームページなどでリユースアプリの活用も含めたリユースに関する情報発信を積極的に実施する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	フリーマーケットやリユースイベントに参加する	70	15.0%
2	リユースアプリを利用する	111	23.8%
3	リユースショップを利用する	125	26.8%
4	壊れたものは修理して使う	256	54.9%
5	知り合いや必要としている団体等に譲る	162	34.8%
6	その他	19	4.1%
7	取り組んでいることはない	60	12.9%

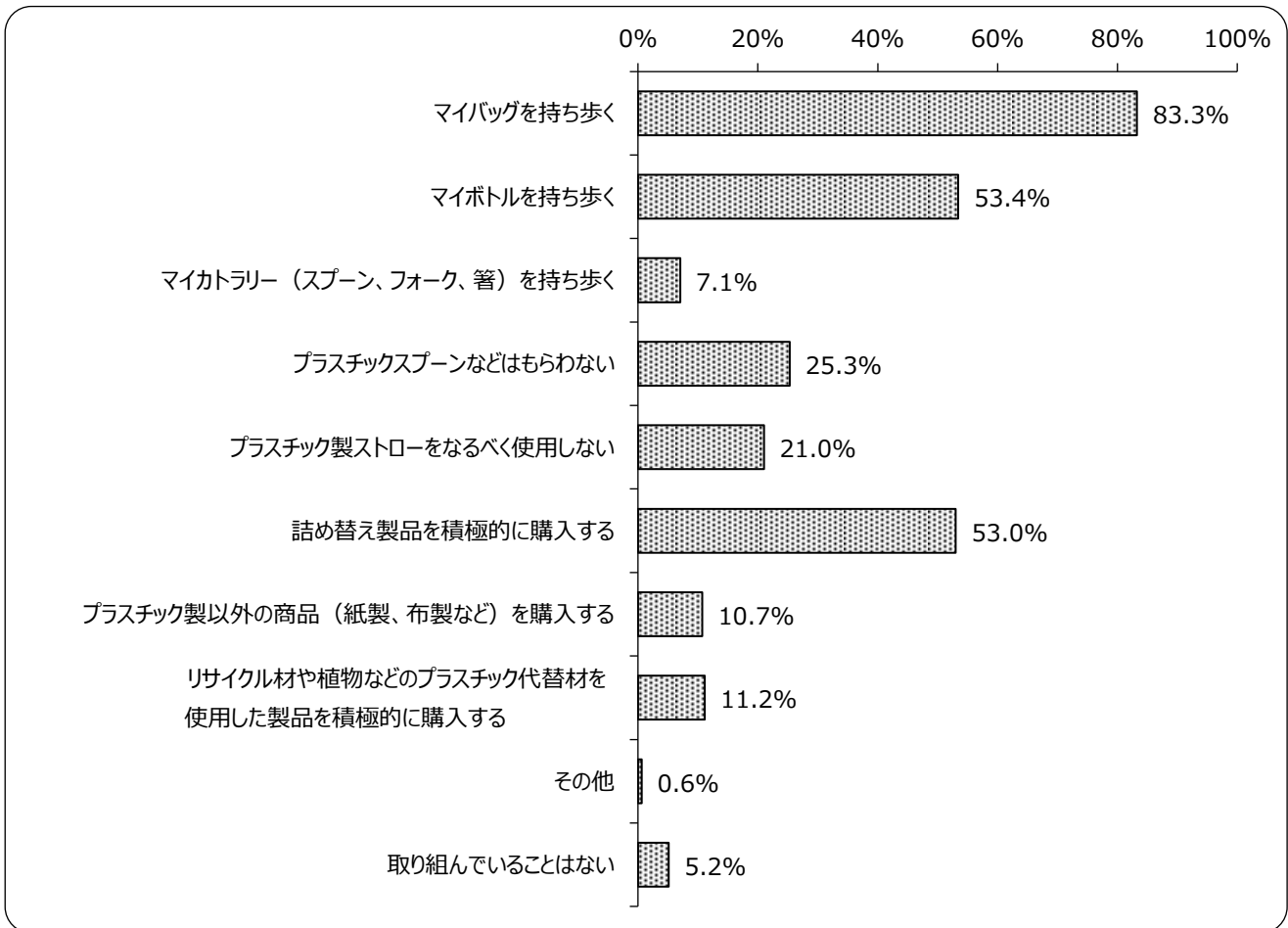


《使い捨てプラスチック削減に向けた取組》

問 68. 使い捨てプラスチック削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。【複数選択可：いくつでも】

「マイバッグを持ち歩く」が 83.3%と最も高く、レジ袋有料化義務化やマイバッグ携帯キャンペーンなどの情報発信により、マイバッグ携帯率の上昇に一定の効果があったものとする。「マイボトルを持ち歩く」「詰め替え製品を積極的に購入する」は 50%を超える結果となっており、更なる削減に向けて、継続的に情報発信を進める必要がある。マイバッグやマイボトルの携帯と比較して、マイカトラリーの携帯率が低いことがわかったため、マイカトラリー携帯推奨の取組を推進する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	マイバッグを持ち歩く	388	83.3%
2	マイボトルを持ち歩く	249	53.4%
3	マイカトラリー（スプーン、フォーク、箸）を持ち歩く	33	7.1%
4	プラスチックスプーンなどはもらわない	118	25.3%
5	プラスチック製ストローをなるべく使用しない	98	21.0%
6	詰め替え製品を積極的に購入する	247	53.0%
7	プラスチック製以外の商品（紙製、布製など）を購入する	50	10.7%
8	リサイクル材や植物などのプラスチック代替材を使用した製品を積極的に購入する	52	11.2%
9	その他	3	0.6%
10	取り組んでいることはない	24	5.2%

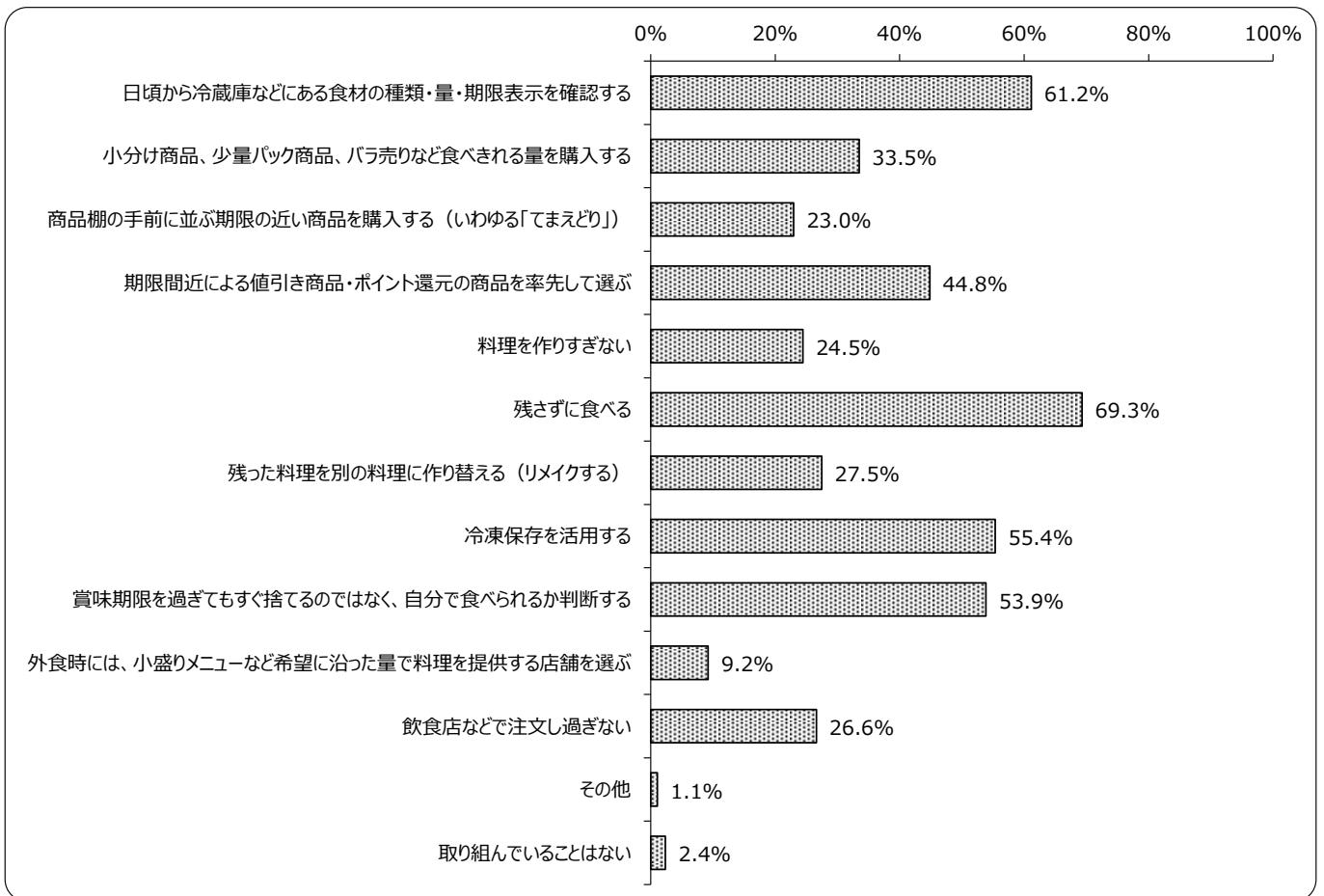


「食品ロス削減に向けた取組」

問 69. 食品ロス（食べられる状態であるにも関わらず、捨てられている食品）削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。 【複数選択可：いつでも】

食品ロス削減に向けて、「取り組んでいることはない」が 2.4%となっており、何らかの食品ロス削減に関する取組をしているとして項目を選択した方が全体の 97.6%と高い結果となった。「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（いわゆる「てまえどり」）」が 23.0%と他の項目と比較して低いことから、周知を継続する必要がある。各項目の取組をより多く実践してもらえるように、広報さかいや市ホームページ、Twitterでの情報発信や動画配信、出前講座、企業と連携した取組を実施するなど食品ロス削減に関する情報発信を強化する。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	日頃から冷蔵庫などにある食材の種類・量・期限表示を確認する	285	61.2%
2	小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど食べきれぬ量を購入する	156	33.5%
3	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（いわゆる「てまえどり」）	107	23.0%
4	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	209	44.8%
5	料理を作りすぎない	114	24.5%
6	残さずに食べる	323	69.3%
7	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	128	27.5%
8	冷凍保存を活用する	258	55.4%
9	賞味期限を過ぎてもすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	251	53.9%
10	外食時には、小盛りメニューなど希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	43	9.2%
11	飲食店などで注文し過ぎない	124	26.6%
12	その他	5	1.1%
13	取り組んでいることはない	11	2.4%



「古紙類の削減に向けた取組」

問 70. 古紙類の削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。

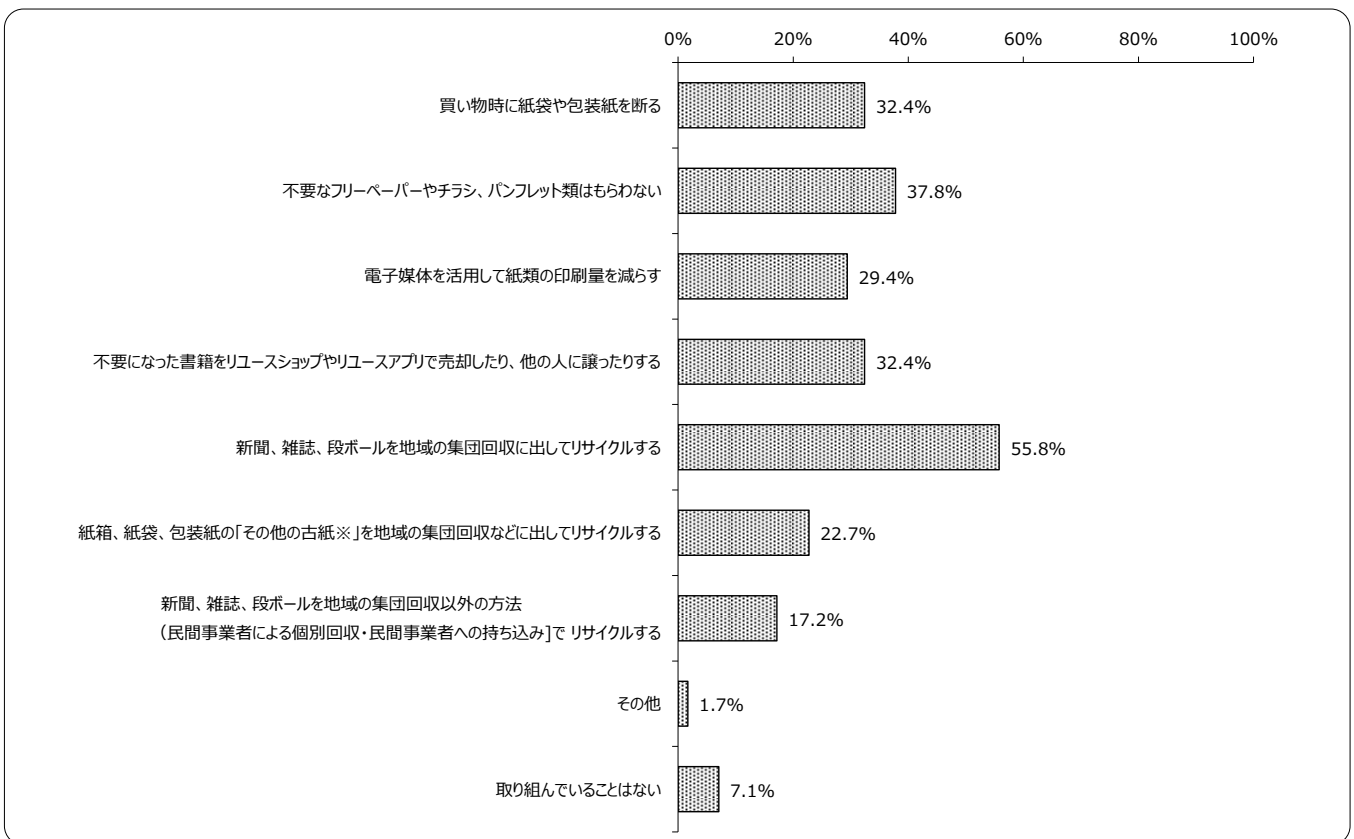
【複数選択可：いくつでも】

古紙類の削減に向けて、「取り組んでいることはない」が 7.1%となっており、古紙類の削減に関する何らかの取組をしているとして項目を選択した方が全体の 92.9%と高い結果となった。

選択項目のうち「紙箱、紙袋、包装紙の「その他の古紙※」を地域の集団回収などに出してリサイクルする」を回答した方が、「新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収に出してリサイクルする」を回答した方の半分以下であり、今後も「その他の古紙」の回収促進のため、積極的に情報発信する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	買い物時に紙袋や包装紙を断る	151	32.4%
2	不要なフリーペーパーやチラシ、パンフレット類はもらわない	176	37.8%
3	電子媒体を活用して紙類の印刷量を減らす	137	29.4%
4	不要になった書籍をリユースショップやリユースアプリで売却したり、他の人に譲ったりする	151	32.4%
5	新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収に出してリサイクルする	260	55.8%
6	紙箱、紙袋、包装紙の「その他の古紙※」を地域の集団回収などに出してリサイクルする	106	22.7%
7	新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収以外の方法（民間事業者による個別回収・民間事業者への持ち込み）でリサイクルする	80	17.2%
8	その他	8	1.7%
9	取り組んでいることはない	33	7.1%

※「その他の古紙」とはお菓子などの紙箱や包装紙、紙袋などのリサイクル可能な紙類のこと。



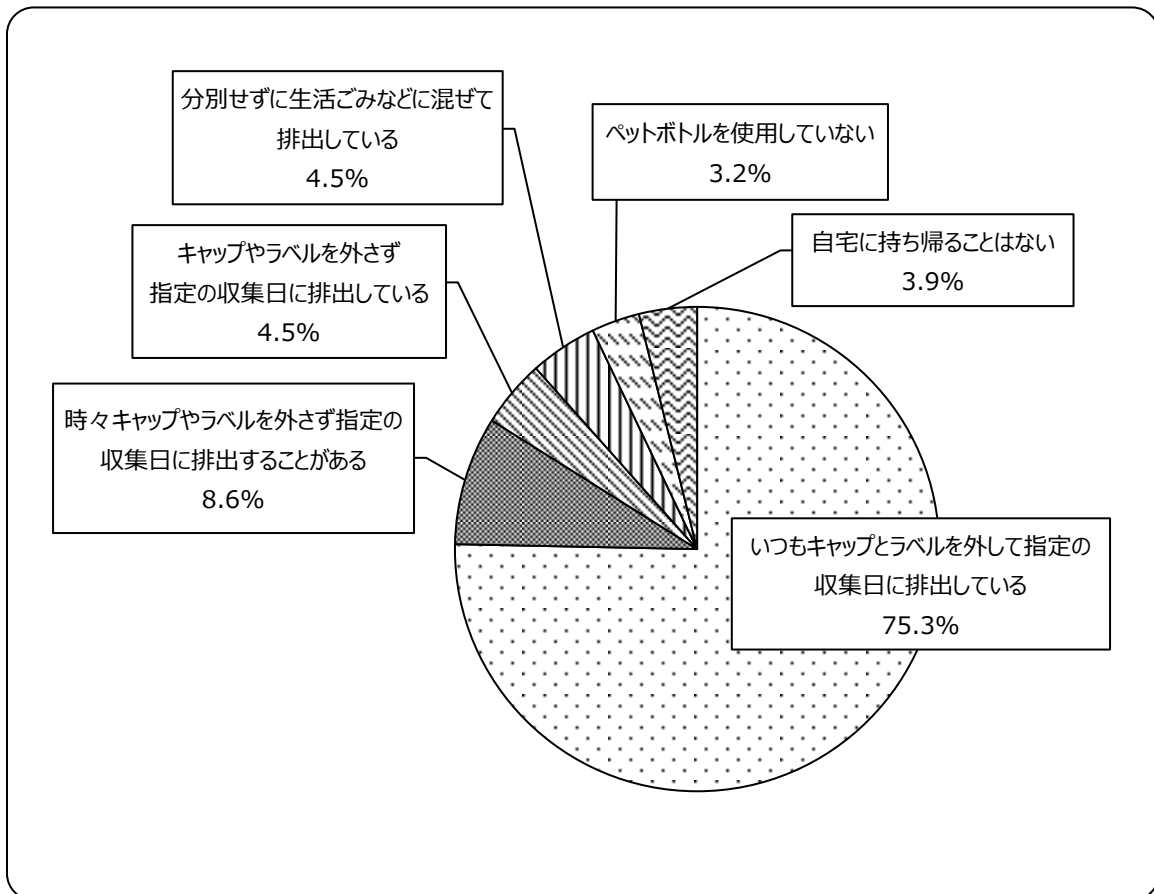
(5) ごみの分別について

《ペットボトルの分別について》

問 71. 本市ではペットボトルはキャップとラベルを外してボトル本体のみに分別し、指定の収集日（月 2 回）に排出することとしています。普段、ペットボトルをどのように分別していますか。 【選択は 1 つ】

「いつもキャップとラベルを外して指定の収集日に排出している」が 75.3%となっている。令和 2 年度のペットボトル組成調査で回収したもののうち、キャップやラベルがついているものが約 40%となっていたため、ペットボトルの正しい分別方法について積極的な情報発信を行い、一定の効果があったものとする。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	いつもキャップとラベルを外して指定の収集日に排出している	351	75.3%
2	時々キャップやラベルを外さず指定の収集日に排出することがある	40	8.6%
3	キャップやラベルを外さず指定の収集日に排出している	21	4.5%
4	分別せずに生活ごみなどに混ぜて排出している	21	4.5%
5	ペットボトルを使用していない	15	3.2%
6	自宅に持ち帰ることはない	18	3.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%

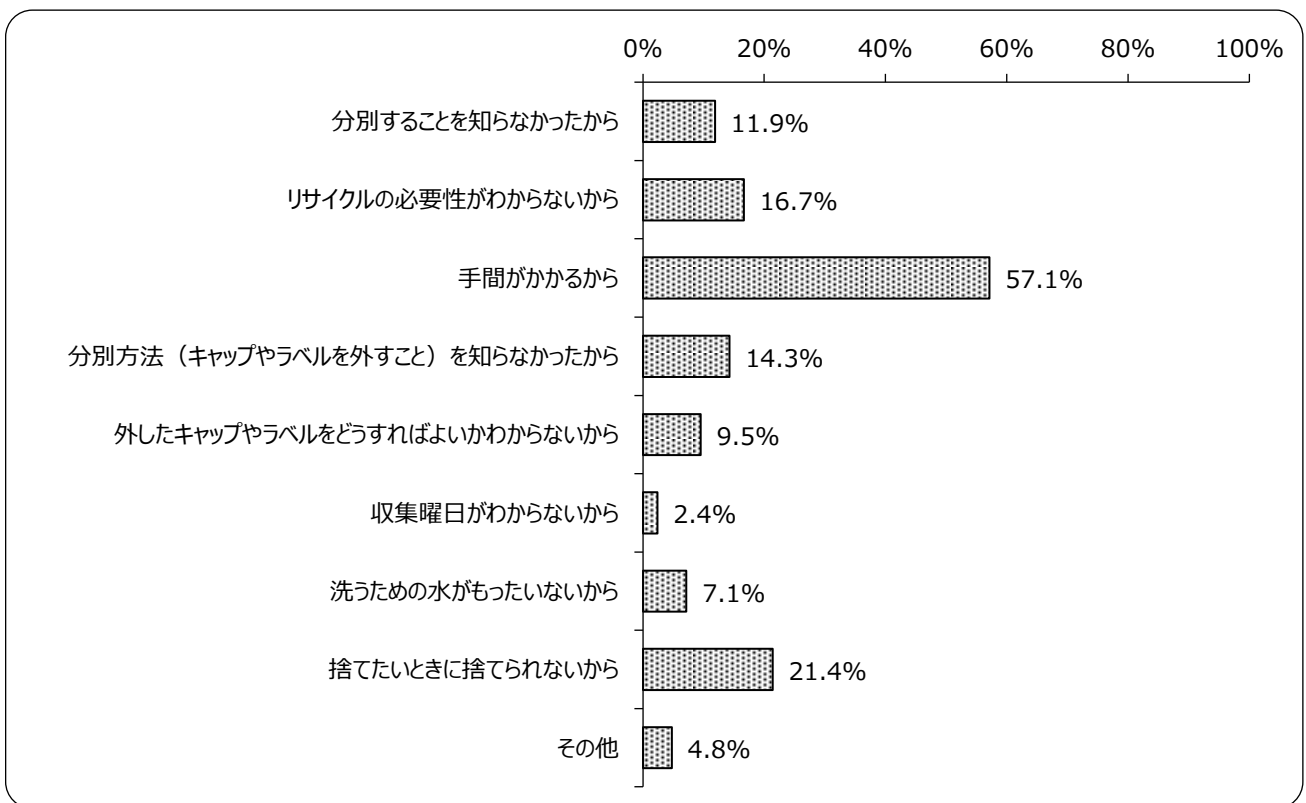


《ペットボトルを分別しない理由》

問 72. 問 71 で「3 キャップやラベルを外さず指定の収集日に排出している」「4 分別せずに生活ごみなどに混ぜて排出している」と回答された方に伺います。分別しない理由は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

分別しない理由として、「手間がかかるから」が半数以上を占めており、市の排出実態や環境問題、分別の必要性などを中心に情報発信する必要がある。

	選択項目 (N=42)	回答数	回答数/N
1	分別することを知らなかったから	5	11.9%
2	リサイクルの必要性がわからないから	7	16.7%
3	手間がかかるから	24	57.1%
4	分別方法（キャップやラベルを外すこと）を知らなかったから	6	14.3%
5	外したキャップやラベルをどうすればよいかわからないから	4	9.5%
6	収集曜日がわからないから	1	2.4%
7	洗うための水がもったいないから	3	7.1%
8	捨てたいときに捨てられないから	9	21.4%
9	その他	2	4.8%



(6) 水銀使用製品について

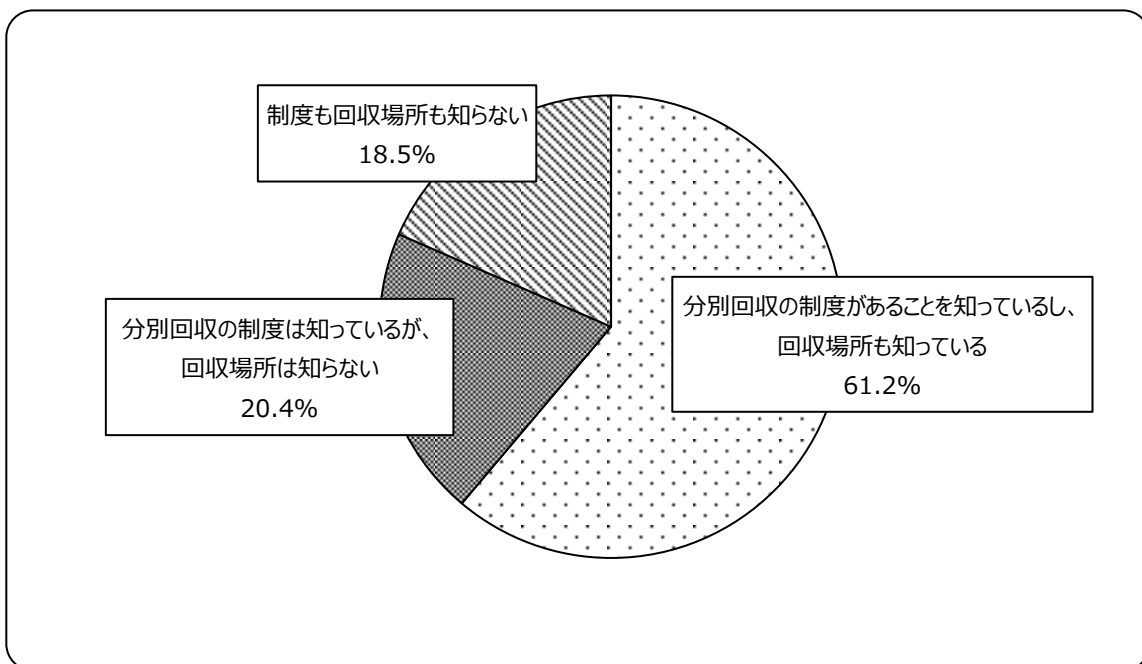
《水銀使用製品の分別について》

問 73. 本市ではご家庭から排出される水銀使用製品（乾電池、蛍光管、水銀体温計など）の分別（拠点）回収を行っています。水銀使用製品を分別回収していることを知っていますか。 【選択は1つ】

「分別回収の制度があることを知っているし、回収場所も知っている」「分別回収の制度は知っているが、回収場所は知らない」が、81.6%となっている。

一方、「制度も回収場所も知らない」は 18.5%であった。今後も制度の周知だけでなく、回収場所についてもより一層の周知が必要である。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	分別回収の制度があることを知っているし、回収場所も知っている	285	61.2%
2	分別回収の制度は知っているが、回収場所は知らない	95	20.4%
3	制度も回収場所も知らない	86	18.5%
	計 (回答総数)	466	100.0%



《水銀使用製品の分別の情報源について》

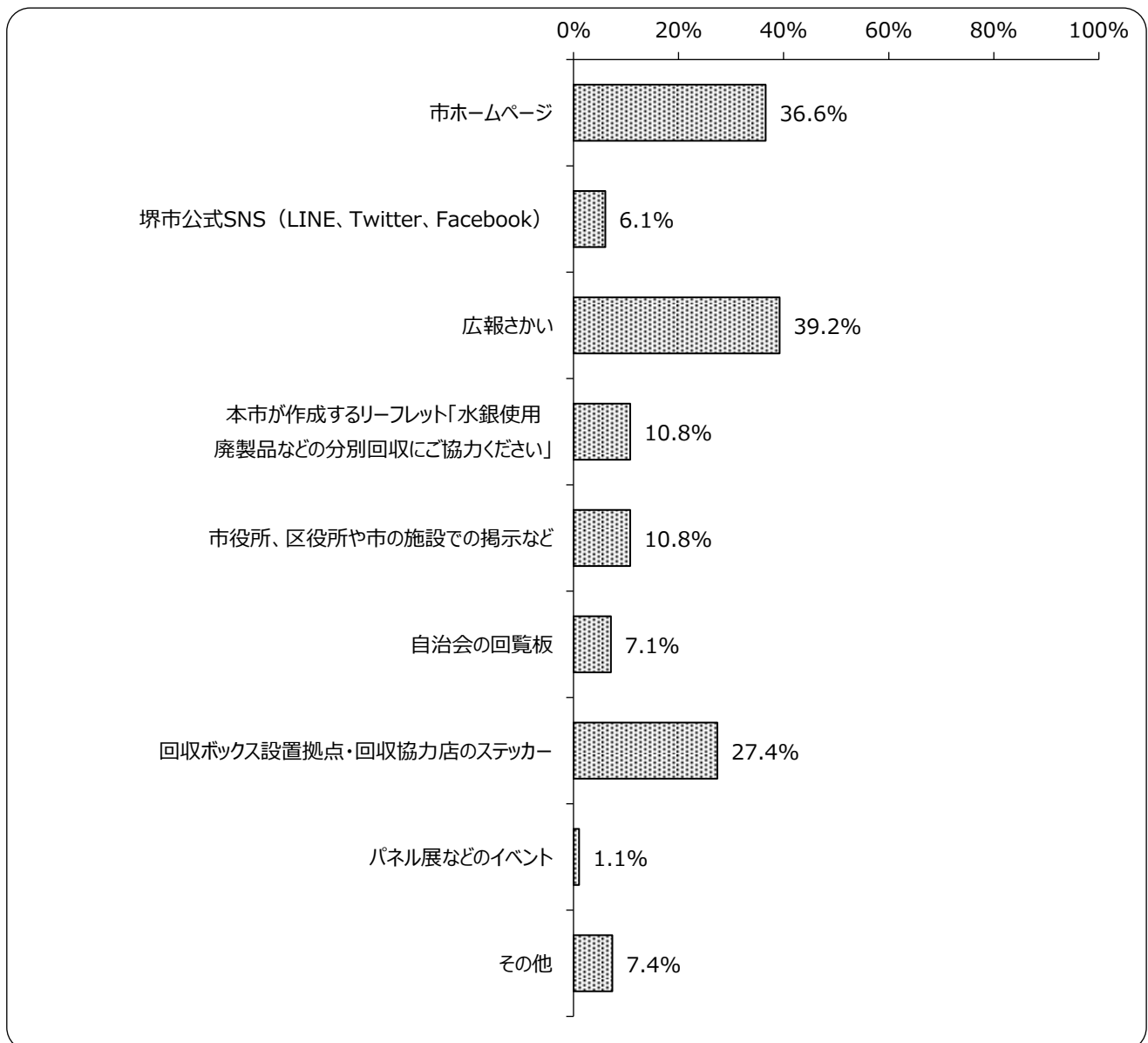
問 74. 問 73 で「1 分別回収の制度があることを知っているし、回収場所も知っている」「2 分別回収の制度は知っているが、回収場所は知らない」と回答された方に伺います。分別回収についてどこで知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」が 39.2%と割合が最も高く、次いで「市ホームページ」が 36.6%、「回収ボックス設置拠点・回収協力店のステッカー」が 27.4%であった。

今後も「広報さかい」により適宜情報発信を行い、「市ホームページ」や「回収ボックス設置拠点・回収協力店のステッカー」における随時の情報発信を引き続き実施する。

	選択項目 (N=380)	回答数	回答数/N
1	市ホームページ	139	36.6%
2	堺市公式SNS (LINE、Twitter、Facebook)	23	6.1%
3	広報さかい	149	39.2%
4	本市が作成するリーフレット「水銀使用廃製品などの分別回収にご協力ください」	41	10.8%
5	市役所、区役所や市の施設での掲示など	41	10.8%
6	自治会の回覧板	27	7.1%
7	回収ボックス設置拠点・回収協力店のステッカー	104	27.4%
8	パネル展などのイベント	4	1.1%
9	その他	28	7.4%

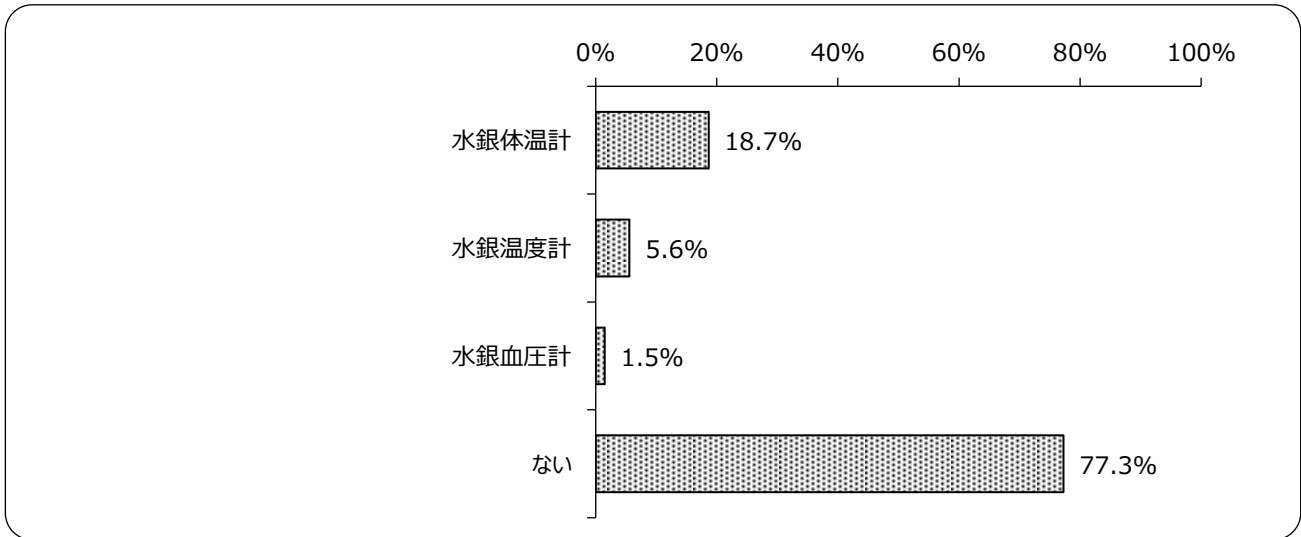


《水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計の保有状況について》

問 75. 水銀使用製品のうち、特に水銀の使用量が多い製品として、水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計があります。ご家庭で保有しているものはありますか。 【複数選択可：いくつでも】

「ない」が 77.3%と割合が最も高く、次いで「水銀体温計」が 18.7%、「水銀温度計」が 5.6%、「水銀血圧計」が 1.5%であった。水銀使用廃製品の排出状況や保有状況に応じて、分別対象品目や回収方法について検討する。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	水銀体温計	87	18.7%
2	水銀温度計	26	5.6%
3	水銀血圧計	7	1.5%
4	ない	360	77.3%



7. 里親制度に関する意識調査・広報啓発について

(1) 里親制度に関する意識調査・広報啓発について

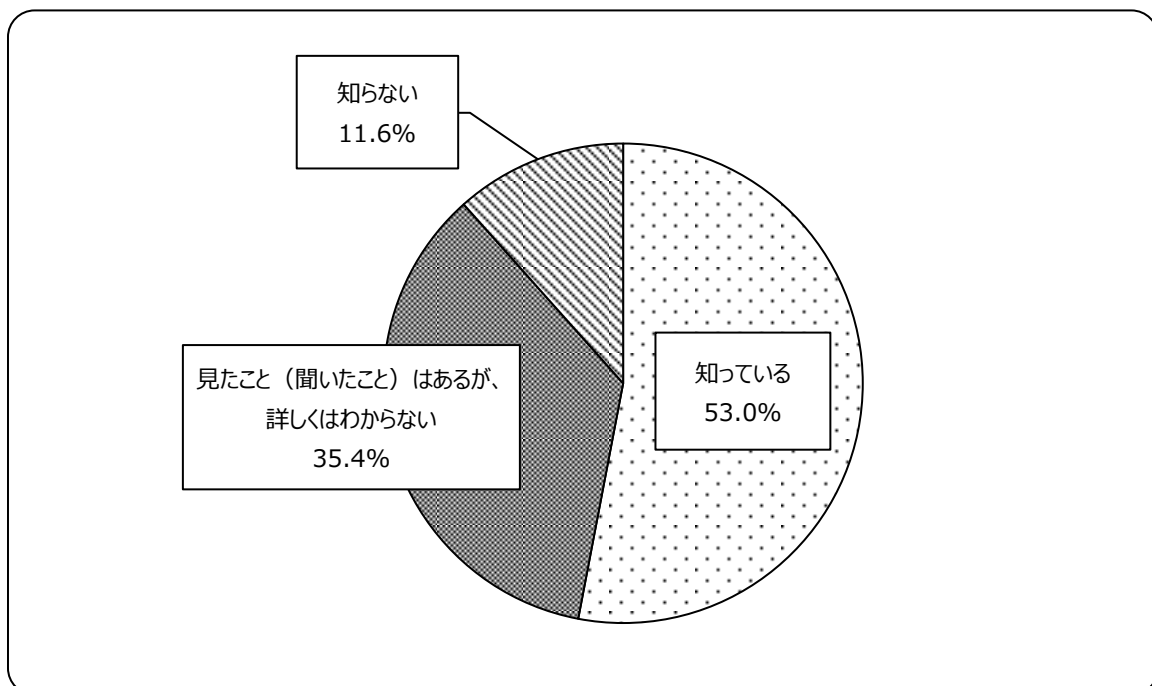
「里親制度の認知度」

問 76. 家庭で暮らせない子どもたちのための「里親制度」を知っていますか。

【選択は 1 つ】

「知っている」が、53.0%となっており、令和 3 年度（54.2%）と同水準にある。「見たこと（聞いたこと）はあるが詳しくはわからない」についても 35.4%で、令和 3 年度（36.4%）と同水準にある。この 1 年間で知名度・認知度に大きな変化は見られないため、さらなる周知が必要である。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っている	247	53.0%
2	見たこと（聞いたこと）はあるが、詳しくはわからない	165	35.4%
3	知らない	54	11.6%
	計（回答総数）	466	100.0%

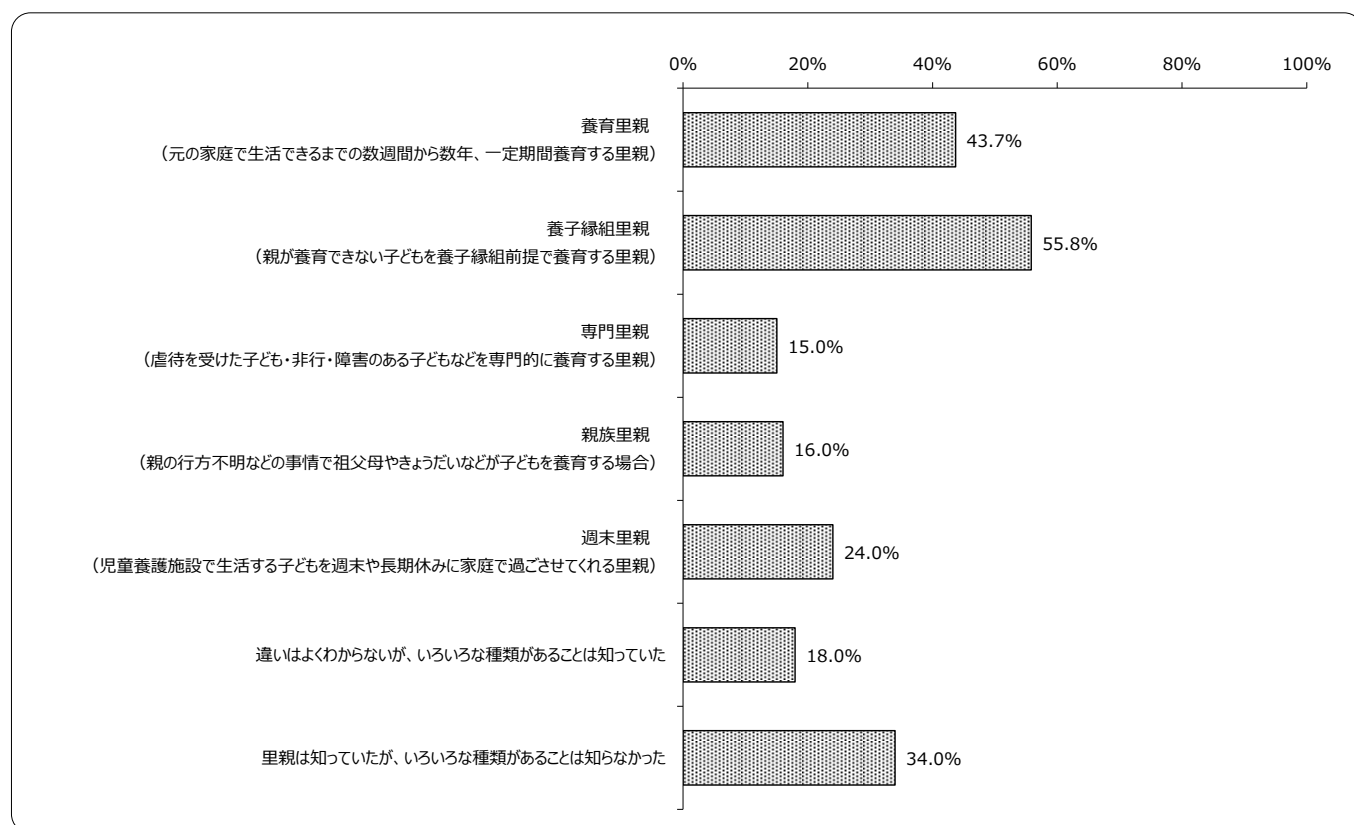


《里親の種類》

問 77. 問 76 で「1 知っている」「2 見たこと（聞いたこと）はあるが、詳しくはわからない」と回答された方に伺います。
 里親にはいろいろな種類があります。知っているものはどれですか。 【複数選択可：いくつでも】

「養子縁組里親（親が養育できない子どもを養子縁組前提で養育する里親）」が 55.8%と最も高く令和 3 年度（54.6%）と比して 1.2 ポイント上昇している。次いで、「養育里親（元の家庭で生活できるまでの数週間から数年、一定期間養育する里親）」が 43.7%と令和 3 年度（40.0%）と比して 3.7 ポイント上昇している。「里親は知っているが、いろいろな種類があることは知らなかった」が 34.0%と令和 3 年度（38.1%）と比して 4.1 ポイント減少しており、里親制度への理解度は深まっているとことがわかる。

	選択項目 (N=412)	回答数	回答数/N
1	養育里親（元の家庭で生活できるまでの数週間から数年、一定期間養育する里親）	180	43.7%
2	養子縁組里親（親が養育できない子どもを養子縁組前提で養育する里親）	230	55.8%
3	専門里親（虐待を受けた子ども・非行・障害のある子どもなどを専門的に養育する里親）	62	15.0%
4	親族里親（親の行方不明などの事情で祖父母やきょうだいなどが子どもを養育する場合）	66	16.0%
5	週末里親（児童養護施設で生活する子どもを週末や長期休みに家庭で過ごさせてくれる里親）	99	24.0%
6	違いはよくわからないが、いろいろな種類があることは知っていた	74	18.0%
7	里親は知っていたが、いろいろな種類があることは知らなかった	140	34.0%



《里親制度の情報源》

問 78. 問 76 で「1 知っている」「2 見たこと（聞いたこと）はあるが、詳しくはわからない」と回答された方に伺います。
市内で里親制度に関する広報・啓発活動の中で、実際に見たことがあるものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

広報さかいは 58.5%（令和 3 年度 57.7%）、市ホームページは 12.6%（令和 3 年度 10.4%）、市役所・区役所内でのパネル展など 8.3%（令和 3 年度 3.5%）、大型ショッピングモール内でのパネル展など 3.6%（令和 3 年度 2.1%）、区民まつりなどのイベント内での広報活動 6.1%（令和 3 年度 3.3%）といずれも令和 3 年度から上昇しており、本市の広報・啓発活動の効果があつたと考える。

	選択項目 (N=412)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	241	58.5%
2	市ホームページ	52	12.6%
3	駅構内のポスターやチラシ	15	3.6%
4	市役所・区役所などのポスターやチラシ	55	13.3%
5	スーパーなどの店舗内のポスターやチラシ	14	3.4%
6	4,5以外の場所でのポスターやチラシ	9	2.2%
7	市役所・区役所内でのパネル展など	34	8.3%
8	市役所・区役所前の懸垂幕	5	1.2%
9	大型ショッピングモール内でのパネル展など	15	3.6%
10	区民まつりなどのイベント内での広報活動	25	6.1%
11	テレビ	101	24.5%
12	新聞	50	12.1%
13	インターネット	56	13.6%
14	親族・知人が里親をしている	21	5.1%
15	その他	25	6.1%

[6 4,5以外の場所でのポスターやチラシ]

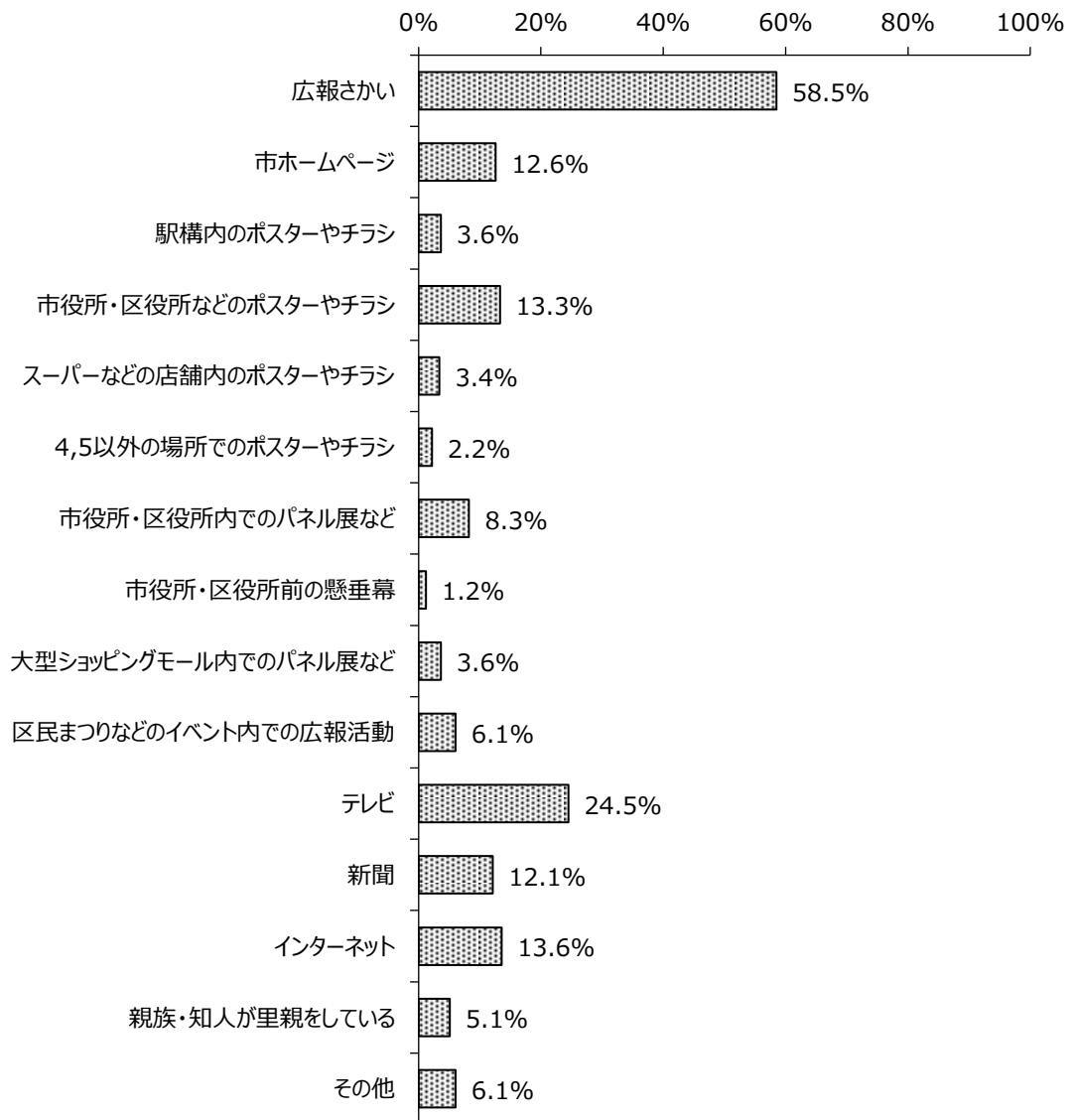
【主な回答】

- 子育て広場
- 郵便局
- マンションのロビー
- お持ち帰りフードについていた箸袋

[15 その他]

【主な回答】

- 大学の講義
- さかい子育て応援アプリ
- 友人
- 北花田の無印良品でのイベント
- まんが
- コンビニ
- チャイルドサポーターの研修
- 図書館
- Twitter
- 市の Facebook でのイベント告知
- 講演会



「里親の実施に必要なもの」

問 79. もし、あなたが里親をしたら、何が必要だと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

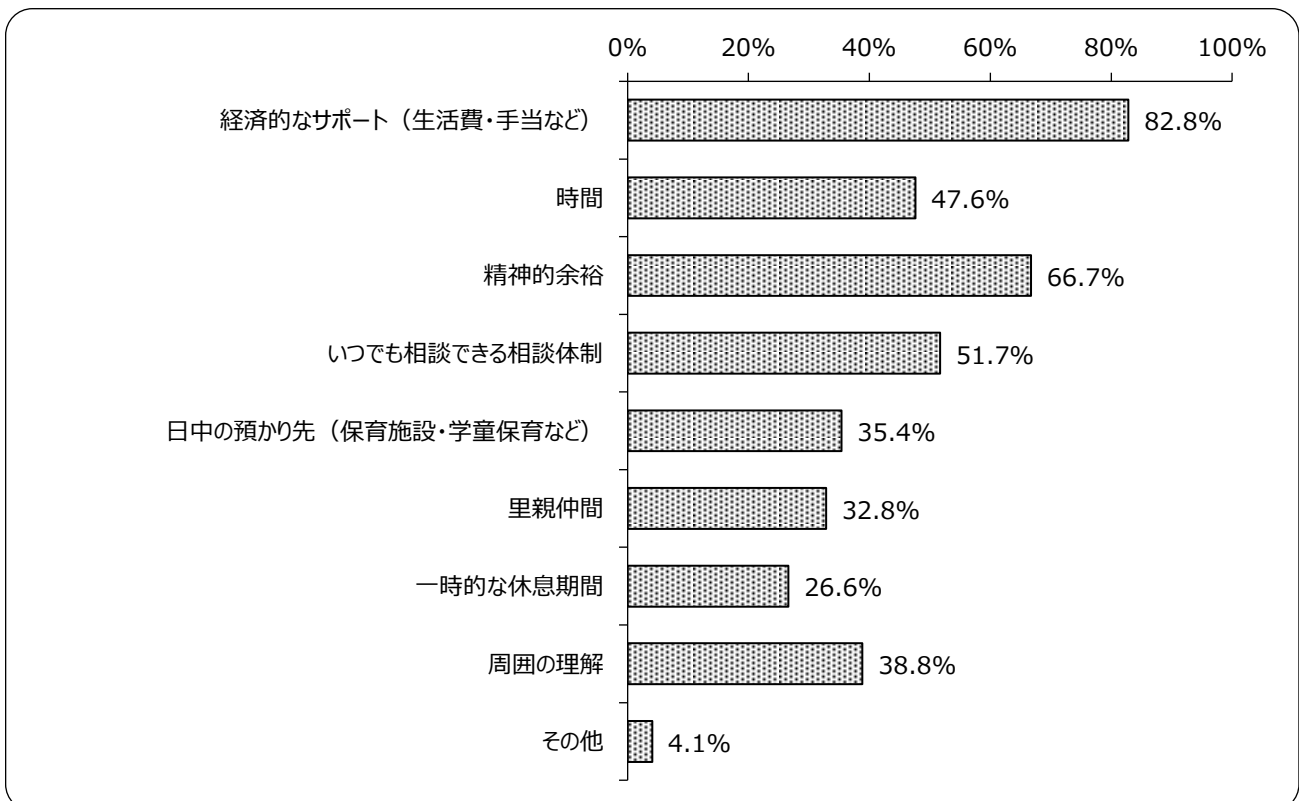
「経済的なサポート（生活費・手当など）」が 82.8%と最も高く、次いで「精神的余裕」が 66.7%、「いつでも相談できる相談体制」が 51.7%と続いた。「時間」（47.6%）についても、約半数の方が必要だと考えている。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	経済的なサポート（生活費・手当など）	386	82.8%
2	時間	222	47.6%
3	精神的余裕	311	66.7%
4	いつでも相談できる相談体制	241	51.7%
5	日中の預かり先（保育施設・学童保育など）	165	35.4%
6	里親仲間	153	32.8%
7	一時的な休息期間	124	26.6%
8	周囲の理解	181	38.8%
9	その他	19	4.1%

[9 その他]

【主な回答】

- 定期的な里親サポート研修
- 里親になる強い意志
- 選ぶ権利
- お互いに慣れるまでの時間
- その子の精神的サポート
- 子ども自身の理解、納得
- 里親になるにあたっての知識
- 自分の子と分け隔てなくできる
- 家の広さ、家族の同意



「里親制度にご協力いただけること」

問 80. 本市ではより多くの方に里親制度についてご理解いただき、また、啓発活動にご協力いただきたいと思います。どういった啓発活動であれば、協力できると考えますか。 【複数選択可：いくつでも】

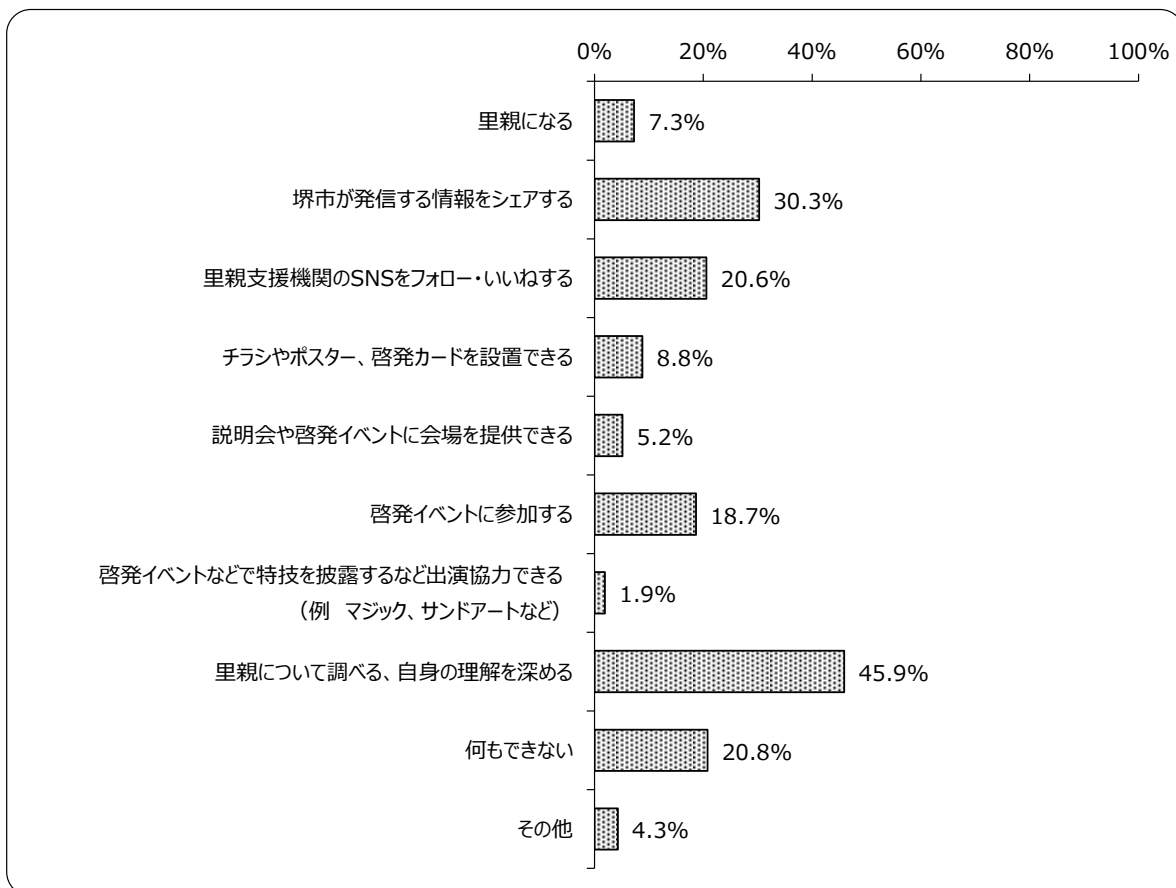
「里親について調べる、自身の理解を深める」が 45.9%と最も高く、次いで「堺市が発信する情報をシェアする」が 30.3%、「里親支援機関の SNS をフォロー・いいねする」が 20.6%、「啓発イベントに参加する」が 18.7%であった。里親について学べる情報や里親に関するイベント情報などを発信することでより広く協力を得ることができると考えられる。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	里親になる	34	7.3%
2	堺市が発信する情報をシェアする	141	30.3%
3	里親支援機関のSNSをフォロー・いいねする	96	20.6%
4	チラシやポスター、啓発カードを設置できる	41	8.8%
5	説明会や啓発イベントに会場を提供できる	24	5.2%
6	啓発イベントに参加する	87	18.7%
7	啓発イベントなどで特技を披露するなど出演協力できる (例 マジック、サンドアートなど)	9	1.9%
8	里親について調べる、自身の理解を深める	214	45.9%
9	何もできない	97	20.8%
10	その他	20	4.3%

[10 その他]

【主な回答】

- 施設ボランティアとして交流
- 有名な方の里親経験を載せる、里親のインフルエンサーを見つける
- 同じ年代の人が里親をされている体験談を聞きたい。
- 実子への制度の話題提供
- 学校教育で、小さい頃から、理解を促す。
- 知人に里親制度の必要性や概要を伝える。



8. 広報活動について

(1) 市政情報の入手について

≪市政情報の入手方法≫

問 81. 堺市政に関する情報を主にどのような方法で入手していますか。

【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」が 88.0%と最も割合が高く、次いで「市ホームページ」43.1%となっている。

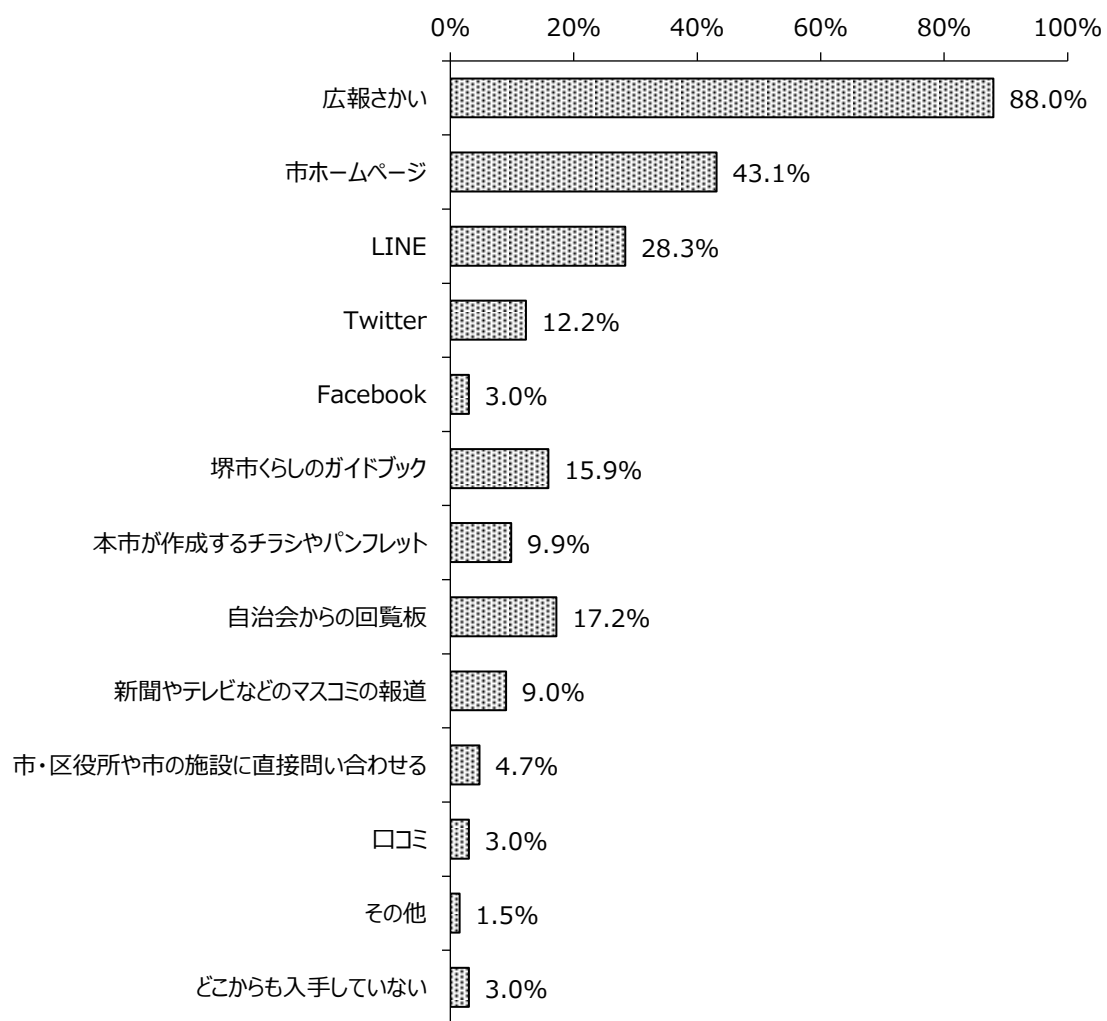
また、「堺市 LINE 公式アカウント」が 28.3%、「堺市広報課 Twitter」が 12.2%、「堺市広報課 Facebook」が 3.0%となっている。SNS による情報取得が 43.5%となっており、これらの広報媒体から情報を得ている人が令和 3 年度 38.1%から 5.4 ポイント上昇している。市ホームページも含めると 86.6%となり、令和 3 年度 76.6%から 10 ポイント上昇していることから、デジタルで情報を得ている人が大きく増えている。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	410	88.0%
2	市ホームページ	201	43.1%
3	LINE	132	28.3%
4	Twitter	57	12.2%
5	Facebook	14	3.0%
6	堺市くらしのガイドブック	74	15.9%
7	本市が作成するチラシやパンフレット	46	9.9%
8	自治会からの回覧板	80	17.2%
9	新聞やテレビなどのマスコミの報道	42	9.0%
10	市・区役所や市の施設に直接問い合わせる	22	4.7%
11	口コミ	14	3.0%
12	その他	7	1.5%
13	どこからも入手していない	14	3.0%

[12 その他]

【主な回答】

- J:COM の地域ニュース
- さかい子育て応援アプリ
- 家族から
- 区のホームページ
- 堺観光コンベンション協会の Instagram
- 市長の Twitter
- 市の Instagram



(2) 広報さかいについて

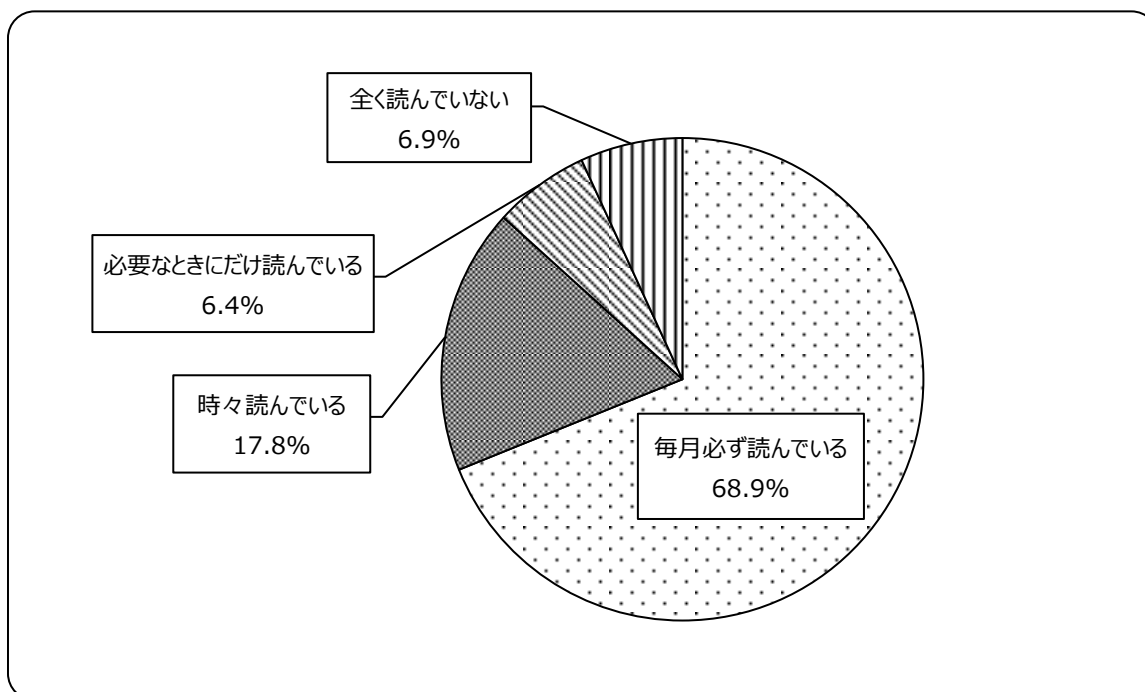
≪広報さかいを読む頻度≫

問 82. 広報さかいを読んだことがありますか。

【選択は1つ】

「毎月必ず読んでいる」68.9%、「時々読んでいる」17.8%、「必要な時にだけ読んでいる」6.4%の合計が 93.1%となっており、広報さかいが市政情報を伝える有効な手段となっていることがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	毎月必ず読んでいる	321	68.9%
2	時々読んでいる	83	17.8%
3	必要なときにだけ読んでいる	30	6.4%
4	全く読んでいない	32	6.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「広報さかいの読みやすさ」

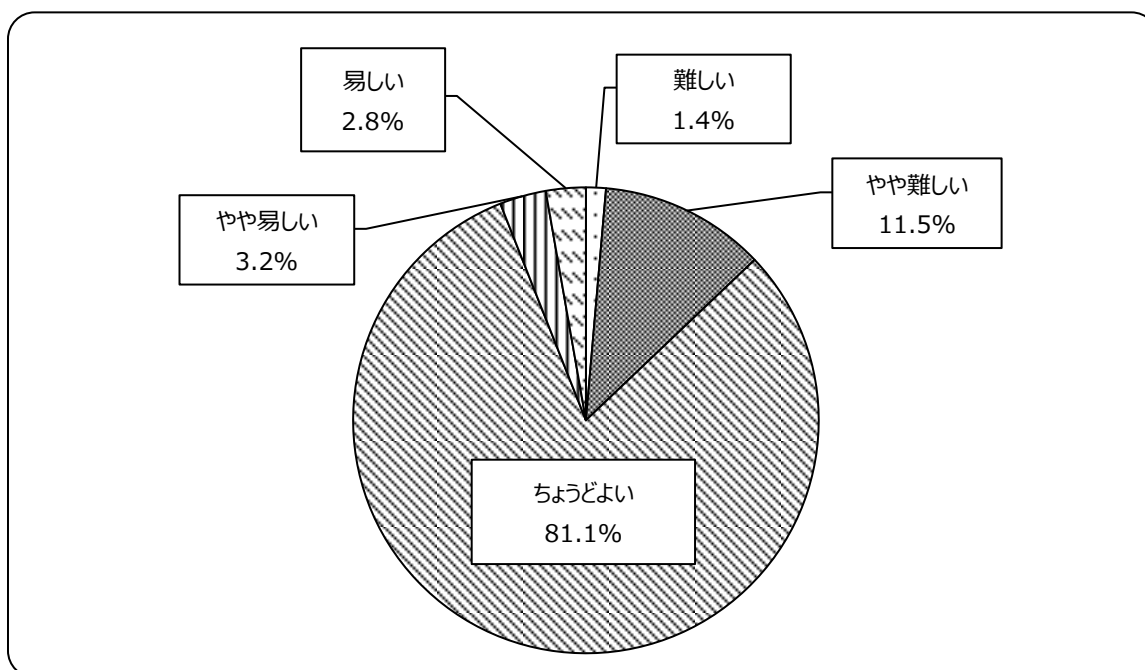
問 83. 問 82 で 1～3 と回答された方（広報さかいを読んでいる方）に伺います。

広報さかいの内容や文章表現について、どのように感じますか。

【選択は 1 つ】

「ちょうどよい」「やや易しい」が 84.3%となっており、広報さかいが大多数の方にとって読みやすい内容であったことがわかる。

	選択項目 (N=434)	回答数	構成比
1	難しい	6	1.4%
2	やや難しい	50	11.5%
3	ちょうどよい	352	81.1%
4	やや易しい	14	3.2%
5	易しい	12	2.8%
	計 (回答総数)	434	100.0%



「広報さかいで利用する情報」

問 84. 問 82 で 1～3 と回答された方（広報さかいを読んでいる方）に伺います。

広報さかいでどのような記事をよくご覧になりますか。

【複数選択可：いくつでも】

「イベント-楽しむ・学ぶ」が 62.9%と最も多く、次いで「表紙と連動した特集（12、13 ページ）」50.5%、「イベント-施設」47.7%、「市政トピックス」40.8%、「新型コロナウイルス関連情報」35.5%などがよく読まれている。市政に関する情報のなかでも特にイベントに関心を寄せる方が多いことがわかる。

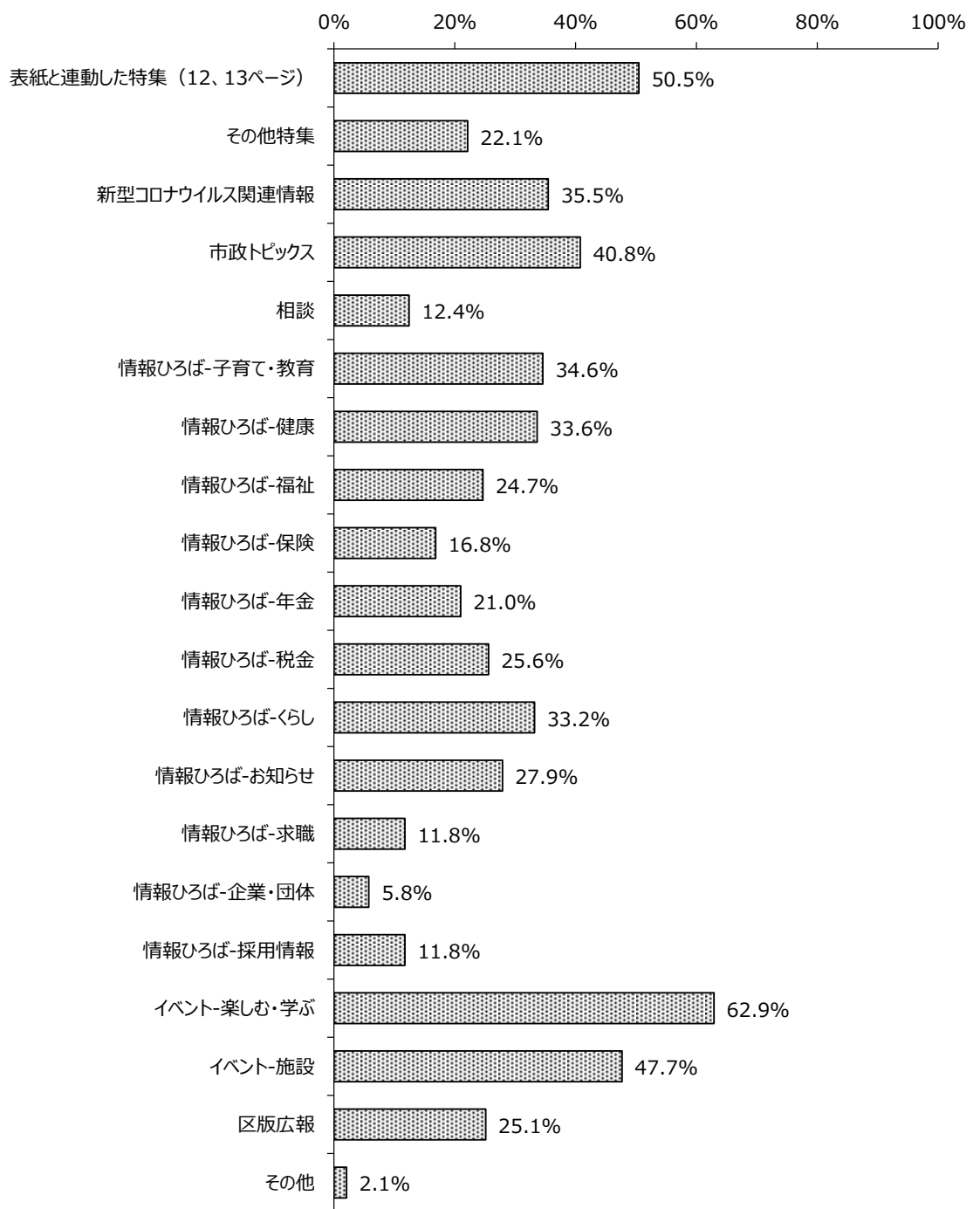
また、「表紙と連動した特集（12、13 ページ）」も半数近くの方に見てもらっていることから、市政情報を大きく、かつ深掘りしている特集にも興味を持っていただいていることがわかる。

	選択項目 (N=434)	回答数	回答数/N
1	表紙と連動した特集 (12、13ページ)	219	50.5%
2	その他特集	96	22.1%
3	新型コロナウイルス関連情報	154	35.5%
4	市政トピックス	177	40.8%
5	相談	54	12.4%
6	情報ひろば-子育て・教育	150	34.6%
7	情報ひろば-健康	146	33.6%
8	情報ひろば-福祉	107	24.7%
9	情報ひろば-保険	73	16.8%
10	情報ひろば-年金	91	21.0%
11	情報ひろば-税金	111	25.6%
12	情報ひろば-暮らし	144	33.2%
13	情報ひろば-お知らせ	121	27.9%
14	情報ひろば-求職	51	11.8%
15	情報ひろば-企業・団体	25	5.8%
16	情報ひろば-採用情報	51	11.8%
17	イベント-楽しむ・学ぶ	273	62.9%
18	イベント-施設	207	47.7%
19	区版広報	109	25.1%
20	その他	9	2.1%

[20 その他]

【主な回答】

- 全部読んでる。
- 全ページに目を通す。
- 気になった見出しについては詳細を読む。
- 傍聴の日程、防災関係
- その月によって異なる。



《区版広報の掲載内容について》

問 85. 問 82 で 1～3 と回答された方（広報さかいを読んでいる方）に伺います。

広報さかいは全 24 ページのうち 3 ページを「区版広報」とし、お住まいの区に関する情報を掲載しています。

区版の掲載記事のうち、どのような記事を読んでいますか。 【複数選択可：いくつでも】

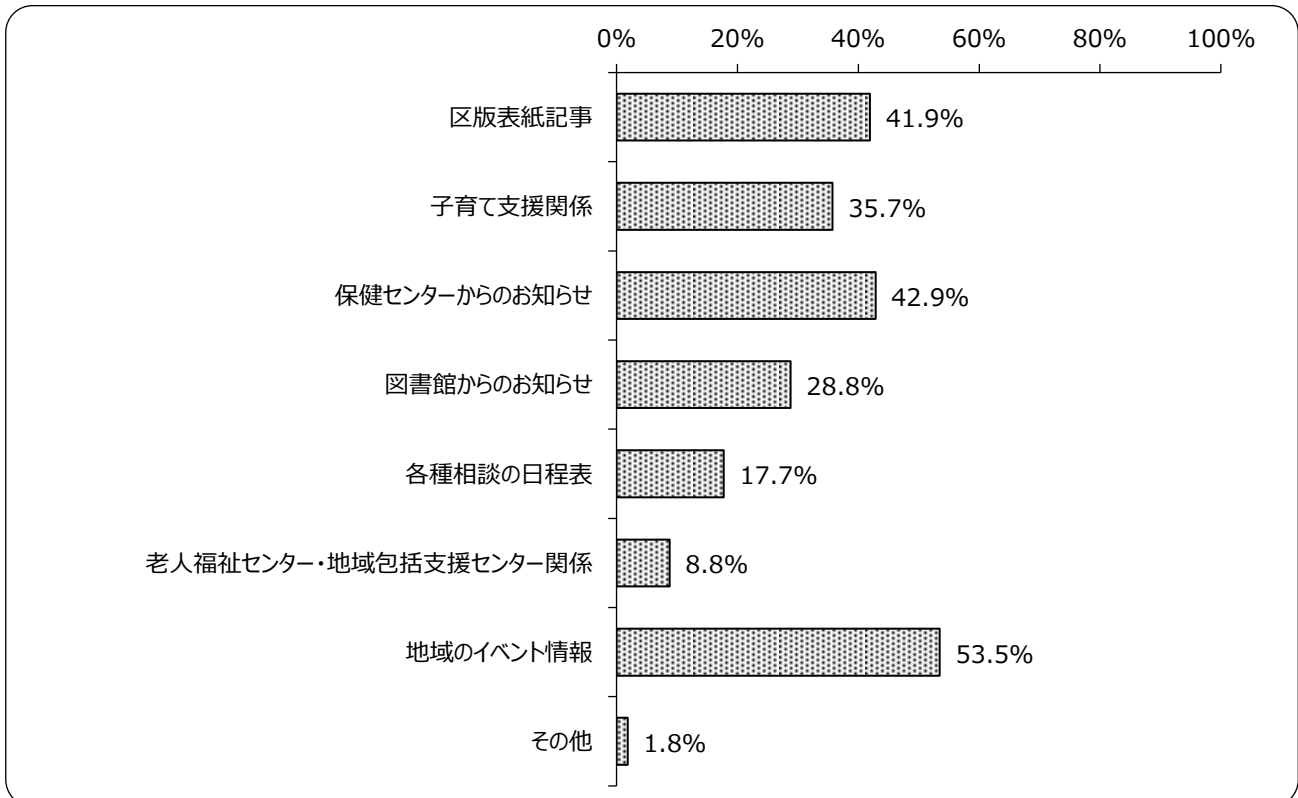
「地域のイベント情報」が 53.5%と最も多く、次いで「保健センターからのお知らせ」42.9%、「区版表紙記事」41.9% などがよく読まれている。このことから地域のイベント情報に関心がある方が多いことがわかる。

	選択項目 (N=434)	回答数	回答数/N
1	区版表紙記事	182	41.9%
2	子育て支援関係	155	35.7%
3	保健センターからのお知らせ	186	42.9%
4	図書館からのお知らせ	125	28.8%
5	各種相談の日程表	77	17.7%
6	老人福祉センター・地域包括支援センター関係	38	8.8%
7	地域のイベント情報	232	53.5%
8	その他	8	1.8%

[8 その他]

【主な回答】

- 全部読んでる。
- 目についたこと、興味の湧いたことのみ
- 区民の入出数
- その時に必要な情報



《広報さかいを読まない理由》

問 86. 問 82 で「4 全く読んでいない」と回答された方に伺います。

広報さかいを読まない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

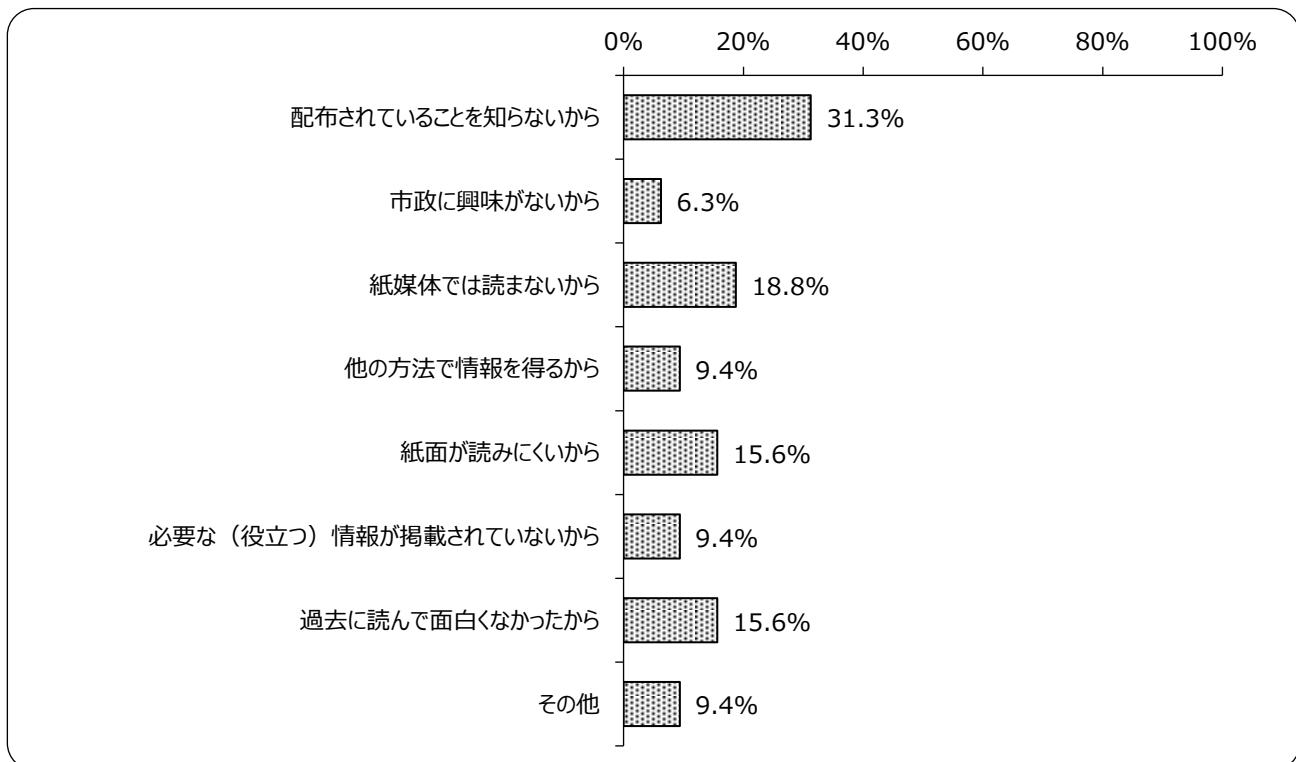
「全く読んでいない」と答えた方の回答のうち、「配布されていることを知らないから」が 31.3%、「紙媒体では読まないから」が 18.8%、「紙面が読みにくいから」と「過去に読んで面白くなかったから」が 15.6%となっている。これらの回答を踏まえ、広報さかいがより多くの方にとって有益な情報媒体となるよう、引き続き改善を重ねる必要がある。

	選択項目 (N=32)	回答数	回答数/N
1	配布されていることを知らないから	10	31.3%
2	市政に興味がないから	2	6.3%
3	紙媒体では読まないから	6	18.8%
4	他の方法で情報を得るから	3	9.4%
5	紙面が読みにくいから	5	15.6%
6	必要な（役立つ）情報が掲載されていないから	3	9.4%
7	過去に読んで面白くなかったから	5	15.6%
8	その他	3	9.4%

[8 その他]

【主な回答】

- 読む余裕がない。
- 他市在住のため

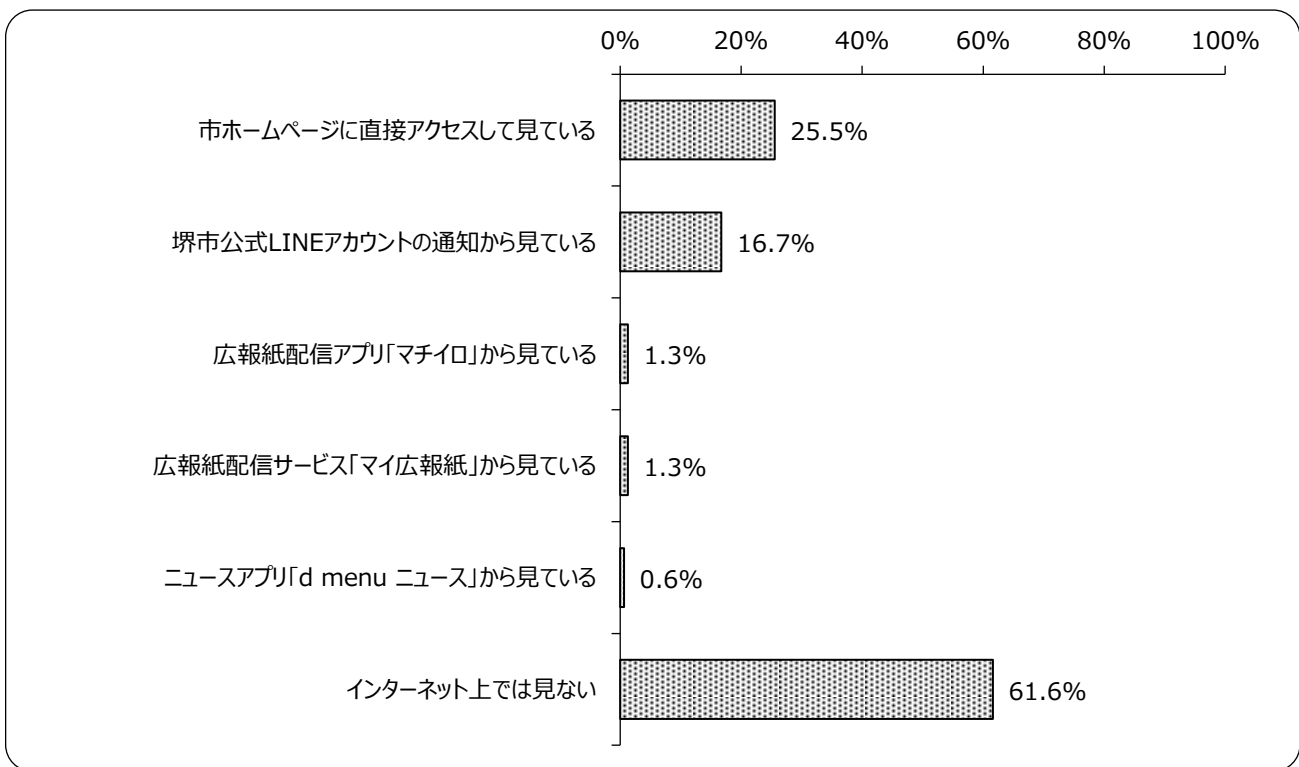


「紙媒体以外での広報さかいの閲覧方法」

問 87. 宅配以外でも広報さかいをご覧になれるよう、市ホームページや、スマホアプリ「マチイロ」、情報配信サイト「マイ広報紙」などでも情報を発信しています。
 広報さかいをどの方法で見えていますか。 【複数選択可：いくつでも】

「インターネット上では見ない」が61.6%と最も多い。一方で、「市ホームページに直接アクセスして見ている」が25.5%、「堺市 LINE 公式アカウントの通知から見ている」が16.7%となっている。このことから、ホームページなど、デジタル媒体で広報さかいを公開する需要が一定あることがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	市ホームページに直接アクセスして見ている	119	25.5%
2	堺市公式LINEアカウントの通知から見ている	78	16.7%
3	広報紙配信アプリ「マチイロ」から見ている	6	1.3%
4	広報紙配信サービス「マイ広報紙」から見ている	6	1.3%
5	ニュースアプリ「d menu ニュース」から見ている	3	0.6%
6	インターネット上では見ない	287	61.6%



(3) 堺市くらしのガイドブックについて

◀堺市くらしのガイドブックの利用頻度▶

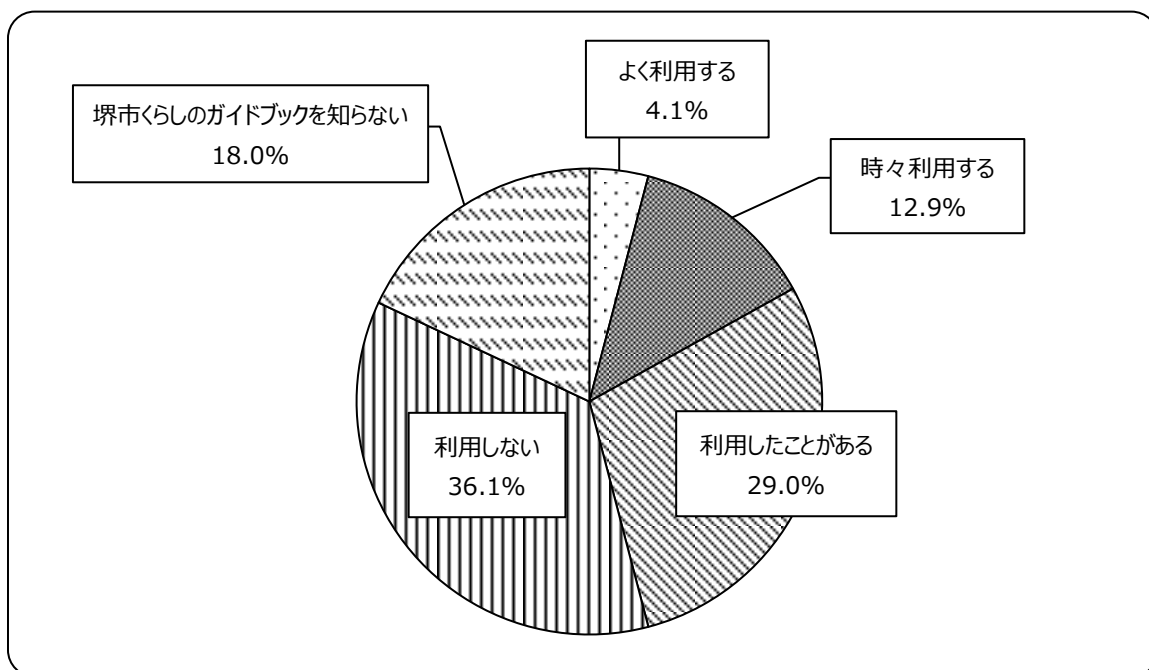
問 88. 堺市くらしのガイドブックを利用していますか。

【選択は 1 つ】

「利用したことがある」29.0%、「時々利用する」12.9%、「よく利用する」4.1%の合計が 46.0%となっており、「利用しない」36.1%を上回った。

なお、令和3年度では「利用していない」が42.2%となっており、「利用したことがある」22.3%、「時々利用する」13.5%、「よく利用する」1.7%の合計が37.5%となっており、「利用していない」の42.2%を下回っていた。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	よく利用する	19	4.1%
2	時々利用する	60	12.9%
3	利用したことがある	135	29.0%
4	利用しない	168	36.1%
5	堺市くらしのガイドブックを知らない	84	18.0%
	計 (回答総数)	466	100.0%



◀◀堺市くらしのガイドブックを利用しない理由▶▶

問 89. 問 88 で「4 利用しない」「5 堺市くらしのガイドブックを知らない」と回答された方に伺います。

その理由をお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

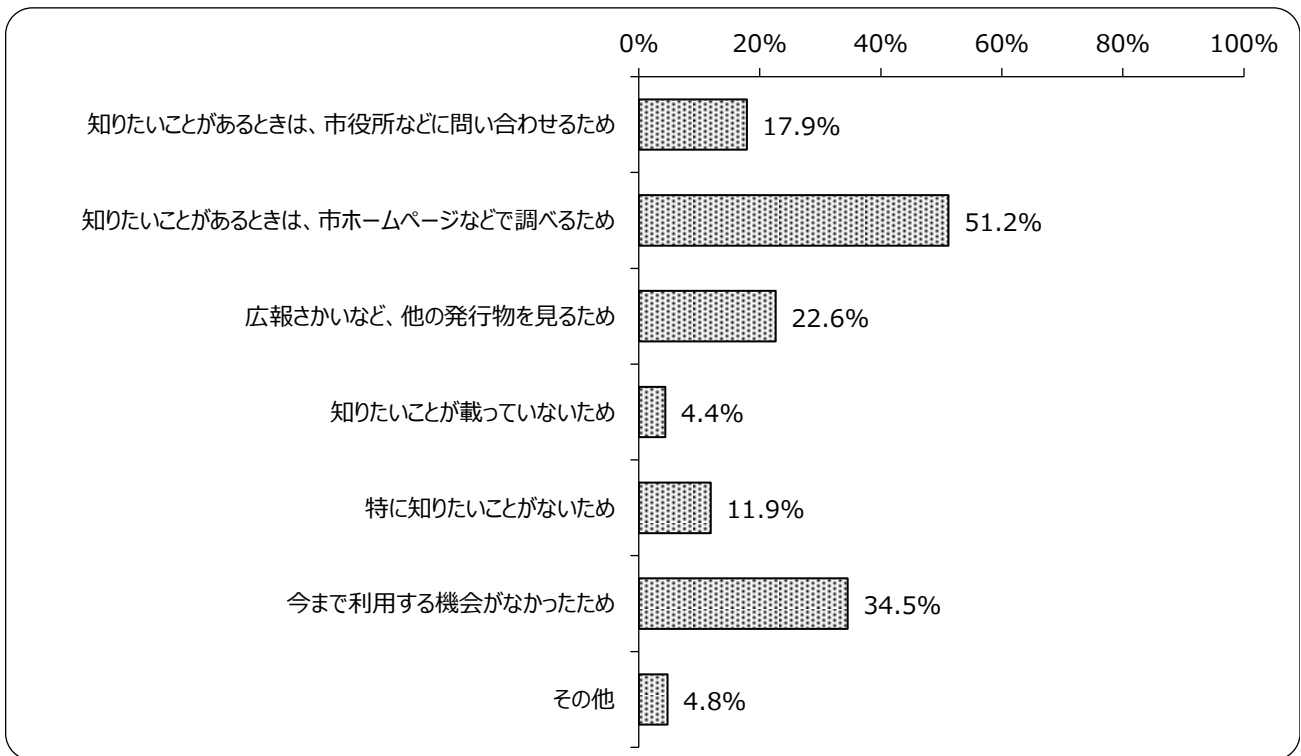
「知りたいことがあるときは、市ホームページなどで調べるため」が 51.2%と最も多く、半数以上の方が、インターネットを利用し、市ホームページから情報を収集していることがわかる。また、「今まで利用する機会が無かったため」34.5%、「広報さかいなど、他の発行物を見るため」22.6%とあり、くらしのガイドブックを利用しない場合でも、市ホームページなど他媒体を活用して情報を得ていることが多い。

	選択項目 (N=252)	回答数	回答数/N
1	知りたいことがあるときは、市役所などに問い合わせるため	45	17.9%
2	知りたいことがあるときは、市ホームページなどで調べるため	129	51.2%
3	広報さかいなど、他の発行物を見るため	57	22.6%
4	知りたいことが載っていないため	11	4.4%
5	特に知りたいことがないため	30	11.9%
6	今まで利用する機会がなかったため	87	34.5%
7	その他	12	4.8%

[7 その他]

【主な回答】

- そもそも知らない。
- 届いてることを知らなかった。
- 家族に調べてもらう。
- 最新を知りたいので
- インターネットで調べるため
- 利用しなくても困らないので



(4) 市ホームページについて

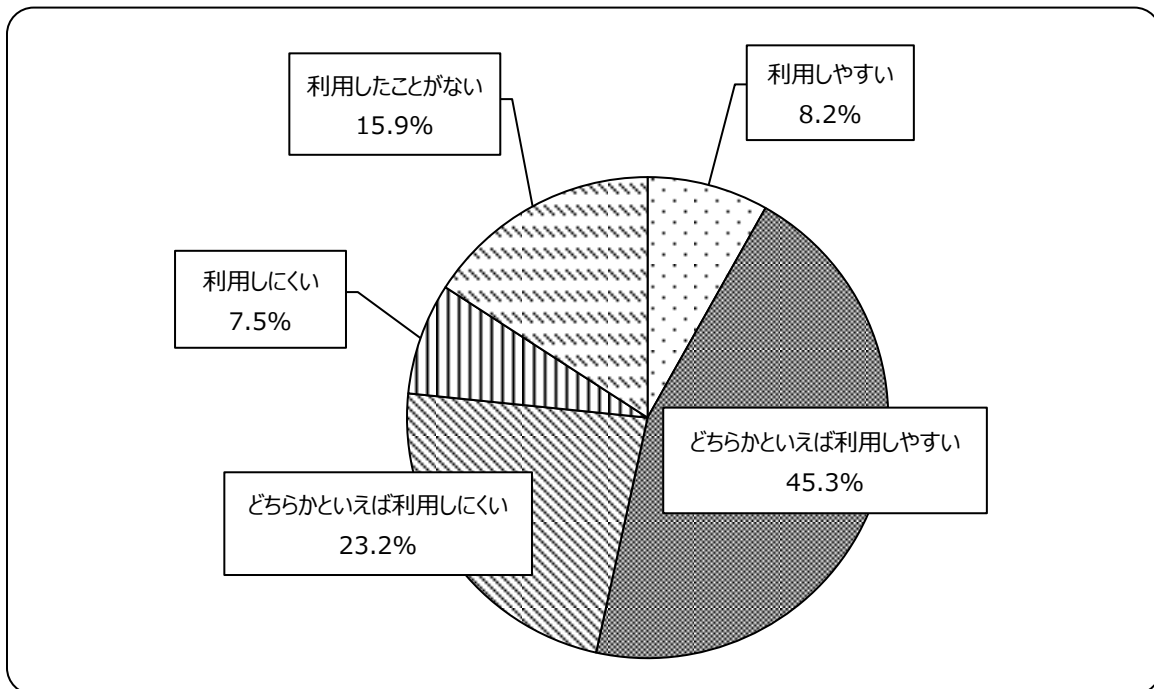
「市ホームページの利用しやすさ」

問 90. 市ホームページを利用しやすいと思いますか。

【選択は 1 つ】

「どちらかといえば利用しやすい」45.3%、「利用しやすい」8.2%の合計は 53.5%となっており、「どちらかといえば利用しにくい」23.2%、「利用しにくい」7.5%の合計 30.7%を上回った。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	利用しやすい	38	8.2%
2	どちらかといえば利用しやすい	211	45.3%
3	どちらかといえば利用しにくい	108	23.2%
4	利用しにくい	35	7.5%
5	利用したことがない	74	15.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%



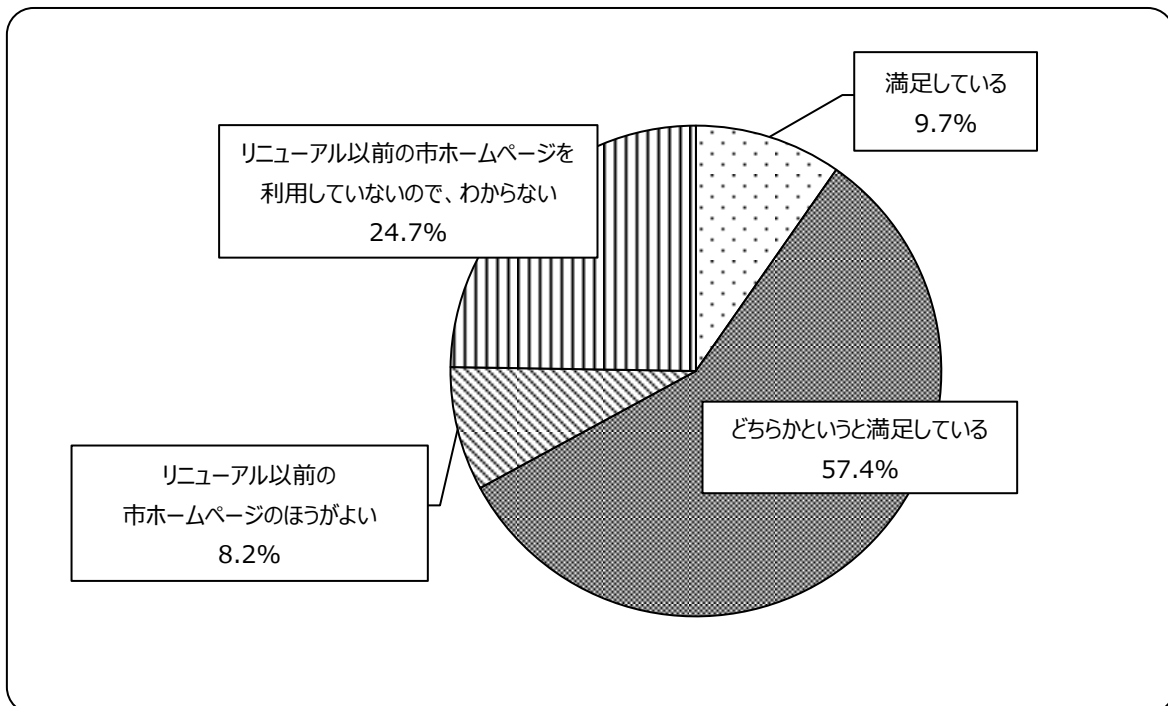
「リニューアル後の市ホームページに対する満足度」

問 91. 問 90 で 1～4 と回答された方（市ホームページを利用したことがある方）に伺います。

市ホームページは令和 4 年 1 月に、全ての方が見やすく使いやすいホームページになるよう、全面リニューアルを実施しました。リニューアル後の市ホームページについて、どのように感じますか。 【選択は 1 つ】

「満足している」9.7%、「どちらかという満足している」57.4%の合計が67.1%となっており、半数以上の方がリニューアルに概ね満足していることがわかる。

	選択項目 (N=392)	回答数	構成比
1	満足している	38	9.7%
2	どちらかという満足している	225	57.4%
3	リニューアル以前の市ホームページのほうがよい	32	8.2%
4	リニューアル以前の市ホームページを利用していないので、わからない	97	24.7%
	計 (回答総数)	392	100.0%



「リニューアル後の市ホームページの使いやすさ」

問 92. 問 91 で 1～3 と回答された方（リニューアル以前の市ホームページを利用したことがある方）に伺います。
 リニューアル後の市ホームページについて、以下の項目に対してどのように感じますか。【各項目：選択は 1 つ】

- ① 情報の探しやすさについて、「良くなった」「やや良くなった」の合計が 87.5%となっている。
 - ② デザイン・レイアウトについて、「良くなった」「やや良くなった」の合計が 90.2%となっている。
 - ③ パソコンでの見やすさについて、「良くなった」「やや良くなった」の合計が 89.5%となっている。
 - ④ スマートフォンでの見やすさについて、「良くなった」「やや良くなった」の合計が 90.2%となっている。
 - ⑤ 操作性について、「良くなった」「やや良くなった」の合計が 87.2%となっている。
- 各項目とも、9 割程度の方が、リニューアルによってホームページを使いやすくなったと感じている。

選択項目 (N=295)	良くなった	やや良くなった	やや悪くなった	悪くなった	計 (回答総数)
①情報の探しやすさ	61 20.7%	197 66.8%	25 8.5%	12 4.1%	295 100.0%
②デザイン・レイアウト	72 24.4%	194 65.8%	19 6.4%	10 3.4%	295 100.0%
③パソコンでの見やすさ	56 19.0%	208 70.5%	21 7.1%	10 3.4%	295 100.0%
④スマートフォンでの見やすさ	54 18.3%	212 71.9%	20 6.8%	9 3.1%	295 100.0%
⑤操作性	58 19.7%	199 67.5%	29 9.8%	9 3.1%	295 100.0%

[①～⑤以外で良いと思ったところや悪いと思ったところ]

【主な回答】

- 必要な情報を検索しやすくなり、助かっています。
- 絵が多いのでわかりやすくなったと感じる。
- 目的別検索が便利で助かる。
- 文字が見やすくなった。
- 基本的にまとまっている。
- ちょうど良い手頃なサイズです。
- あまり情報を詰め込みすぎないデザインで、デジタルから比較的遠い人にやさしい設計だと思う。
- スッキリした表示になりました。
- ホームページに最新の広報紙が早く掲載されているのが良い。
- 簡単なアイコンイラストがパッと見、見やすくて良い。
- 内容が高齢者・子どもなどにも比較的親しみ易い表現内容になった。
- パソコンは内容が詳しく見られるので有難い。
- 検索窓が大きくなって使いやすい位置になったのが良い。トップが必要最低限の情報提示のみになって、スッキリして分かりやすくなった。お知らせは上にある方が良いと思う。
- 検索できる機能があればいいなあ。
- Q&A など疑問に思う事、こちら側が質問としてあげる事を箇条書きで沢山例があり、クリックでそのページに繋がるなどがいい。
- 情報をもう少し簡単に調べられるようになったらよりよくなると思う。
- ホームページの 1 ページ目にイベント情報が記載されていると関心を持つ人が増えそう。

- 探したい情報が探しにくい時がありますが、まだ見やすい方かとは思う。
- 情報件数を増やすためか、各々の内容表現が簡素になりそれだけではわかりにくくなった。件数増加や一覧性が高まったことは評価します。
- お知らせがタブ（「重要なお知らせ」～「報道発表」）で切り替わる様になったが、ページ全体を再読み込み（更新）する度に、固定された先頭のタブ「重要なお知らせ」が表示されてしまう。更新する前のタブの位置（「新着情報」「報道発表」）を記録できるようにしてほしい。
- 情報量も増え、見やすく、アクセスし易くなったと思うが、反面、知りたい情報になかなか辿り着か無い事も多く、情報整理の工夫ももうひと工夫必要かと思う。
- デザインはよくなったし、多少は見やすくなった。しかし、検索のしにくさ、情報までの辿り着きにくさは相変わらずです。検索すれば出てくるということを知ってる人でないと辿り着けないと思う。
- 自分から情報を積極的に集めるのは本当に難しい。後から「こんな事があったんや」みたいな時が多い。
- とにかく情報が探しにくい。
- ぐちゃぐちゃしている。
- 色合い、デザインが悪い。
- 分類カテゴリーがわかりづらい。探すのに時間がかかる、情報入手にたどり着かないことがある。
- あまり利用頻度は高くないのですが、以前の方が見慣れていたので現在見づらい感じがある。
- 見たい情報に辿り着くまでが面白いワクワク感が薄い。地味な画面で事務的なイメージがずっとある。
- 色味が少なく視認性が低い。広報誌はとても親しみやすく良くなったのに…。大阪市を参考に視認性高く親しみやすいものを期待する。
- 情報が見にくい、市政コーナーを期待しているが辿りつくのに時間が掛かる。Google 検索を使う。
- Google 提供の検索があるが、古い情報などが上部でヒットし必要な情報を取得することが難しいと感じる。
- 文字が大きすぎる割にツイッターの文字が小さい。詳しくはこちらで何故か堂々めぐりになる。
- リニューアル前のホームページに慣れていたので、慣れるまでの過渡期かも知れませんが、高齢化が進みますと、感覚的にも変更について行くのに時間が掛かります。
- 現行のホームページからは、調べたい、知りたい項目へたどり着きにくい。魅力のないホームページになってしまった。市政情報について、現市長が自身をアピールされるのは構わないが、それまでの市長の足跡も大切にしなければいけないと思う。市長が替わっても、以前の「市長の部屋」も閲覧できるようにしてほしい。堺のことをよくご存じの方の情報は消してはいけないと思う。例えば考え方が違えども、何でもかんでも変えればいい、というものではない。
- 区のページにいくまでに時間がかかるようになったニュースの一覧が小さくなって、トップページで見ることができる情報が減った。
- 利用頻度の高い区の情報を探すのに手間取っています。

(5) 市の公式 SNS について

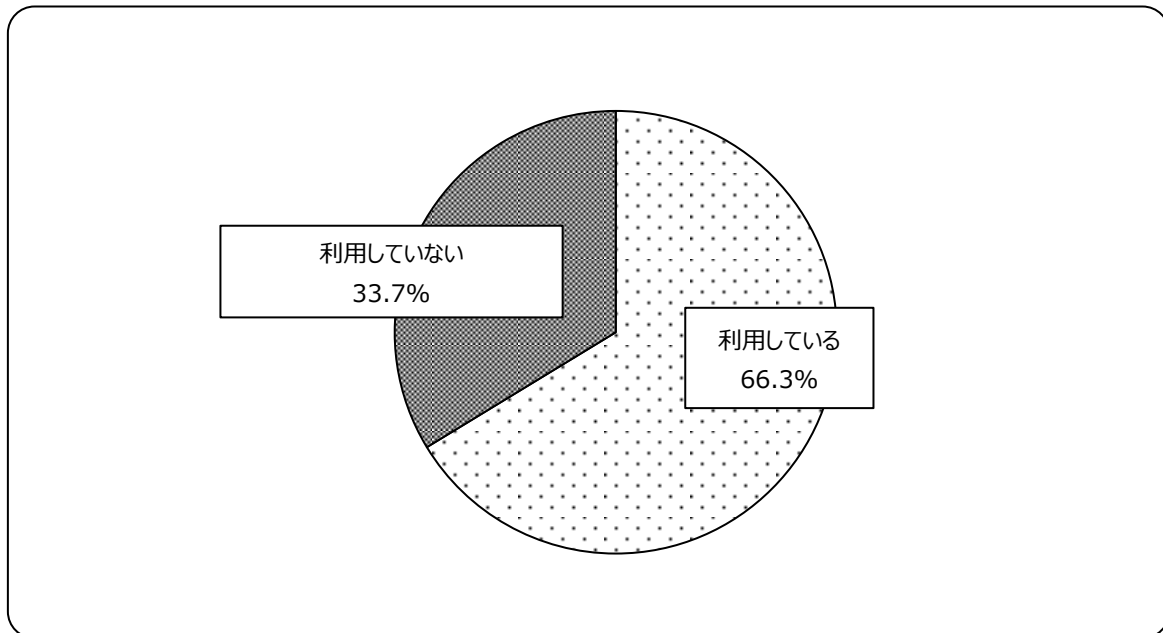
「SNS の利用状況」

問 93. SNS (LINE、Twitter、Facebook 等) を利用していますか。

【選択は 1 つ】

66.3%の方が SNS を利用している。令和 3 年度の 64.5%から 1.8 ポイント上昇し、SNS 利用者が増加していることがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	利用している	309	66.3%
2	利用していない	157	33.7%
	計 (回答総数)	466	100.0%



≪ 市政情報を得たい SNS の種類 ≫

問 94. 問 93 で「1 利用している」と回答された方に伺います。

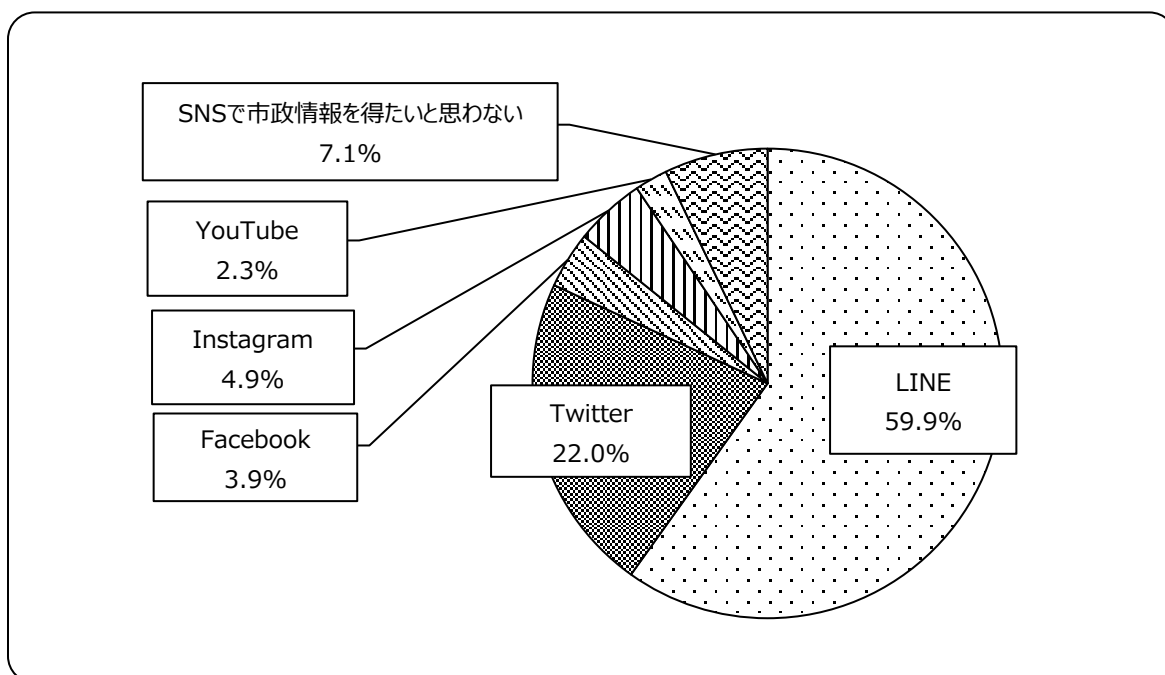
本市では、SNS で情報を発信しています。

主にどの SNS で市政情報を得たいと思いますか。

【選択は 1 つ】

9 割以上の方が SNS で市政情報入手したいと考えており、その中でも「LINE」が 59.9% で最も割合が高い。LINE は利用者数も多く、手軽に情報入手できるため、市政情報の配信ツールとして有効であると考えられる。

	選択項目 (N=309)	回答数	構成比
1	LINE	185	59.9%
2	Twitter	68	22.0%
3	Facebook	12	3.9%
4	Instagram	15	4.9%
5	YouTube	7	2.3%
6	SNS で市政情報を得たいと思わない	22	7.1%
	計 (回答総数)	309	100.0%



問 95. 問 94 で 1～5 と回答された方に伺います。

SNS でどのような市政情報を得たいですか。

【複数選択可：いくつでも】

「災害などの危機事象に関する情報」が 76.3%で最も割合が高く、生命に関わるような緊急情報が求められていることがわかる。

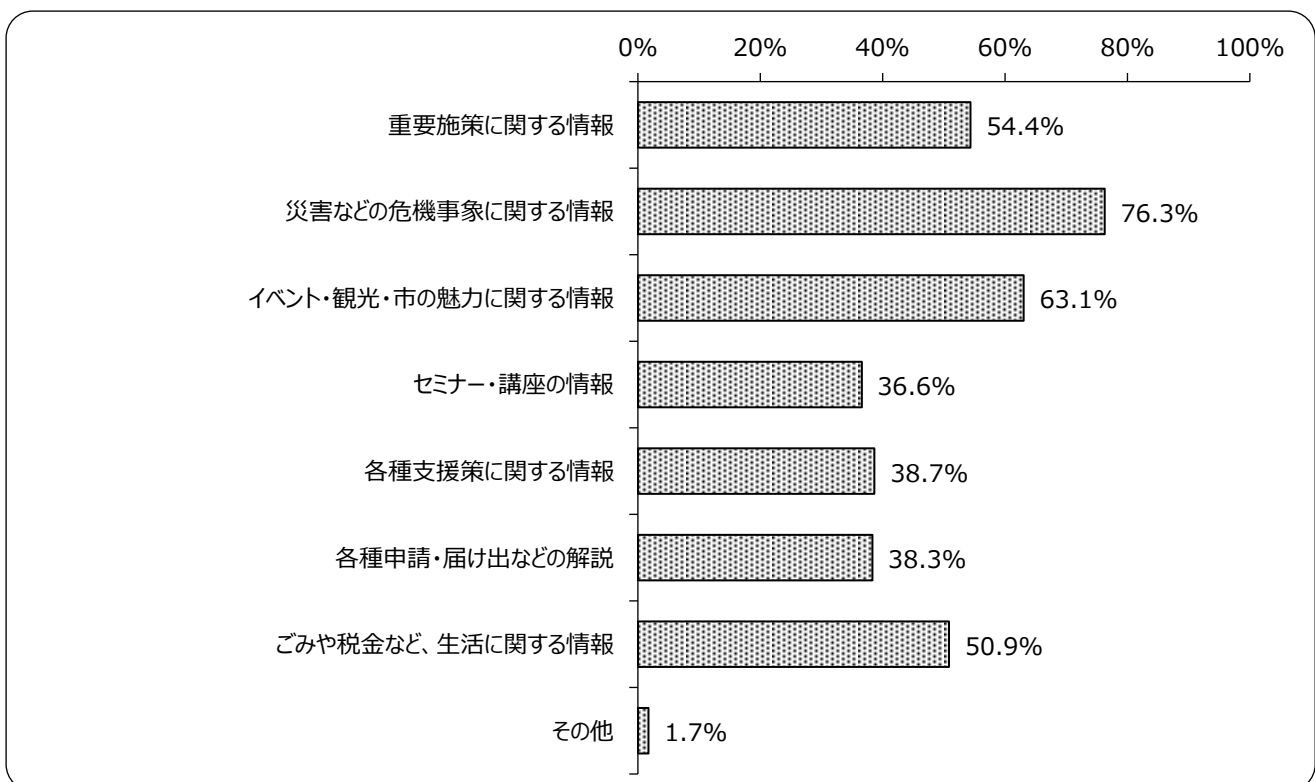
また、「イベント・観光・市の魅力に関する情報」63.1%、「重要施策に関する情報」54.4%、「ごみや税金など、生活に関する情報」50.9%なども比較的割合が高く、様々な分野の市政情報発信が求められていると考えられる。

	選択項目 (N=287)	回答数	回答数/N
1	重要施策に関する情報	156	54.4%
2	災害などの危機事象に関する情報	219	76.3%
3	イベント・観光・市の魅力に関する情報	181	63.1%
4	セミナー・講座の情報	105	36.6%
5	各種支援策に関する情報	111	38.7%
6	各種申請・届け出などの解説	110	38.3%
7	ごみや税金など、生活に関する情報	146	50.9%
8	その他	5	1.7%

[8 その他]

【主な回答】

- コロナ情報
- 各自選択した情報のみ受信



令和4年度 第2回 市政モニターアンケート報告書

1. 災害に備えた啓発や情報発信に関する取組について
2. 上下水道局の取組について
3. 公共交通について
4. 中百舌鳥駅前北側広場の活性化について
5. 環濠都市堺の再生事業について
6. ごみ減量化・リサイクル、適正排出について
7. 里親制度に関する意識調査・広報啓発について
8. 広報活動について

発行月 令和5年4月

編集・発行 堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-228-7475

FAX 072-228-7444

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号 1 - C3 - 22 - 0254